

令和6年度 川崎区区民アンケート 報告書

川 崎 区 役 所

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査方法	1
3 調査項目	1
4 回収状況	1
5 調査結果を見る上での注意事項	1
6 標本誤差	2
第2章 回答者の属性	3
第3章 調査結果の詳細	6
1 川崎区の住みやすさについて	6
(1) 川崎区の住みやすさ	6
(2) 今後の定住意向	9
(3) 川崎区の満足度	11
2 川崎市（区）役所の事業や広報について	31
(1) 川崎市（区）役所の取組への認知度	31
(2) 川崎区役所の事業への評価	55
(3) 川崎区役所の事業で力を入れるべき事業	78
(4) 行政情報の入手手段	82
3 防災や風水害時の避難行動について	85
(1) 実践している防災の取組	85
(2) 災害時の防災情報の収集手段	88
(3) 避難場所	91
4 自転車の利用について	94
(1) 自転車の利用・ヘルメットの着用状況	94
(2) 自転車保険の加入義務への認知度	96
(3) 道路交通法改正の認知度	98
5 町内会・自治会活動について	100
(1) 町内会・自治会への加入状況	100
(2) 町内会・自治会の活動に参加しない理由	102
(3) 町内会・自治会に加入していない理由	104
(4) 町内会・自治会に必要だと思うこと	107
(5) 町内会・自治会活動で参加してみたい（興味のある）こと	110
6 地域コミュニティについて	113
(1) 興味のある地域交流の場所や取組	113

(2) 近隣住民による助け合い活動について	116
(3) いざという時に頼る人について	118
(4) 日常生活における外国人との交流	120
7 健康管理について.....	122
(1) 健康診断の受診状況	122
(2) 健康診断を受診していない理由	124
8 公園の利用について.....	126
(1) 公園の利用状況	126
(2) 一番多く利用した公園	128
9 日常の買い物について.....	130
(1) 日常的に買い物をするところ	130
(2) 日常の買い物をする際の移動手段	133
10 東海道川崎宿について.....	135
(1) 宿場町としての歴史への認知度	135
(2) 東海道川崎宿を盛り上げるための取組	137
第4章 調査票	138

第1章 調査の概要

1 調査目的

「川崎区区民アンケート」は、区民の区政に対する意見やニーズ等を調査することにより、区政運営及び地域課題解決の参考とする目的として実施した。

2 調査方法

(1) 調査の地域	川崎区全域
(2) 調査の対象者	川崎区内在住の満18歳以上の男女個人
(3) 標本の抽出	住民基本台帳に基づく無作為抽出
(4) 標本数	2,000標本
(5) 調査方法	郵送配布—郵送回収またはインターネット回答
(6) 調査期間	令和6年11月1日（金）～令和6年12月1日（日）
(7) 調査委託機関	東京都ビジネスサービス株式会社

3 調査項目

項目名	設問
1 川崎区の住みやすさについて	(問1～問3)
2 川崎市（区）役所の事業や広報について	(問4～問7)
3 防災や風水害時の避難行動について	(問8～問10)
4 自転車の利用について	(問11～問13)
5 町内会・自治会活動について	(問14～問18)
6 地域コミュニティについて	(問19～問22)
7 健康管理について	(問23～問24)
8 公園の利用について	(問25～問26)
9 日常の買い物について	(問27～問28)
10 東海道川崎宿について	(問29～問30)

4 回収状況

有効回収数 765人

有効回収率 38.3%

5 調査結果を見る上で注意事項

- 本文、表、グラフに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- 百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- 複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- 本文、表、グラフは、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。

6 標本誤差

この調査結果を見る場合に、考慮すべき統計上の誤差がある。考慮すべき誤差（標本誤差）の大きさは、回答者数（標本数）が少ないとほど大きく、また、回答比率が低いほど大きくなる。下記の表は、今回の調査結果の標本誤差を示したものである。例えば、調査の中のある設問の回答者数が1000人であり、Aと回答した人の比率が60%だった場合、その結果を全体（母集団）の結果として考えるときに、Aの回答比率は56.9%～63.1%であるとみることができる。

●今回調査結果の標本誤差

n \ p	90%または10%程度	80%または20%程度	70%または30%程度	60%または40%程度	50%程度
n					
1000	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
600	±2.4%	±3.3%	±3.7%	±4.0%	±4.1%
400	±3.0%	±4.0%	±4.6%	±4.9%	±5.0%
200	±4.2%	±5.7%	±6.5%	±6.9%	±7.1%
100	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$ として算出している。

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるがその誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査にあてはめて算出したのが、上記の表である。

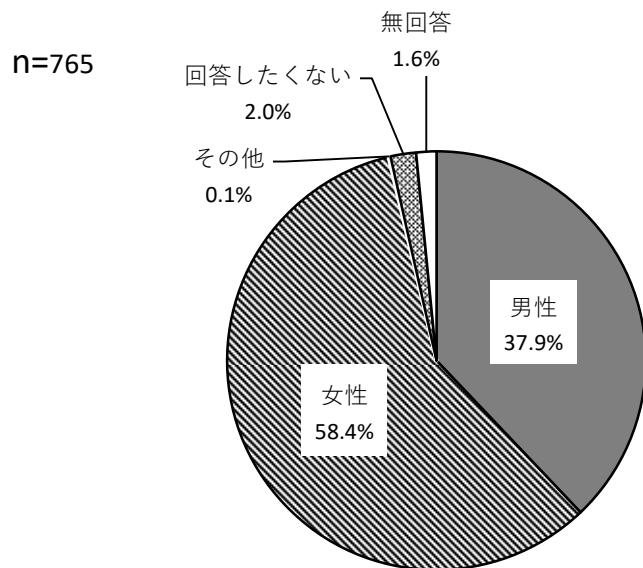
標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基數（n）、②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

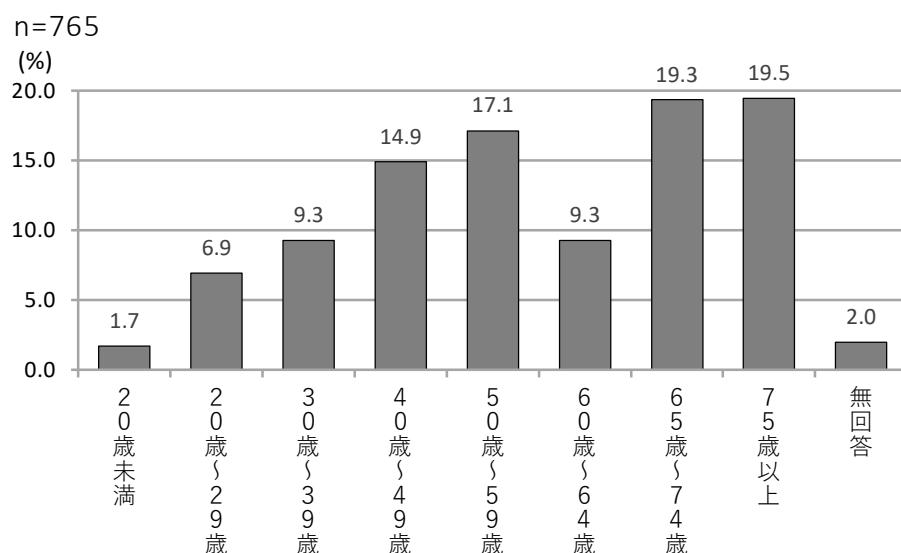
N=母集団（川崎区の18歳以上人口）
n=比率算出の基數（回答者数）
p=回答の比率（%）

第2章 回答者の属性

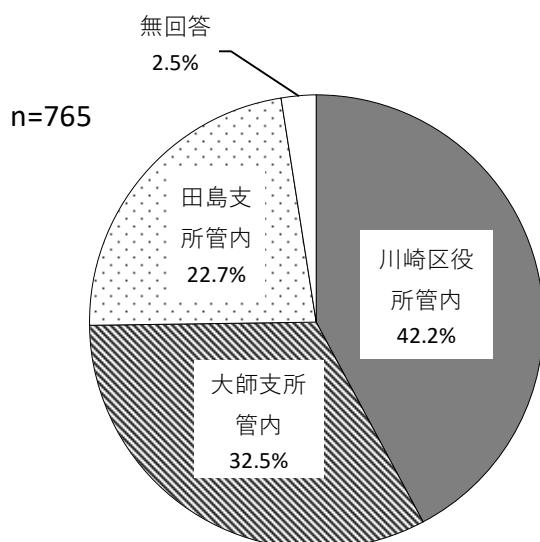
1 性別



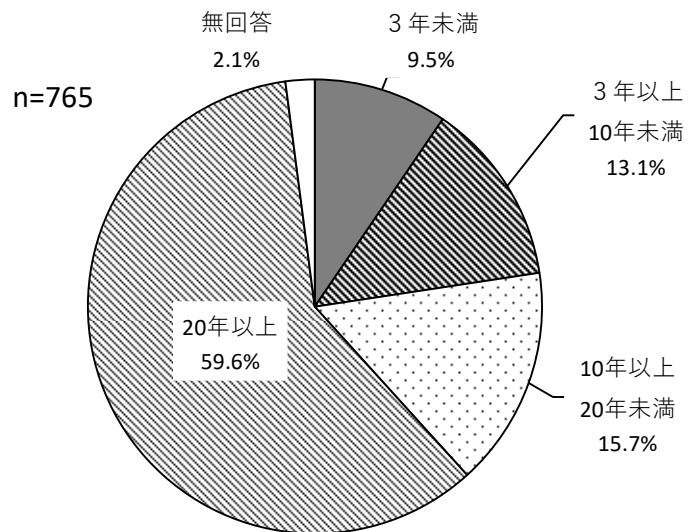
2 年齢



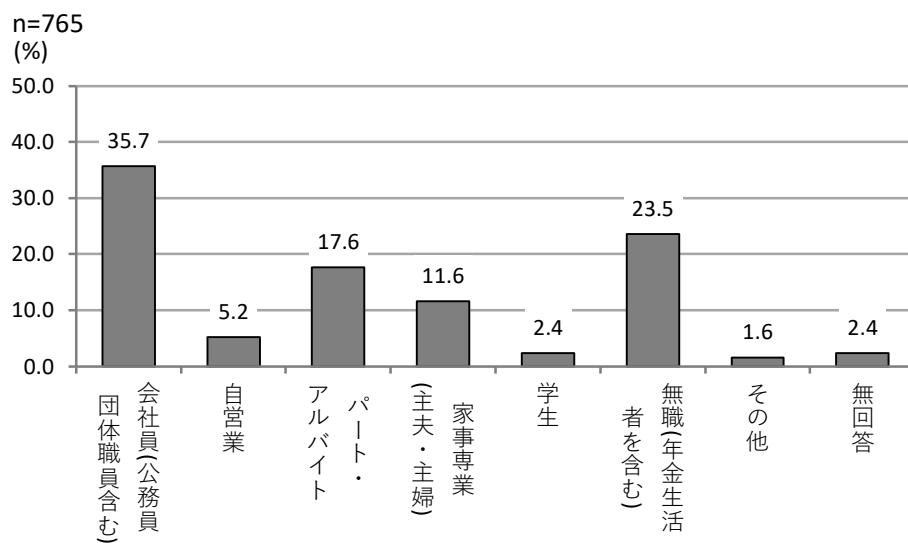
3 居住地区



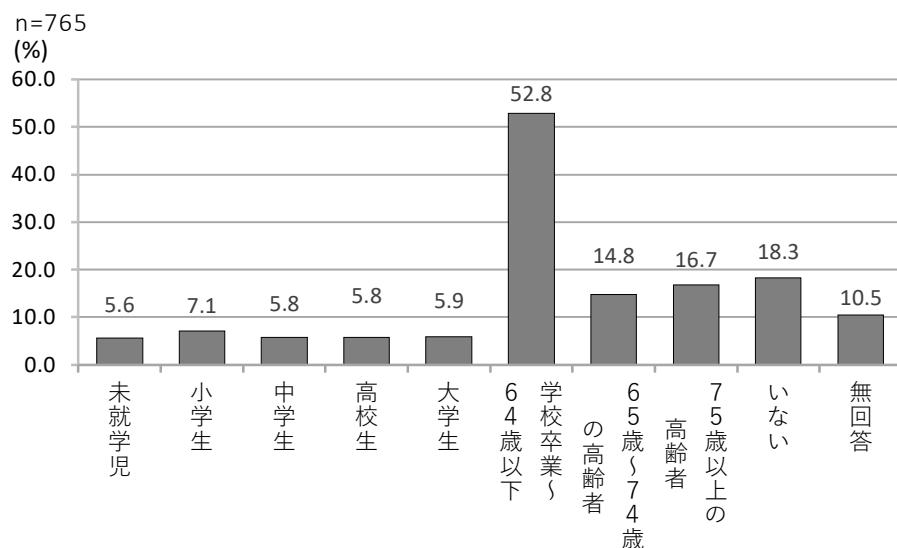
4 居住年数



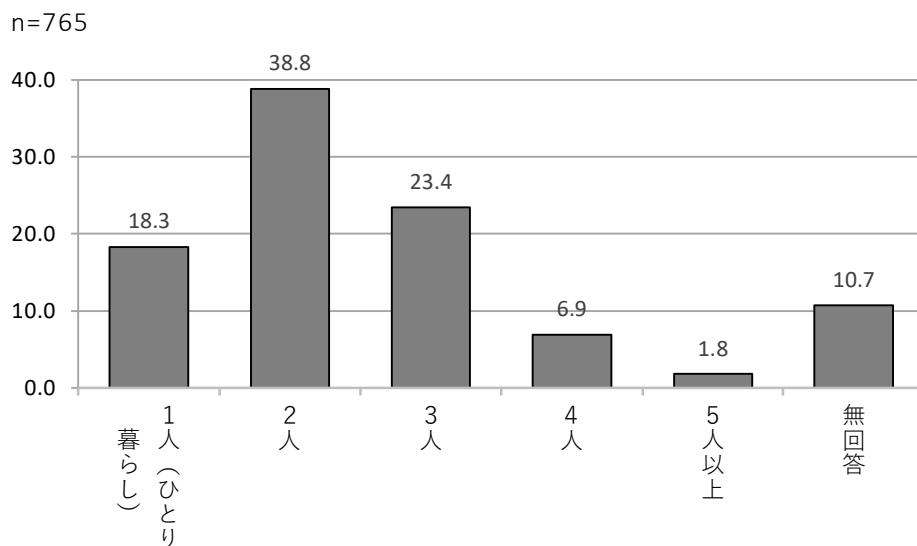
5 職業



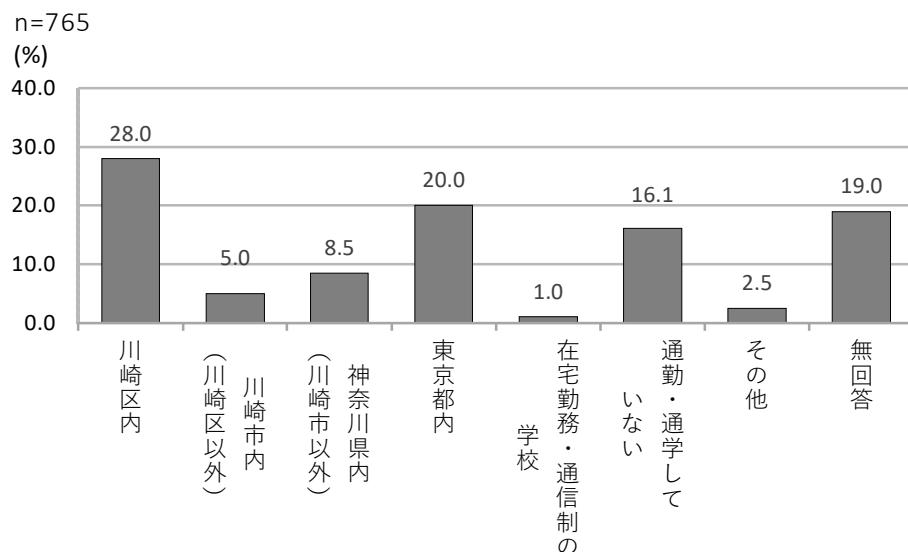
6 家族・同居人構成



7 家族・同居人数



8 通勤・通学先



第3章 調査結果の詳細

1 川崎区の住みやすさについて

(1) 川崎区の住みやすさ

問1 川崎区の住みやすさをどのように思われますか。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「どちらかといえば住みやすい」(57.3%) が最も高く、次いで「とても住みやすい」(28.8%) となっている。

今年度における「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせたく住みやすい>では、86.1%であった。令和2年度と比べると1.9ポイント高くなっている。

(図1-1-1)

性 別 性別では、大きな差は見られなかった。(図1-1-3)

性 年 代 別 「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせたく住みやすい>では、「男性50代」(96.2%) が最も高く、次いで「男性20代以下」(92.9%)、「男性30代」(91.7%) となっている。「男性60代以上」を除いてく住みやすい>が8割を超えている。「とても住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせたく住みにくい>では、「男性30代」(8.3%) が最も高く、次いで「男性20代以下」(7.1%)、「女性30代」(6.8%) となっている。(図1-1-2)

図1-1-1 川崎区の住みやすさ

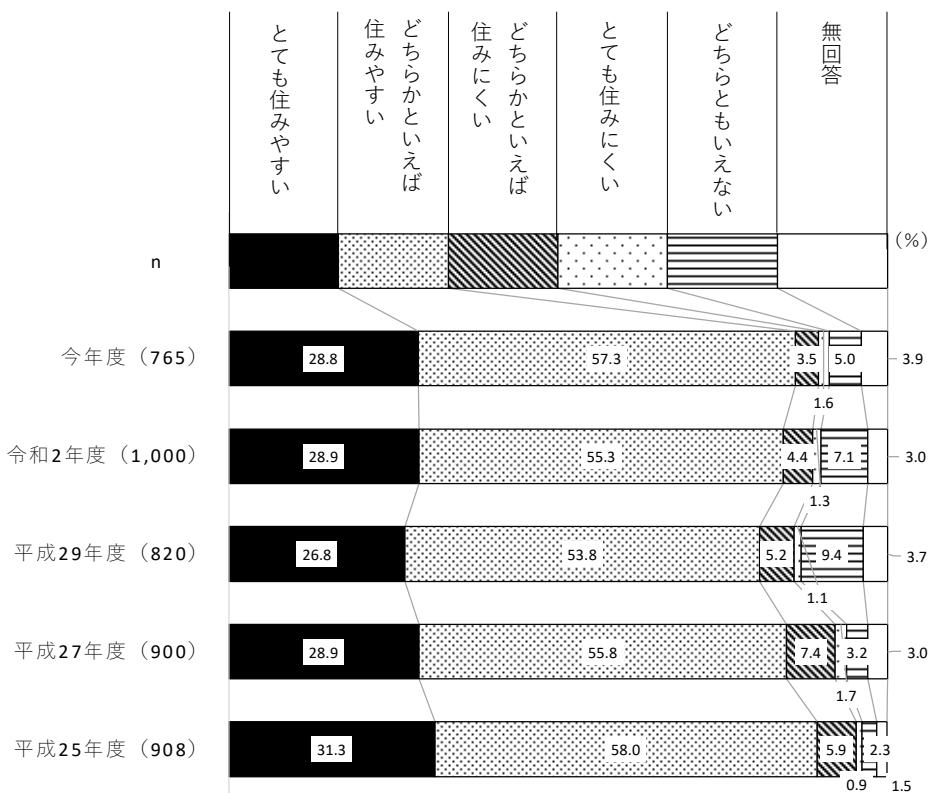


図1－1－2 川崎区の住みやすさ

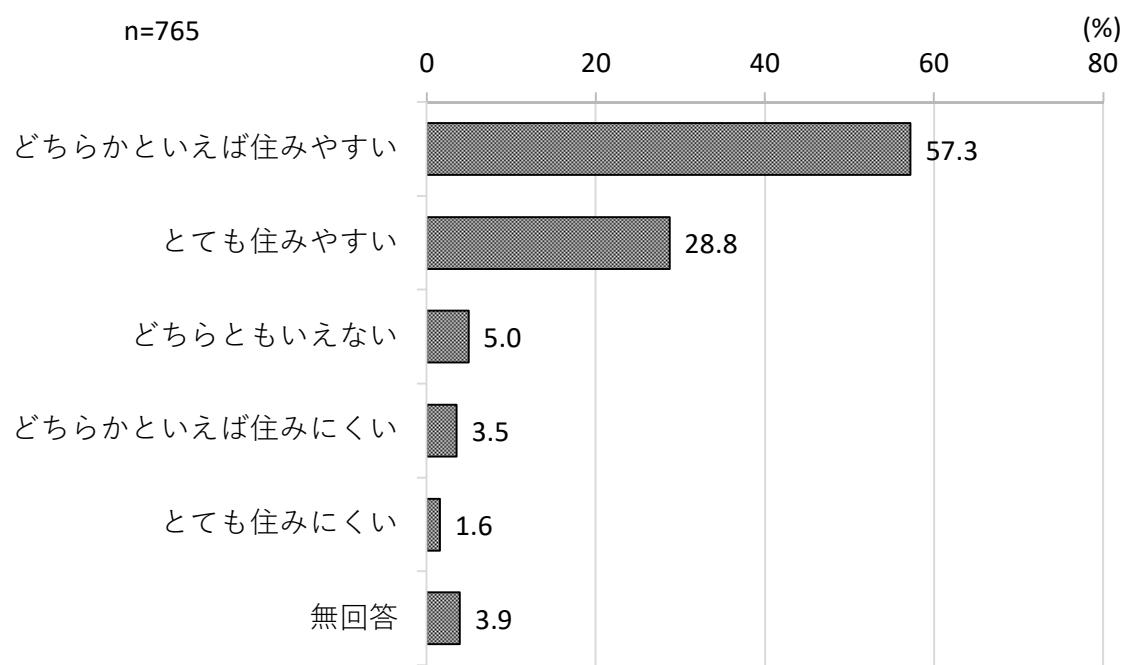
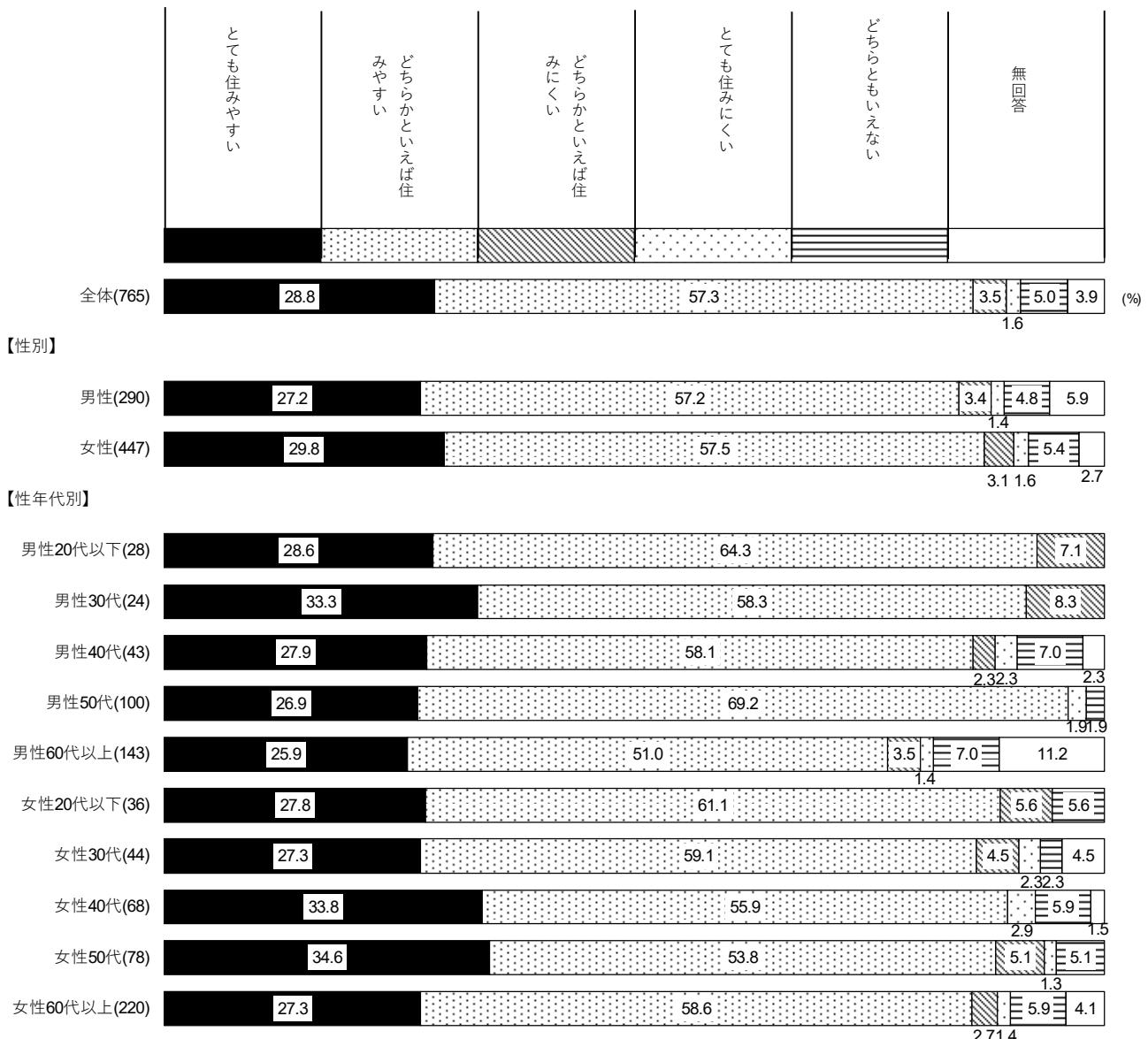


図1-1-3 川崎区の住みやすさ <性別・性年代別>



(2) 今後の定住意向

問2 川崎区に住み続けたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「これからも住んでいたい」(67.5%)が最も高く、次いで「わからない」(15.0%)、「できれば市外へ移りたい」(9.0%)、「できれば市内の他の区へ移りたい」(3.8%)となっている。(図1-2-1)

性 別 性別では、大きな差は見られなかった。(図1-2-2)

性 年 代 別 「これからも住んでいたい」は、「男性40代」(79.1%)が最も高く、次いで「女性60代以上」(72.7%)、「男性50代」(69.2%)となっている。「できれば市外へ移りたい」は、「女性20代以下」(19.4%)が最も高く、次いで「女性30代」(18.2%)となっている。(図1-2-2)

図1-2-1 今後の定住意向

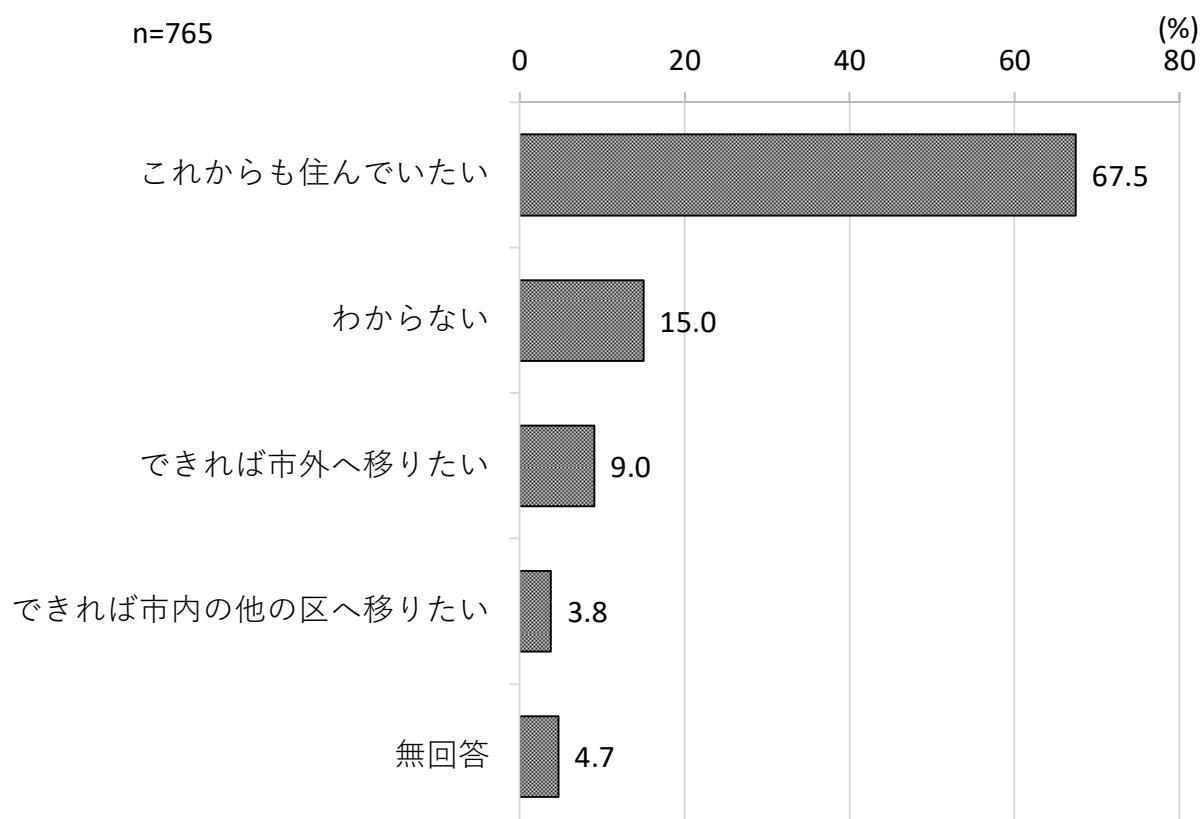
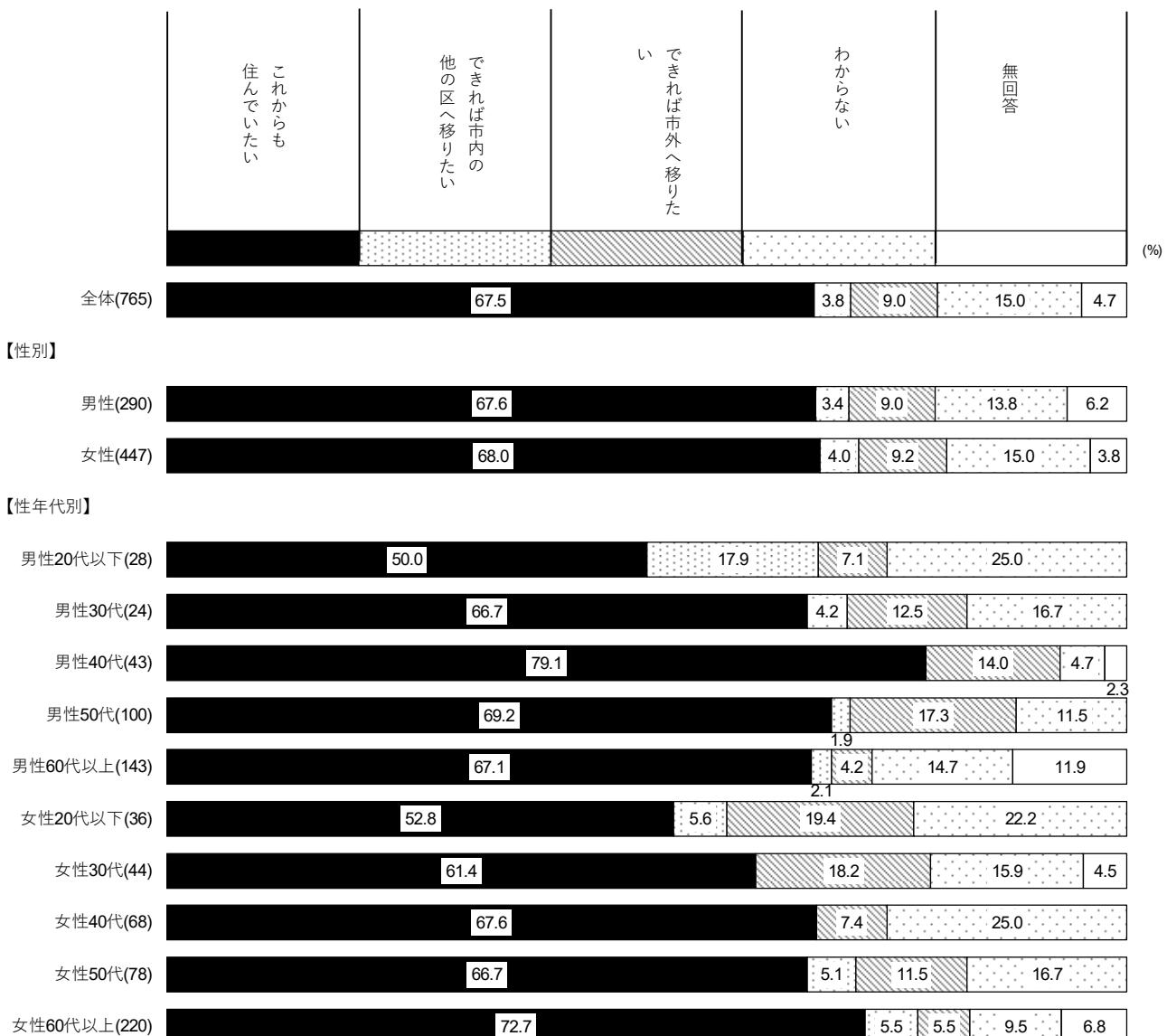


図1-2-2 今後の定住意向 <性別・性年代別>



(3) 川崎区の満足度

問3 次の表にあげる項目の、満足度を教えてください。

(①から⑯までの項目ごとに、あてはまるもの1つに○)

- 全 体 「満足」と「まあ満足」を合わせた＜満足＞では「③バス・電車などの交通の便」(83.4%)が最も高く、次いで「②買い物などの日常生活の利便性」(83.0%)、「⑫病院や救急医療などの地域医療の状況」(59.6%)となっている。
(図1-3-1)
- 性 別 「満足」では、「病院や救急医療などの地域医療の状況」、「地域団体等の清掃活動などの街の美化推進」などの14項目で「男性」が「女性」より高くなっている。一方、「緑や公園などの自然環境」などの3項目で「女性」が「男性」より高くなっている。
(図1-3-9)、(図1-3-13)、(図1-3-18)
- 性 年 代 別 「満足」では、「買い物などの日常生活の利便性」で「男性30代」(72.3%)が他の性年代に比べて高くなっている。「バス・電車などの交通の便」で「男性60代以上」(64.6%)、「女性60代以上」(63.9%)が6割台と高くなっている。「病院や救急医療などの地域医療の状況」で「男性60代以上」(26.6%)「男性20代以下」(26.1%)が他の性年代に比べて高くなっている。
(図1-3-3)、(図1-3-4)、
(図1-3-13)
「不満」では、「治安や風紀」で「男性30代」、「男性40代」、「女性20代以下」、「女性30代」で2割5分以上と高くなっている。「男性60代以上」では「満足」が約2割と他の性年代に比べて高くなっている。「自転車マナーの啓発などの交通安全対策」で「男性40代」(23.0%)、「男性50代」(21.4%)で2割台と他の性年代に比べて高くなっている。また、「自転車撤去や駐輪場への誘導・案内などの放置自転車対策」で「男性40代」(16.2%)が他の性年代に比べて高くなっている。
(図1-3-2)、
(図1-3-6)、(図1-3-8)

図1－3－1 川崎区の満足度

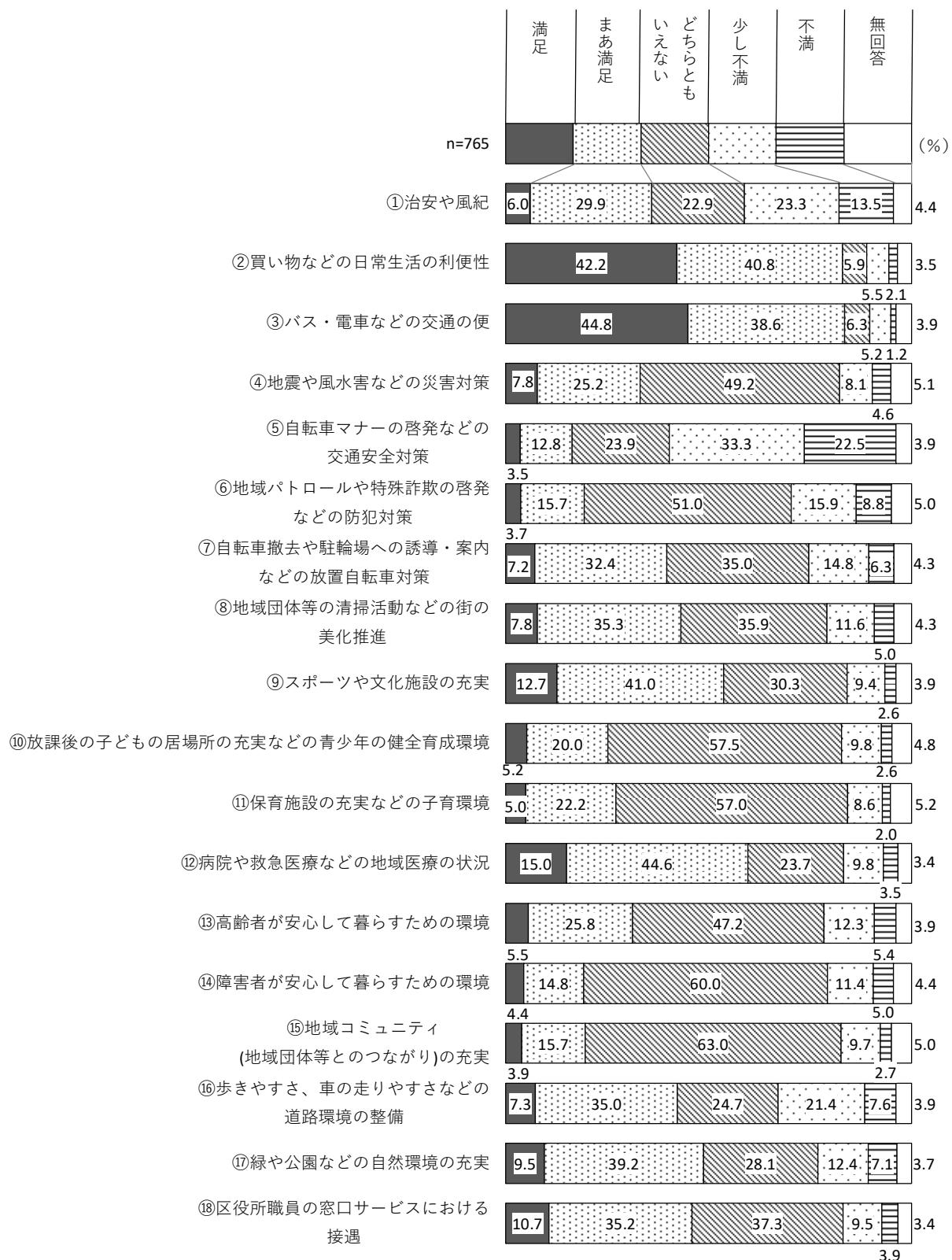


図1－3－2 川崎区の満足度 ①治安や風紀 <性別・性年代別>

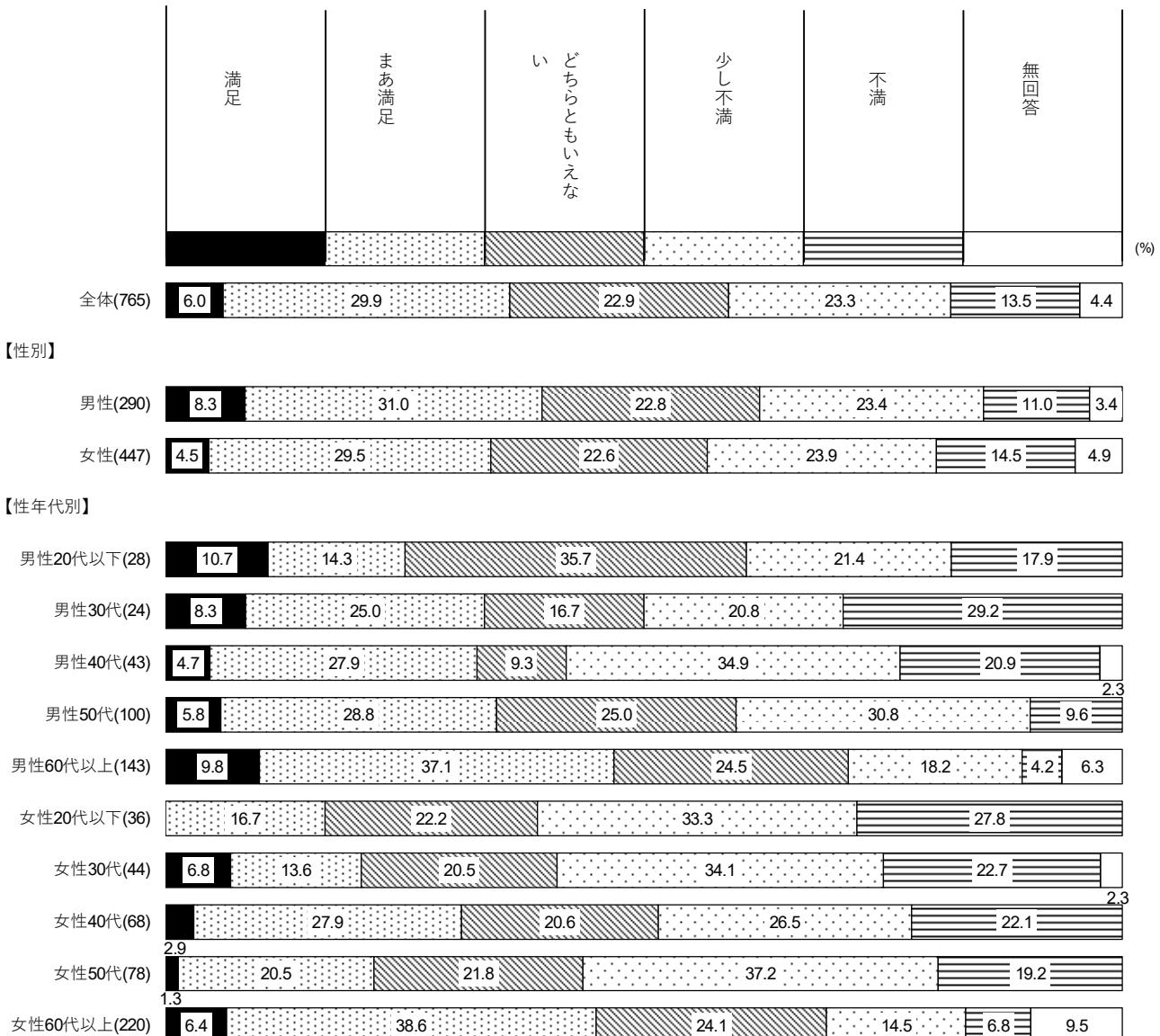


図1－3－3 川崎区の満足度 ②買い物などの日常生活の利便性 <性別・性年代別>

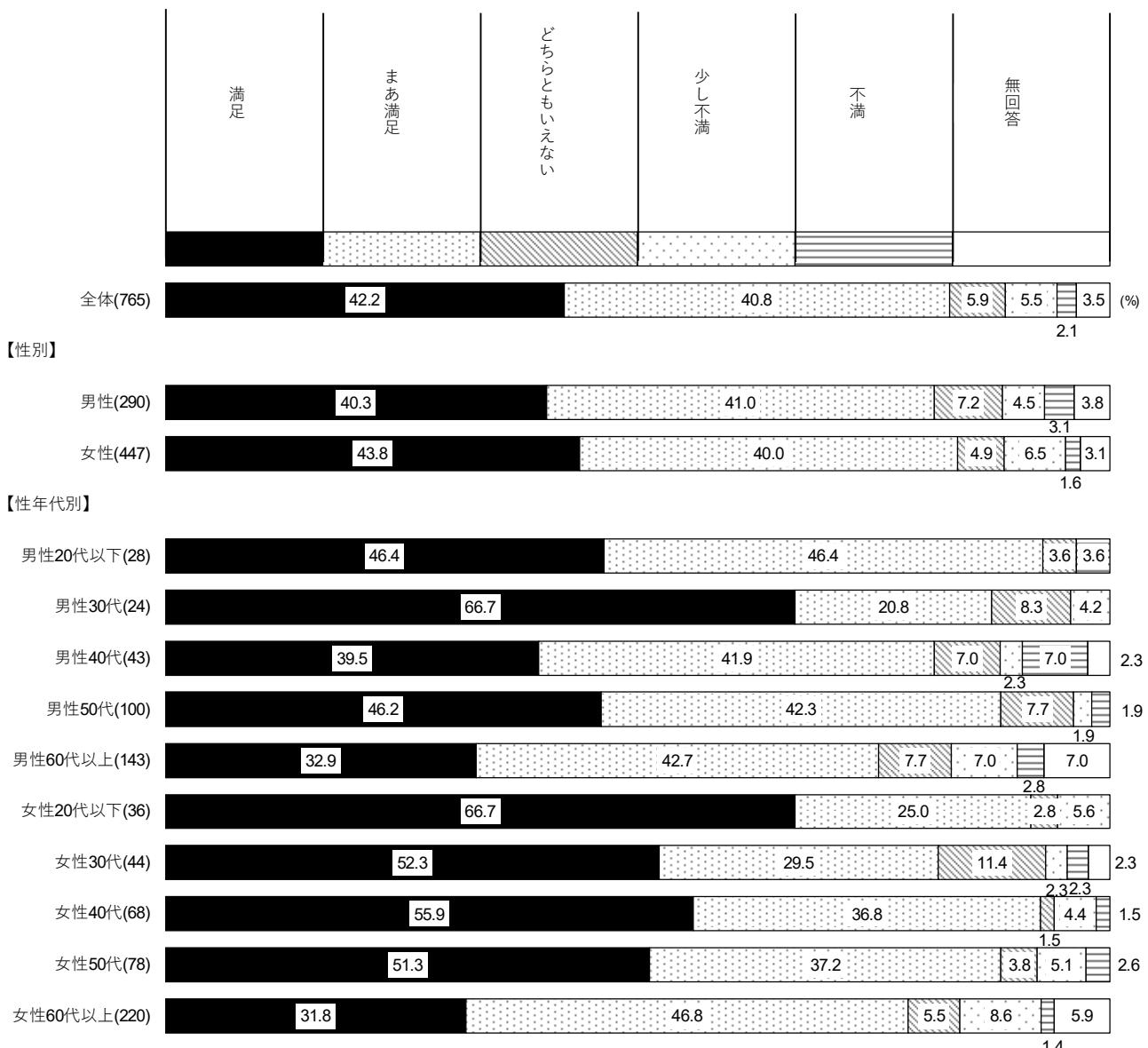


図1－3－4 川崎区の満足度 ③バス・電車などの交通の便 <性別・性年代別>

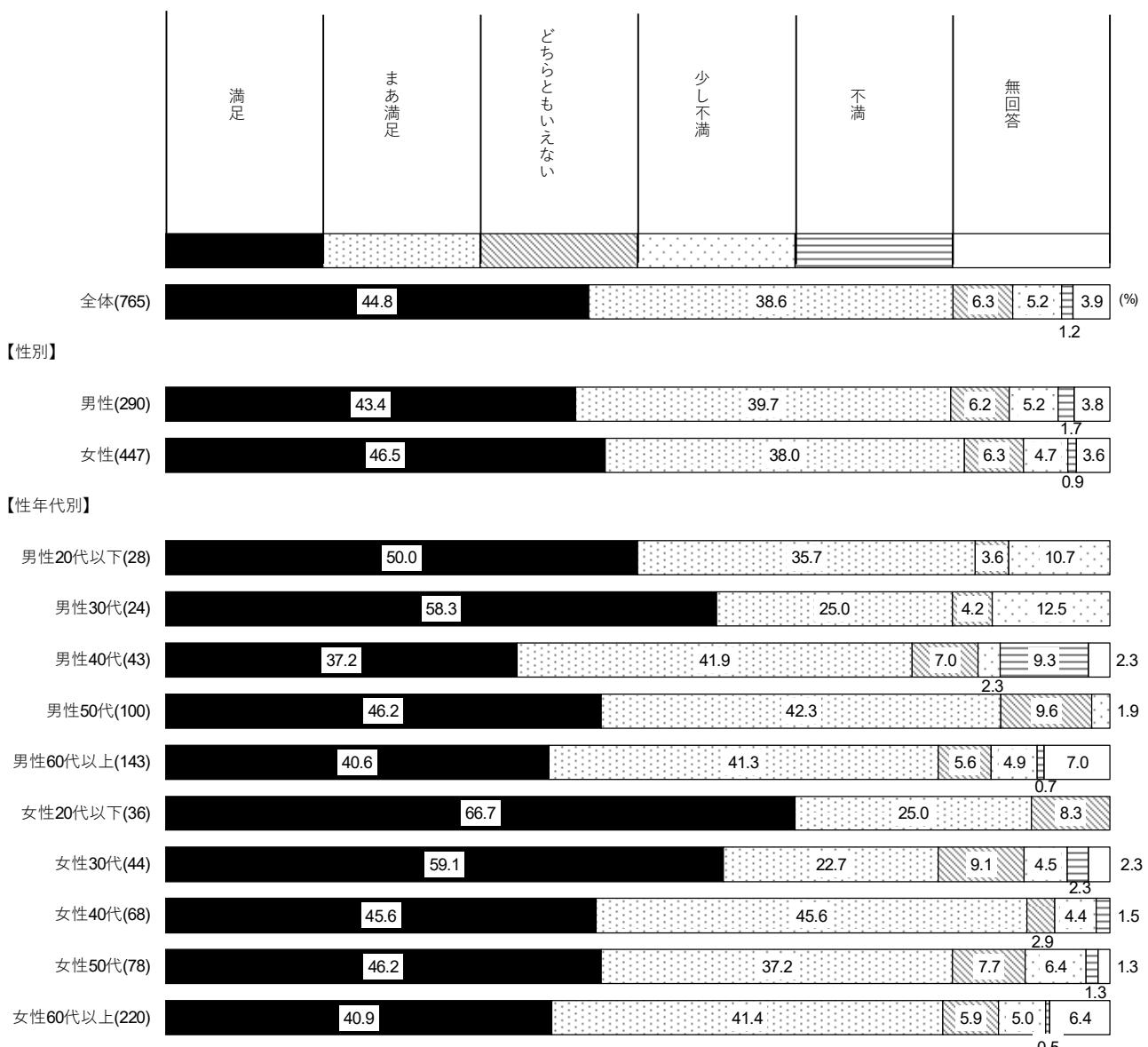


図1-3-5 川崎区の満足度 ④地震や風水害などの災害対策 <性別・性年代別>

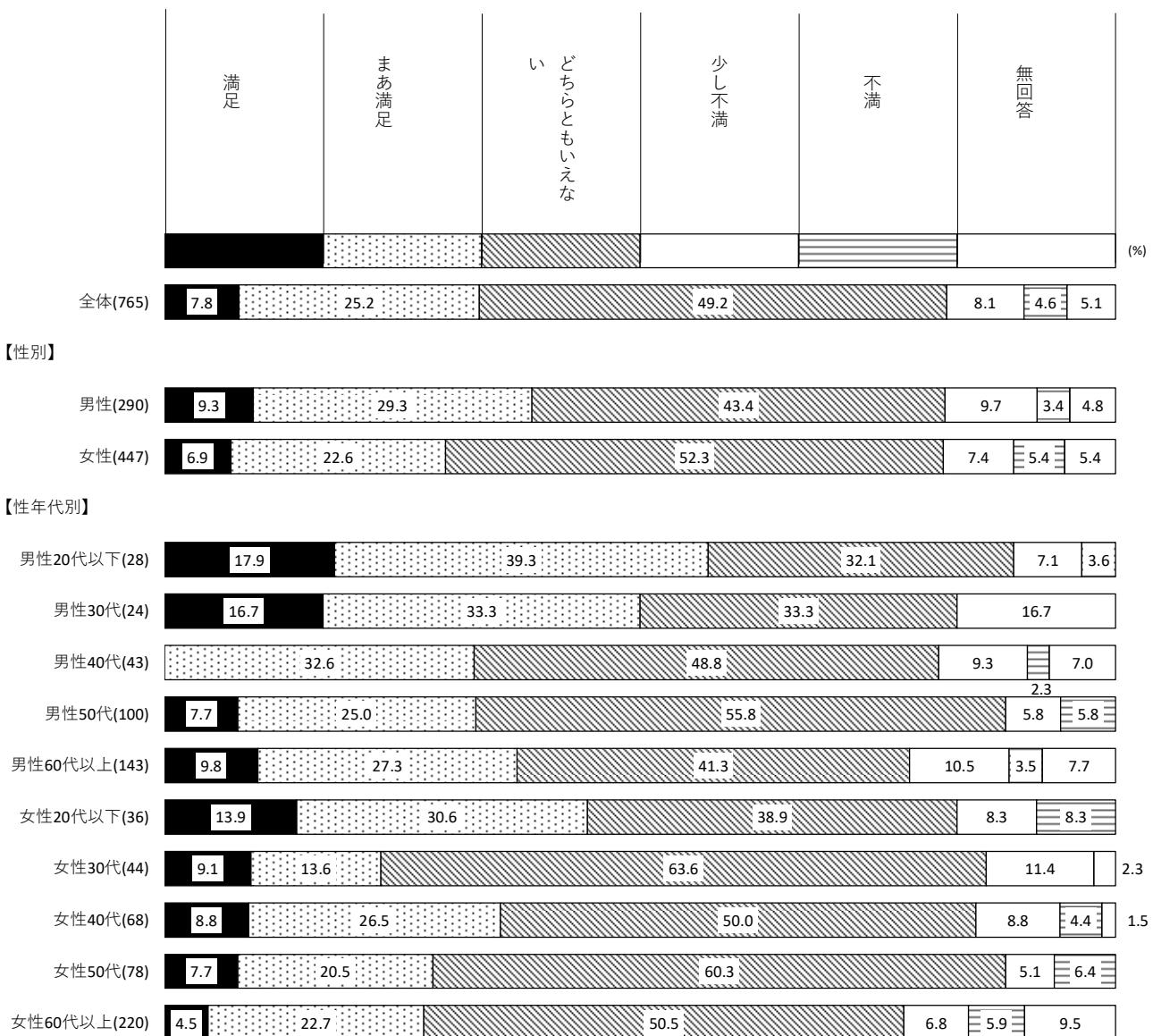


図1－3－6 川崎区の満足度 ⑤自転車や歩行者などの交通マナー <性別・性年代別>

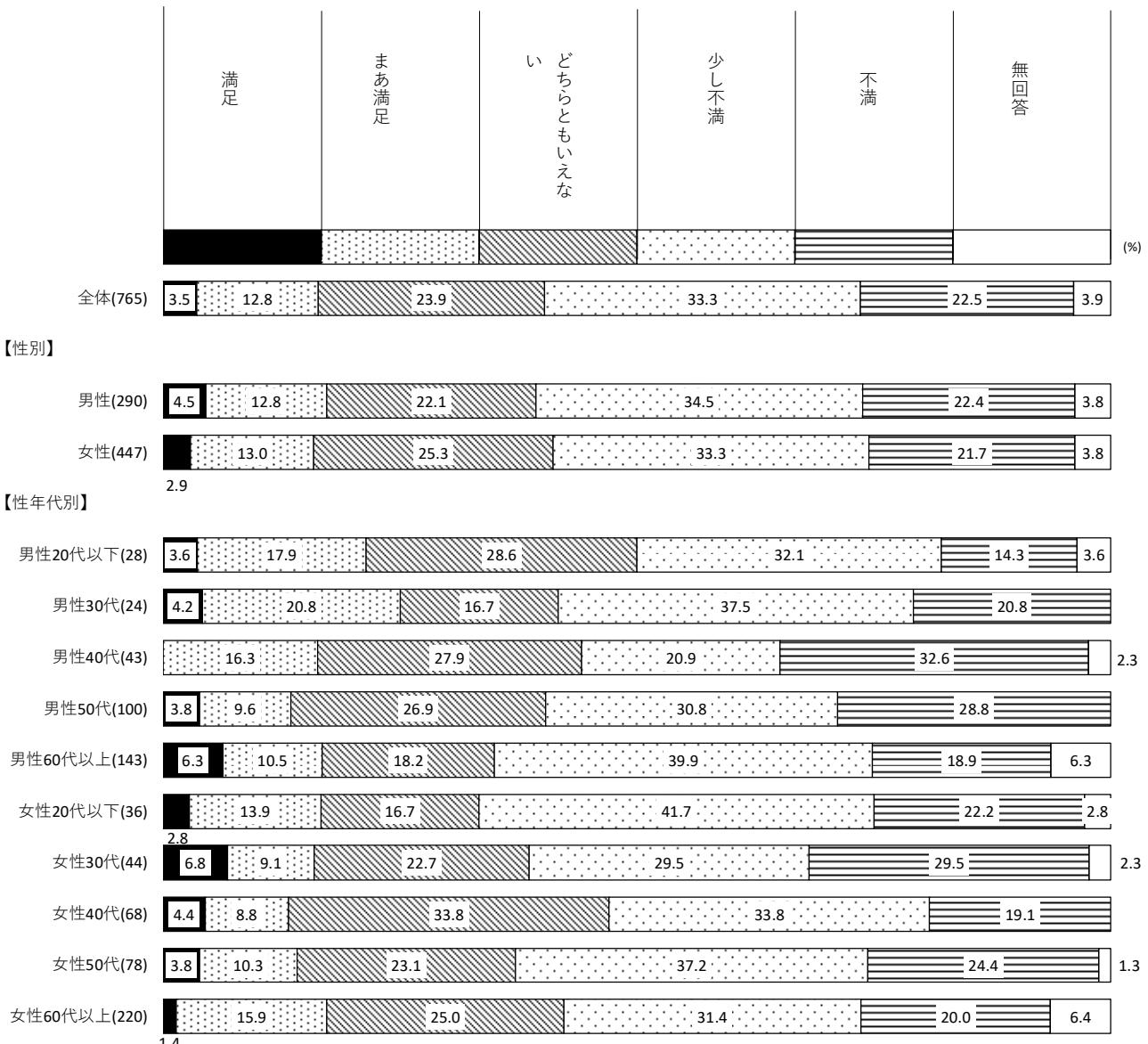


図1－3－7 川崎区の満足度
⑥地域パトロールや特殊詐欺防止啓発などの防犯対策 <性別・性年代別>

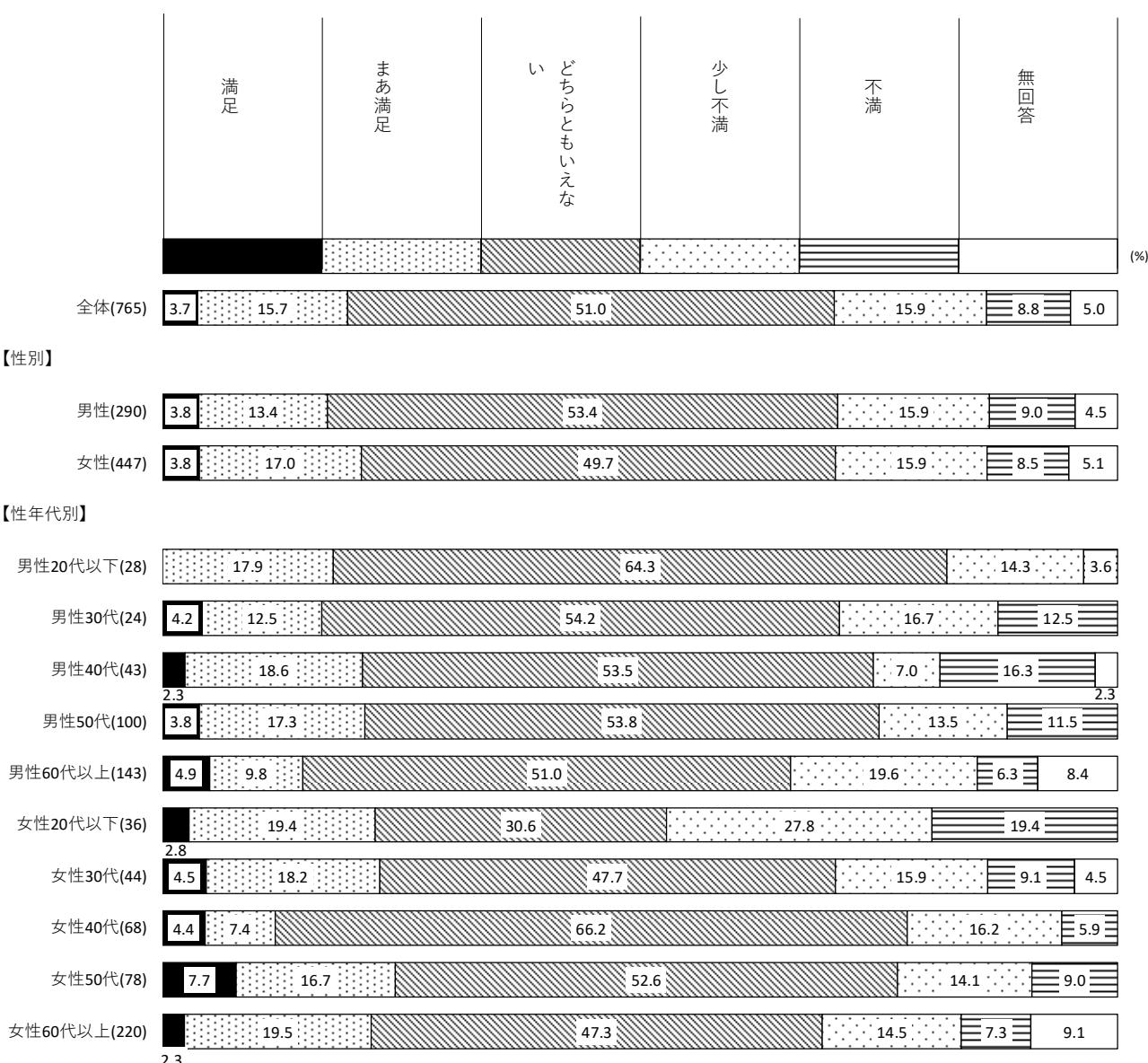


図1-3-8 川崎区の満足度

⑦自転車撤去や駐輪場への誘導・案内などの放置自転車対策 <性別・性年代別>

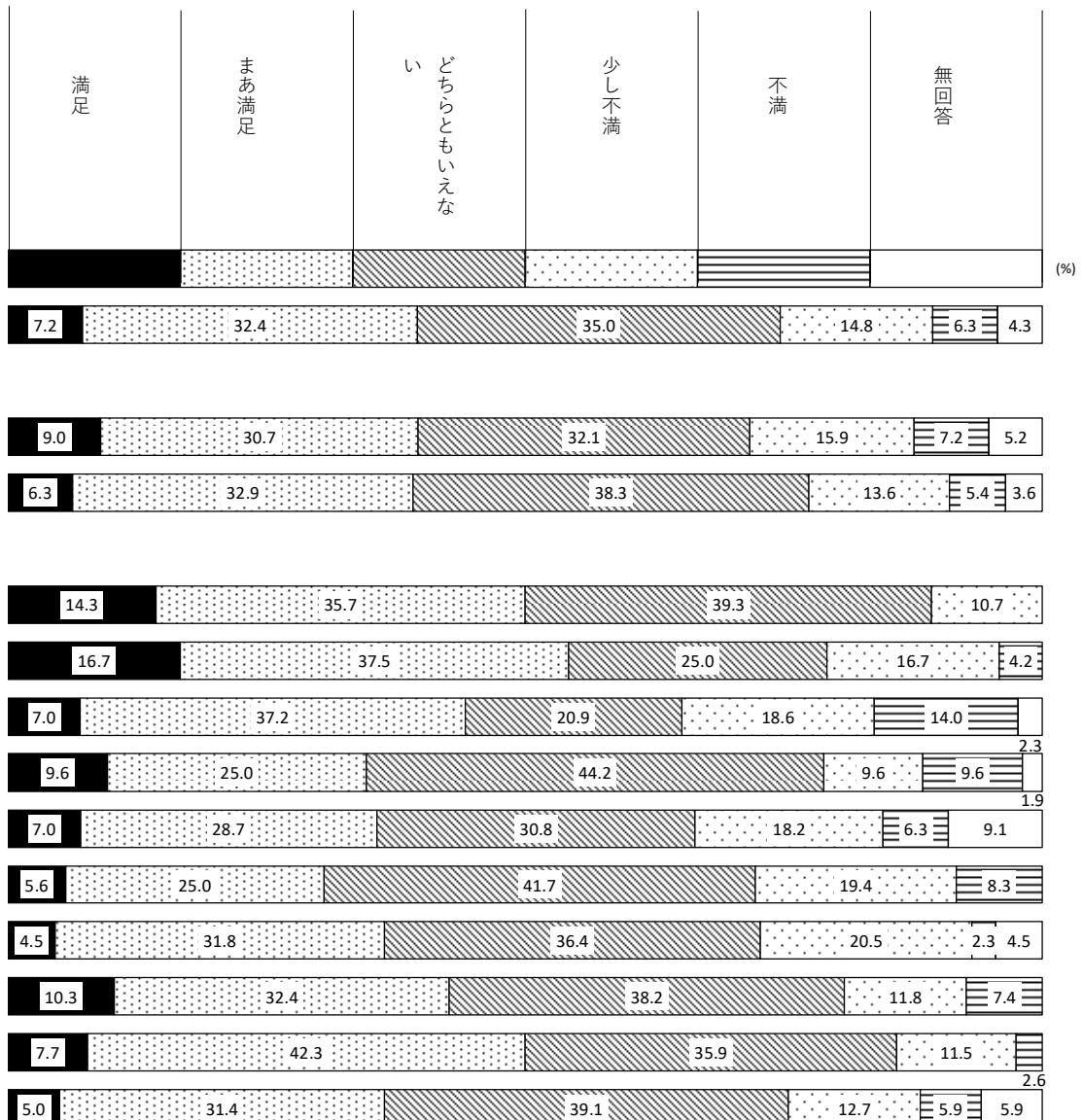


図1-3-9 川崎区の満足度
⑧地域団体等の清掃活動などの街の美化推進 <性別・性年代別>

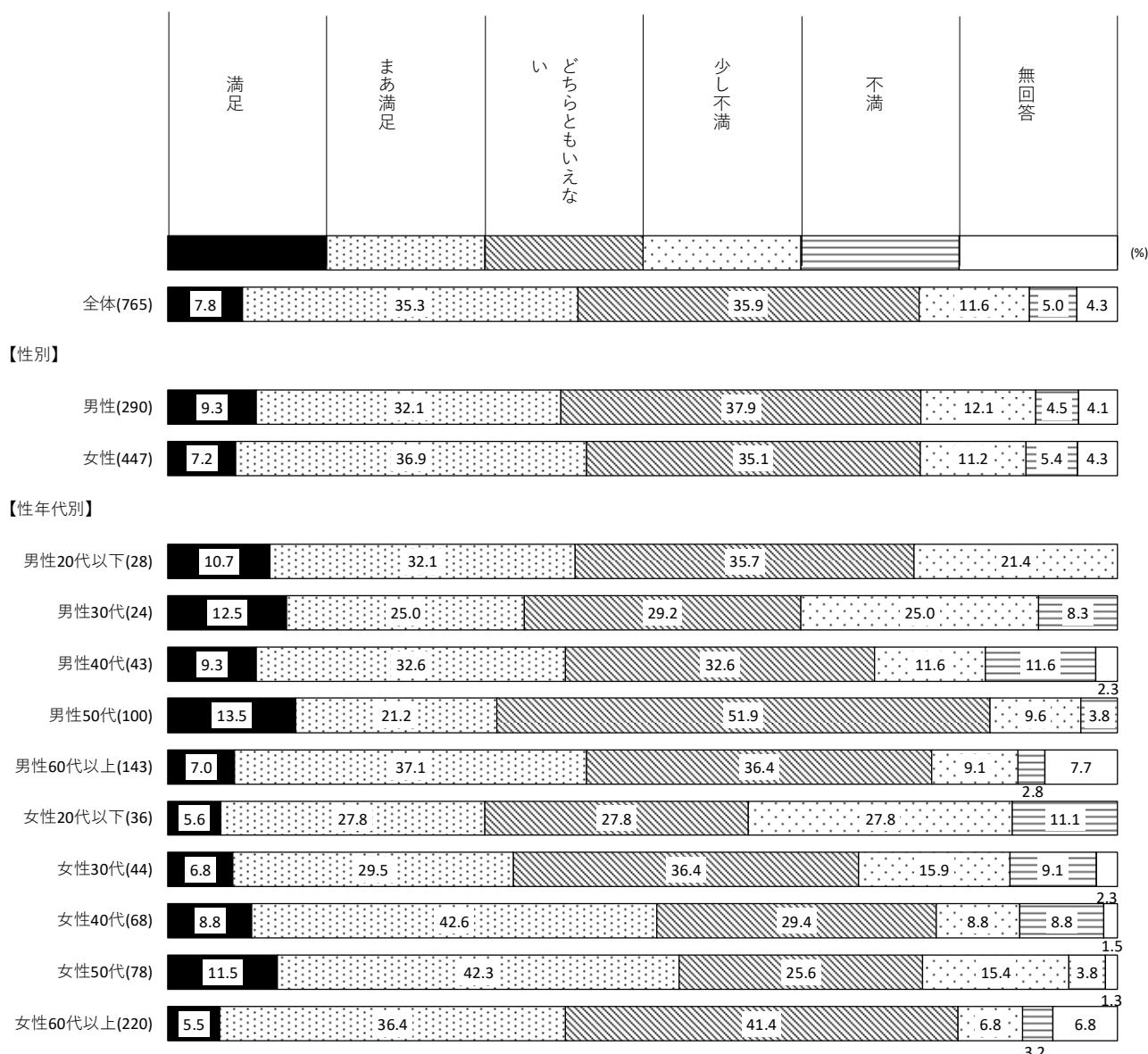


図1－3－10 川崎区の満足度 ⑨スポーツや文化施設の充実 <性別・性年代別>

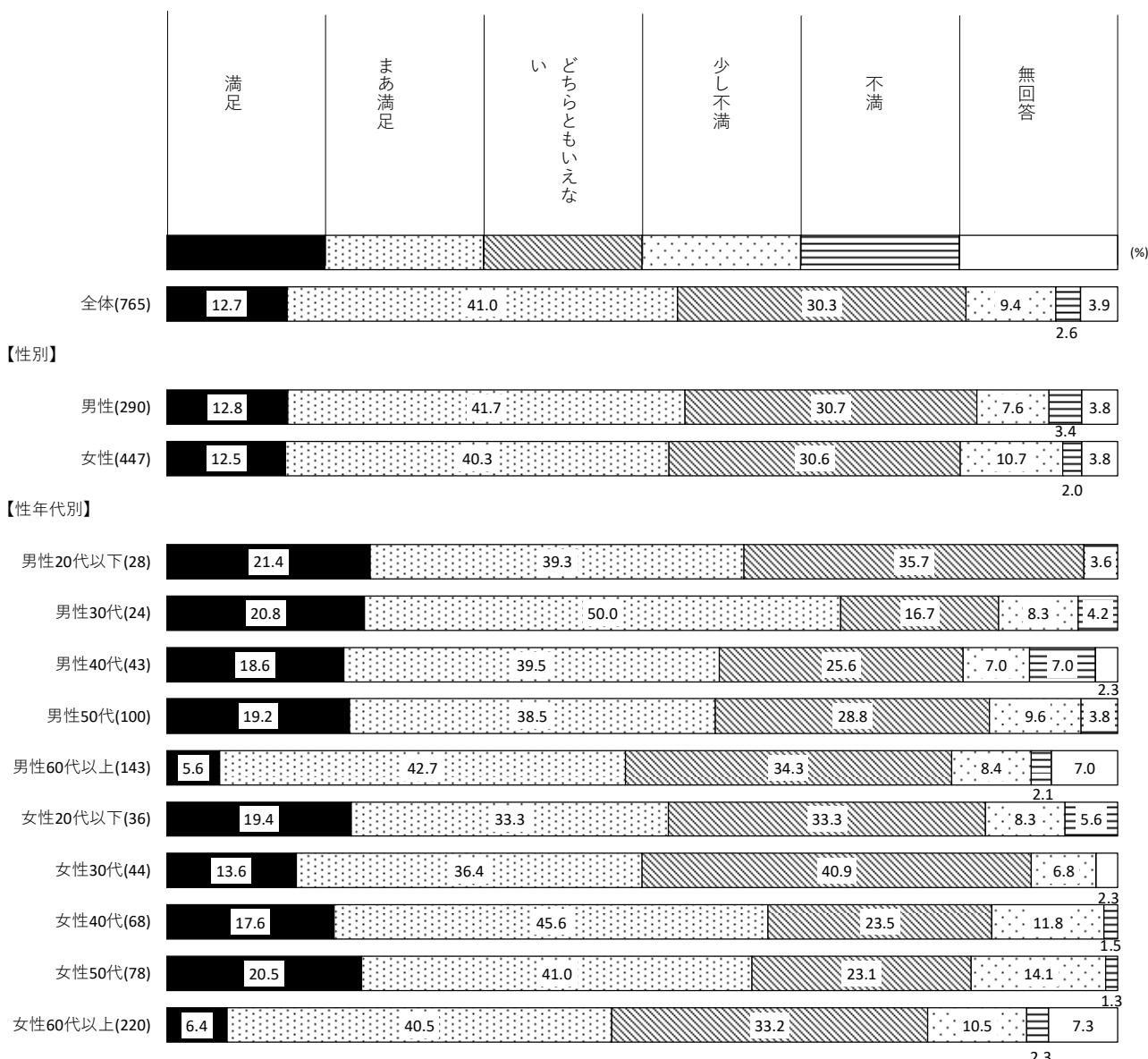


図1-3-11 川崎区の満足度

⑩放課後の子どもの居場所の充実などの青少年の健全育成環境 <性別・性年代別>

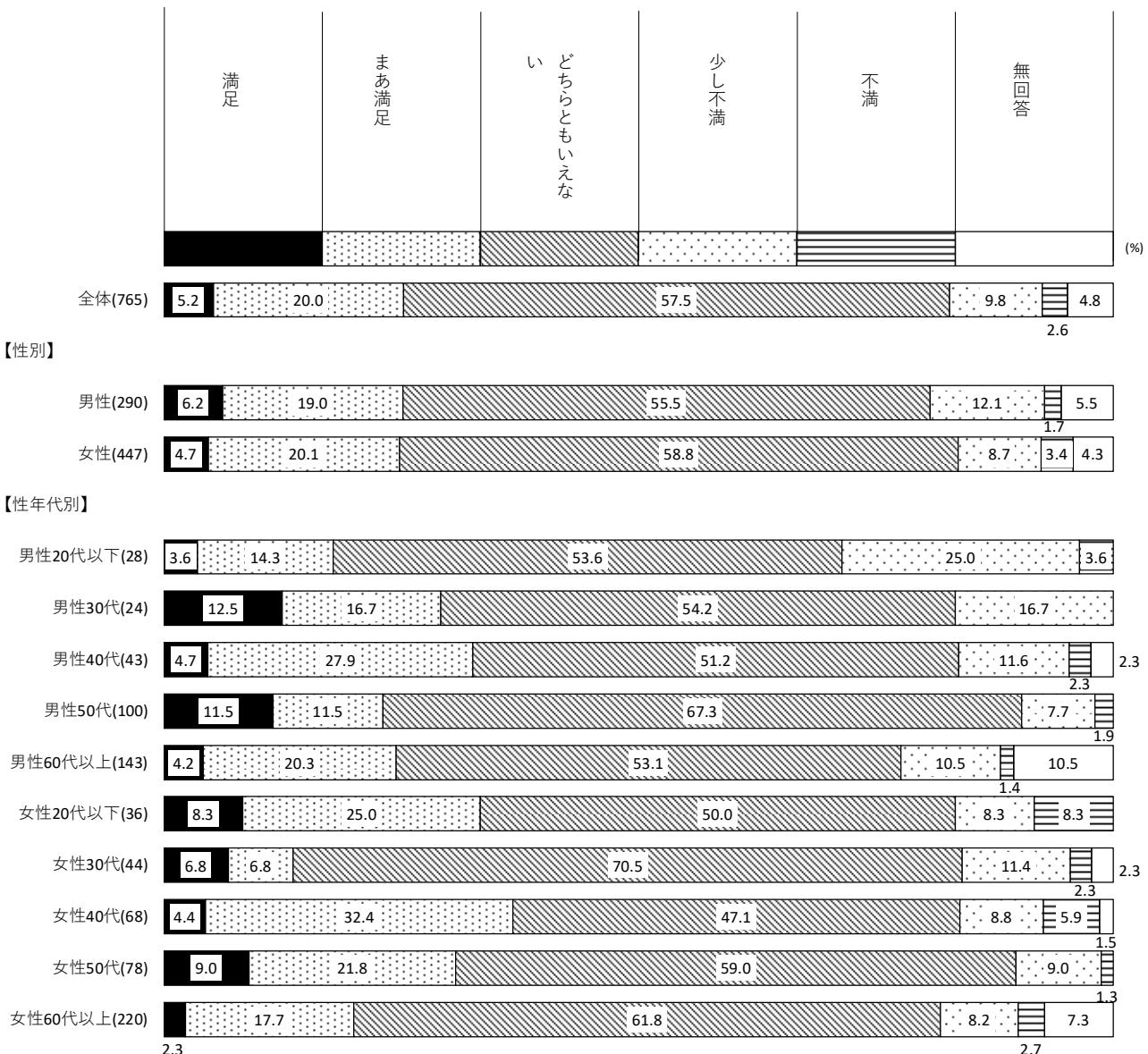


図1-3-12 川崎区の満足度 ⑪保育施設の充実などの子育て環境 <性別・性年代別>

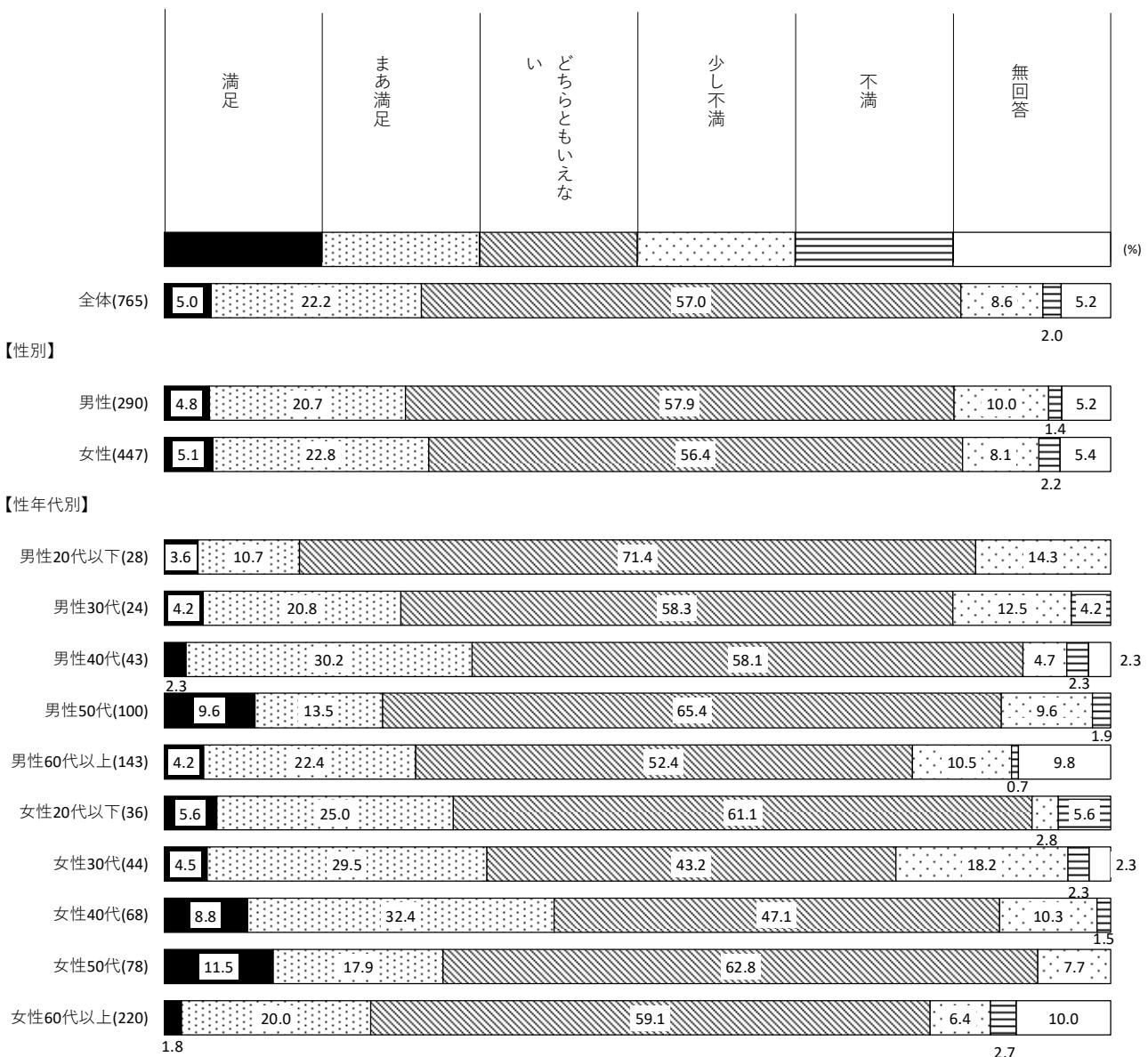


図1-3-13 川崎区の満足度 ⑫病院や救急医療などの地域医療の状況 <性別・性年代別>

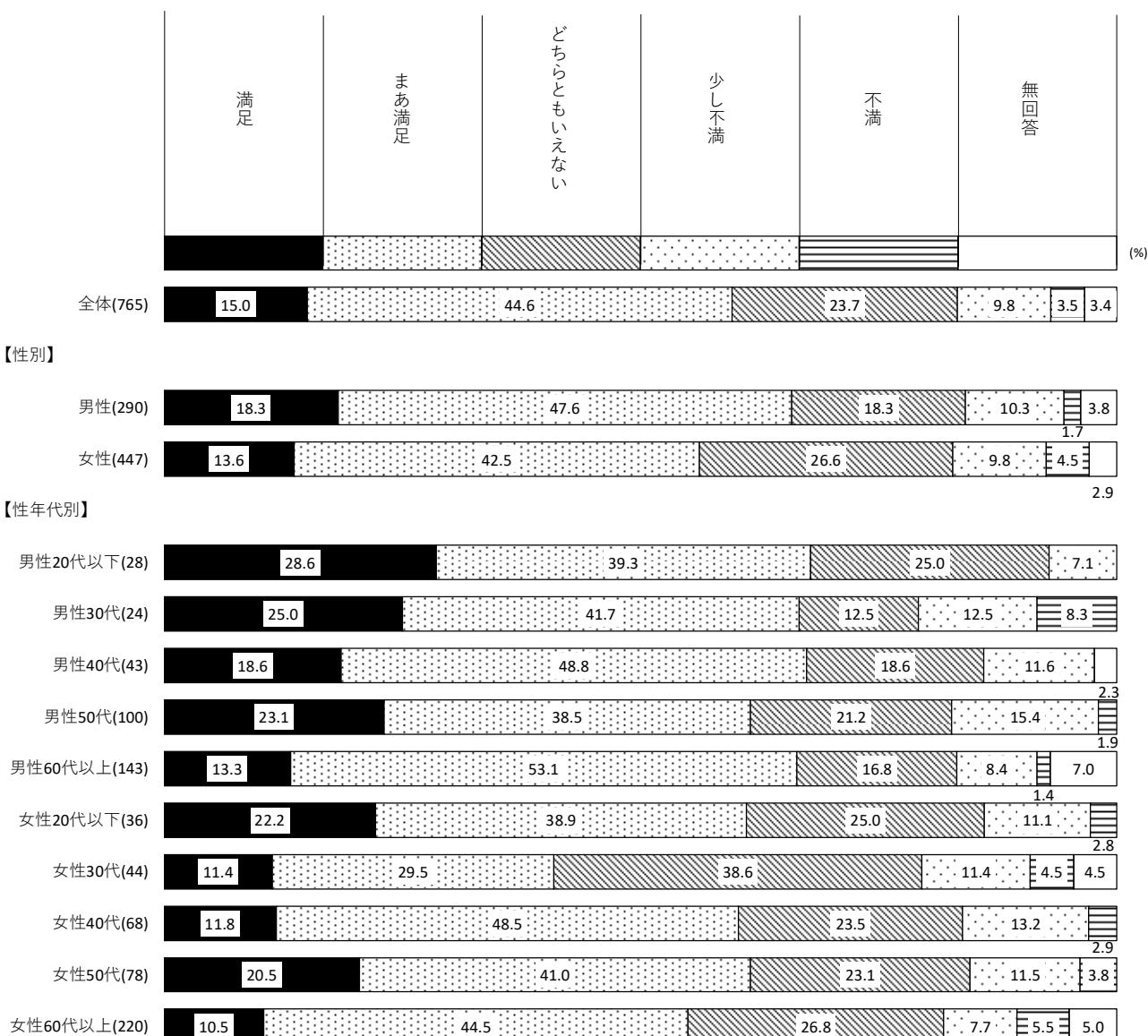


図1－3－14 川崎区の満足度 ⑬高齢者が安心して暮らすための環境 <性別・性年代別>

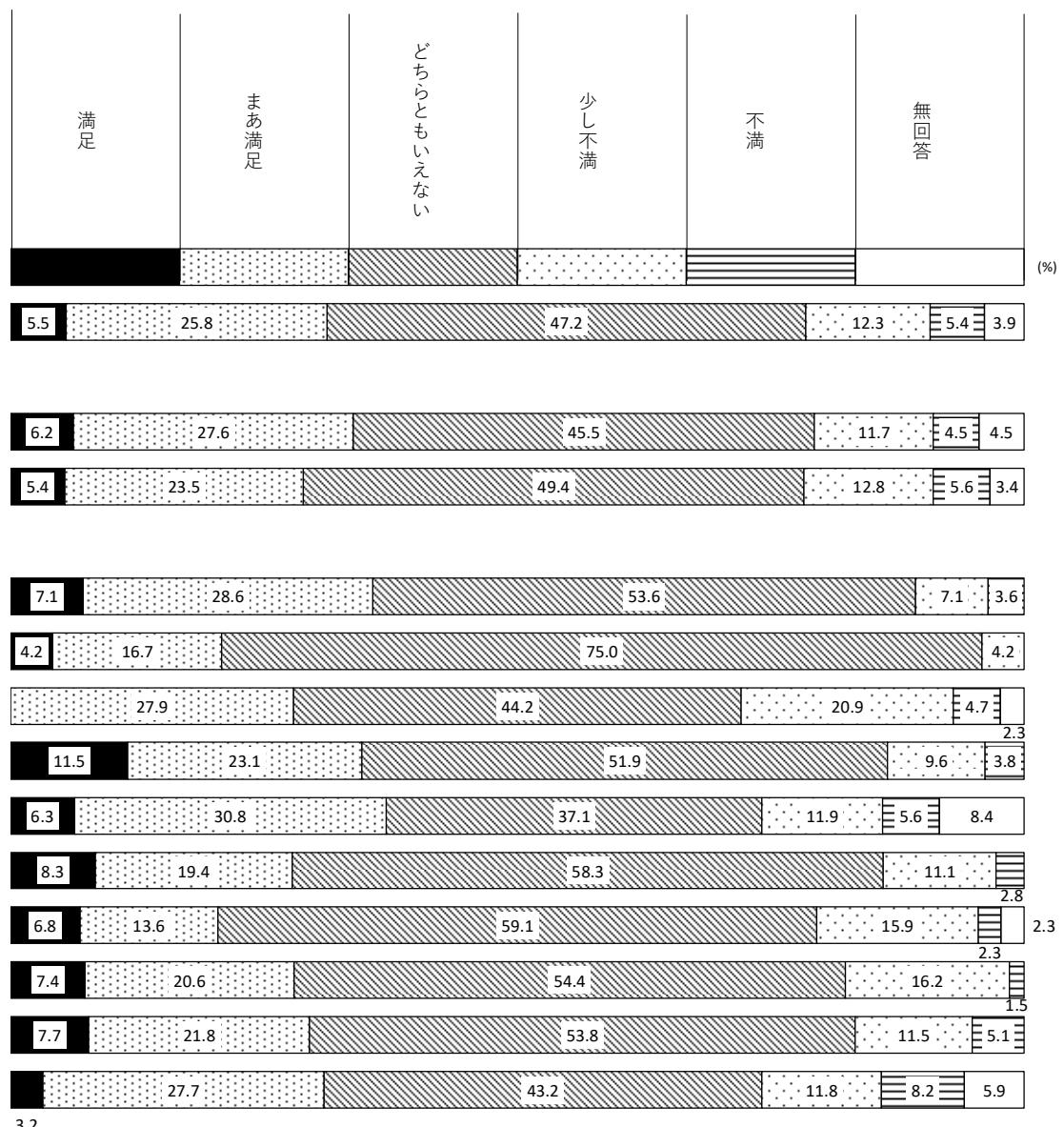


図1－3－15 川崎区の満足度 ⑭障害者が安心して暮らすための環境 <性別・性年代別>

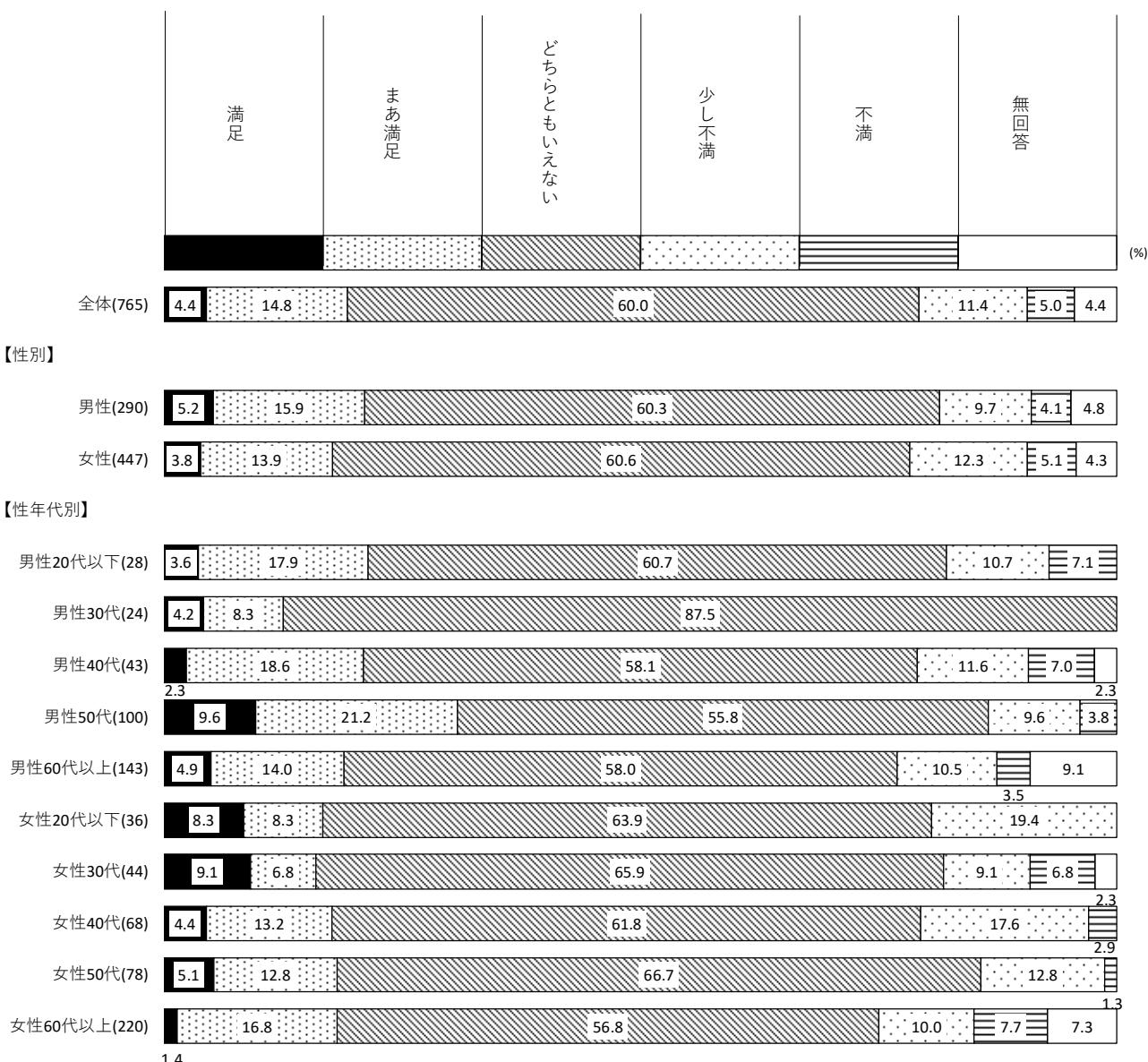
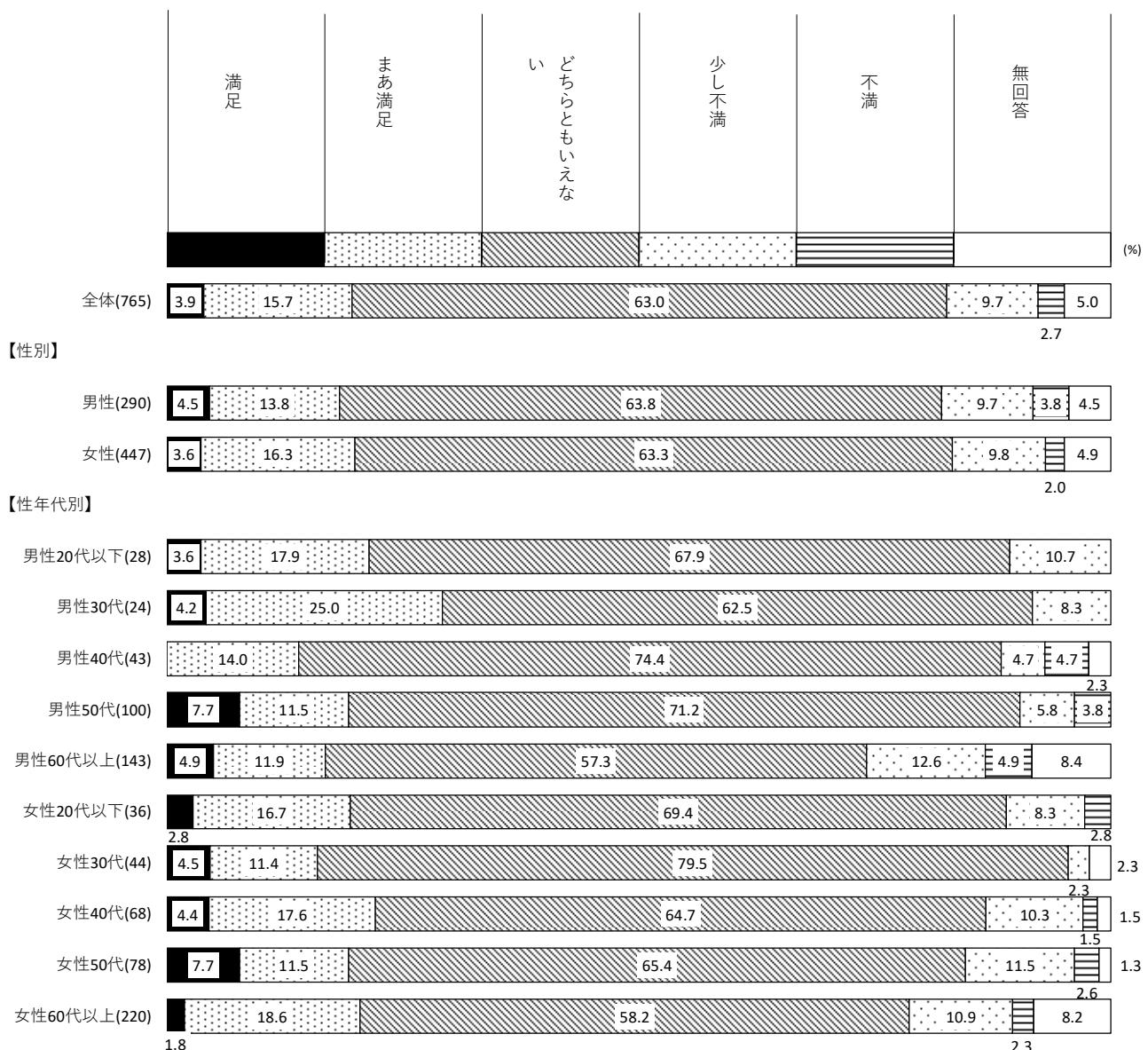


図1-3-16 川崎区の満足度
⑯地域コミュニティ（地域団体等とのつながり）の充実 <性別・性年代別>



**図1－3－17 川崎区の満足度
⑯歩きやすさ、車の走りやすさなどの道路環境の整備 <性別・性年代別>**

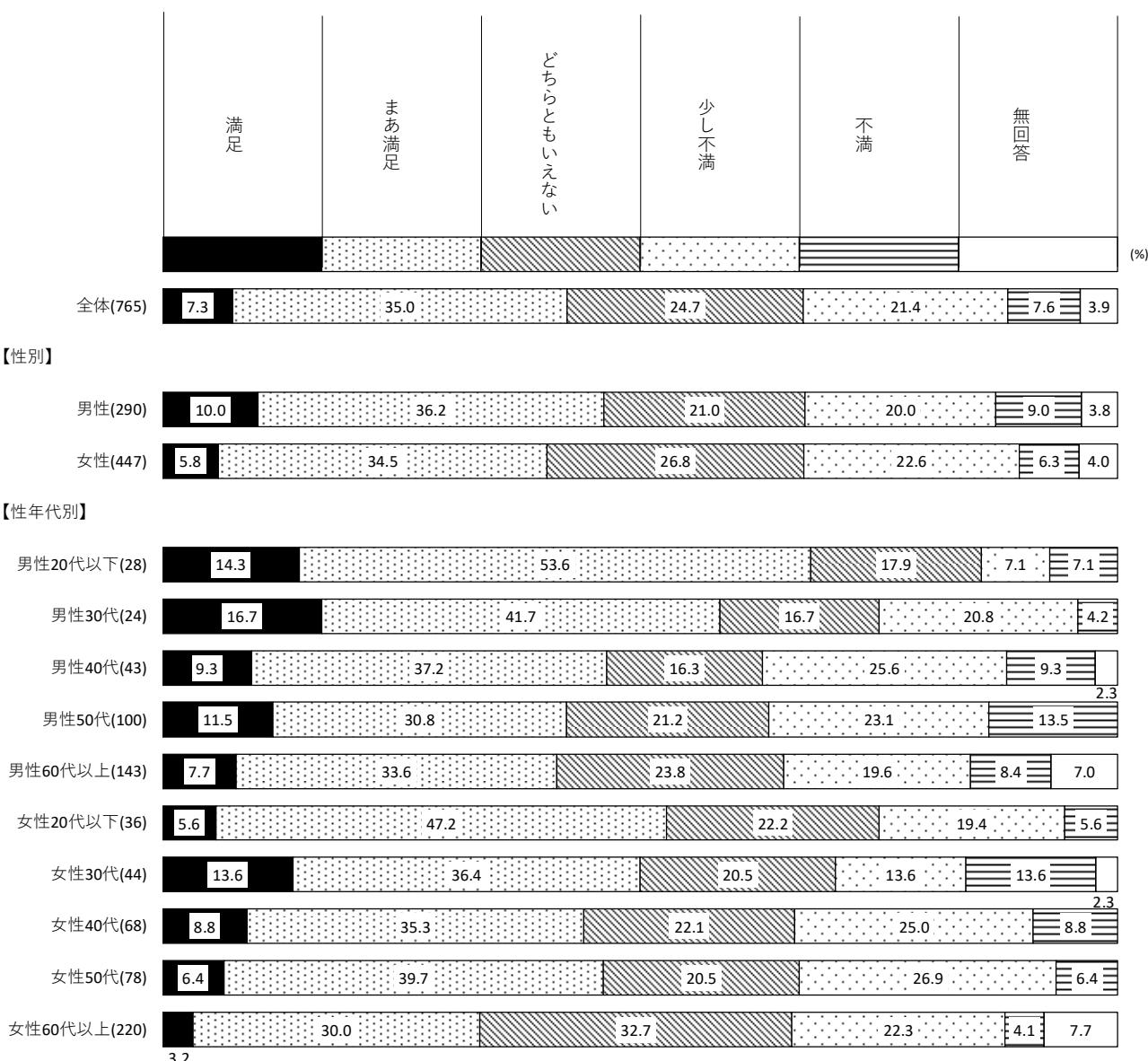


図1－3－18 川崎区の満足度 ⑦緑や公園などの自然環境の充実 <性別・性年代別>

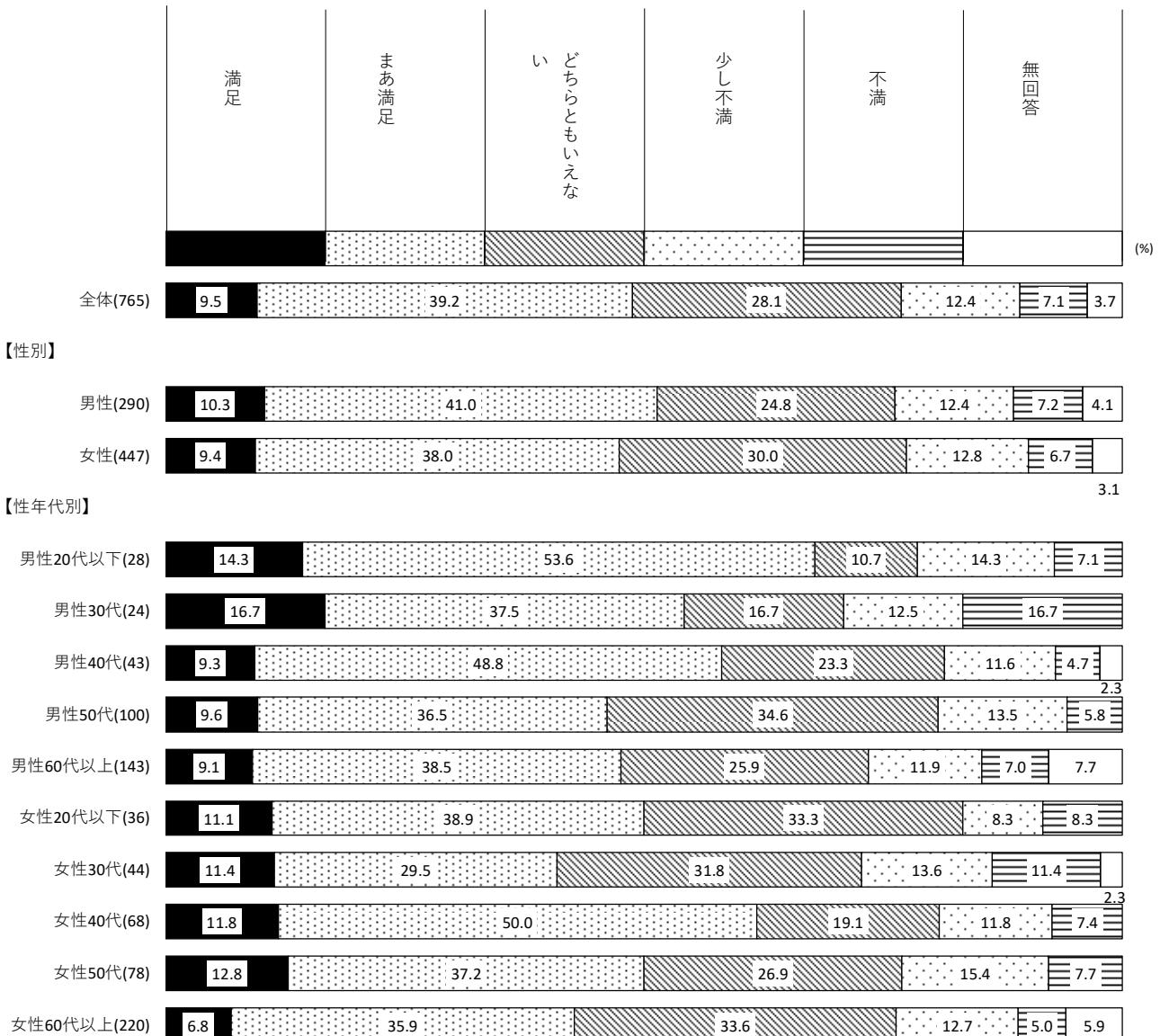
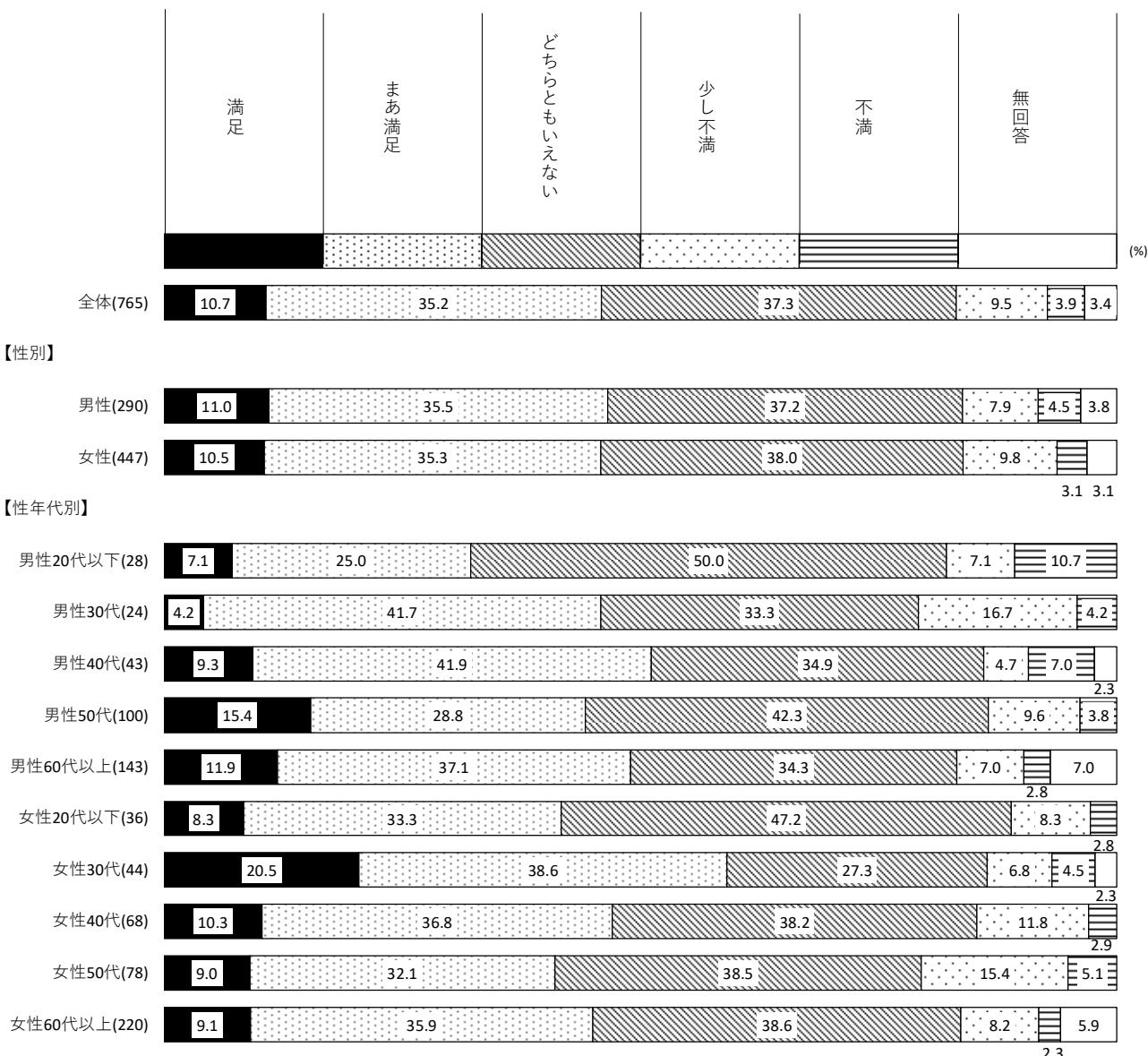


図1－3－19 川崎区の満足度 ⑯区役所職員の窓口サービスにおける接遇 <性別・性年代別>



2 川崎市（区）役所の事業や広報について

（1）川崎市（区）役所の取組への認知度

問4 次の表にあげる川崎市（区）役所の取組などをご存じですか。

（①から⑫までの項目ごとに、あてはまるもの1つに○）

全 体 「よく知っている」と「聞いたことはある」を合わせた＜知っている＞では、「②災害時の避難場所（指定避難場所、指定緊急避難場所）」（88.2%）が最も高く、次いで「③洪水・津波・内水ハザードマップ」（84.6%）、「⑤区内の路上喫煙防止区域（川崎駅東口周辺）」（71.6%）となっている。

「(図2-1-1)

性 別 「よく知っている」では、「教育文化会館の移転」などの3項目で「男性」が「女性」より高くなっている。一方、「災害時の避難場所（指定避難場所、指定緊急避難場所等）」、「区内の放置自転車禁止区域（一部の駅周辺）」、「⑪地域包括ケアシステム」などの19項目で「女性」が「男性」より高くなっている。

性 年 代 別 「よく知っている」では、「女性30代」が6項目で最も高く、次いで「女性50代」が5項目、「女性40代」が4項目と続いている。男性では「男性50代」が3項目で最も高くなっている。「男性20代」、「男性30代」、「男性60代以上」、「女性20代」は最も高い項目はなかった。

図2－1－1 川崎市（区）役所の取組への認知度

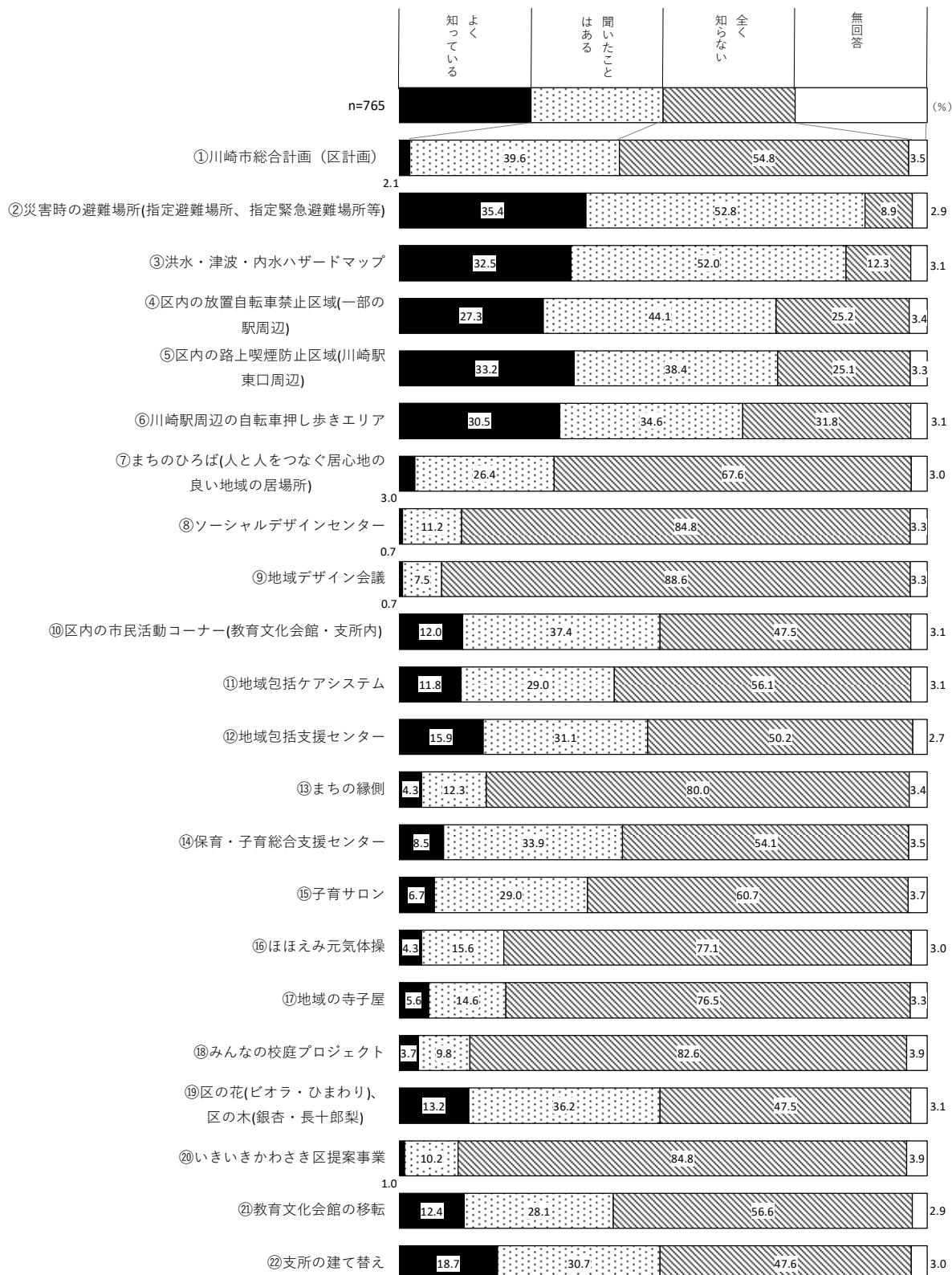


図2－1－2 川崎市（区）役所の取組への認知度

① 川崎市総合計画 <性別・性年代別>

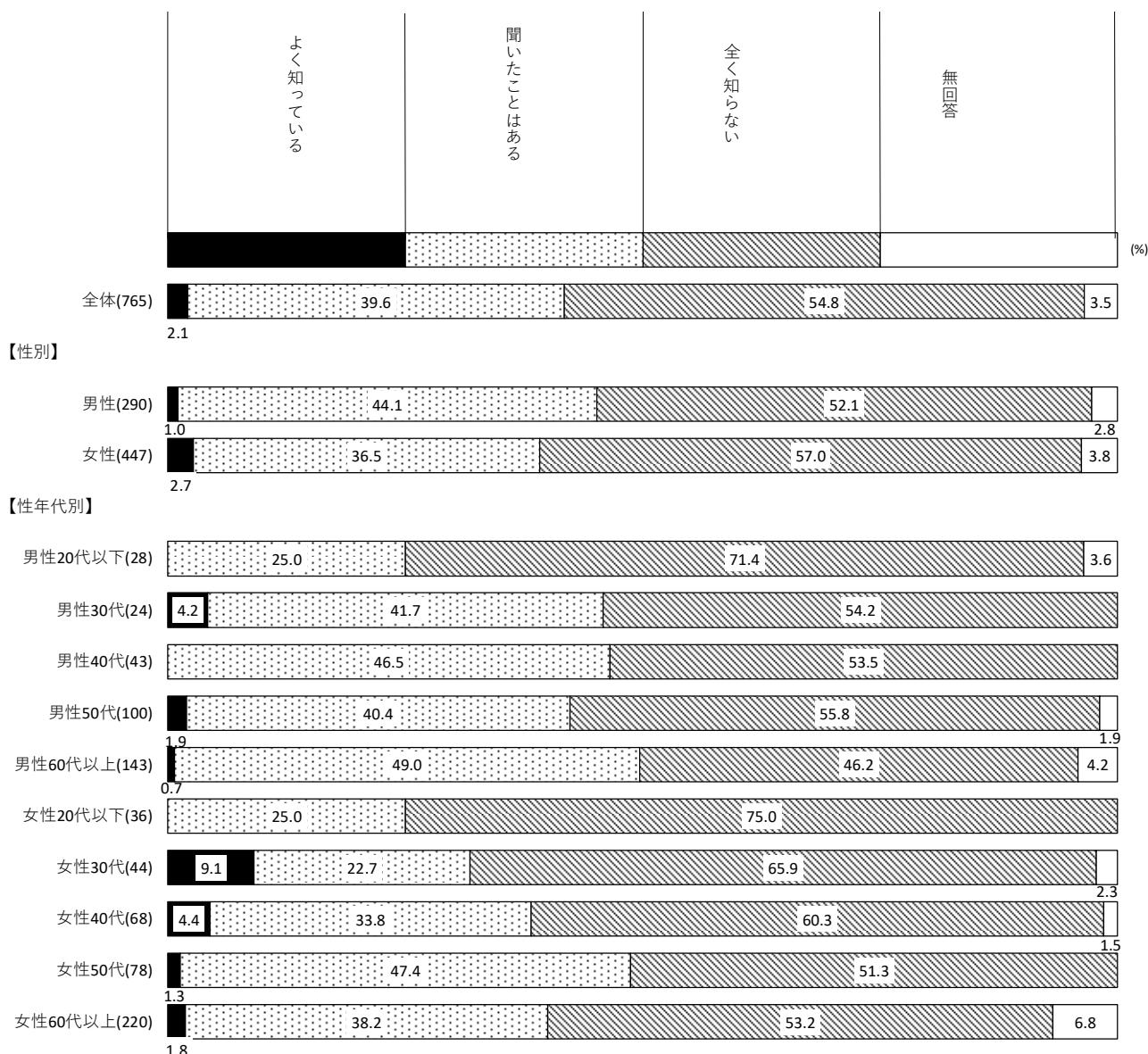


図2－1－3 川崎市（区）役所の取組への認知度
 ② 災害時の避難場所（指定避難場所、指定緊急避難場所等）<性別・性年代別>

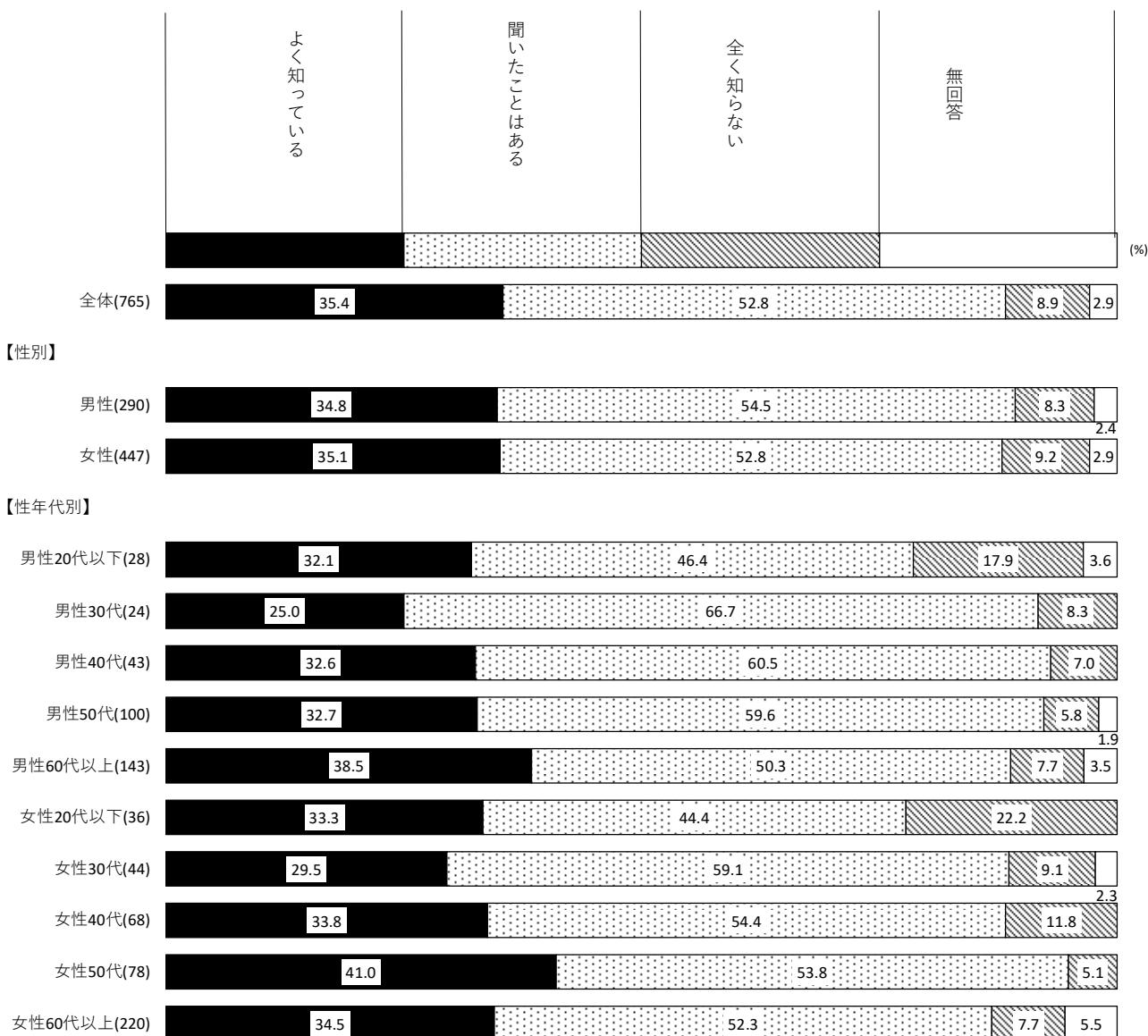


図2－1－4 川崎市（区）役所の取組への認知度
③ 洪水・津波・内水ハザードマップ <性別・性年代別>

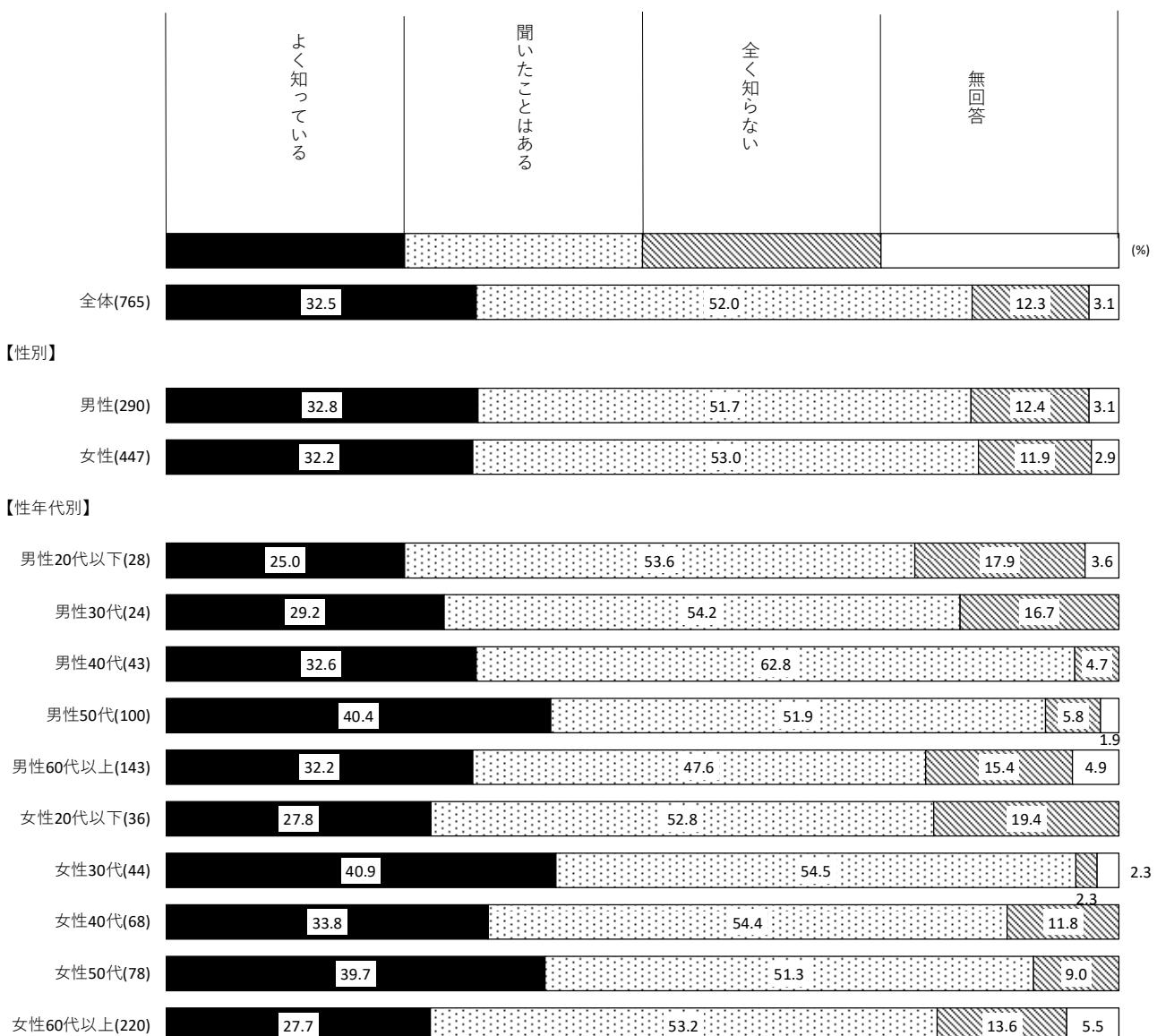


図2－1－5 川崎市（区）役所の取組への認知度

④ 区内の放置自転車禁止区域（一部の駅周辺）<性別・性年代別>

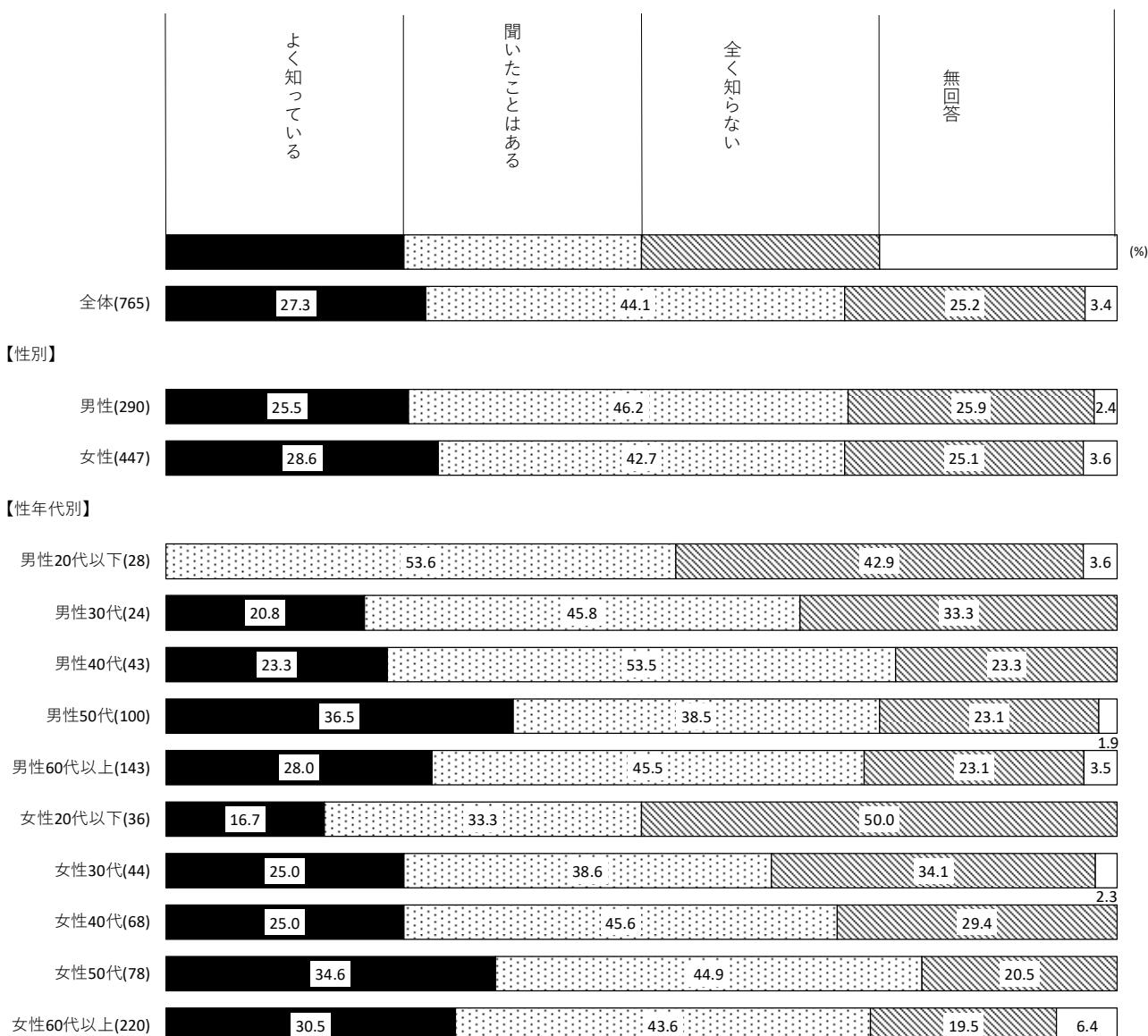


図2－1－6 川崎市（区）役所の取組への認知度
 ⑤ 区内の路上喫煙防止区域（川崎駅東口周辺）<性別・性年代別>

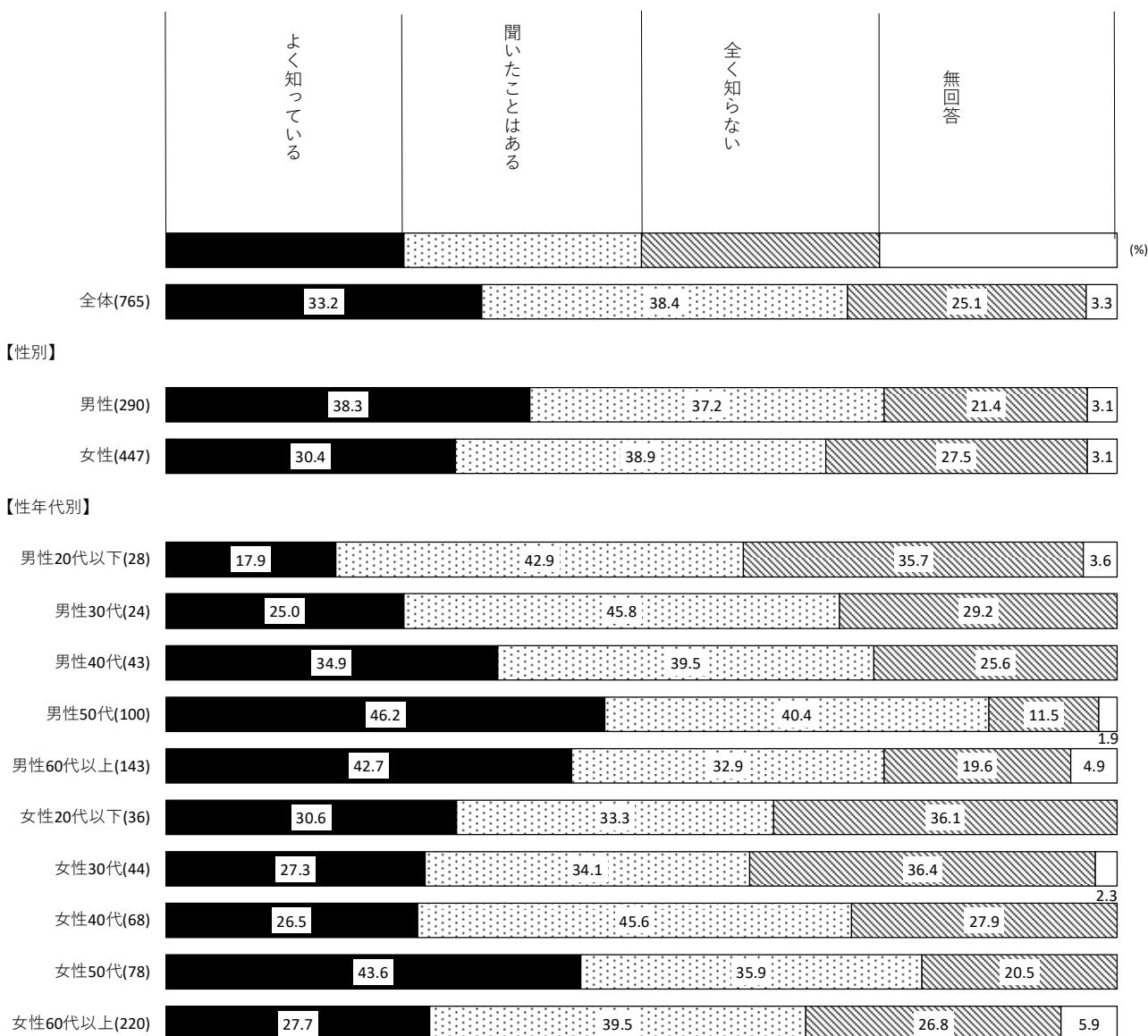


図2－1－7 川崎市（区）役所の取組への認知度
⑥ 川崎駅周辺の自転車押し歩きエリア<性別・性年代別>

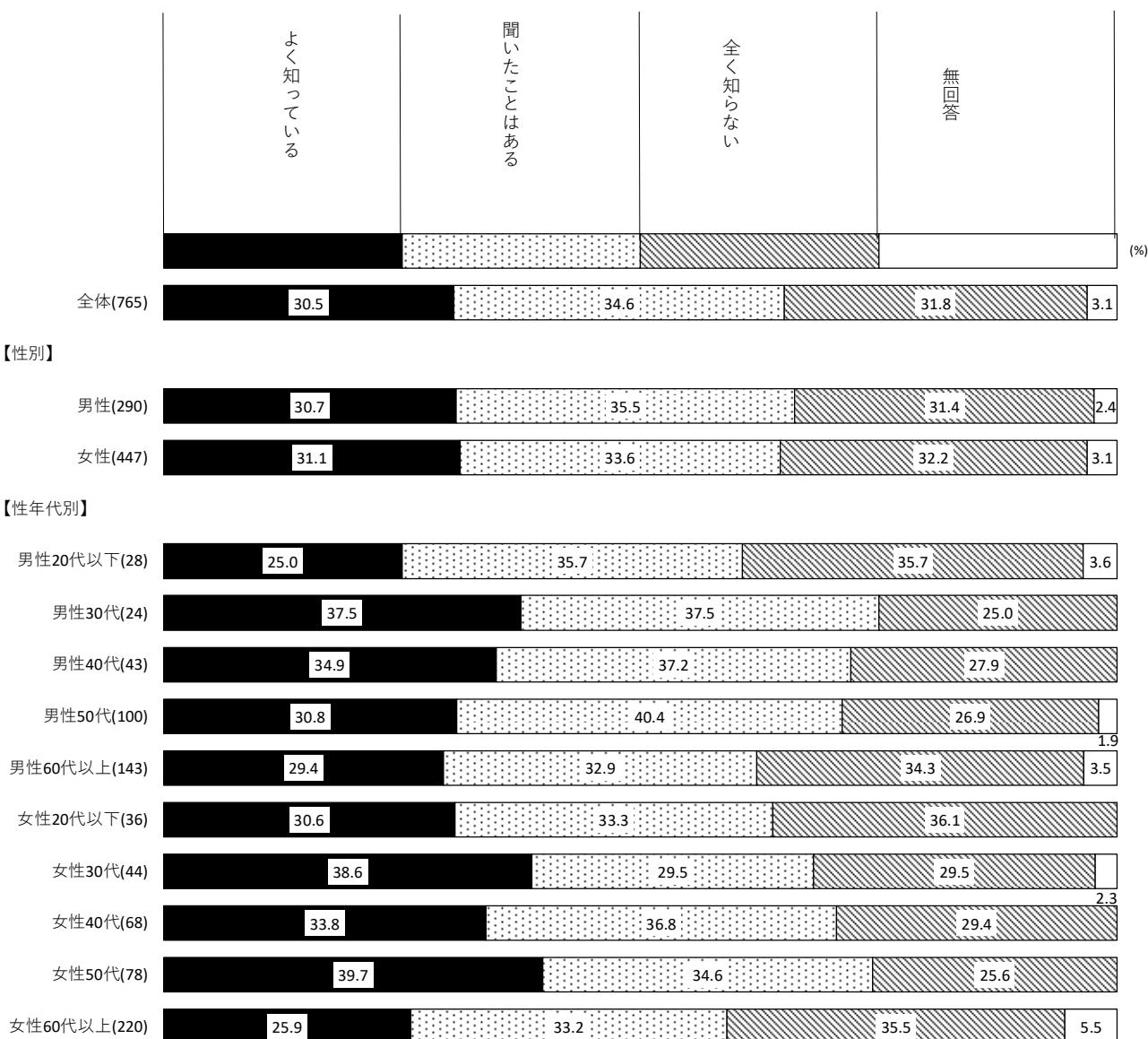


図2－1－8 川崎市（区）役所の取組への認知度
 ⑦ まちのひろば（人と人をつなぐ居心地の良い地域の居場所）<性別・性年代別>

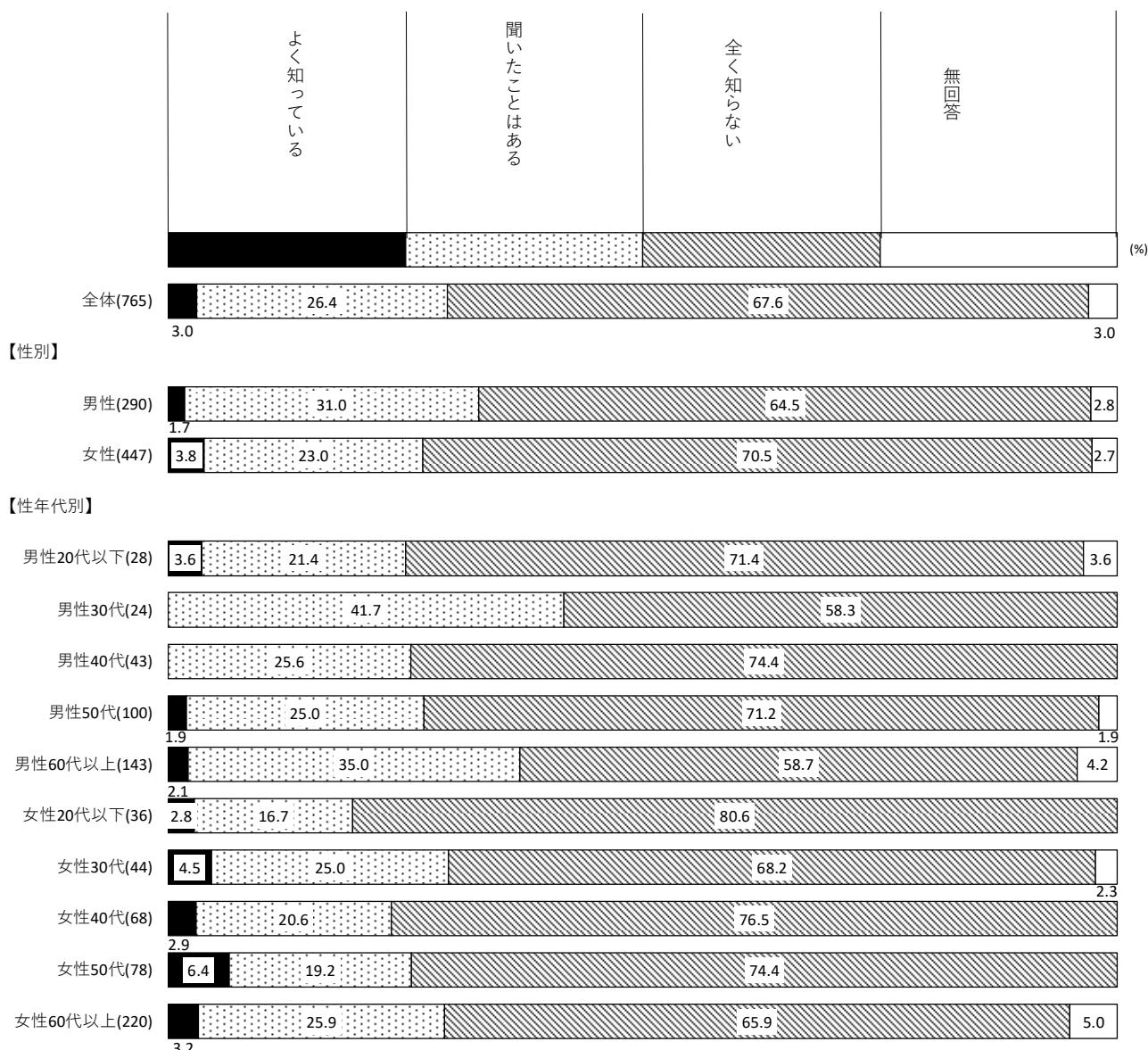


図2－1－9 川崎市（区）役所の取組への認知度
⑧ ソーシャルデザインセンター <性別・性年代別>

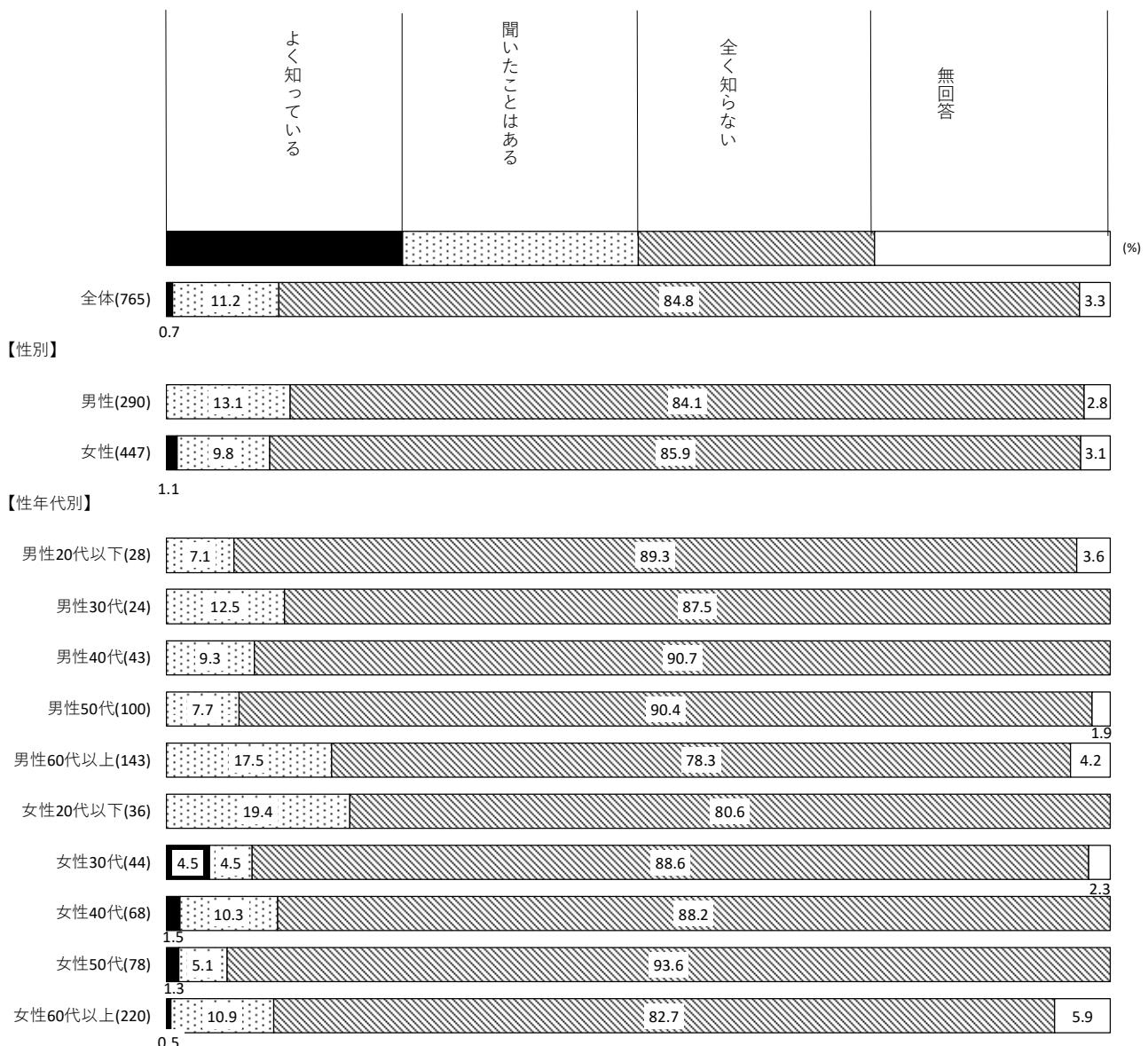


図2－1－10 川崎市（区）役所の取組への認知度

⑨ 地域デザイン会議 <性別・性年代別>

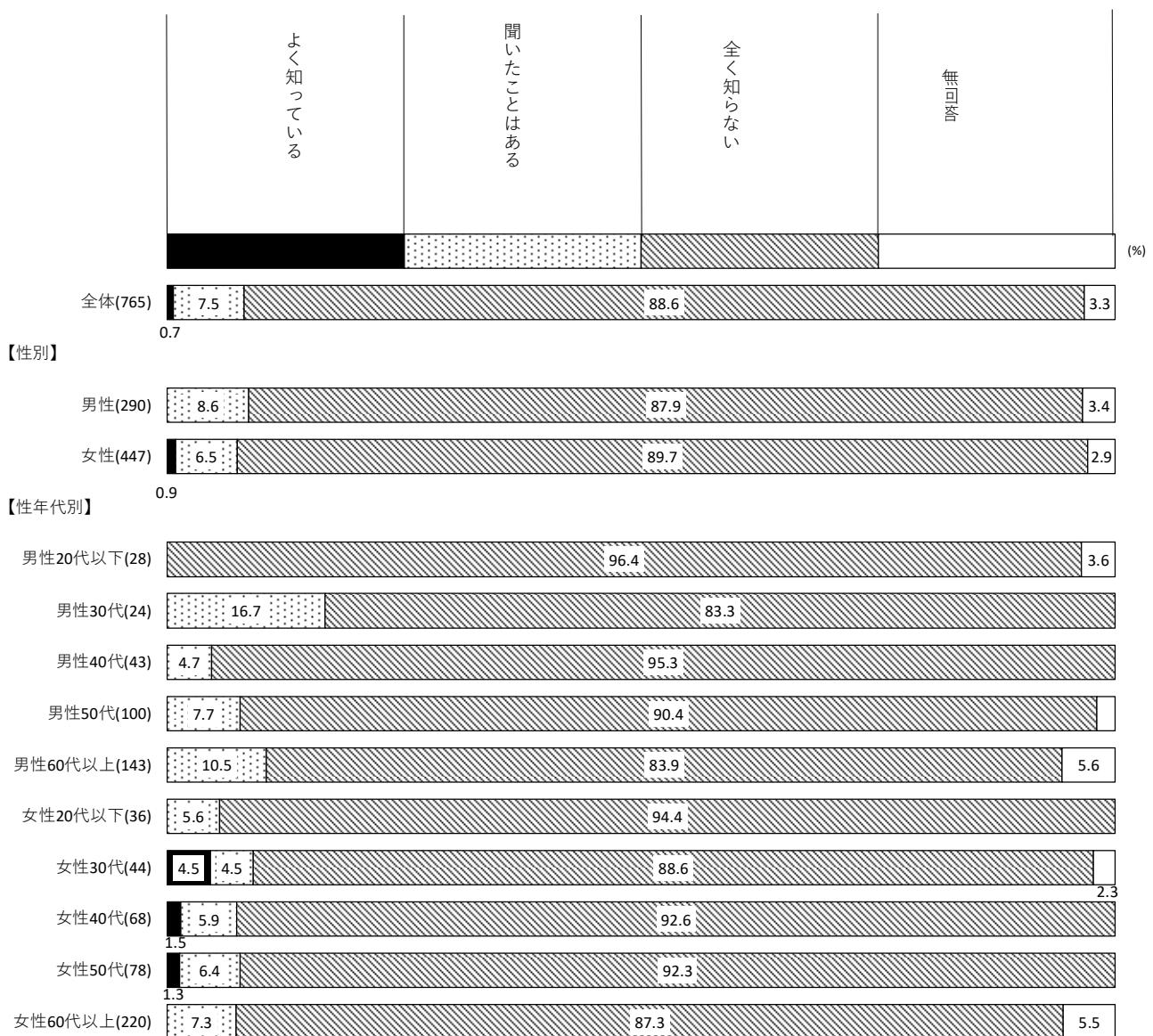


図2－1－11 川崎市（区）役所の取組への認知度

⑩ 区内の市民活動コーナー（教育文化会館・支所内）<性別・性年代別>

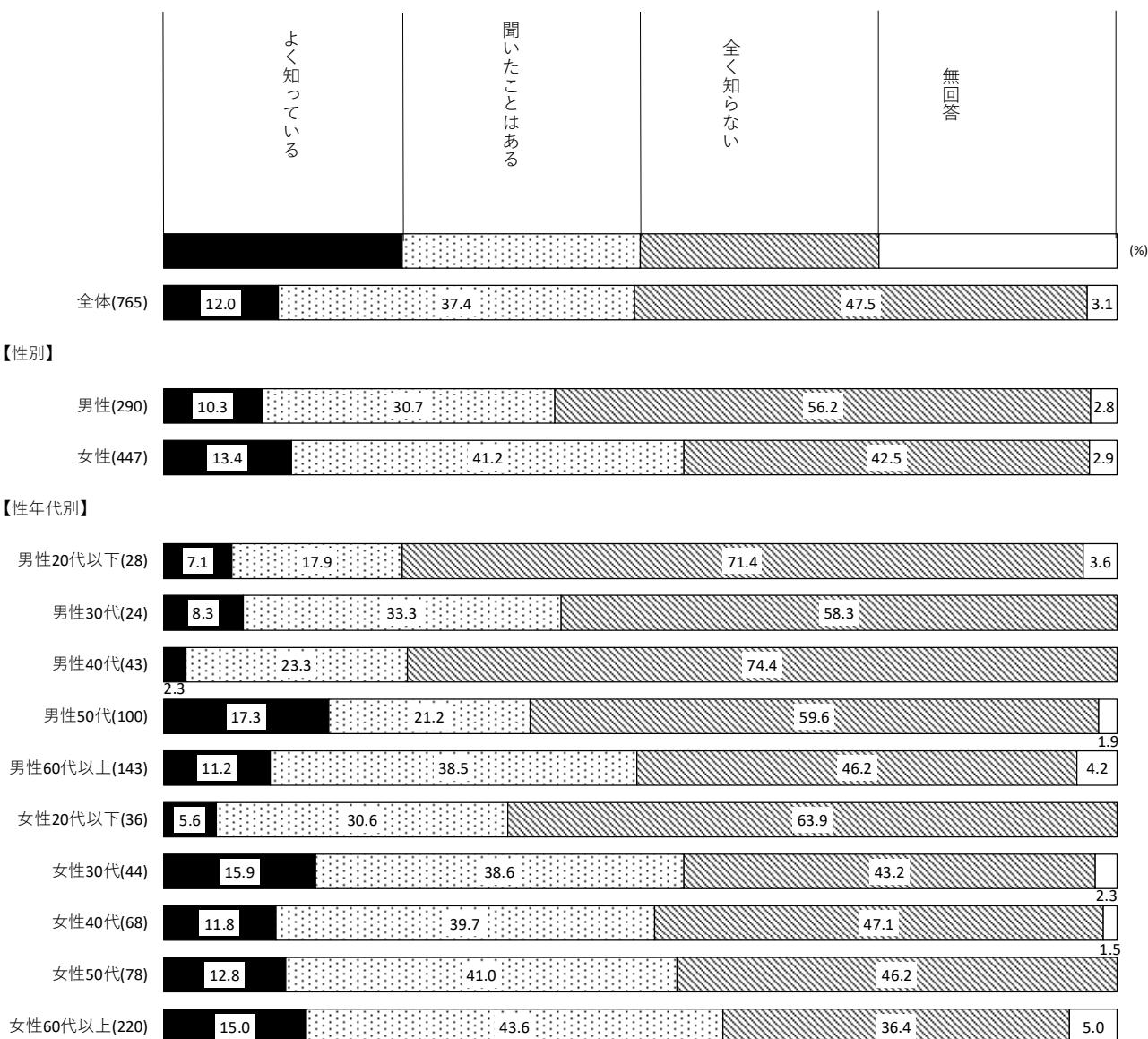


図2－1－12 川崎市（区）役所の取組への認知度
⑪ 地域包括ケアシステム <性別・性年代別>

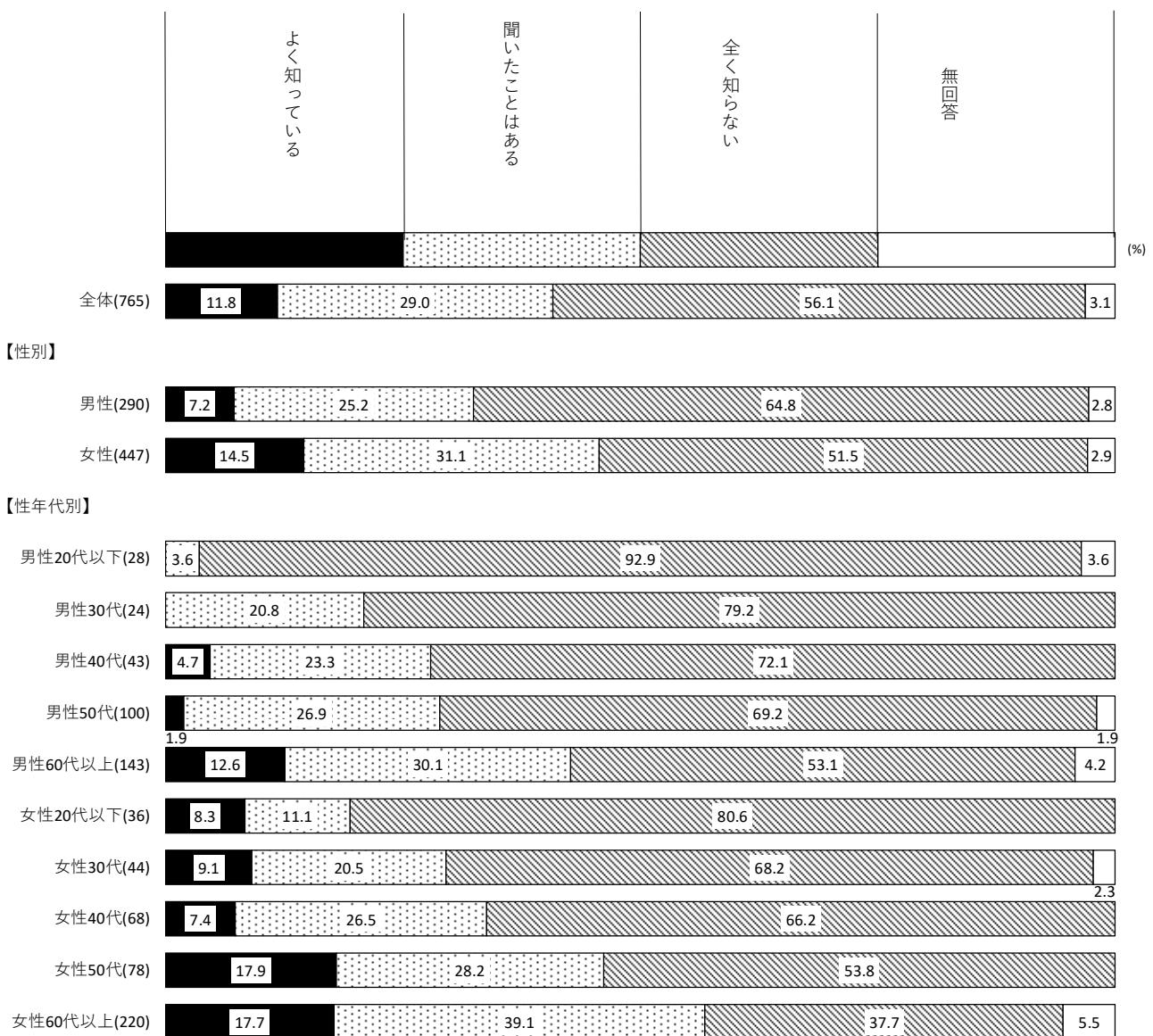


図2－1－13 川崎市（区）役所の取組への認知度
⑫ 地域包括支援センター＜性別・性年代別＞

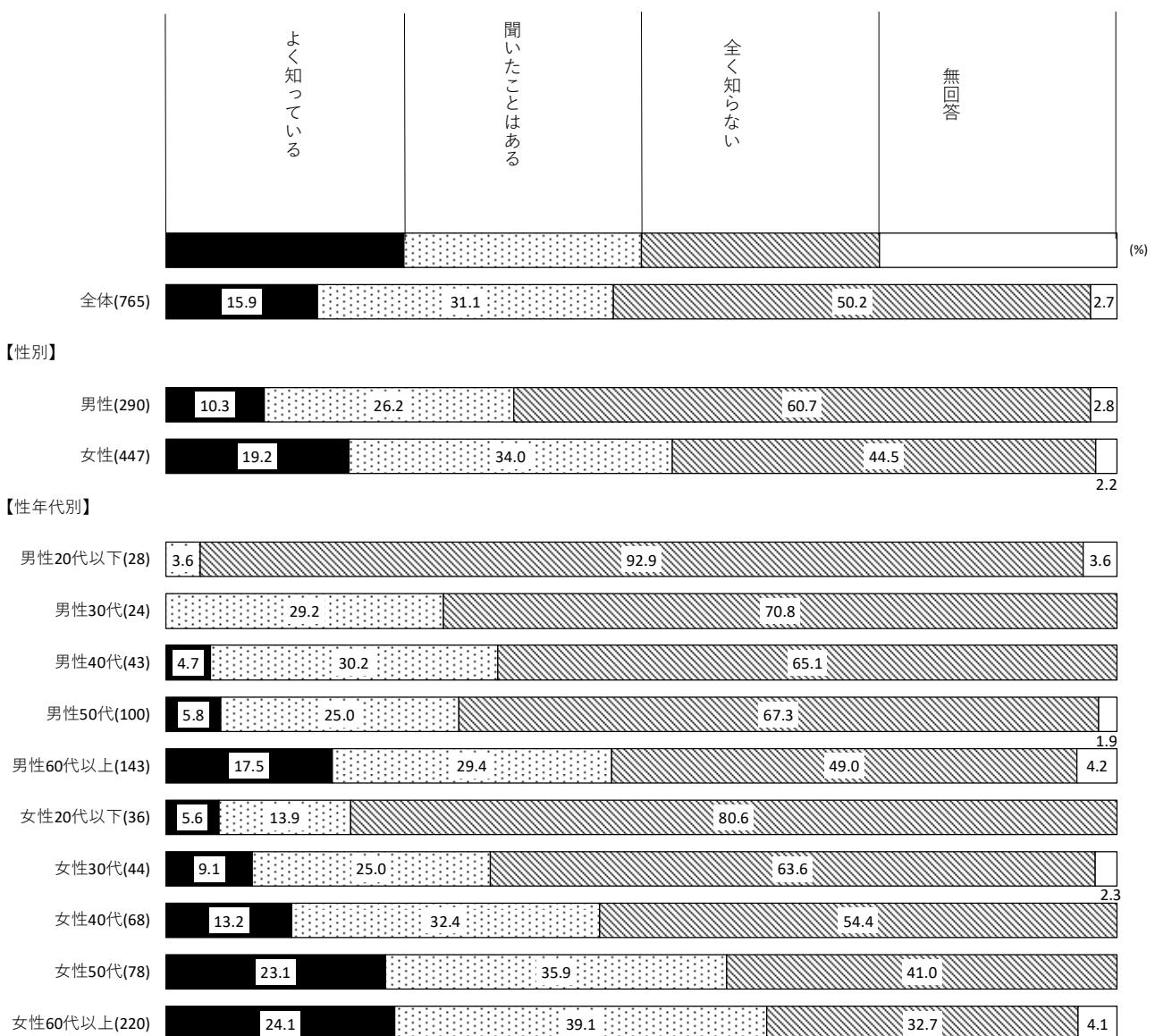


図2－1－14 川崎市（区）役所の取組への認知度

⑬ まちの縁側 <性別・性年代別>

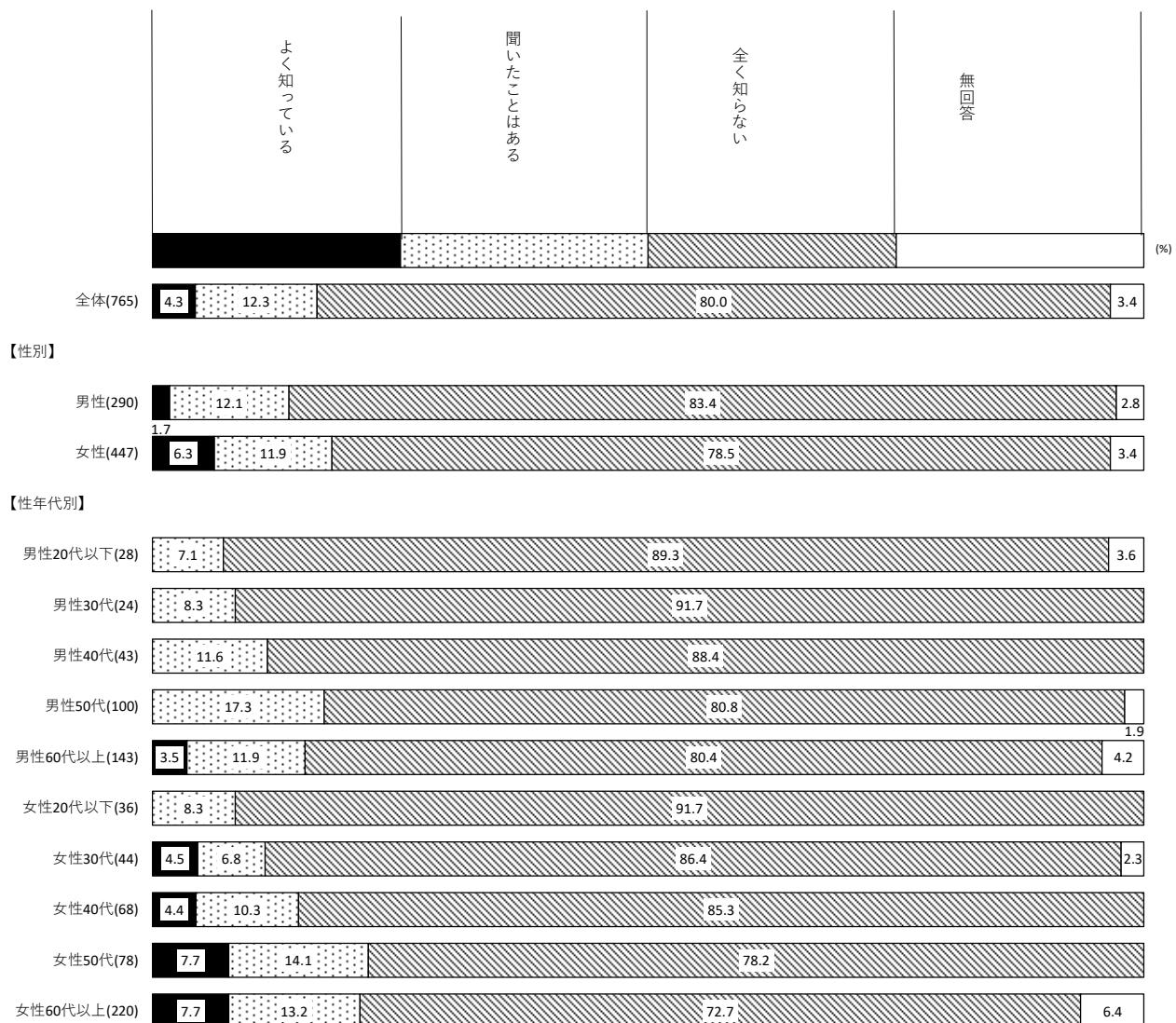


図2－1－15 川崎市（区）役所の取組への認知度

⑭ 保育・子育て総合支援センター <性別・性年代別>

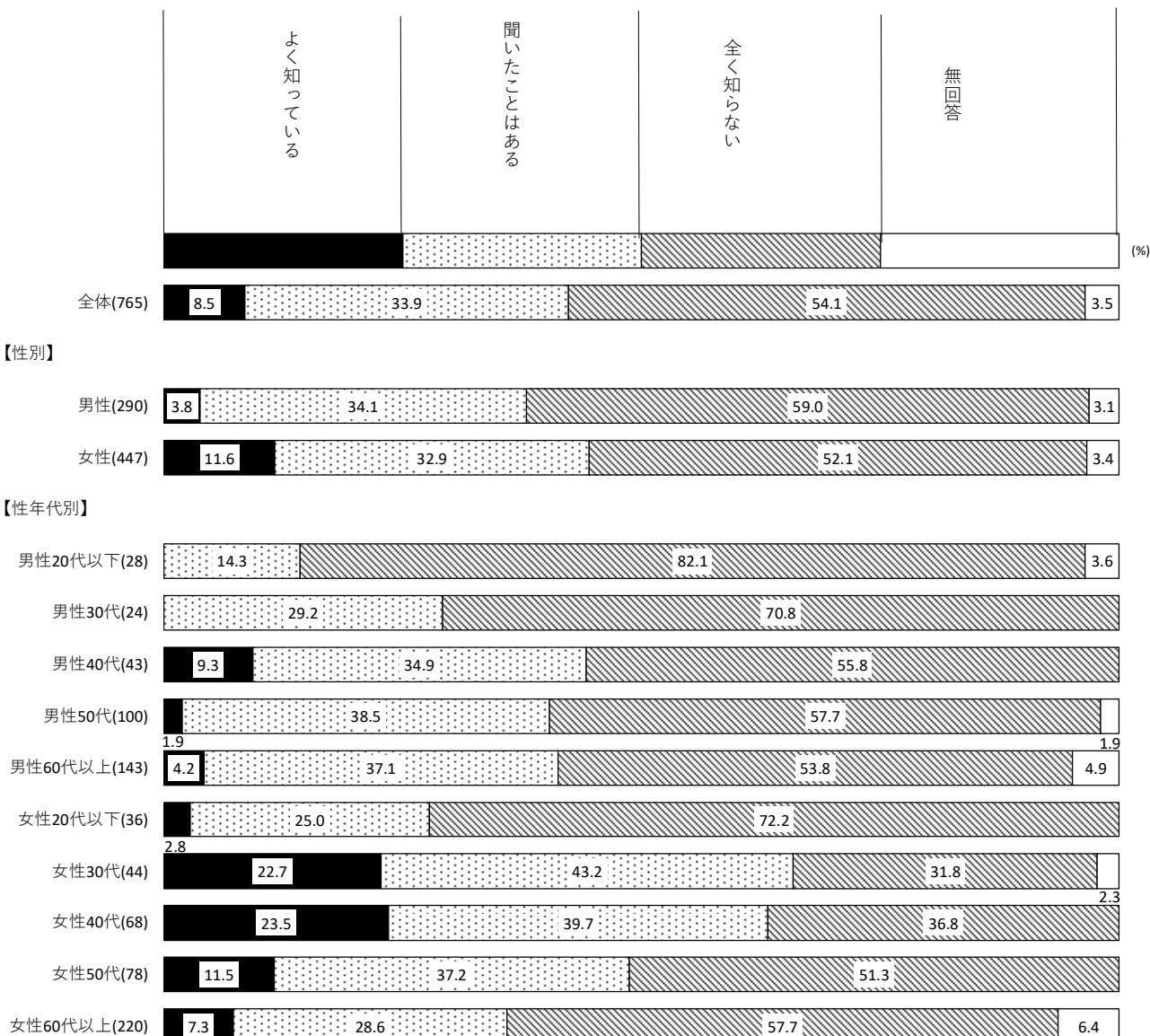


図2－1－16 川崎市（区）役所の取組への認知度

⑯ 子育てサロン <性別・性年代別>

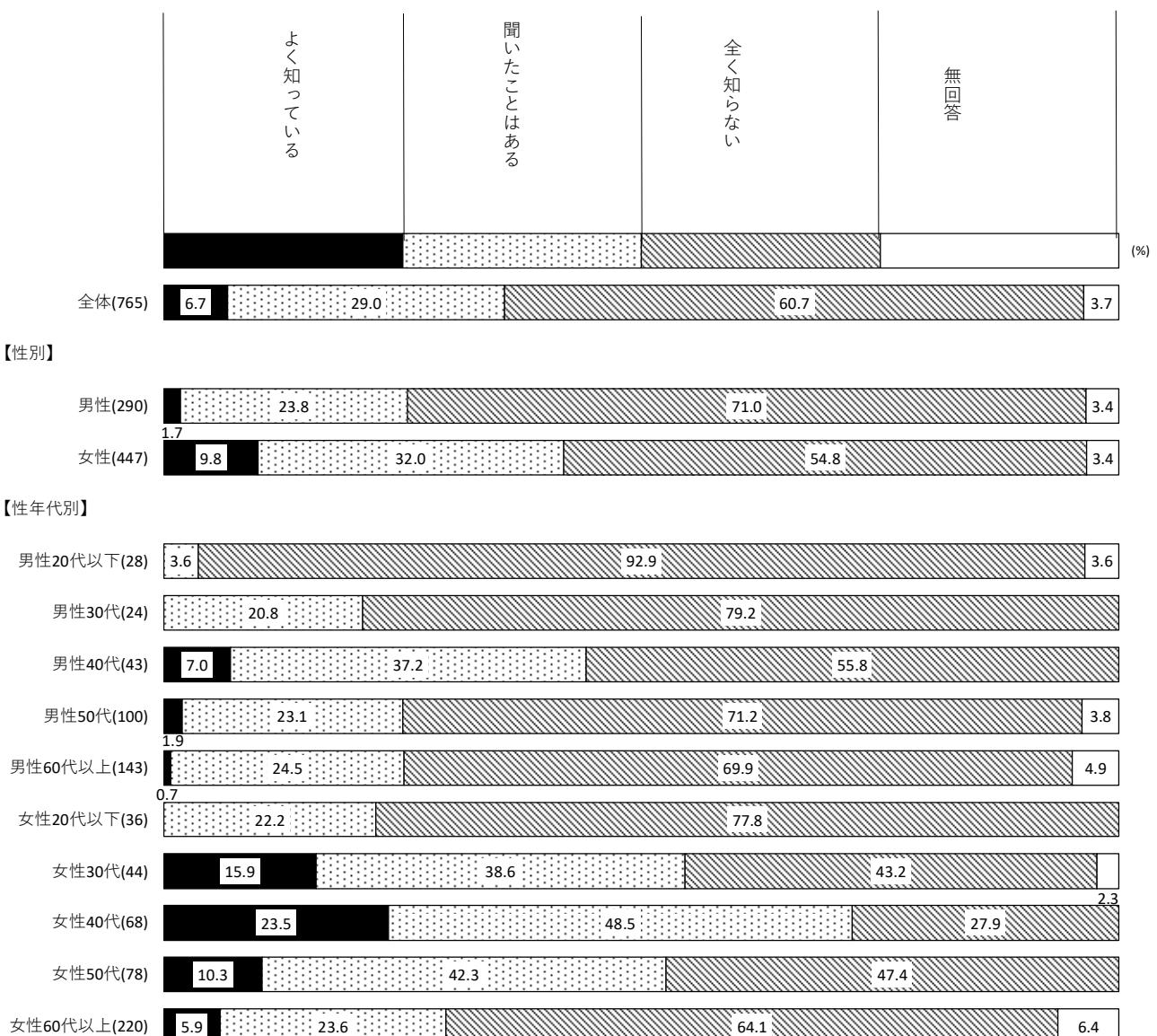


図2－1－17 川崎市（区）役所の取組への認知度

⑯ ほほえみ元気体操 <性別・性年代別>

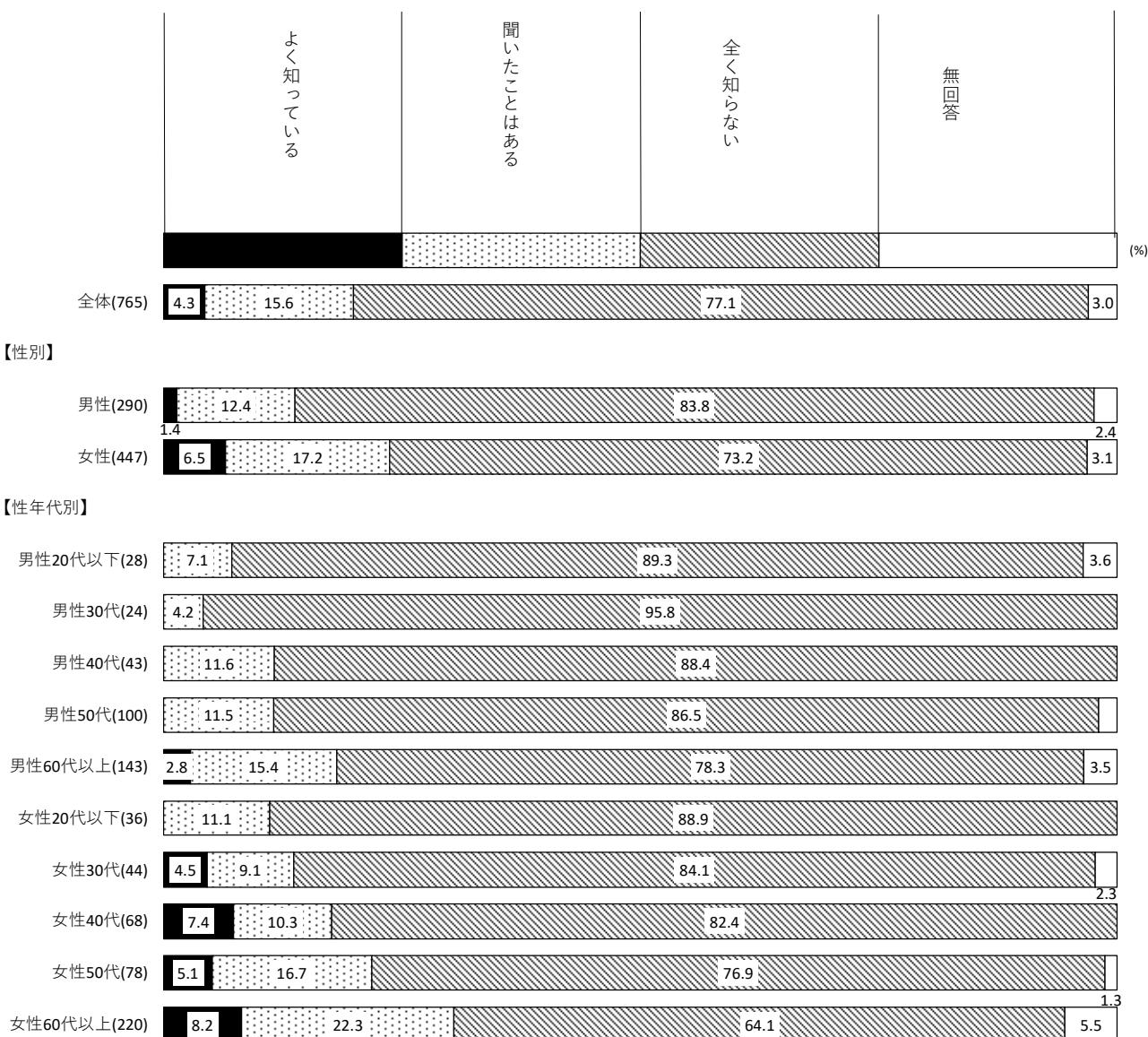


図2－1－18 川崎市（区）役所の取組への認知度

⑯ 地域の寺子屋 <性別・性年代別>

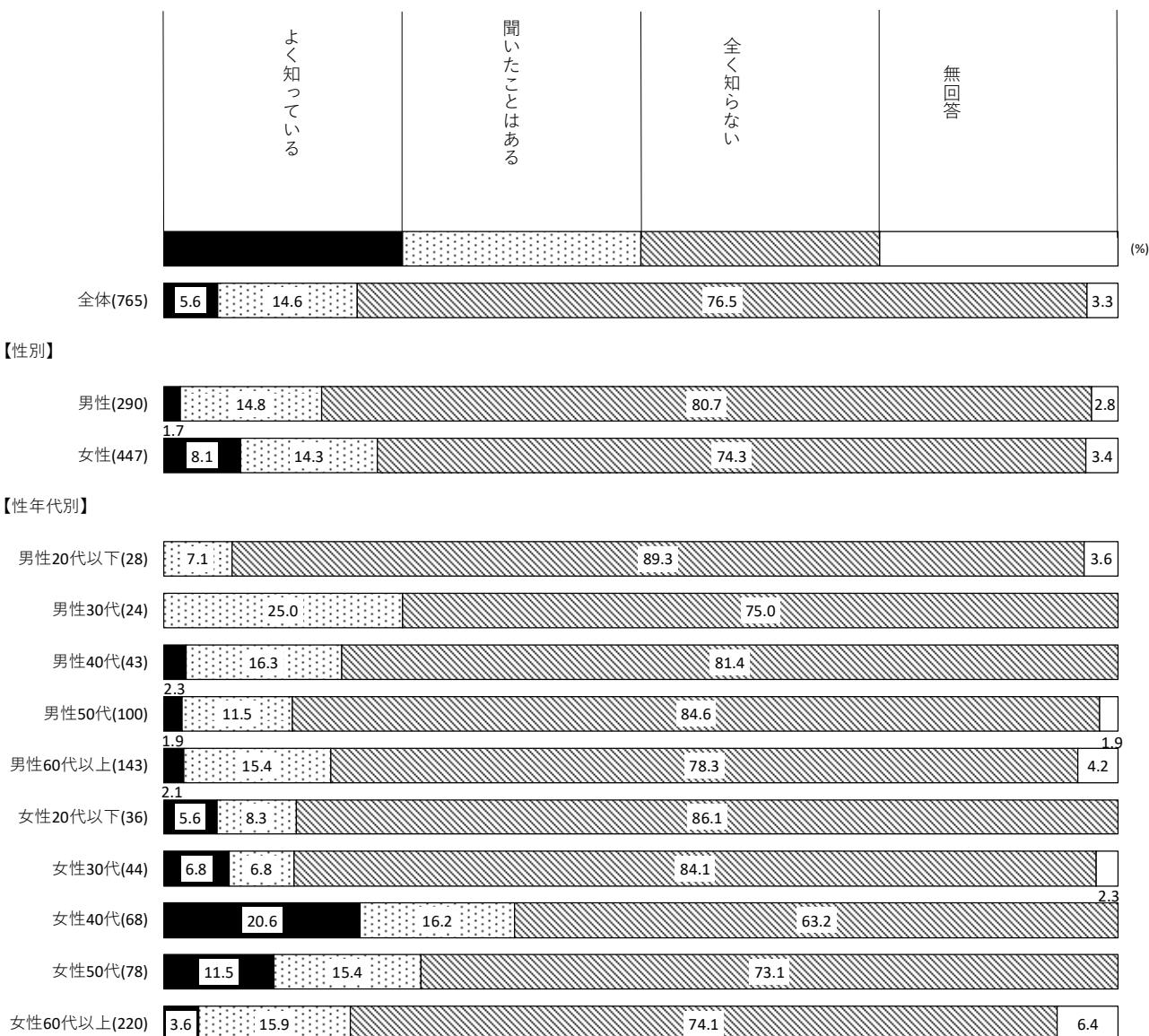


図2－1－19 川崎市（区）役所の取組への認知度
⑯ みんなの校庭プロジェクト <性別・性年代別>

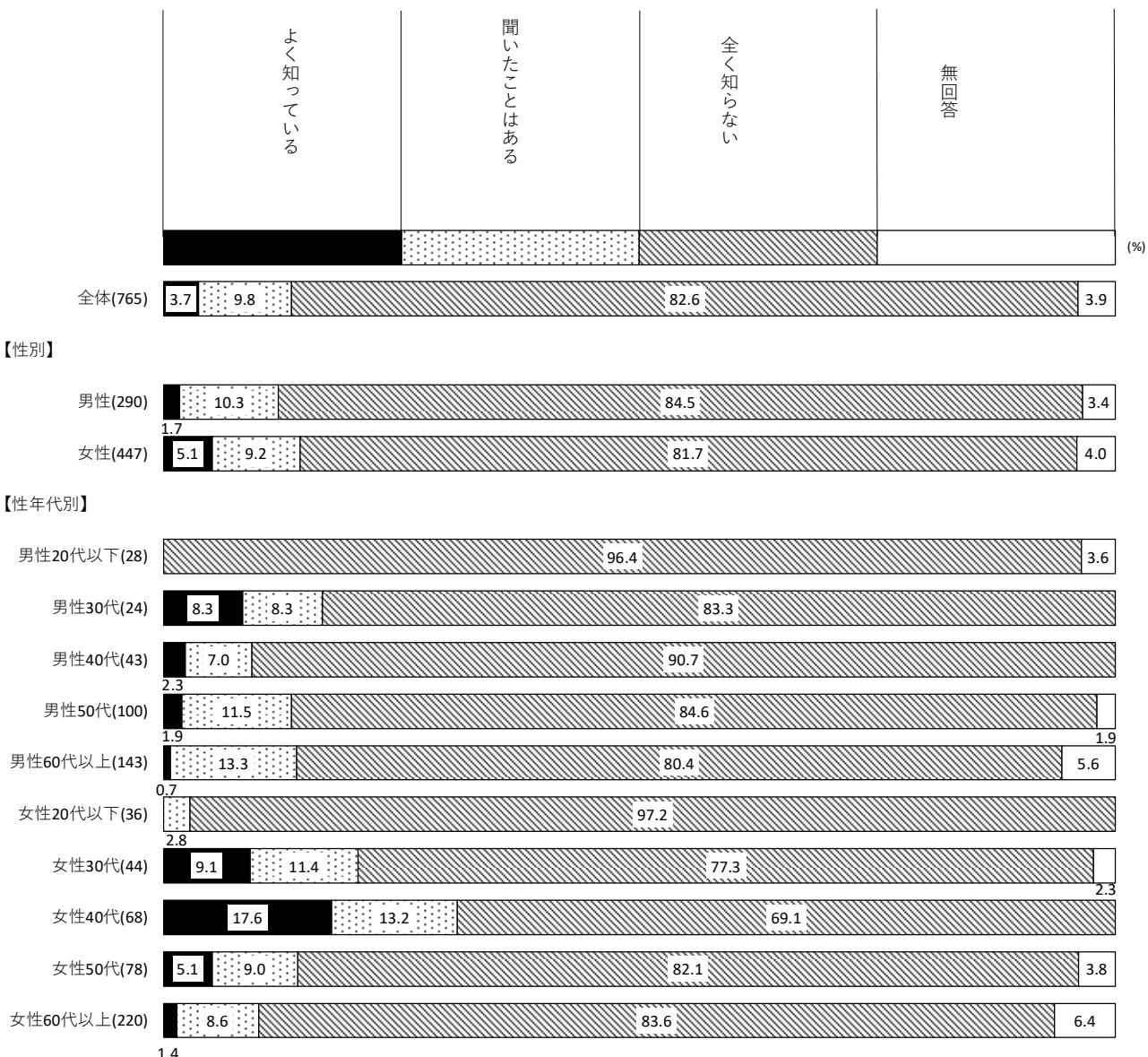


図2－1－20 川崎市（区）役所の取組への認知度

⑯ 区の花（ビオラ・ひまわり）、区の木（銀杏・長十郎梨） <性別・性年代別>

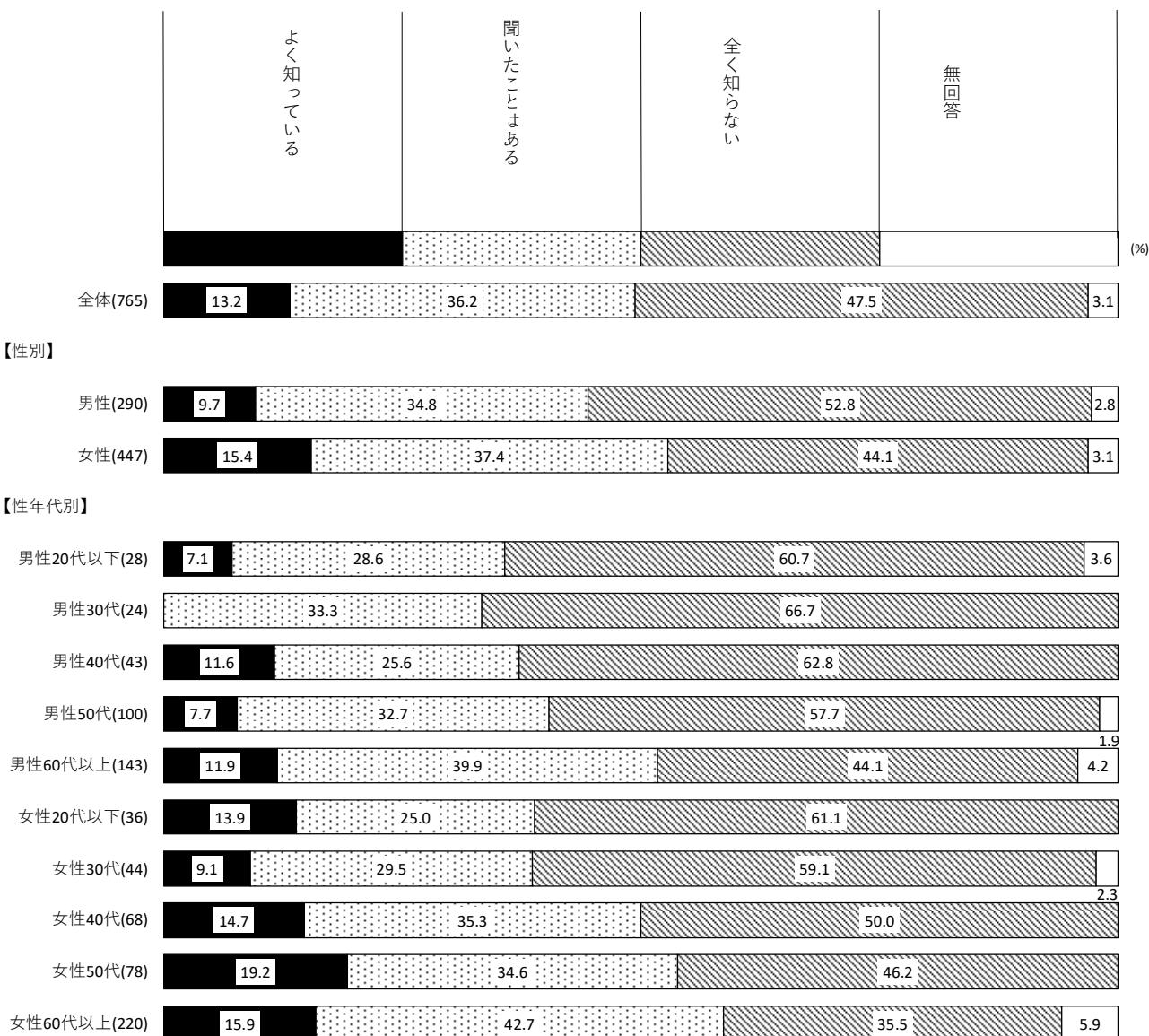


図2－1－21 川崎市（区）役所の取組への認知度

㉙ いきいきかわさき区提案事業 <性別・性年代別>

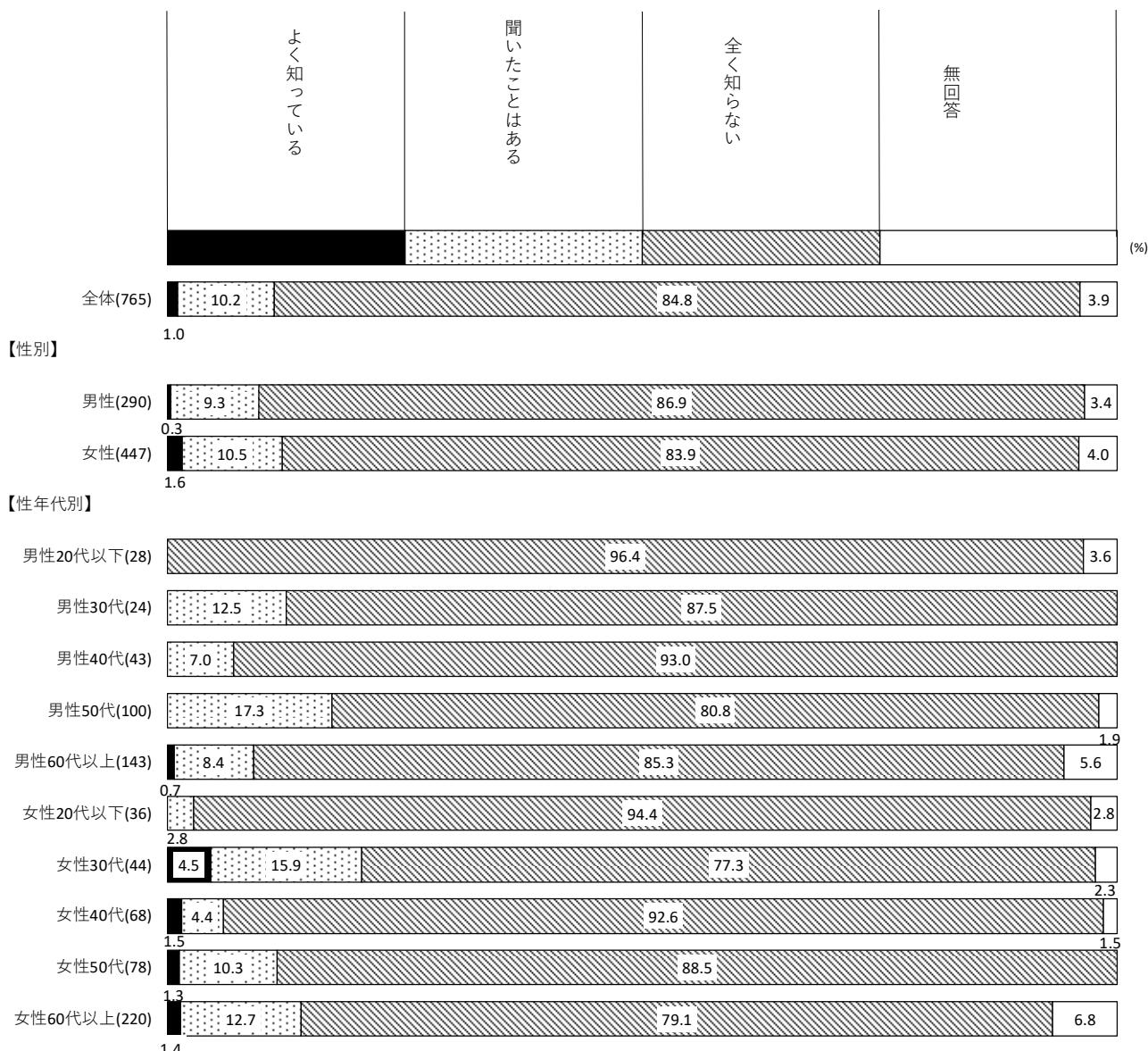


図2－1－22 川崎市（区）役所の取組への認知度

⑦教育文化会館の移転 <性別・性年代別>

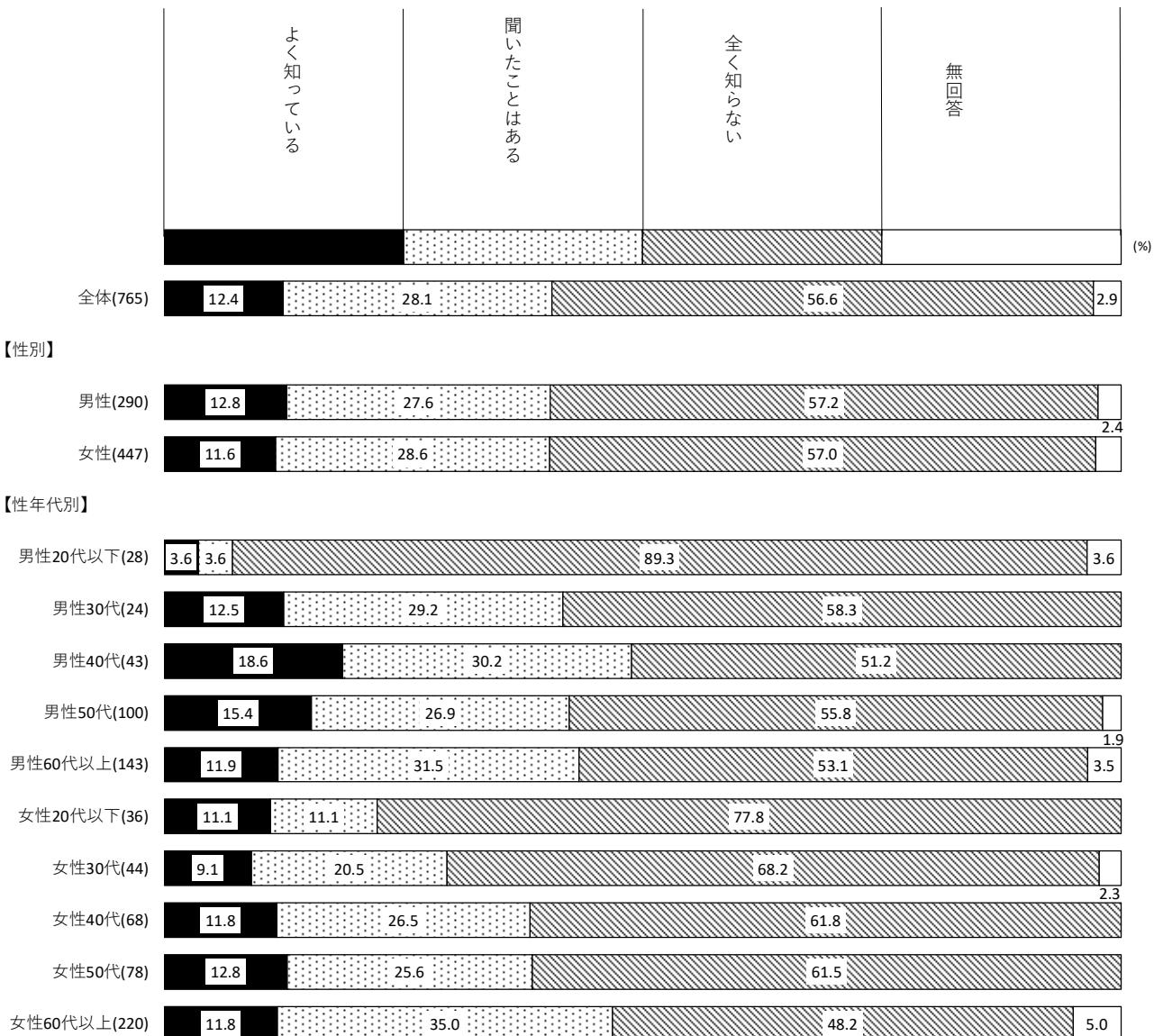
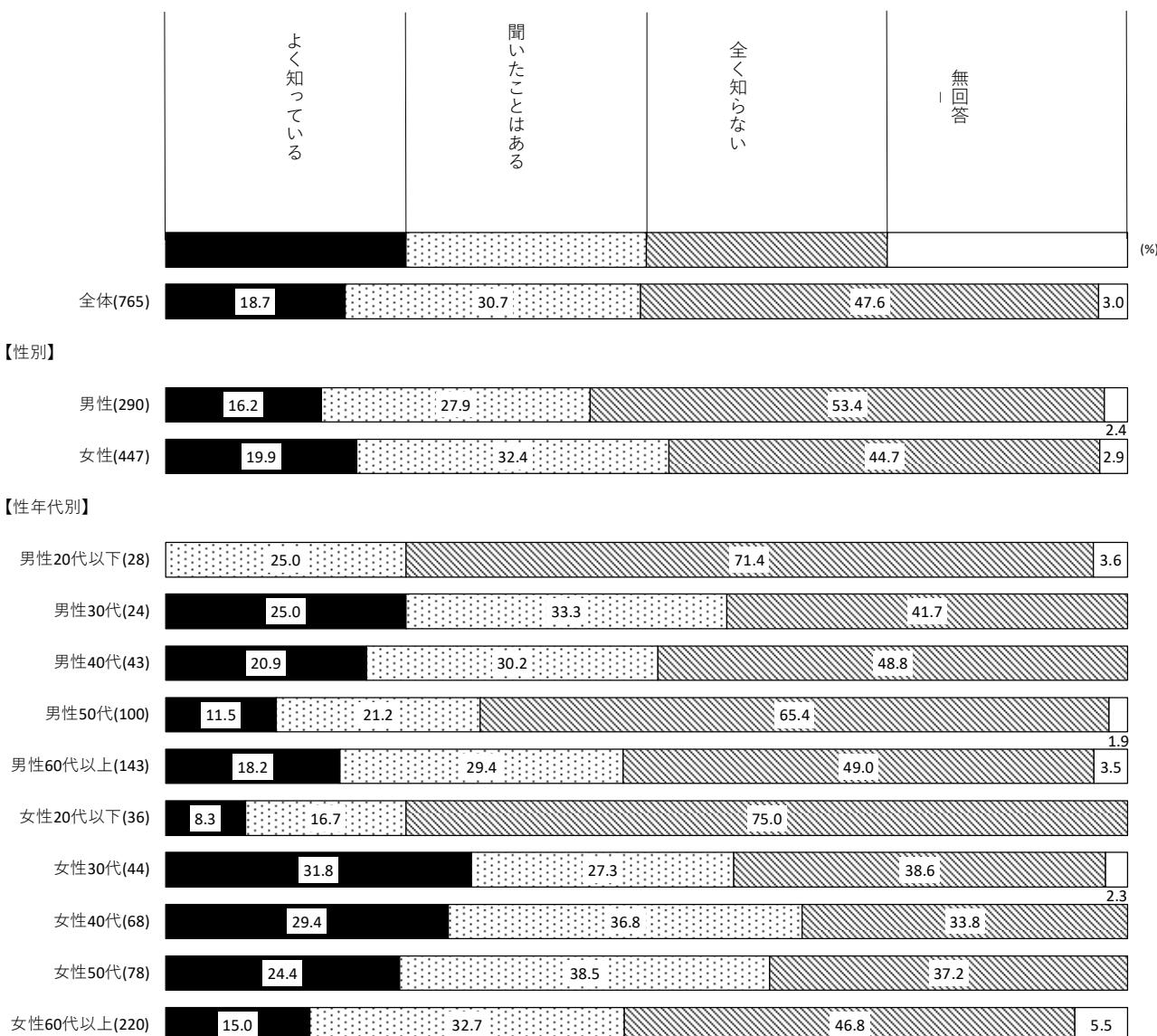


図2－1－23 川崎市（区）役所の取組への認知度
②支所の建て替え <性別・性年代別>



(2) 川崎区役所の事業への評価

問5 次の表にあげる川崎区役所の事業について、どのように評価していますか。

(①から⑪までの項目ごとに、あてはまるもの1つに○)

全 体 「よくやっていると思う」では、「放置自転車対策」(40.9%) が最も高く、次いで「公園の維持管理、地域緑化」(36.2%) となっている。(図2-2-1)

性 別 性別に大きな差は見られなかったが、中でも「窓口サービスの向上」、「道路の維持管理」、「防災対策」では多少の差がみられる。

性 年 代 別 「よくやっている」では、「男性30代」が6項目で最も高く、次いで「女性40代」が5項目、「男性40代」と「女性20代」が3項目と続いている。「男性60代以上」、「女性50代」、「女性60代以上」は最も高い項目はなかった。

図2-2-1 川崎区役所の事業への評価

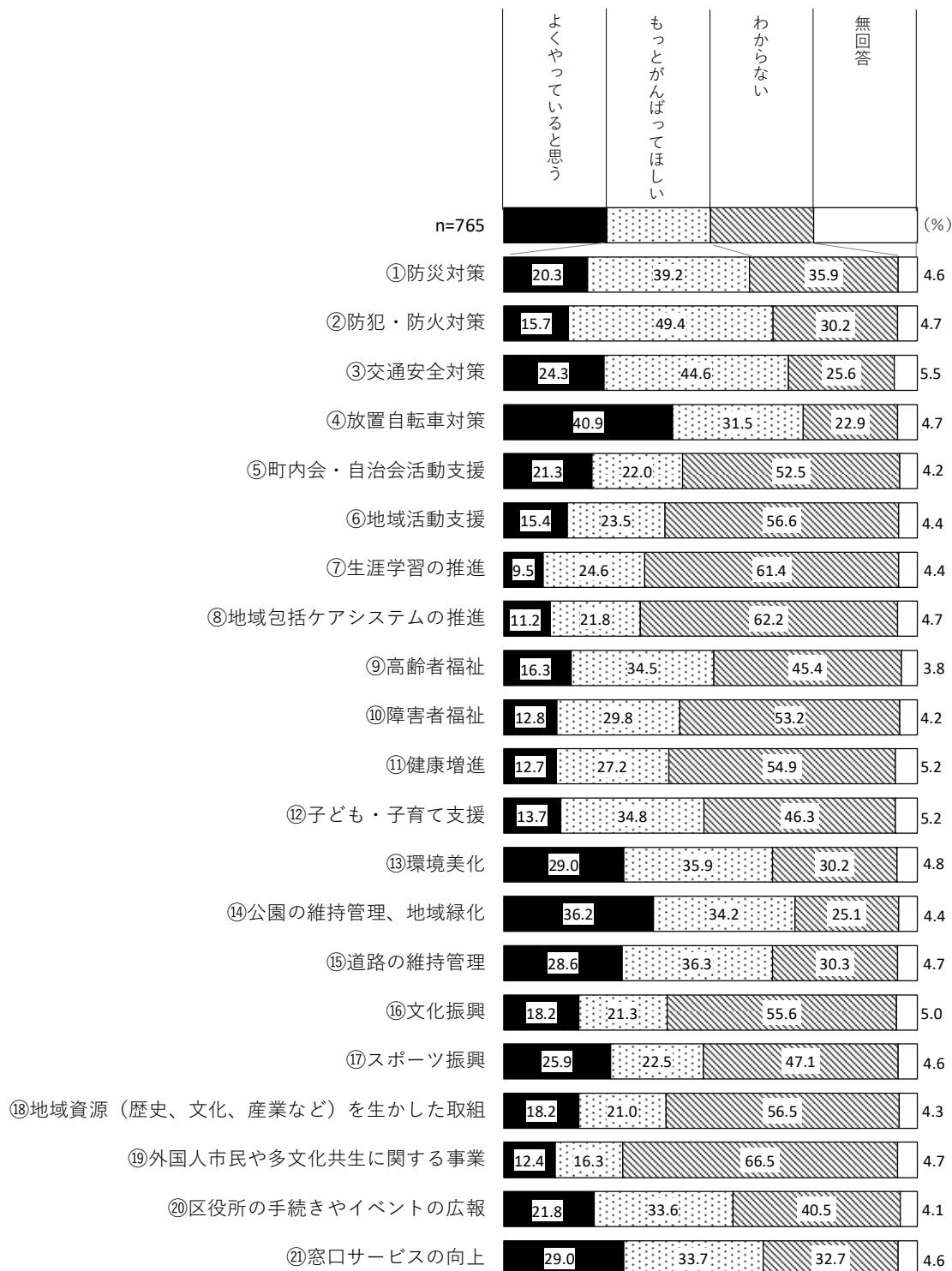


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <①防災対策>

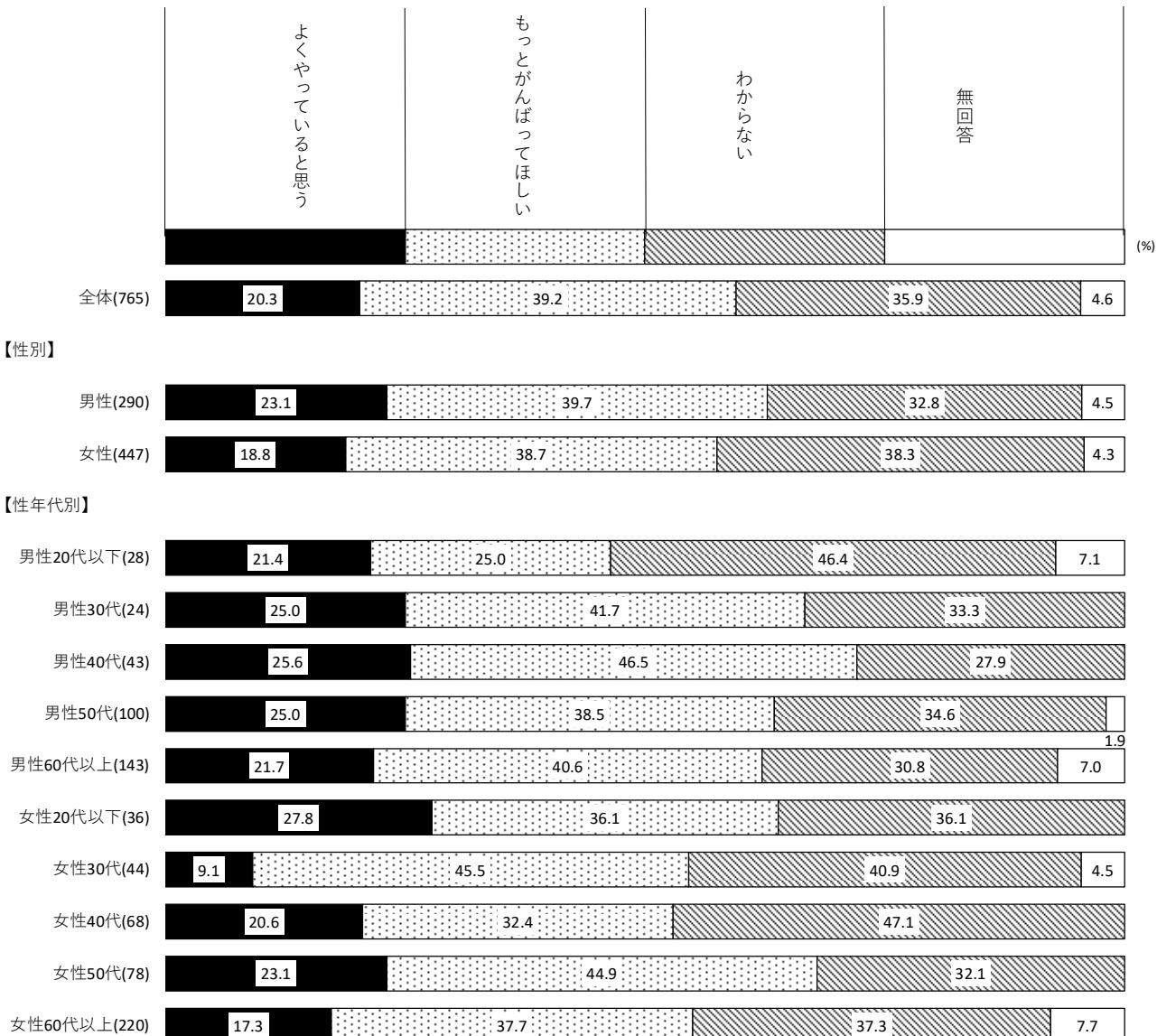


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <②防犯・防火対策>

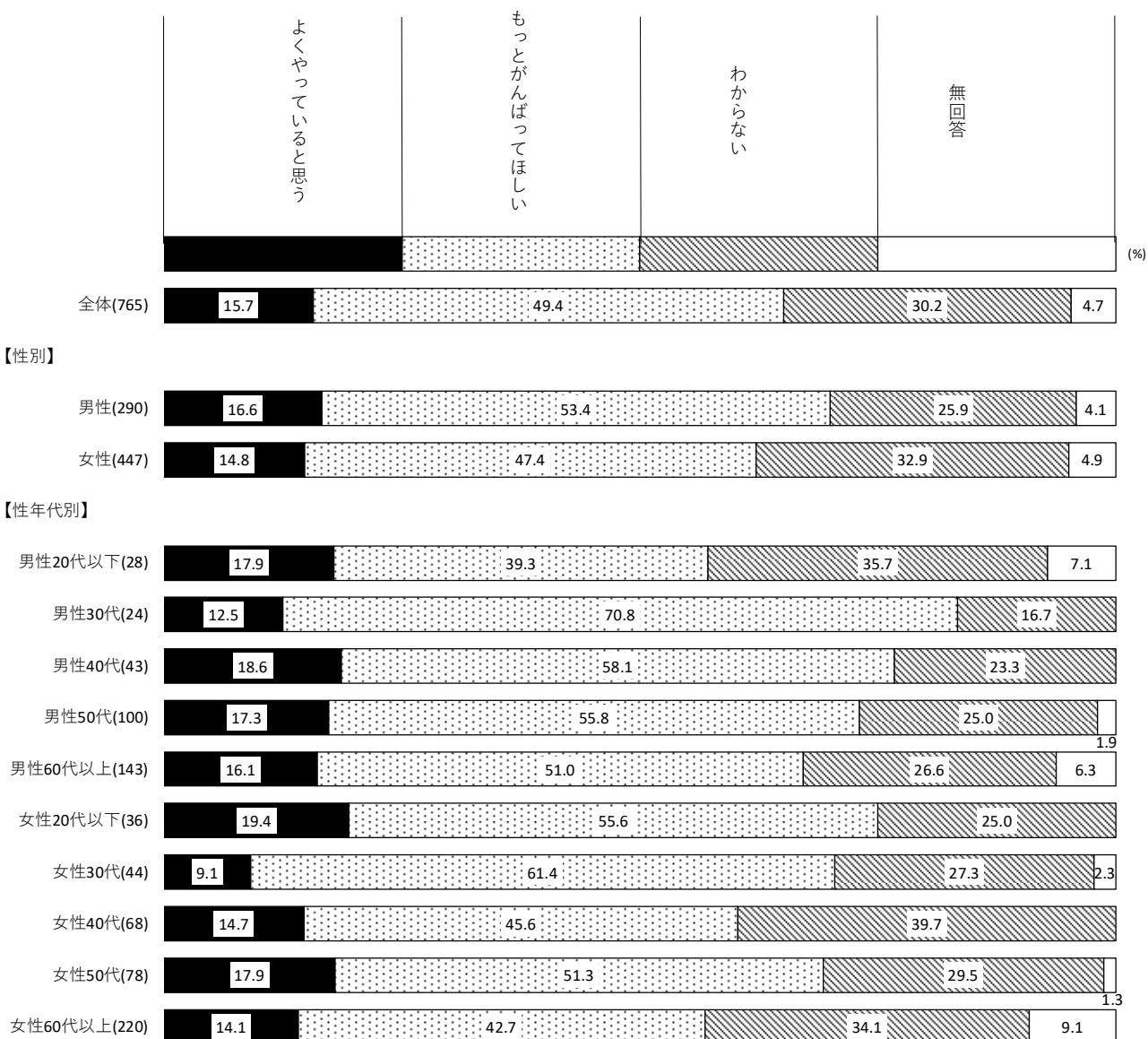


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <③交通安全対策>

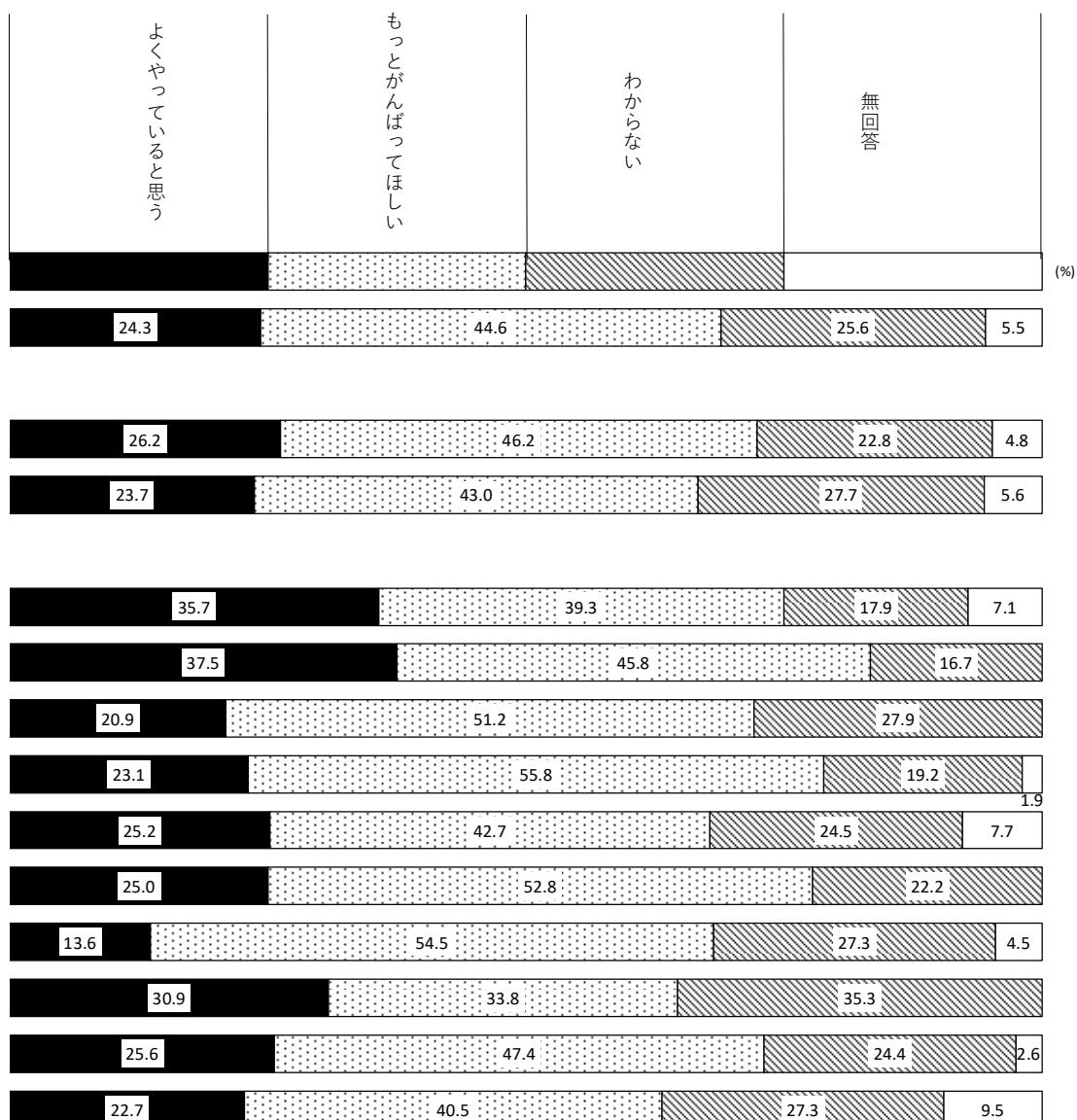


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <④放置自転車対策>

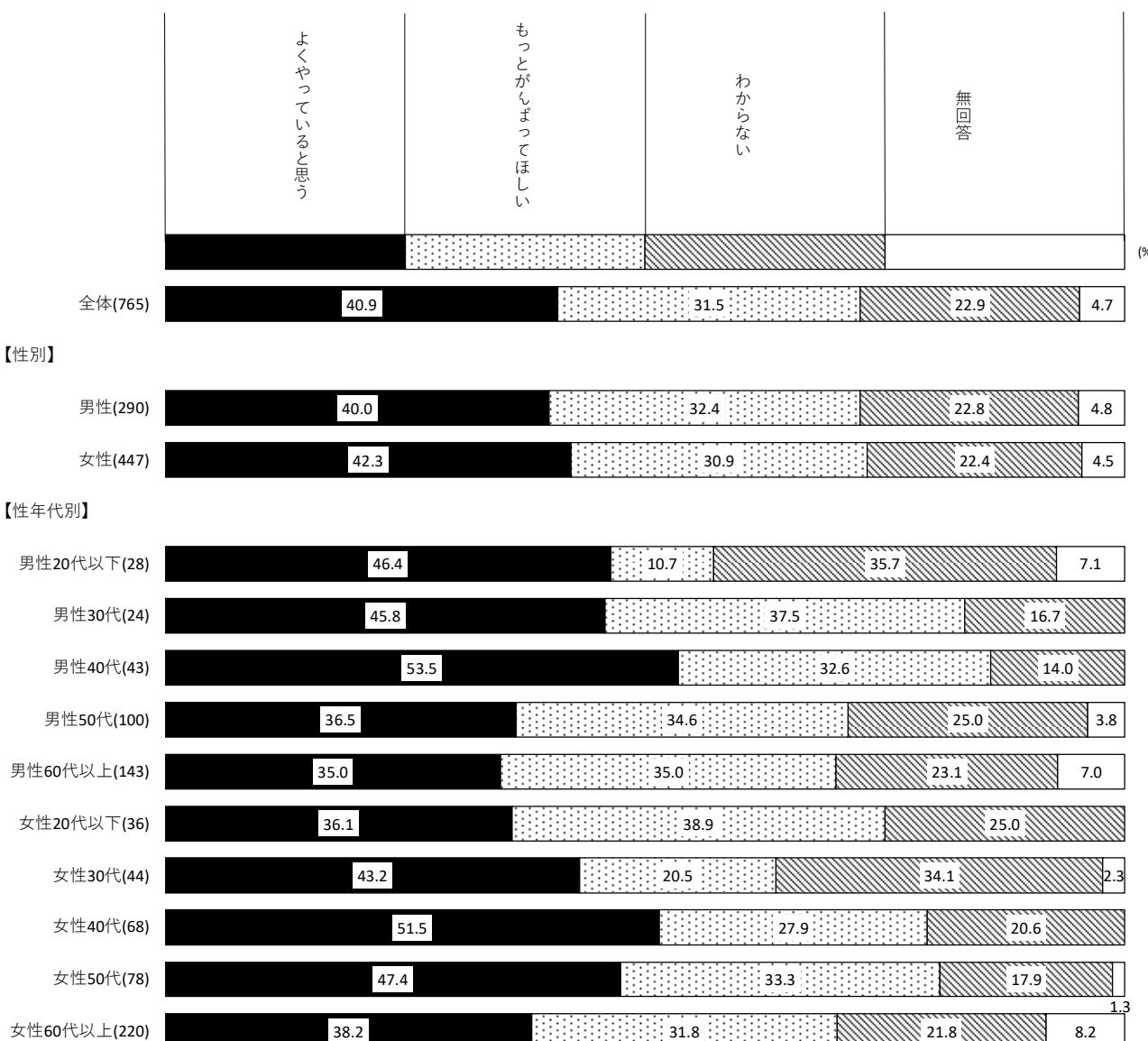


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <⑤町内会・自治会活動支援>

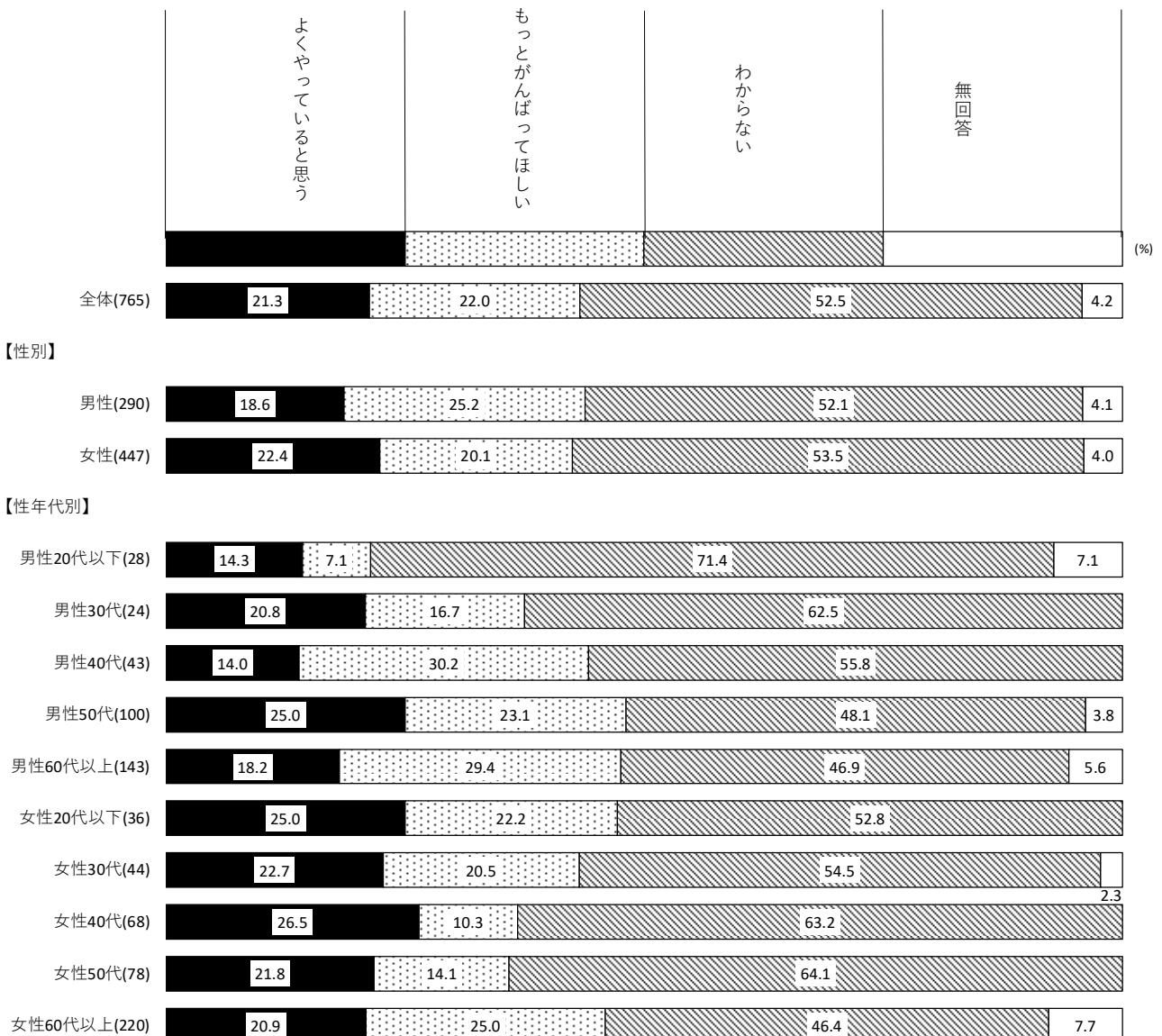


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <⑥地域活動支援>

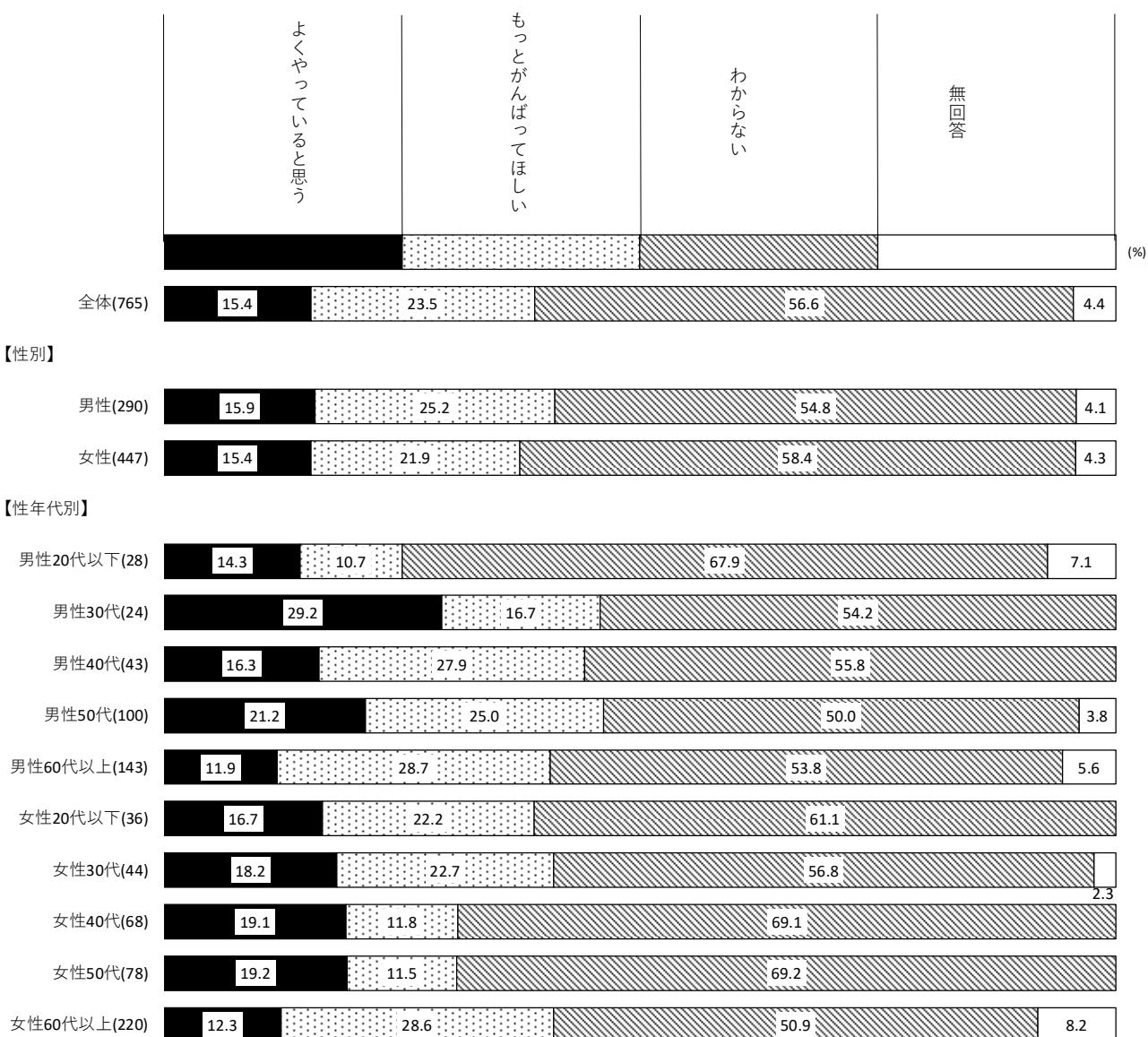


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <⑦生涯学習の推進>

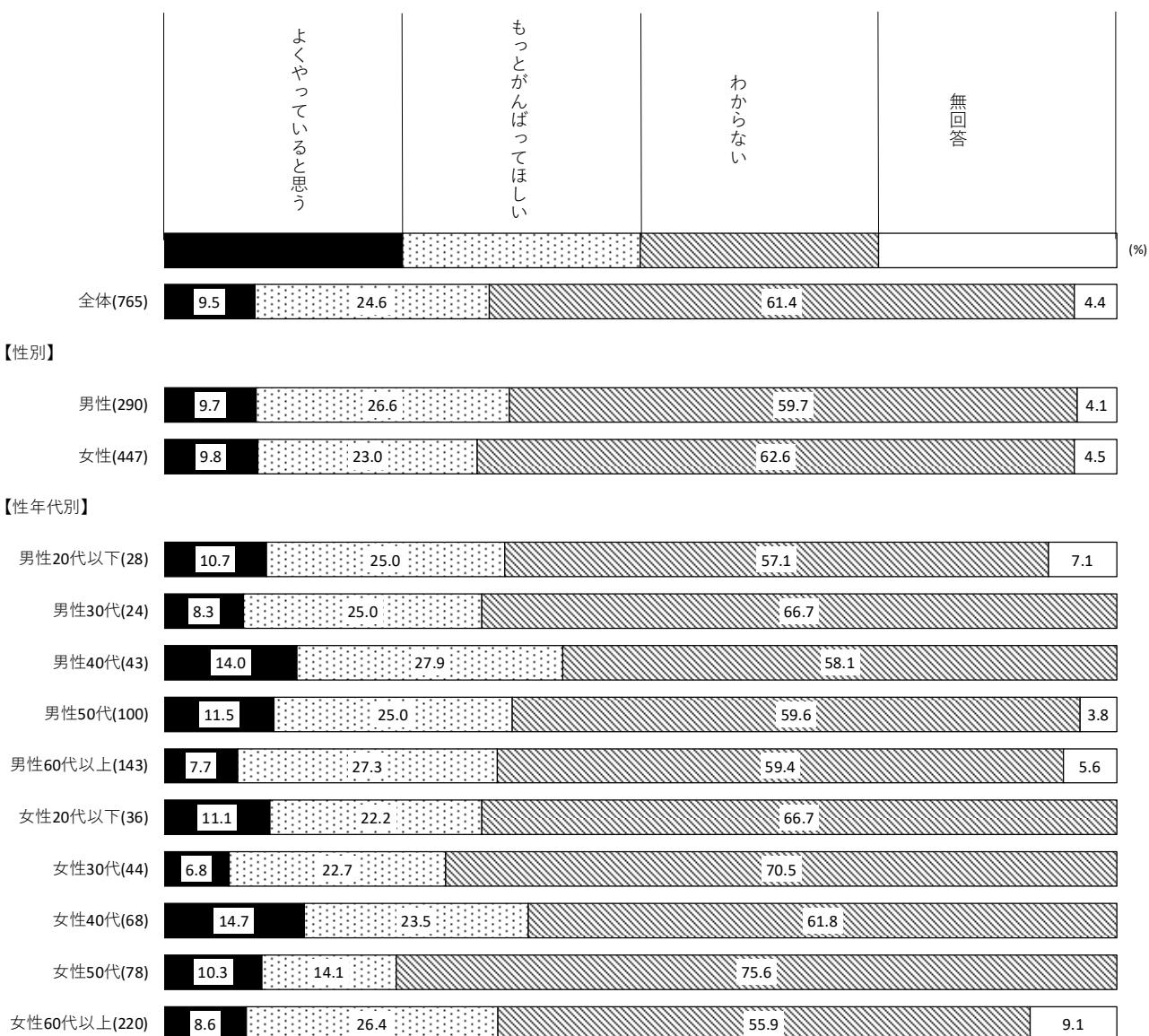


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <⑧地域包括ケアシステムの推進>

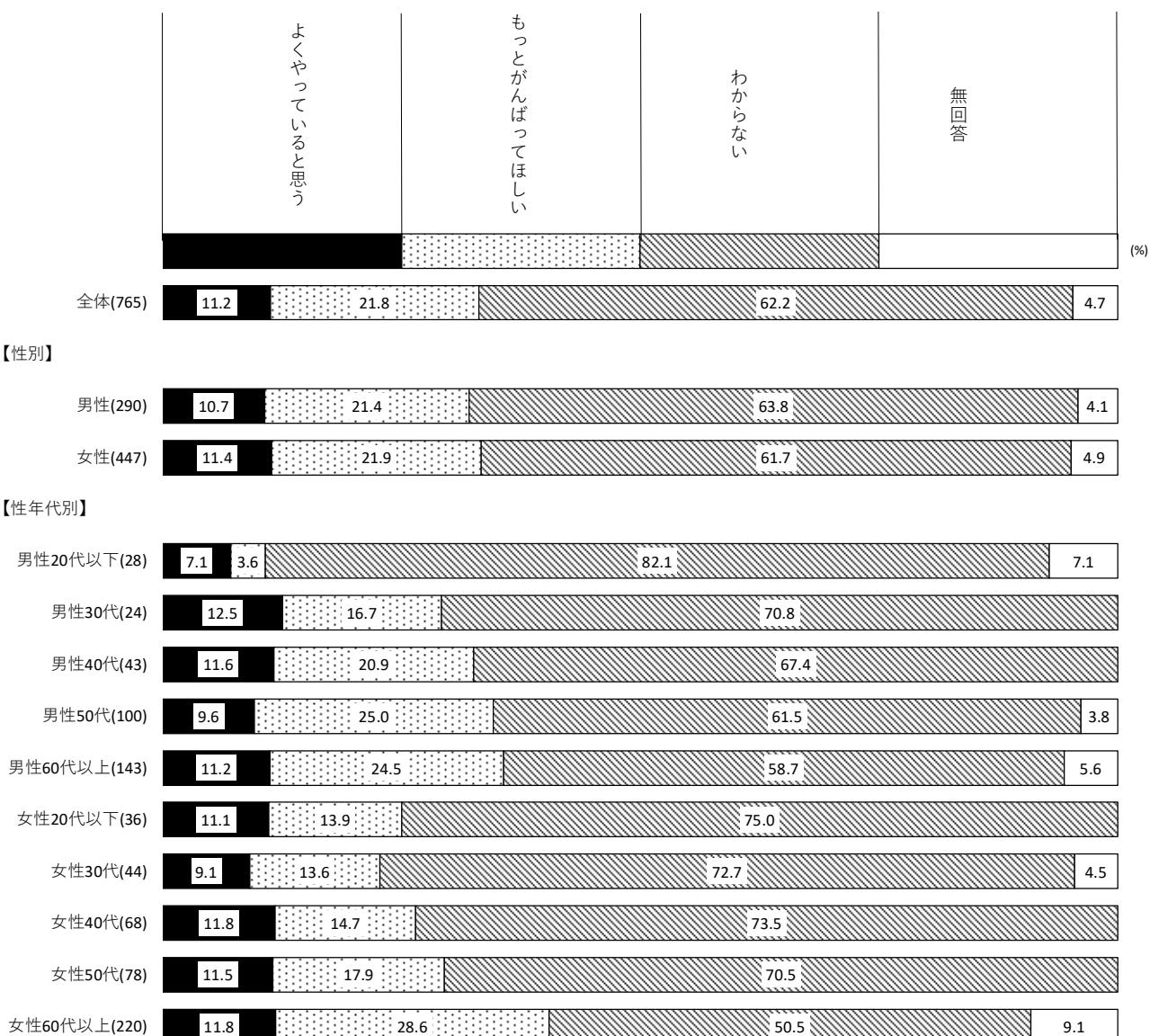


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <⑨高齢者福祉>

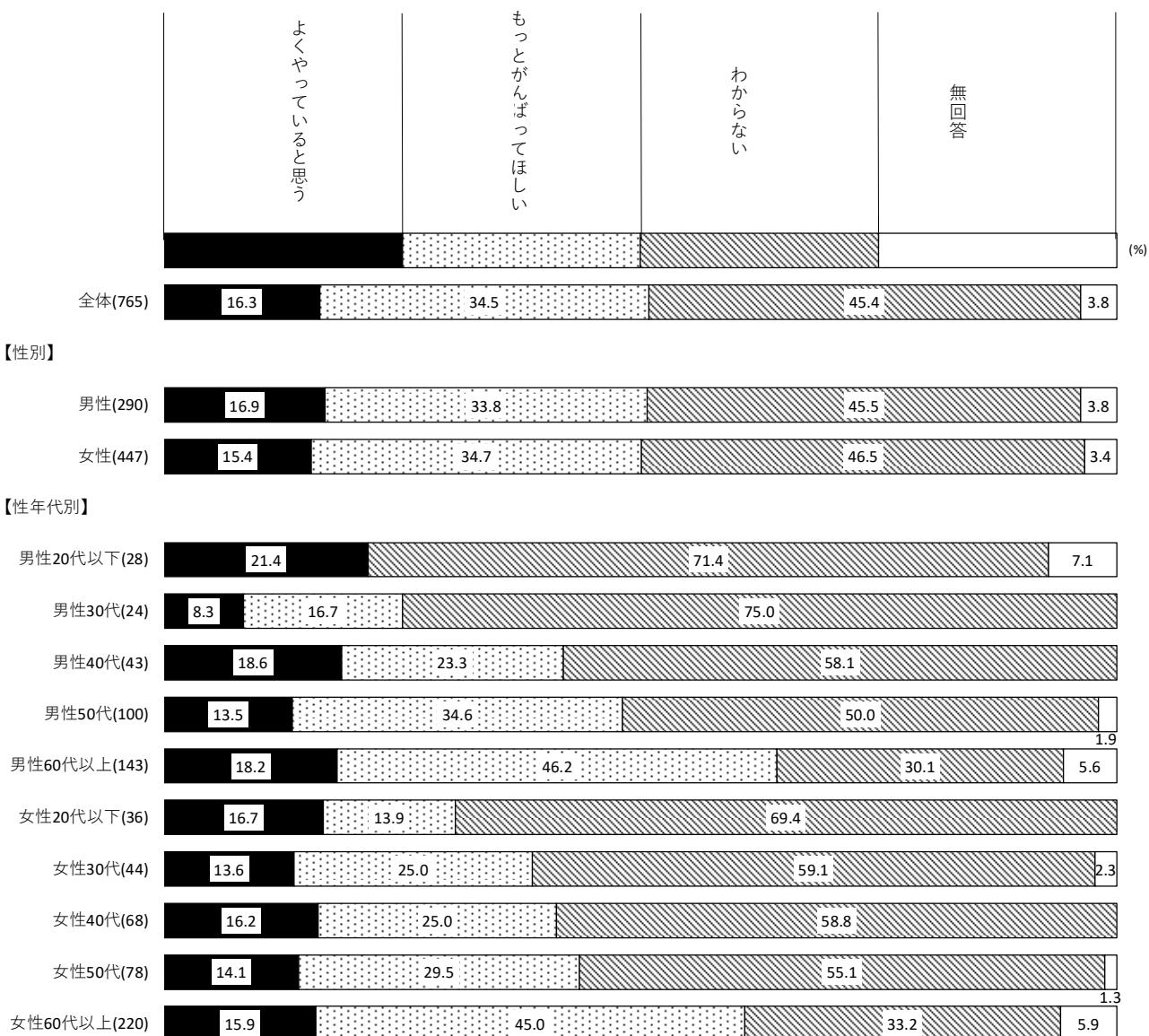


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <⑩障害者福祉>

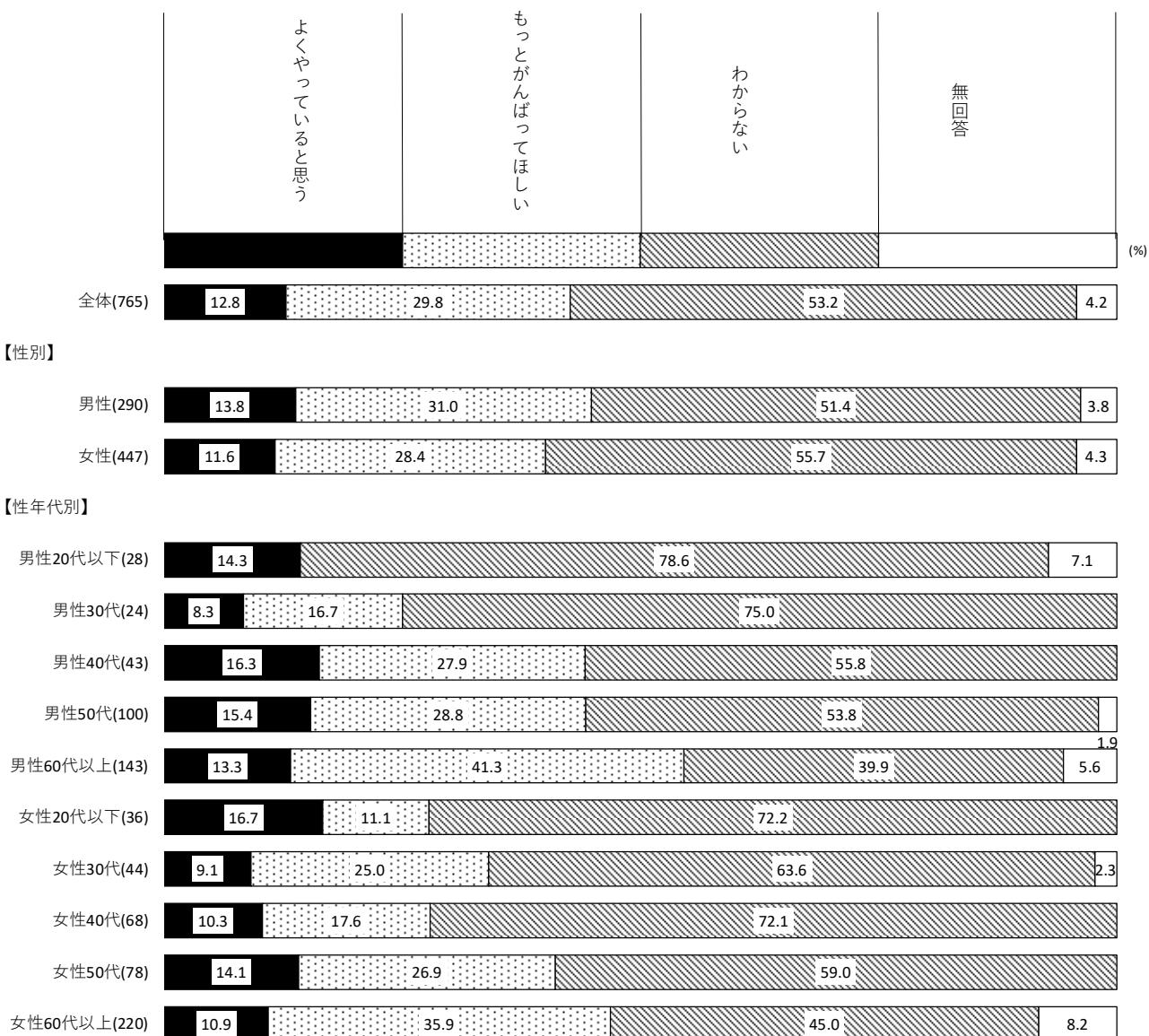


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <⑪健康増進>

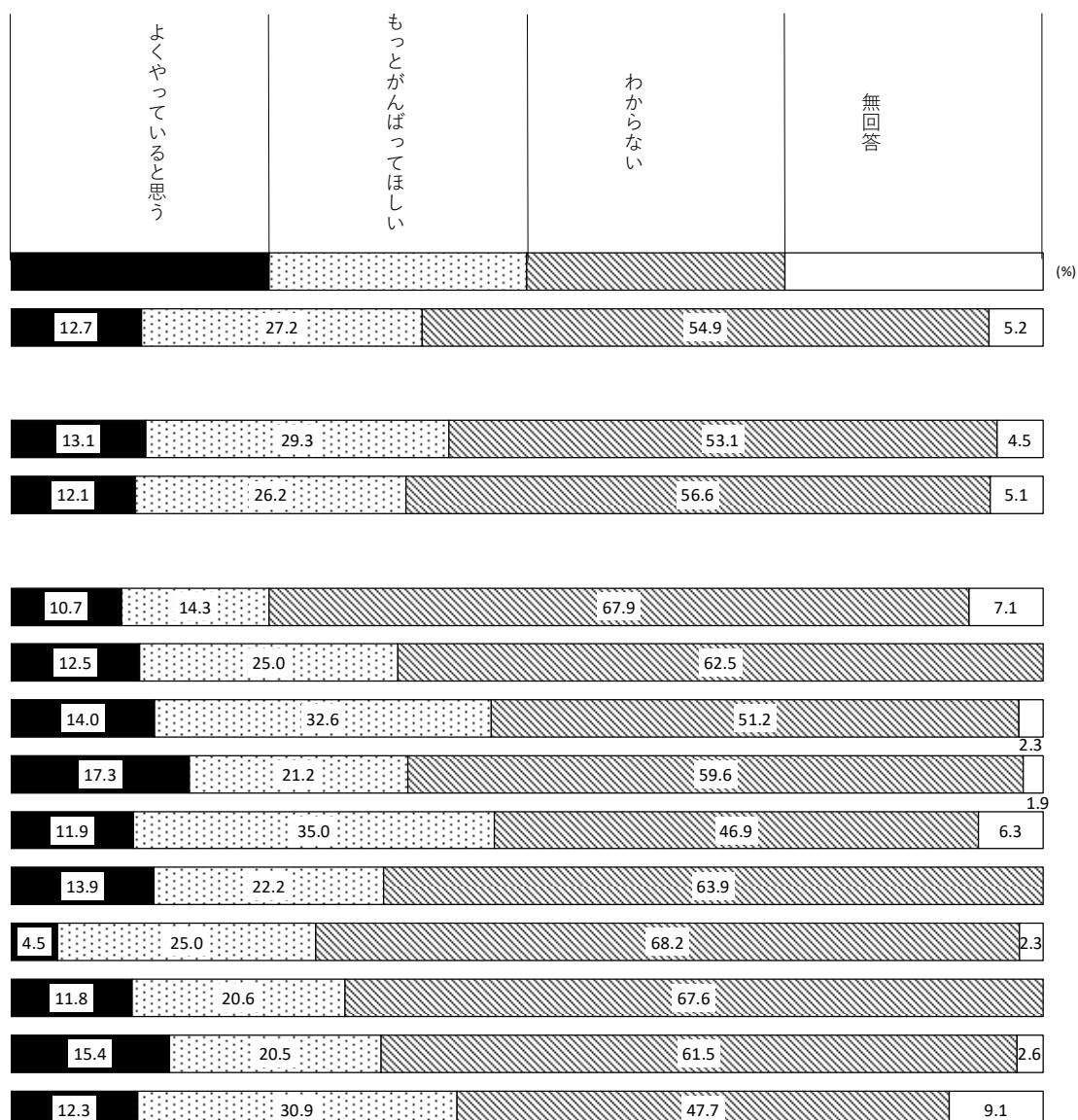


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <⑫子ども・子育て支援>

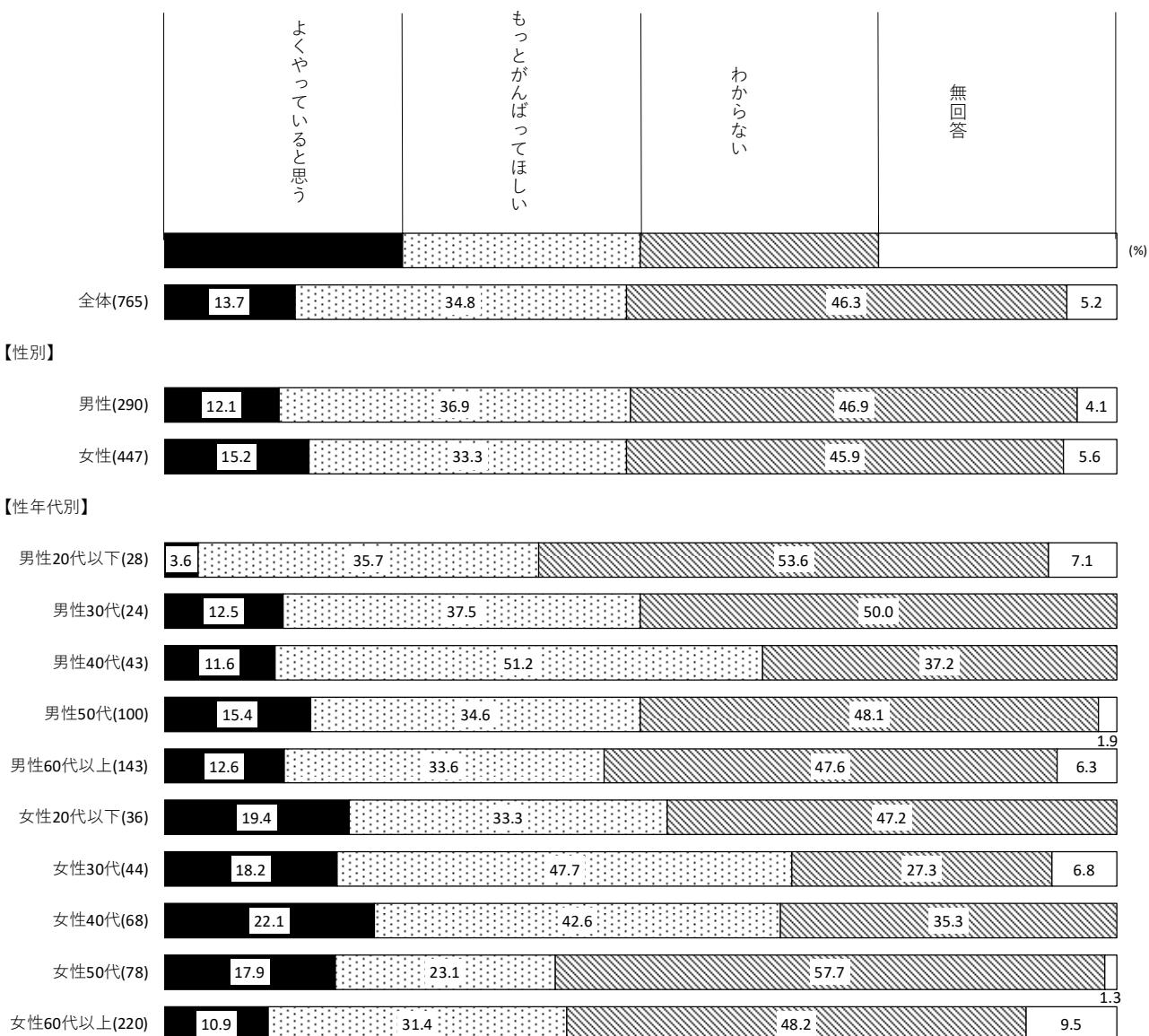


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <⑬環境美化>

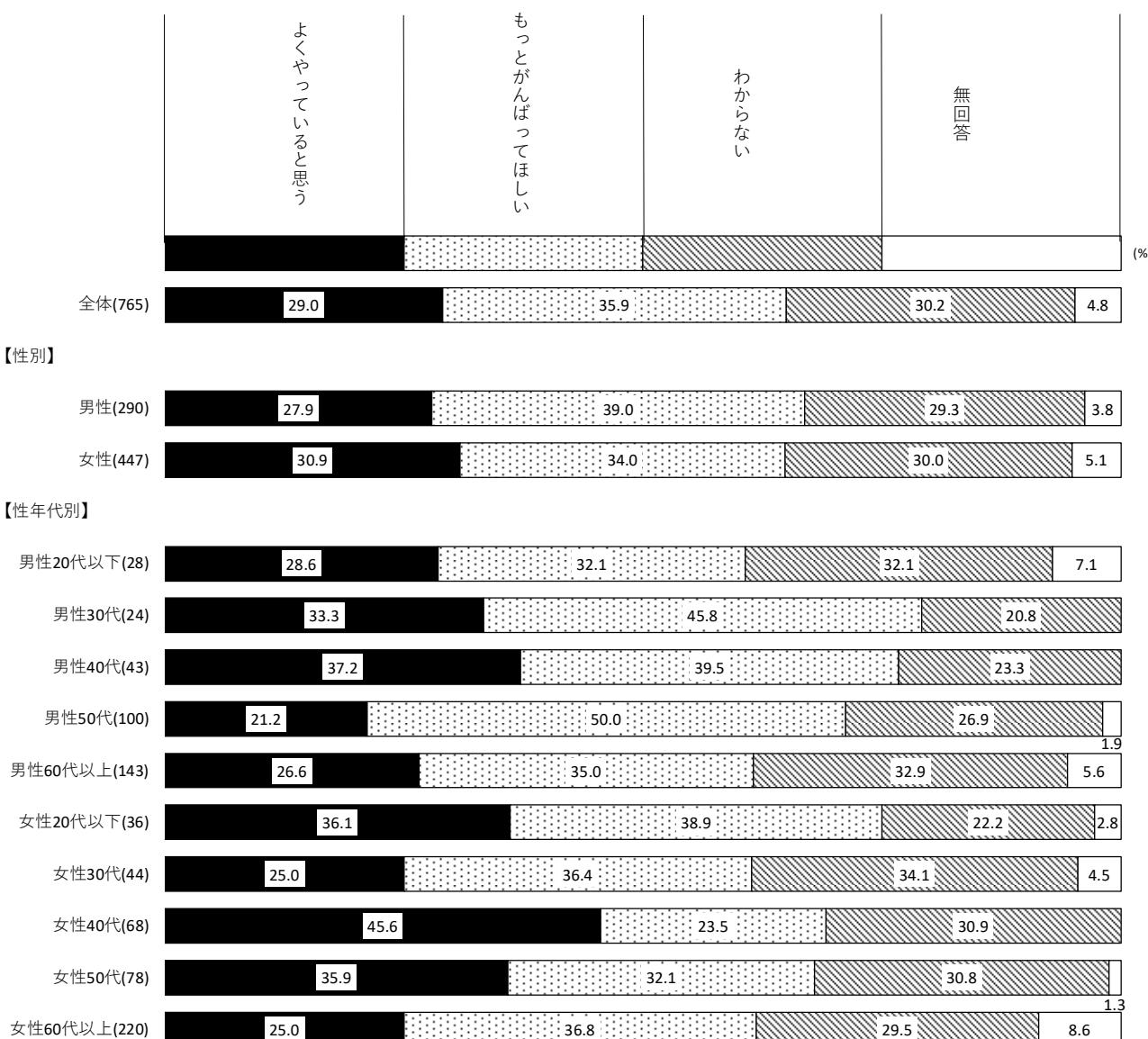


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <⑭公園の維持管理、地域緑化>

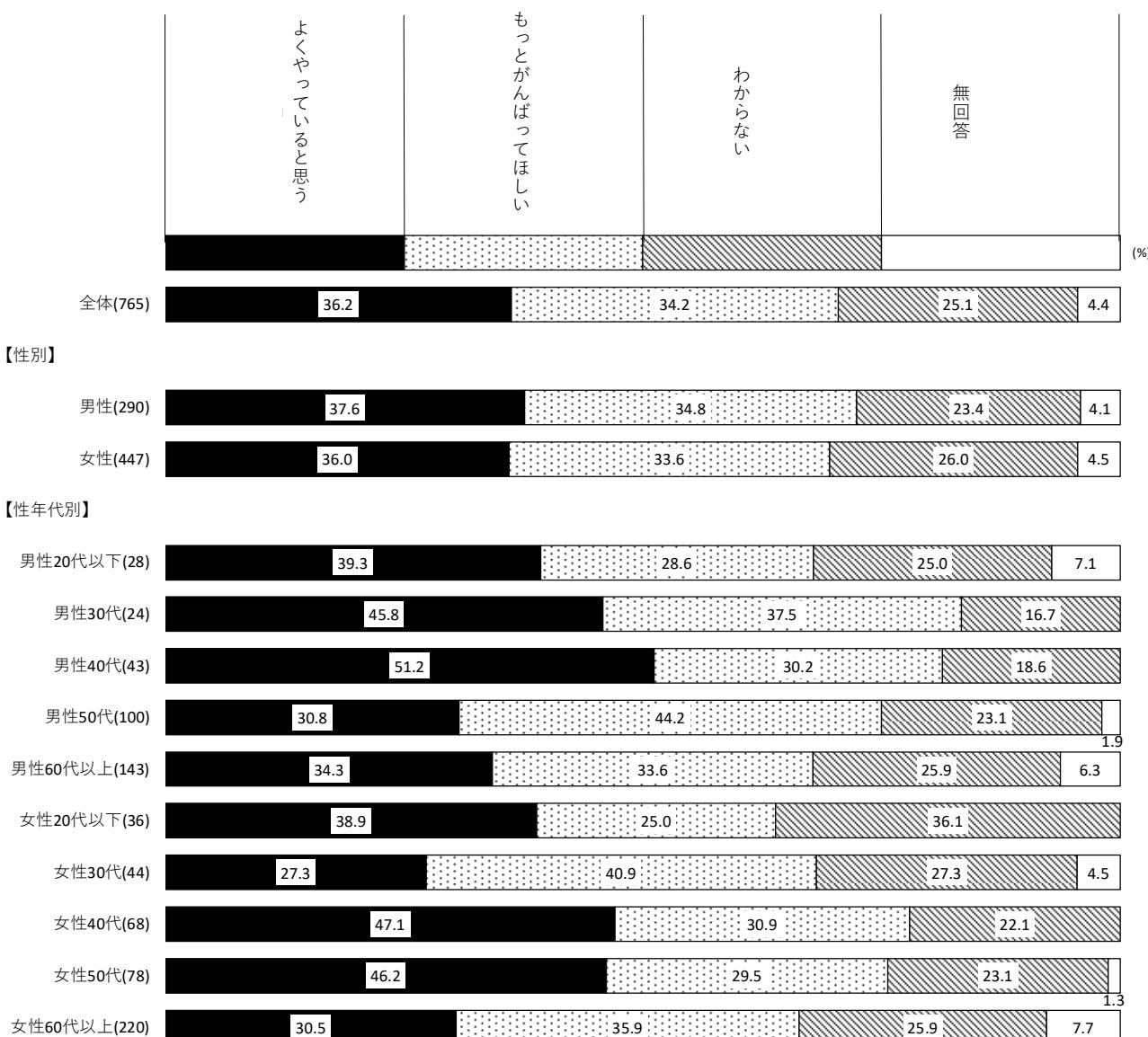


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <⑯道路の維持管理>

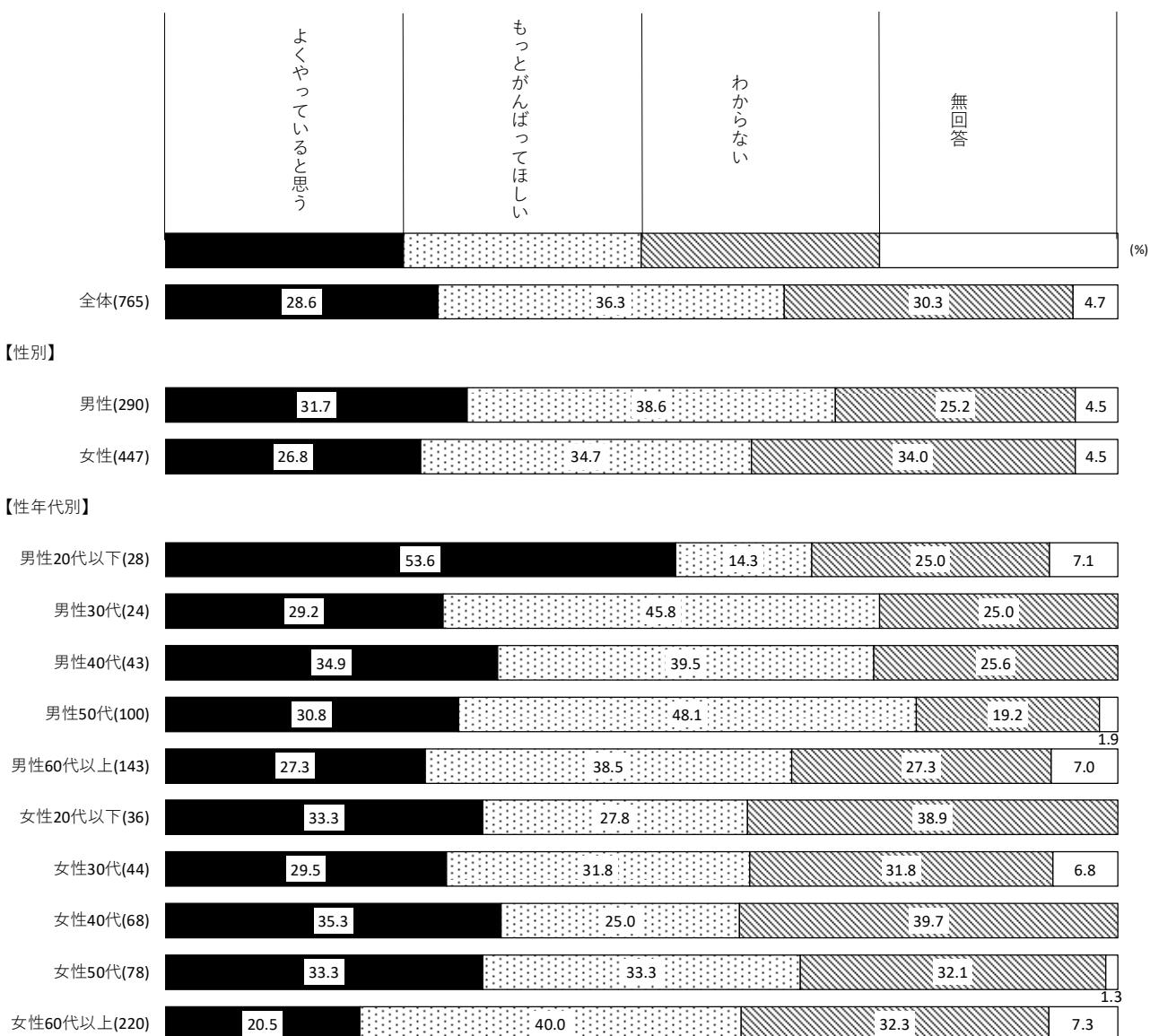


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <⑯文化振興>

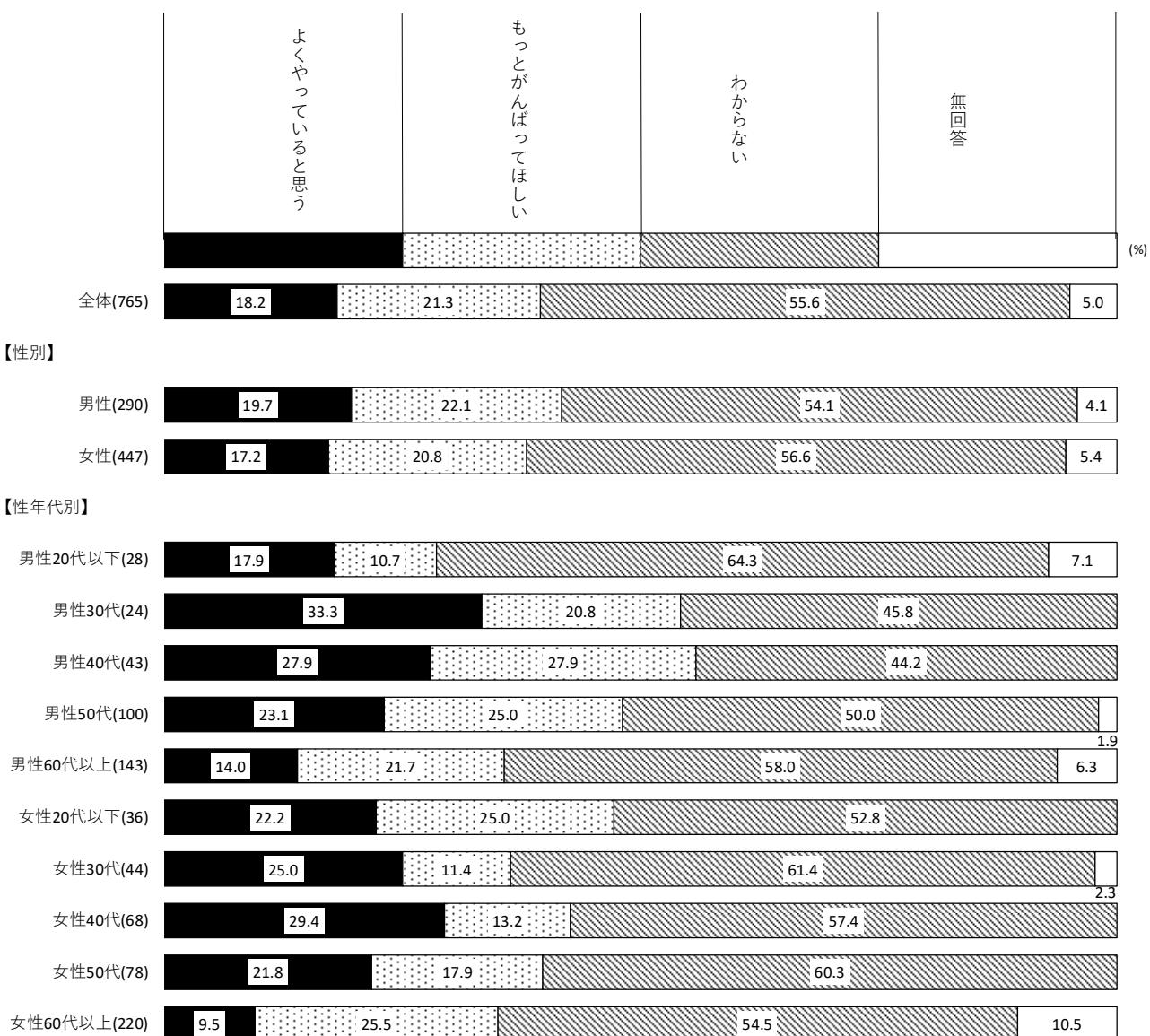


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <⑪スポーツ振興>

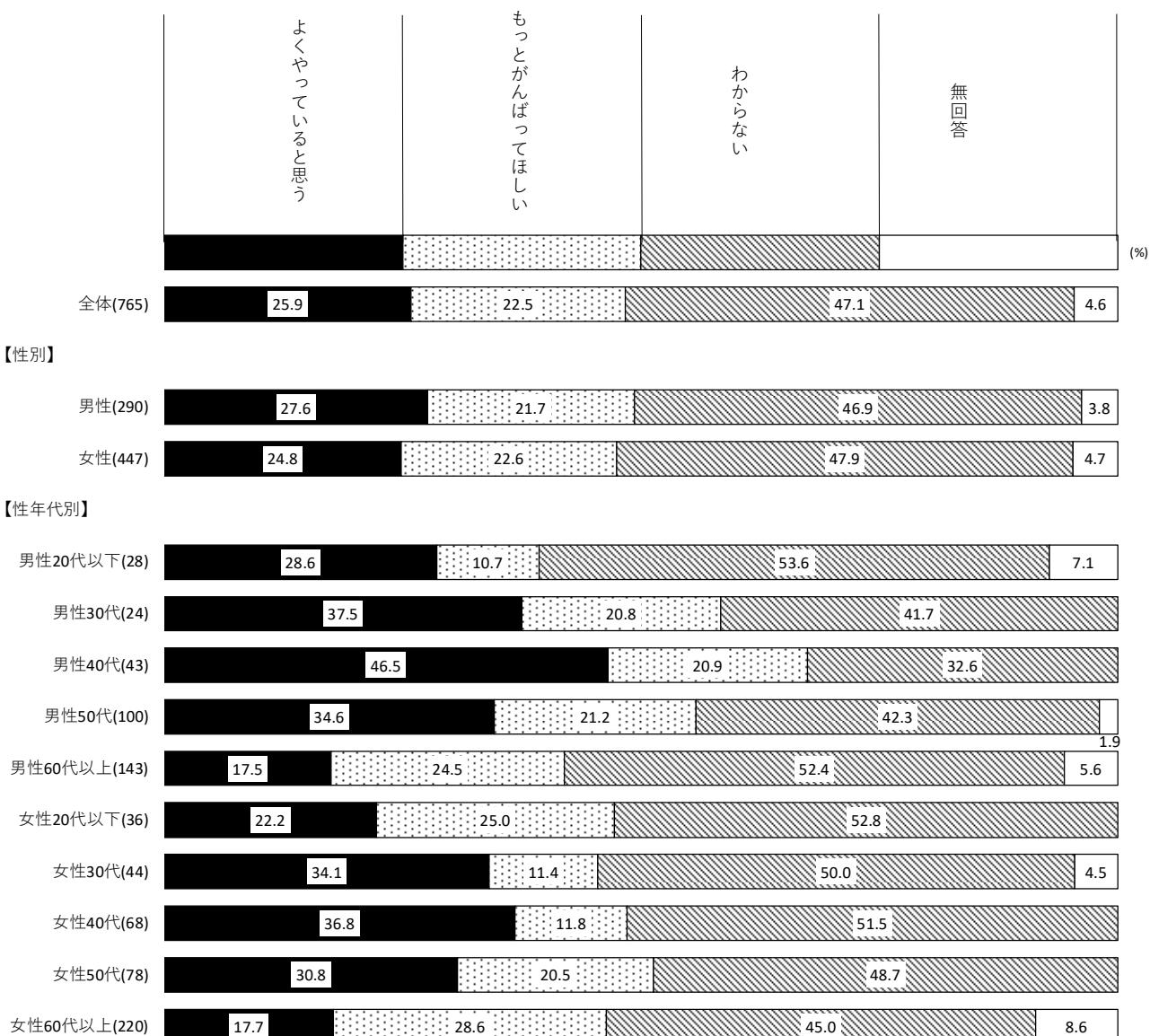


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <⑯地域資源（歴史、文化、産業など）を生かした取組

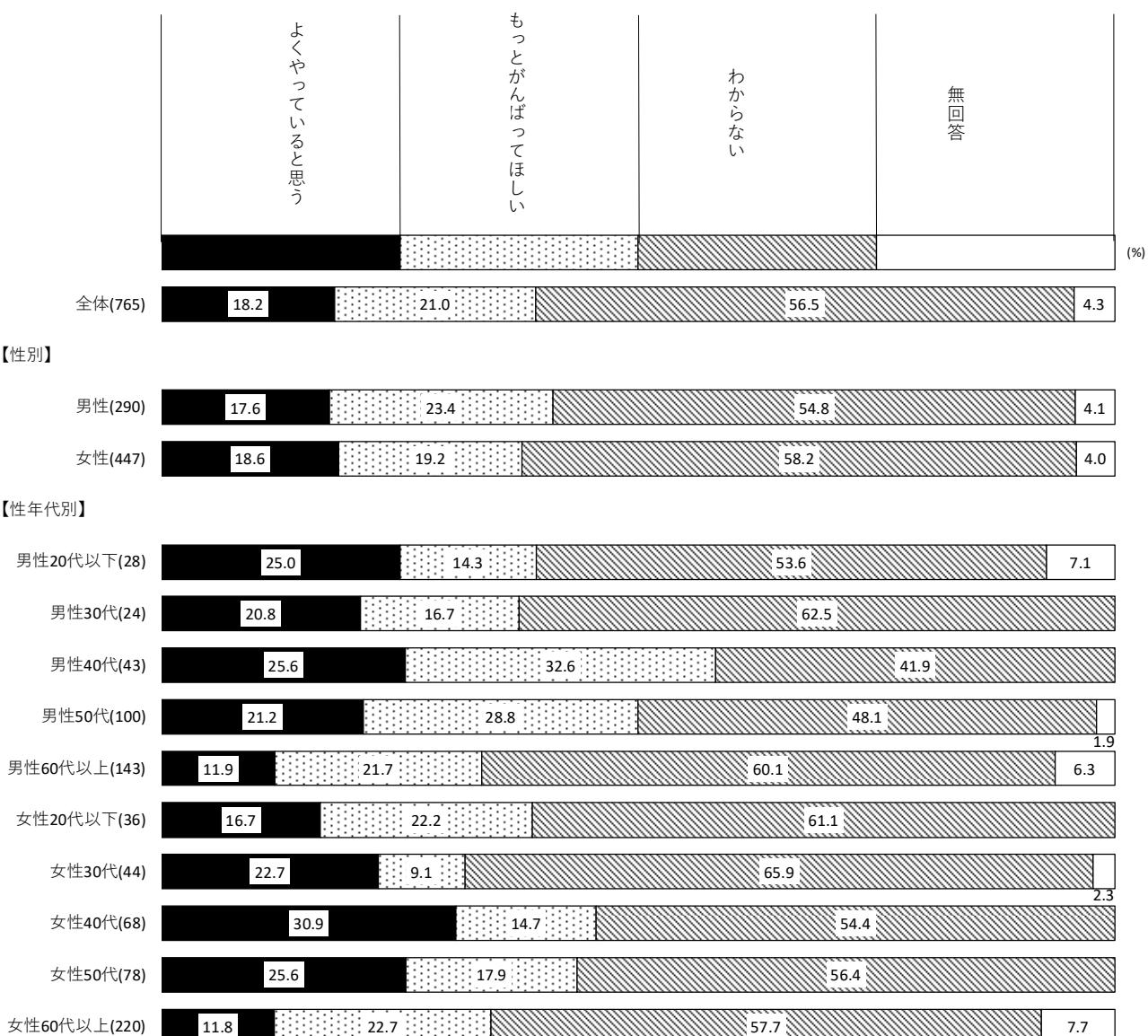


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <⑯外国人市民や多文化共生に関する事業>

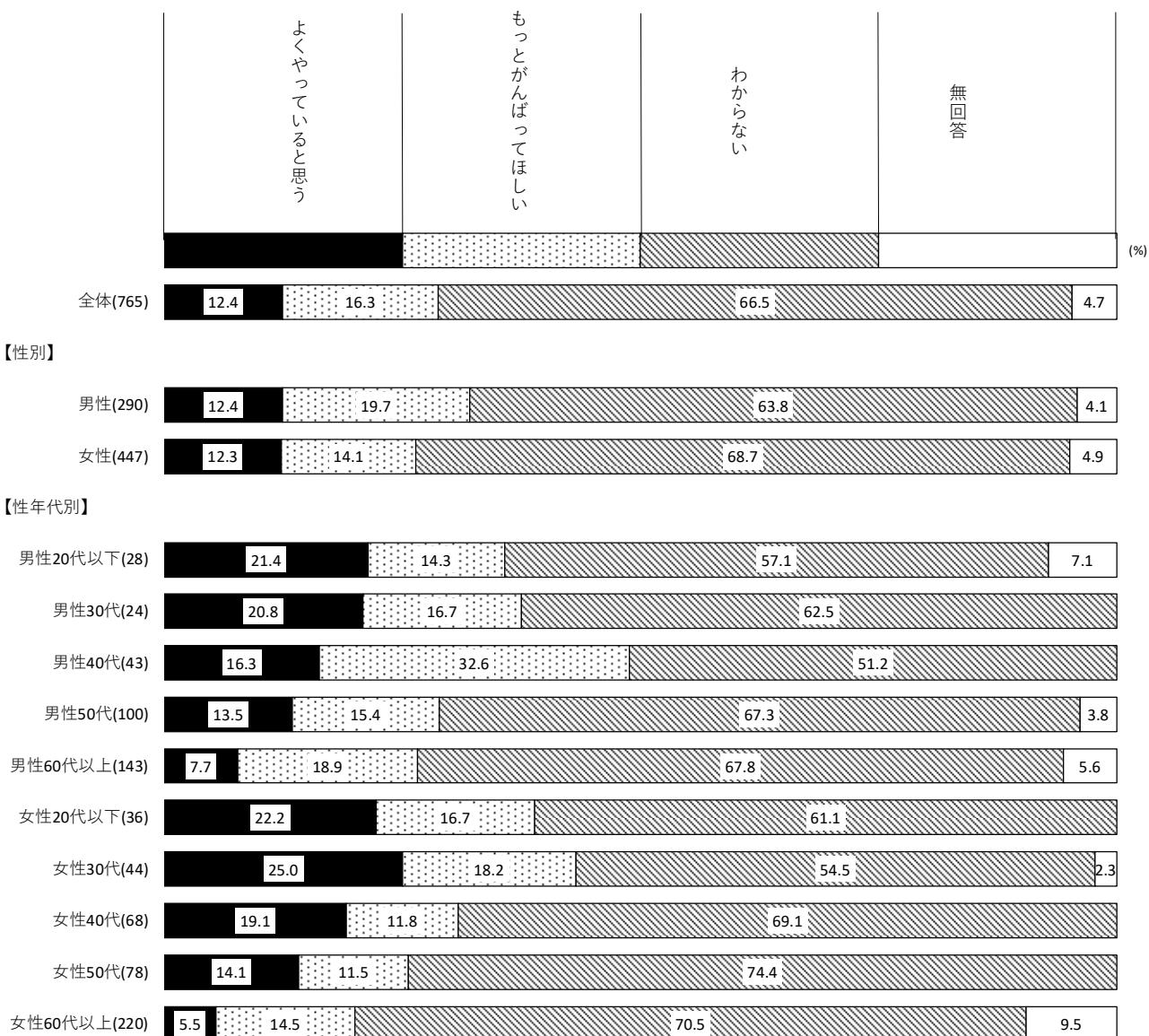


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <⑩区役所の手続きやイベントの広報>

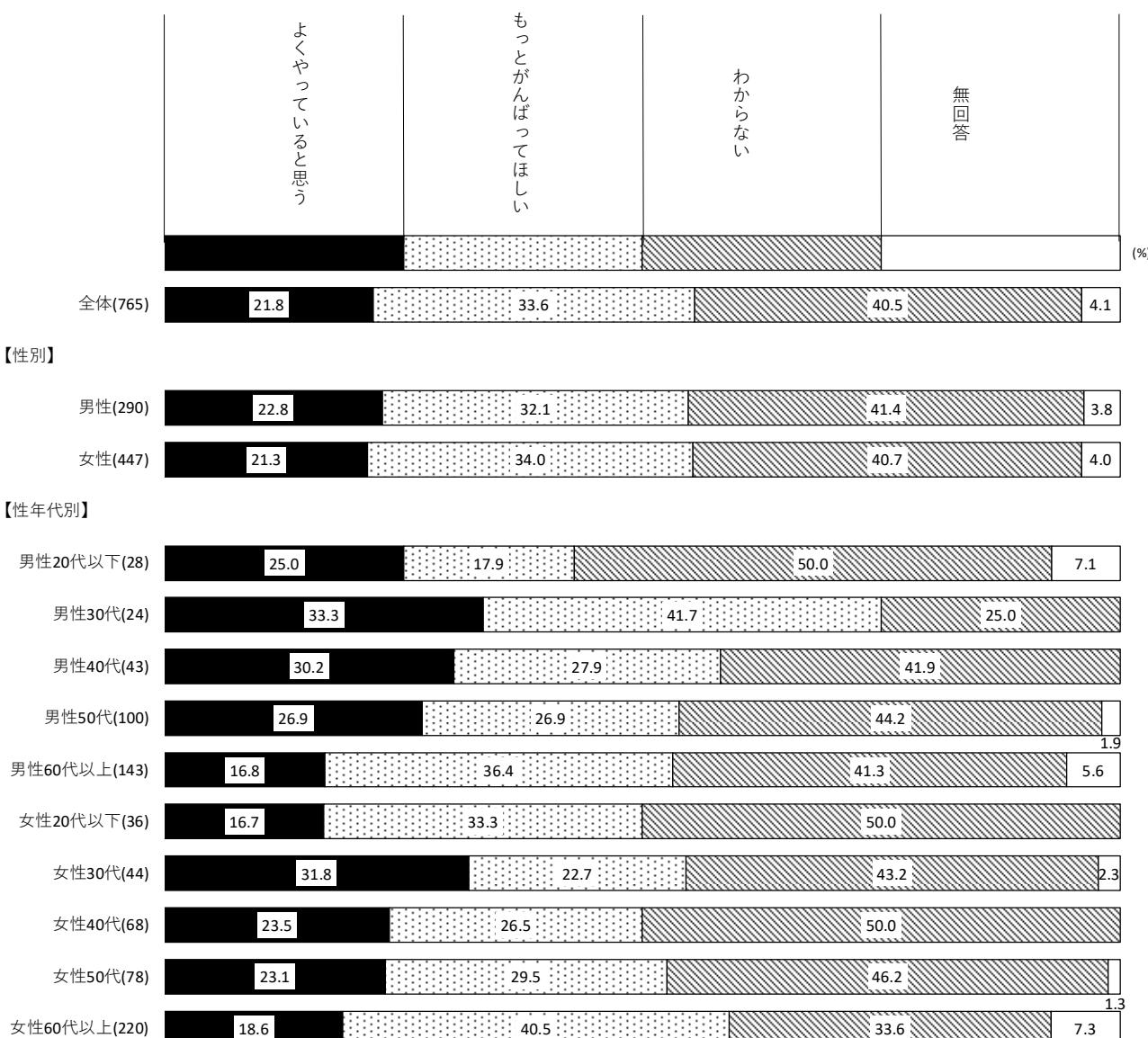
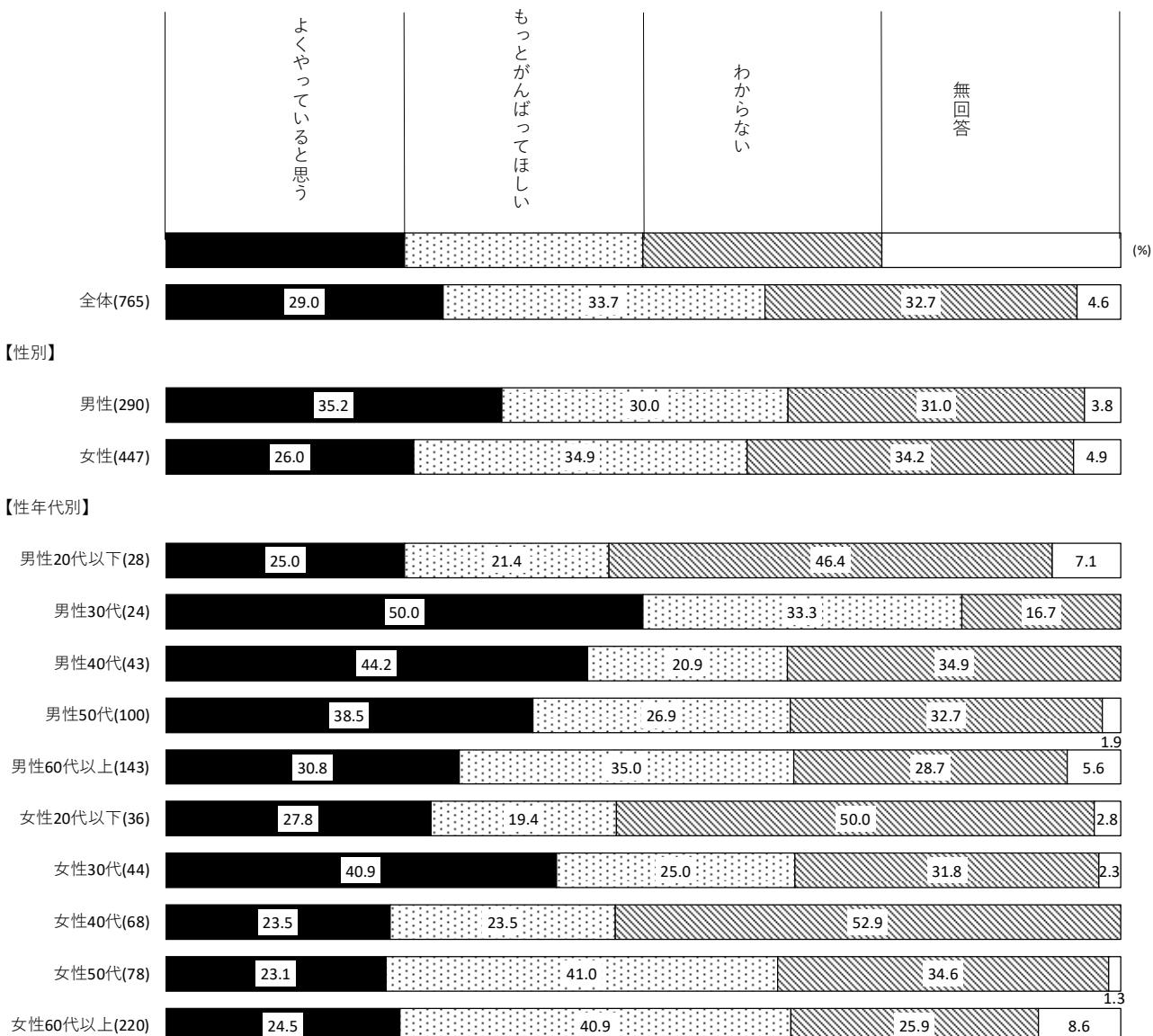


図2-2-2 川崎区役所の事業への評価 <②窓口サービスの向上>



(3) 川崎区役所の事業で力を入れるべき事業

問6 次の表にあげる川崎区役所の事業で、今後、特に力を入れるべきだと思う事業を教えてください。(あてはまるもの、すべてに○)

全 体 「防犯・防火対策」(44.3%)が最も高く、次いで「防災対策」(34.9%)、「高齢者福祉」(25.6%)となっている。(図2-3-1)

性 別 「交通安全対策」では、「男性」(29.3%)が「女性」(21.3%)よりも8.0ポイント高くなっている。また、「防犯・防火対策」では「男性」(48.3%)が「女性」(41.2%)よりも7.1ポイント高くなっている。(図2-3-2)

性 年 代 別 「高齢者福祉」では、「男性60代以上」(30.1%)、「女性60代以上」(32.3%)と、年代が高くなるにつれ、割合が高くなっている。「子ども・子育て支援」では、「女性30代」(43.2%)、「男性40代」(37.2%)が他の性年代に比べ高くなっている。(図2-3-2)

居 住 年 数 別 全体的に「3年以上10年未満」と「10年以上20年未満」が高くなっているが、「障害者福祉」については「10年以上20年未満」が「20年以上」より割合が低くなっている。(図2-3-3)

住みやすさ別	「とても住みにくい」の中では、「公園の維持管理、地域緑化」(25.0%)、「障害者福祉」(25.0%)が低くなっている。図2-3-3)
定住意向別	「防犯・防火対策」の「できれば市外へ移りたい」が58.0%最も高くなっていて、「障害者福祉」の「できれば市外へ移りたい」が10.1%と最も低くなっている。(図2-3-3)

図2－3－1 川崎区役所の事業で力を入れるべき事業

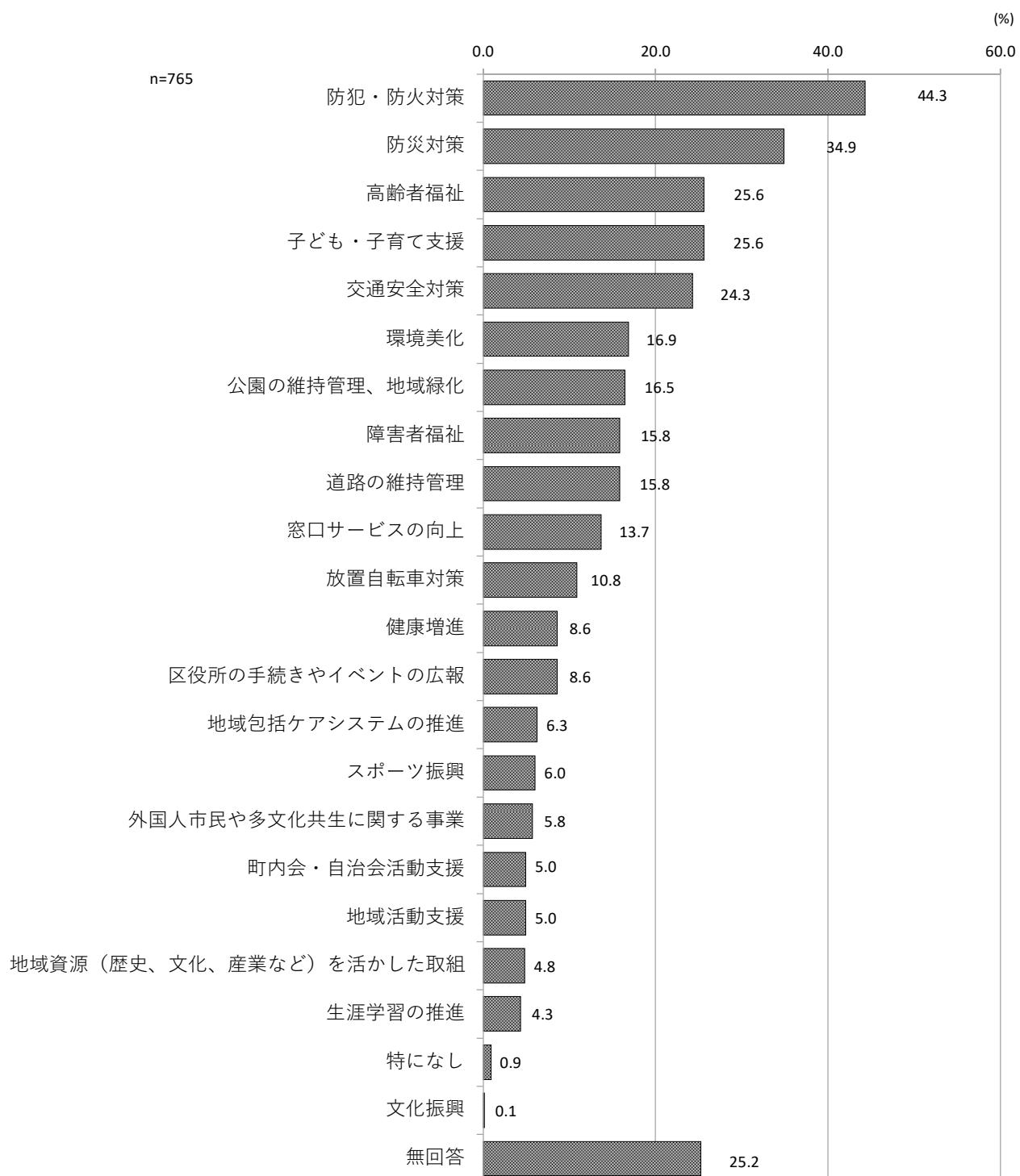
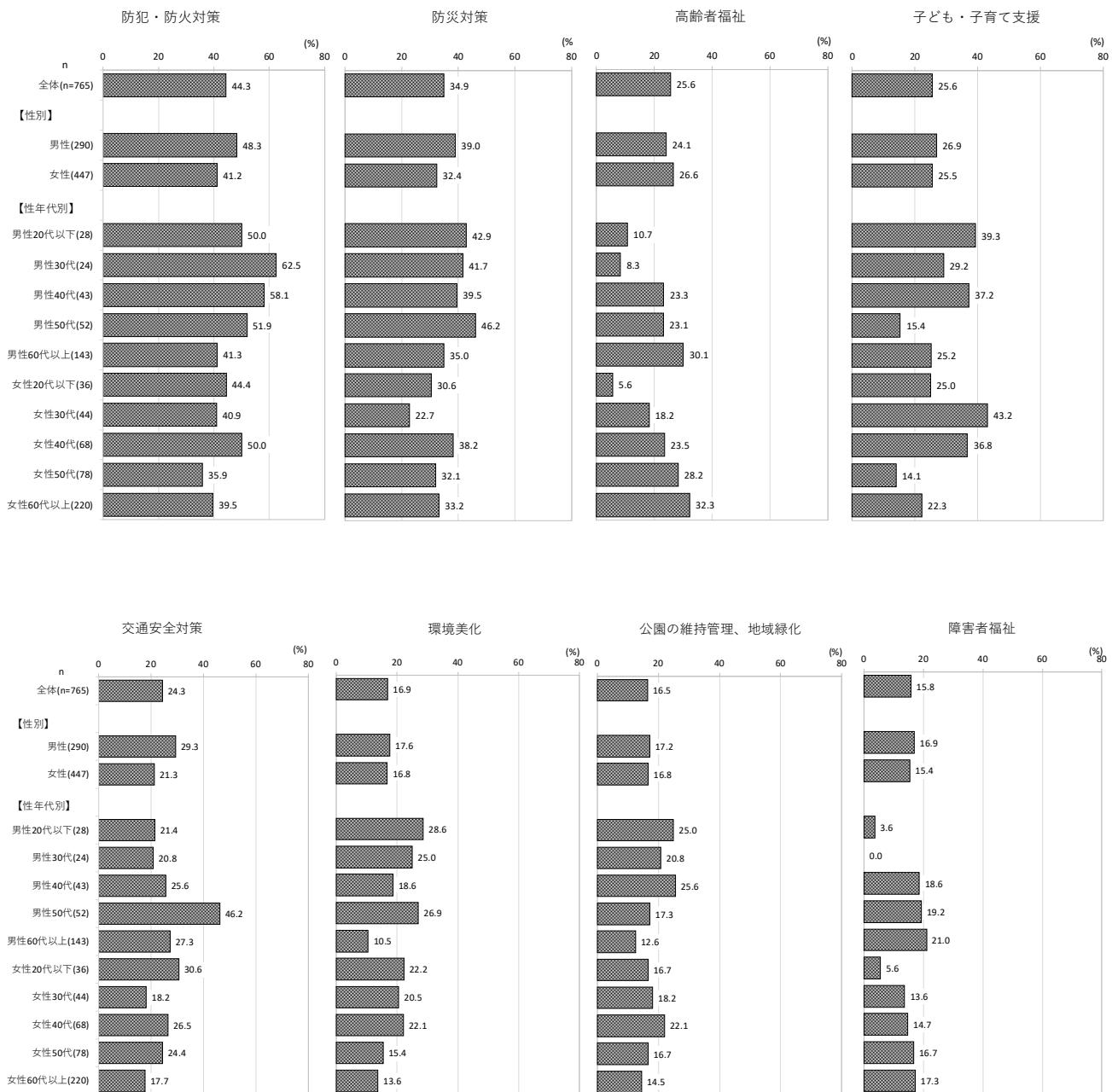


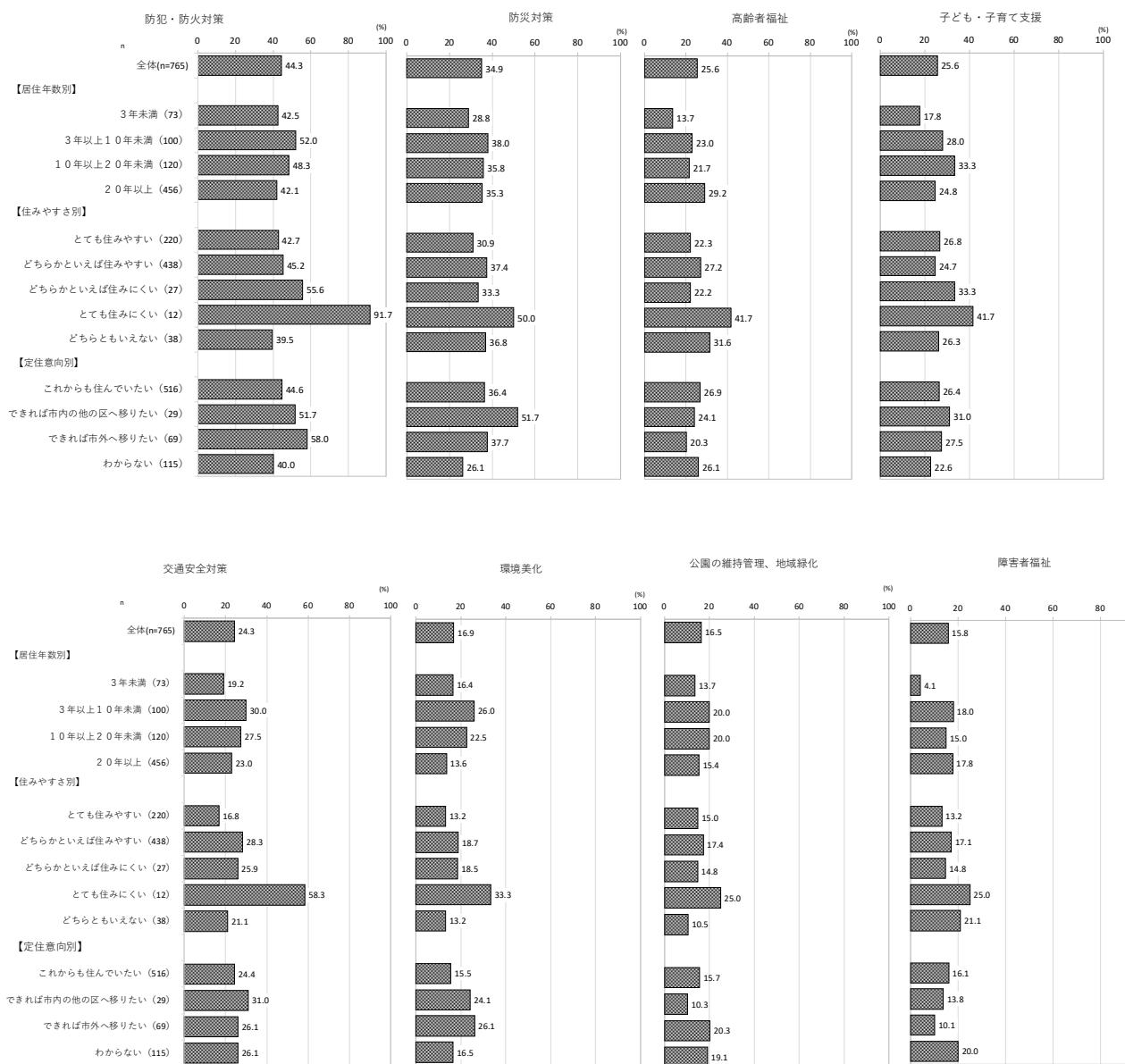
図2-3-2 川崎区役所の事業で力を入れるべき事業 <性別・性年代別>

(上位8項目)



**図2-3-3 川崎市（区）役所が特に力を入れるべきだと思う事業
<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>**

(上位8項目)



(4) 行政情報の入手手段

問7 川崎市(区)役所からの行政情報をどのように入手していますか。

(あてはまるものに、5つまで○)

全 体 「市政だより」(63.1%)が最も高く、次いで「町内会の回覧板や掲示板」(35.6%)、「タウン情報誌(タウンニュースなど)」(20.5%)となっている。一方、「特に情報を入手していない」は22.1%となっている。

(図2-4-1)

性 別 上位7項目及び「特に情報は入手していない」の中では、「会社・学校・近所の人の口コミ」が「女性」(14.8%)が「男性」(8.6%)よりも6.2ポイント高くなっている。

(図2-4-2)

性 年 代 別 上位7項目のうち上位5項目において、女性は、年代が高くなるにつれて「市政だより」の割合が高くなっている。「市や区のホームページ」では、男性、女性ともに30代が最も割合が高くなっている。

(図2-4-2)

図2－4－1 行政情報の入手手段

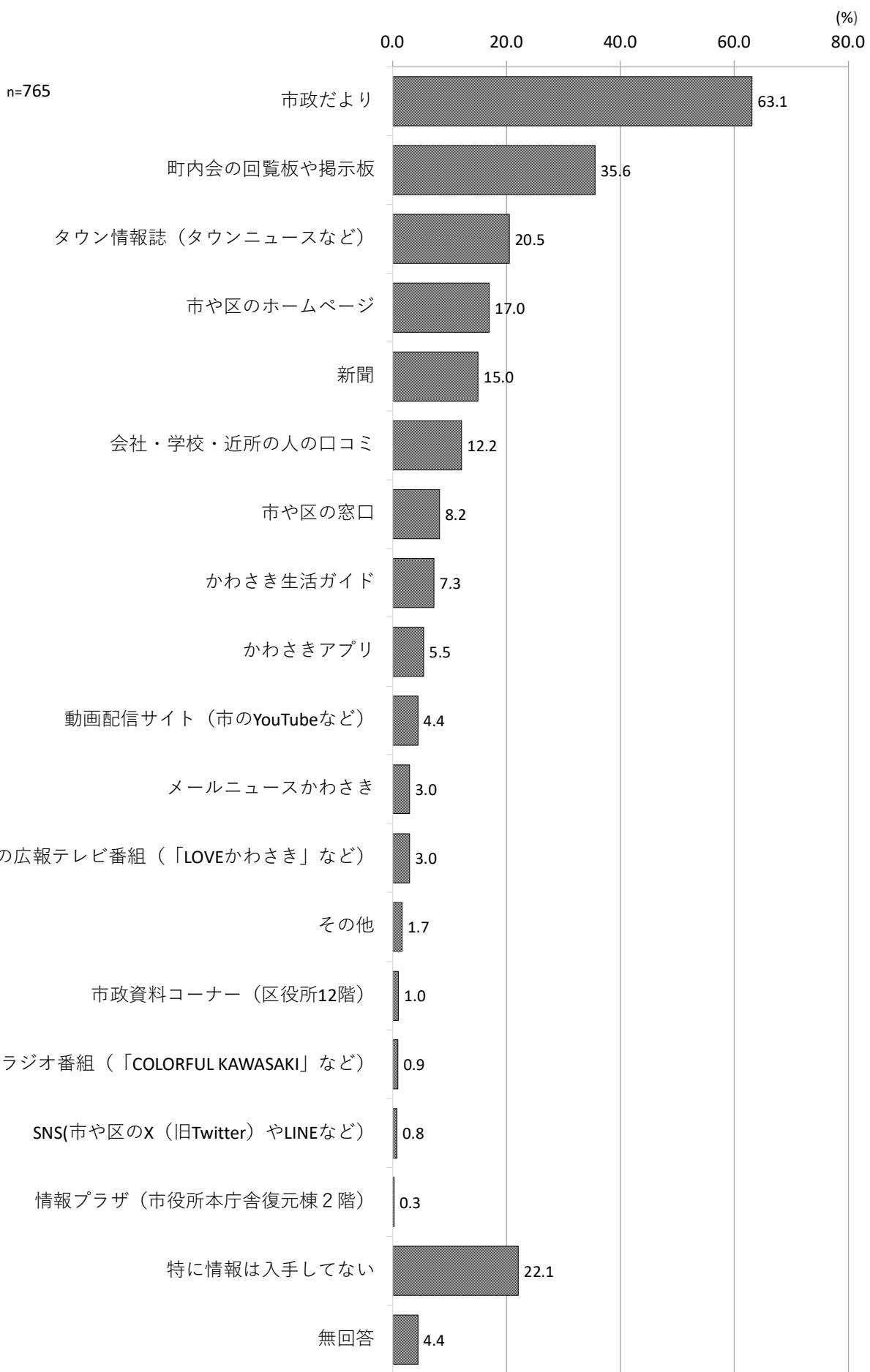
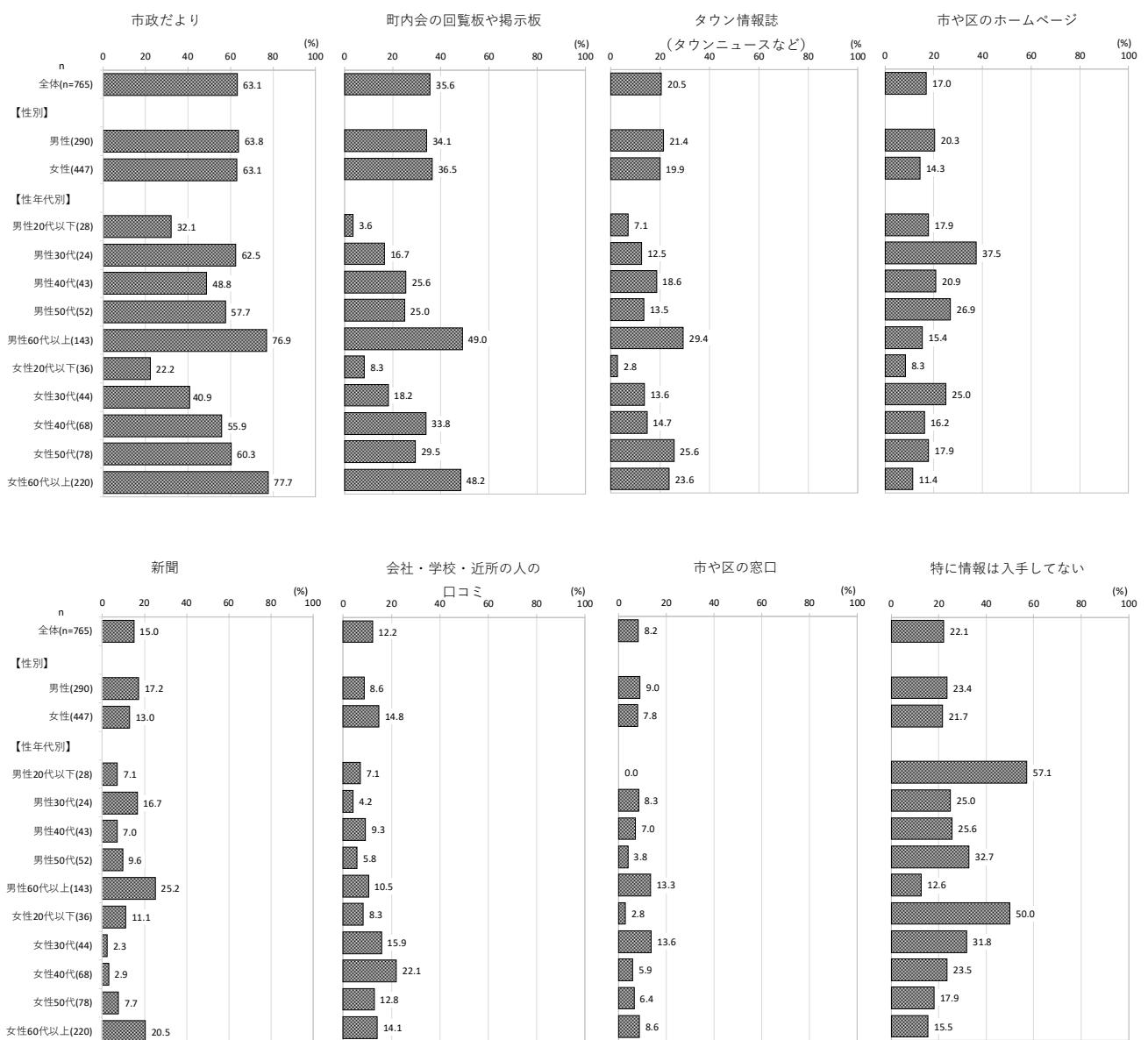


図2-4-2 行政情報の入手手段<性別・性年代別>
(上位7項目+「特に情報は入手していない」)



3 防災や風水害時の避難行動について

(1) 実践している防災の取組

問8 防災の取組として実践していることを教えてください。(あてはまるもの、すべてに○)

- 全 体 「ハザードマップの確認（自宅周辺の危険要素の把握）」(55.7%) が最も高く、次いで「最低3日分の非常食・飲料水の備蓄」(49.4%) となっている。一方、「特になし」は14.5%となっている。(図3-1-1)
- 性 別 上位8項目の中では、「ハザードマップの確認（自宅周辺の危険要素の把握）」で、「男性」(59.3%) が「女性」(53.5%) より6.2ポイント高くなっている。(図3-1-2)
- 性 年 代 別 「ハザードマップの確認（自宅周辺の危険要素の把握）」では、「男性」がどの年代でも5割以上となっており、その中でも「男性40代」では72.1%と、ほかの性年代に比べて最も高くなっている。「家族との連絡手段の確認」では、「女性30代」(43.2%)、「女性40代」(39.7%)、「男性60代以上」(35.7%) が他の性年代と比べて高くなっている。(図3-1-2)

図3－1－1 実践している防災の取組

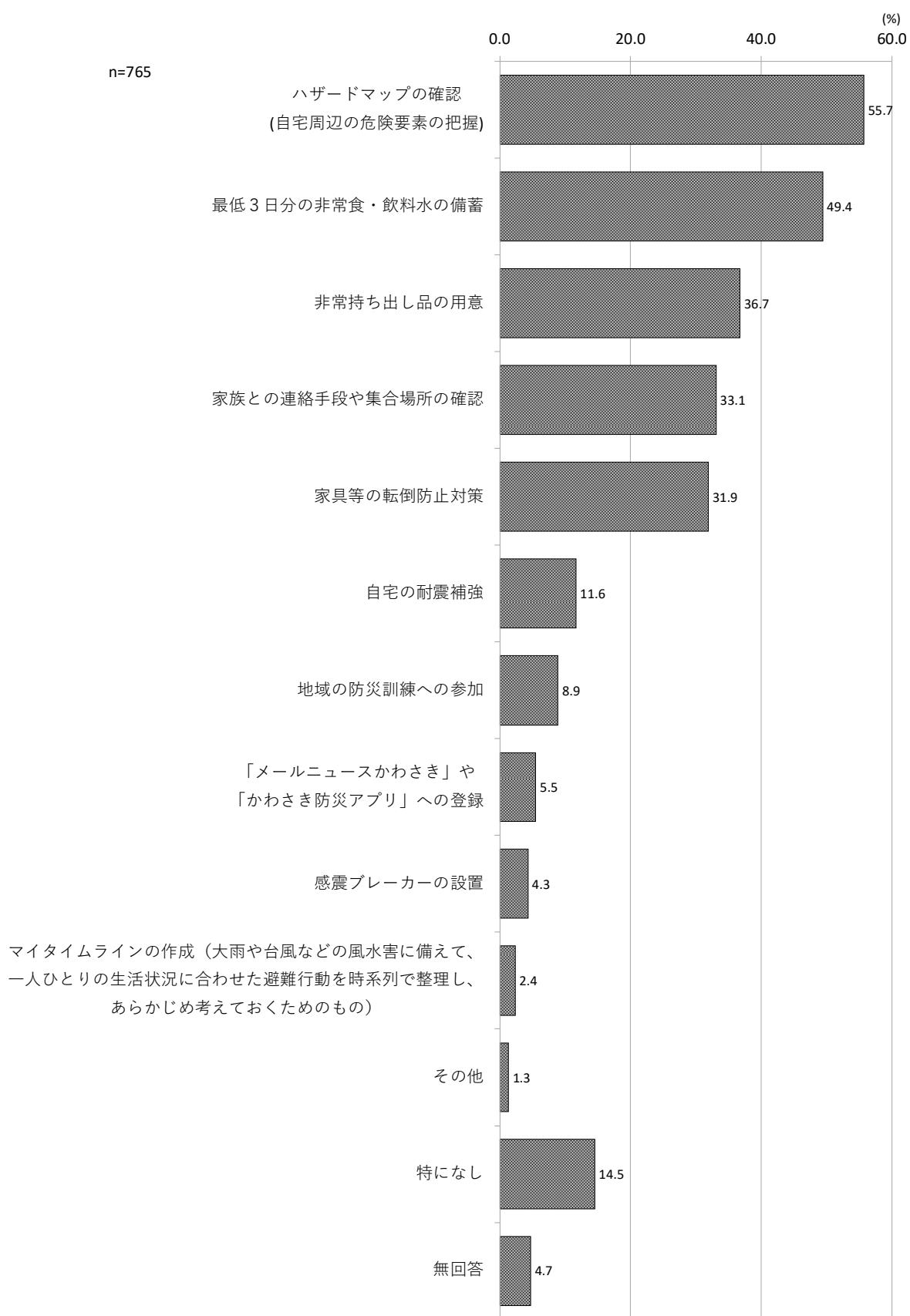
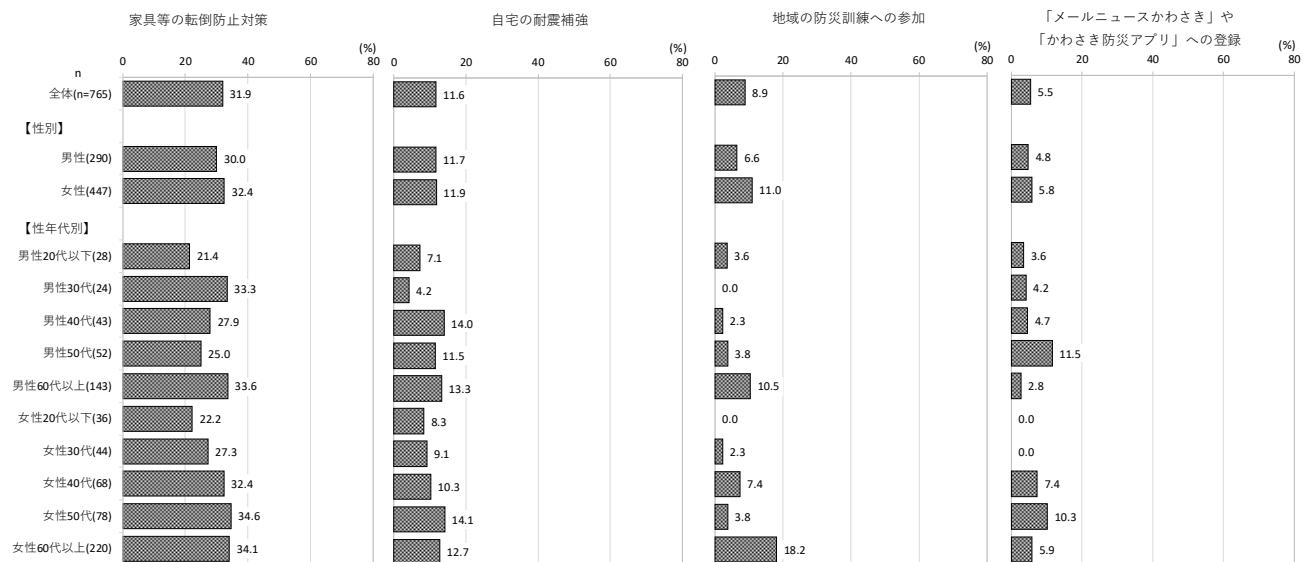
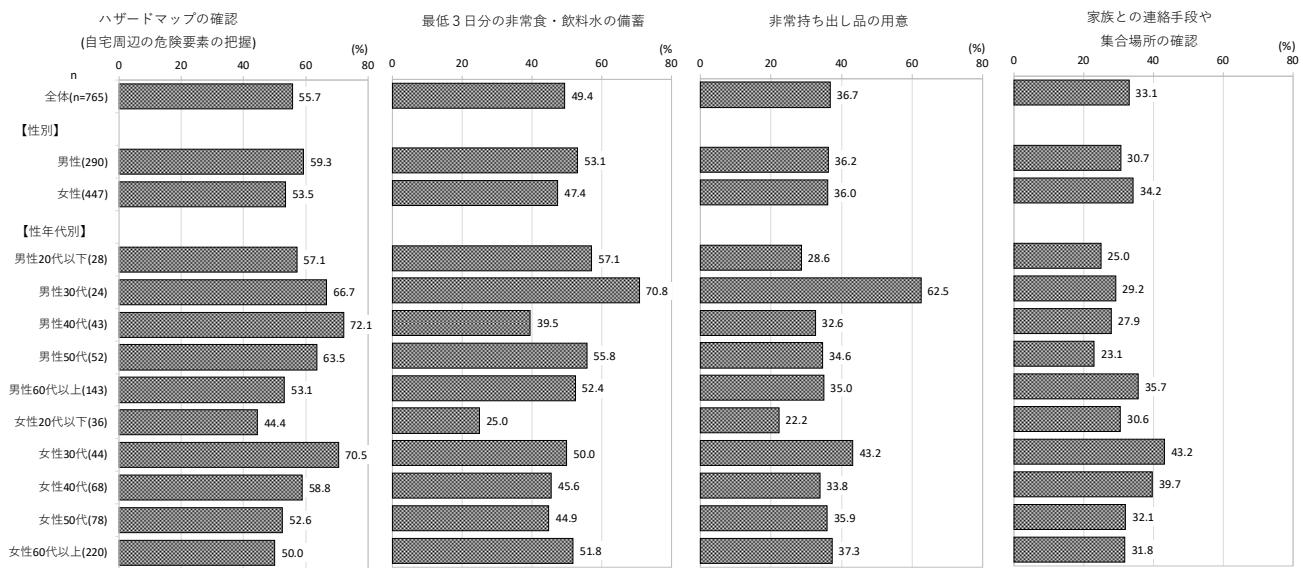


図3－1－2 実践している防災の取組 <性別・性年代別>

(上位8項目)



(2) 災害時の防災情報の収集手段

問9 災害時、どのように防災情報を集めるかを教えてください。(あてはまるもの、すべてに○)

- 全 体 「テレビ」(76.9%)が最も高く、次いで「携帯電話やスマートフォンの緊急速報メール」(57.6%)、「インターネット」(41.2%)となっている。
(図3-2-1)
- 性 別 上位8項目の中では、「インターネット」で「男性」(47.9%)が「女性」(36.5%)より11.4ポイント高く、「携帯電話やスマートフォンの緊急速報メール」で「女性」(60.4%)が「男性」(54.1%)より6.3ポイント高くなっている。(図3-2-2)
- 性 年 代 別 「テレビ」では、「男性20代以下」(46.4%)、「女性20代以下」(58.3%)を除き、すべての性年代で7割以上となっている。「SNS(TwitterやLINEなど)」では、「女性60代以上」(16.8%)、「男性60代以上」(15.4%)と、男性・女性ともに年代が高くなるにつれて割合が低くなる傾向がある。「市や区の広報車」では、「男性60代以上」(19.6%)が他の性年代に比べて高くなっている。(図3-2-2)

図3－2－1 災害時の防災情報の収集手段

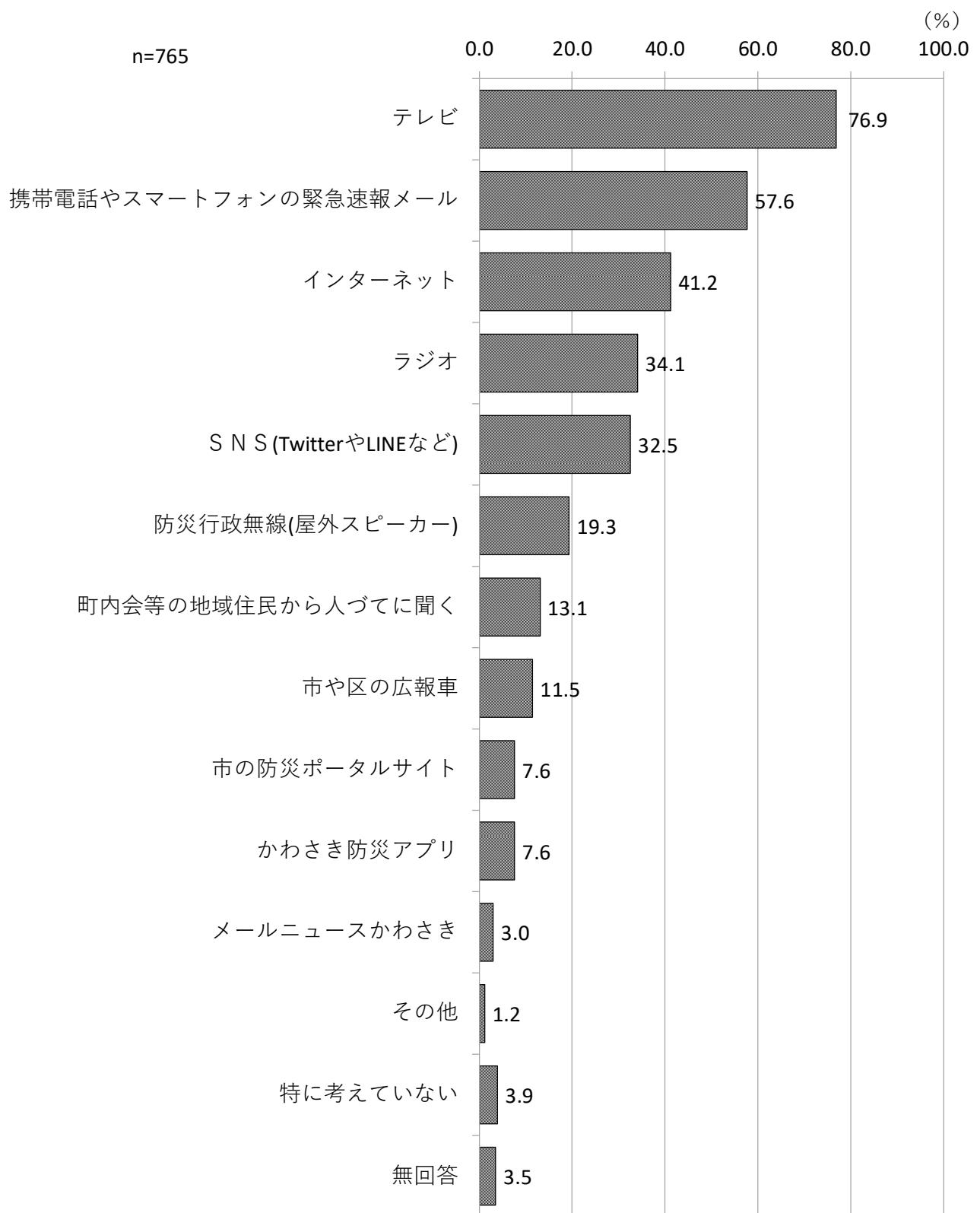
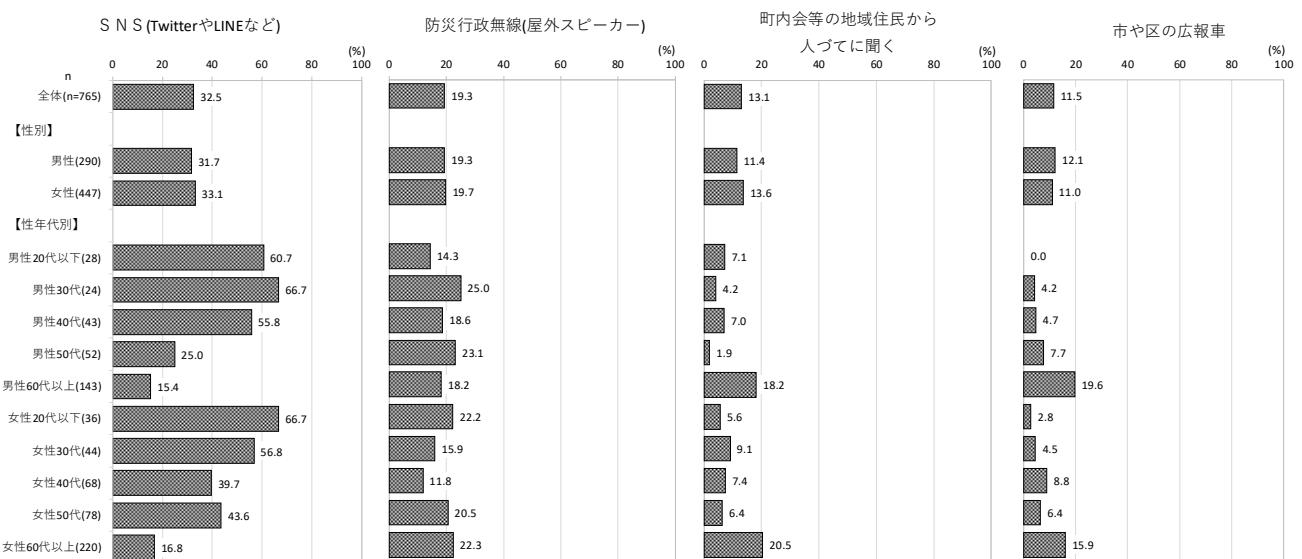
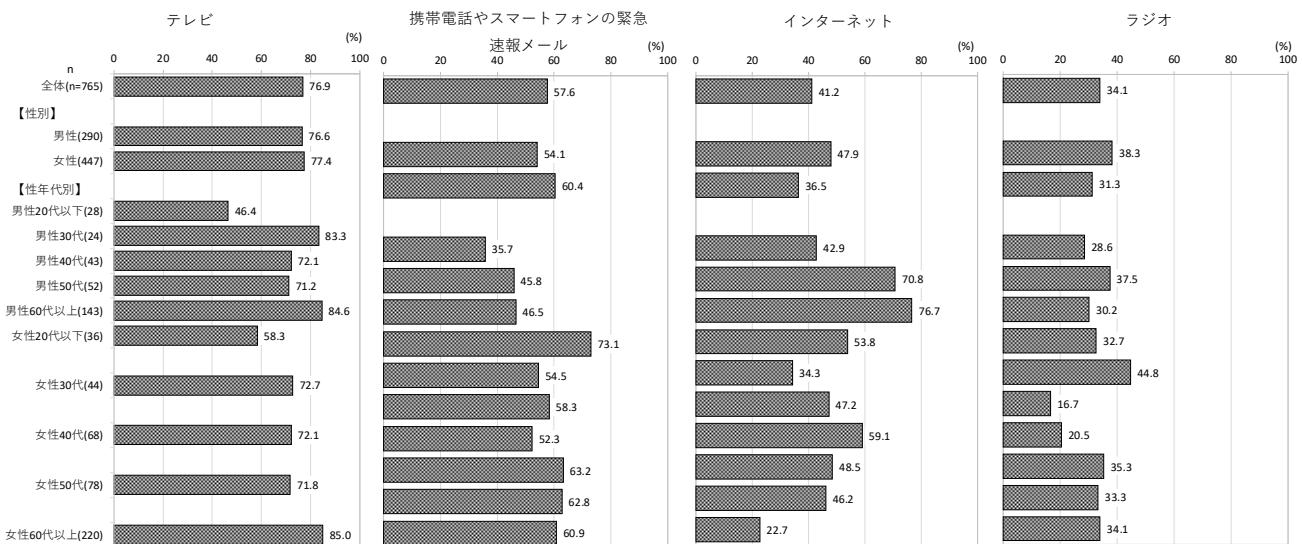


図3－2－2 災害時の防災情報の収集手段 <性別・性年代別>

(上位8項目)



(3) 避難場所

問 10 台風・大雨などの風水害時に避難指示が出された場合、どこに避難するか教えてください。

(あてはまるもの 1 つに○)

全 体 「自宅が風水害に強いため避難しない(浸水のないエリアまたはマンション上層階など)」(28.6%) が最も高く、次いで「学校などの指定緊急避難場所に避難する」(26.0%)、「自宅の上層階(2階または3階以上)に避難する」(20.1%) となっている。(図3-3-1)

性 別 「自宅が風水害に強いため避難しない(浸水やがけ崩れ等のないエリアまたはマンション上層階など)」では「女性」(29.5%) が「男性」(27.9%) より1.6ポイント高く、「自宅の上層階(2階または3階以上)に避難する」では「男性」(24.1%) が「女性」(17.4%) より6.7ポイント高くなっている。(図3-3-2)

性 年 代 別 「自宅が風水害に強いため避難しない(浸水のないエリアまたはマンション上層階など)」では、「男性20代以下」(42.9%) と最も高く、次いで「女性50代」(34.6%)、「女性40代」(33.8%) となっている。
(図3-3-2)

図3－3－1 避難場所

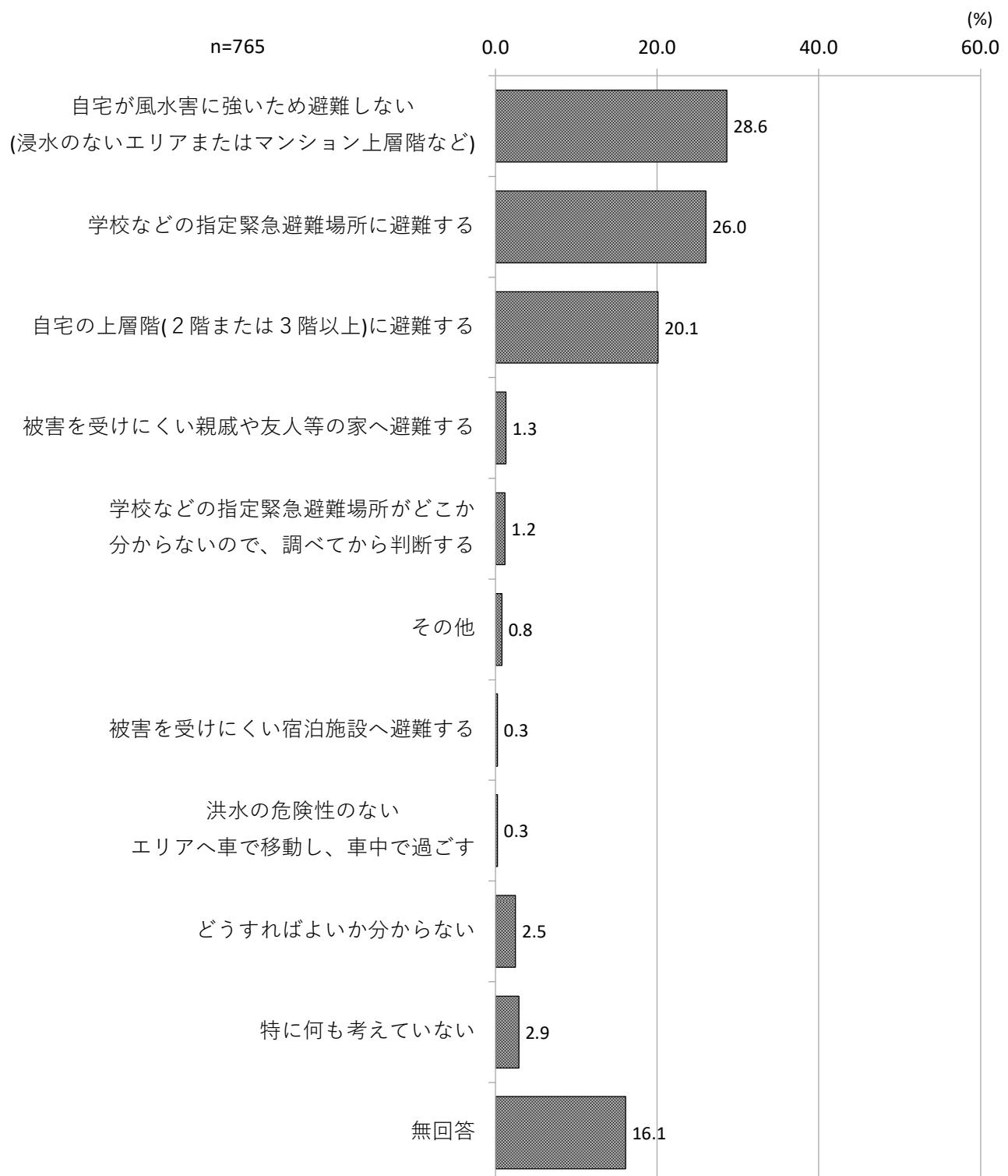
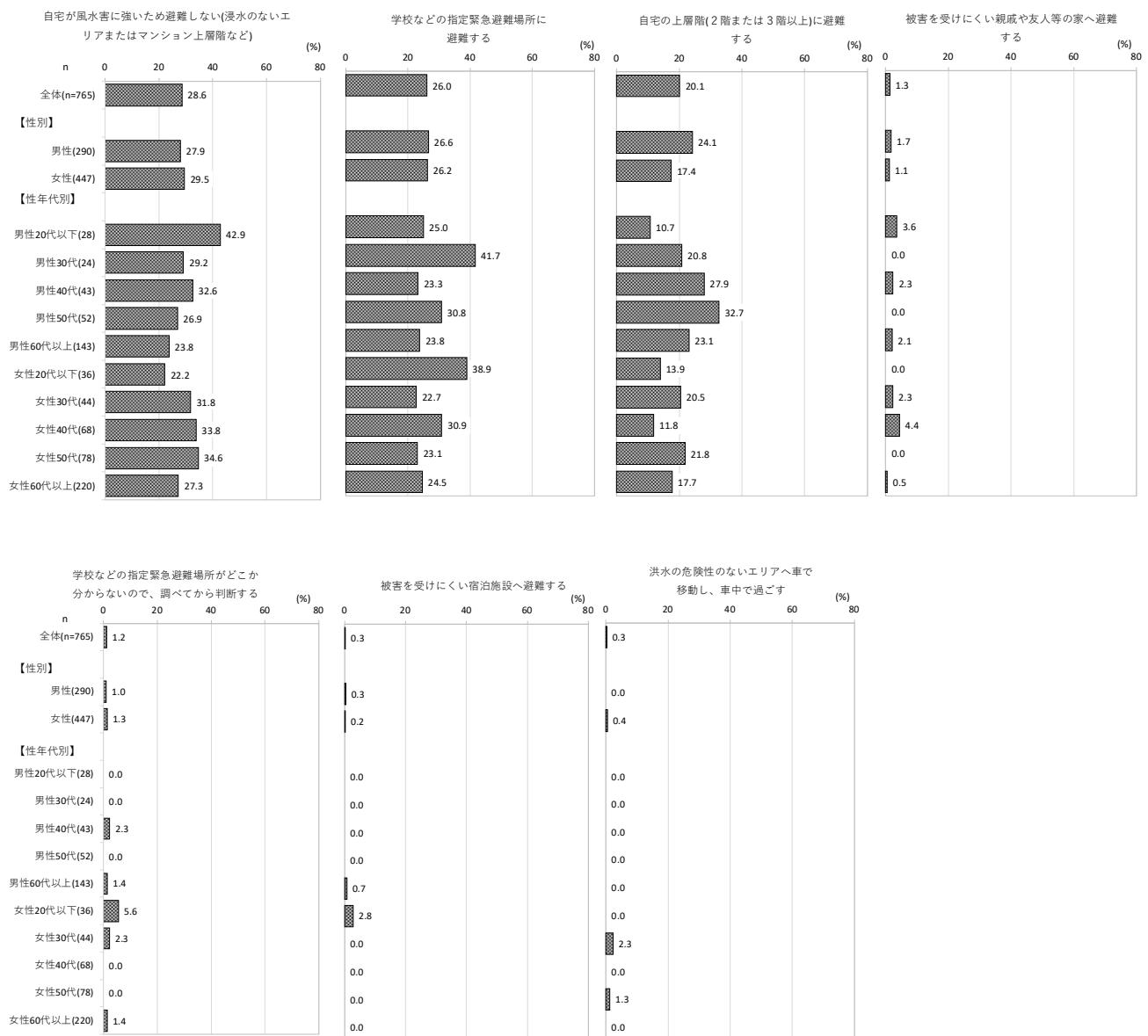


図3-3-2 避難場所 <性別・性年代別>



4 自転車の利用について

(1) 自転車の利用・ヘルメットの着用状況

問11 普段から自転車を利用しますか。また、利用するときはヘルメットを着用していますか。

(あてはまるもの1つに○)

全 体 ヘルメットの着用有無にかかわらず、「ヘルメットを着用して利用している」と「ヘルメットを着用せず利用している」を合わせた<利用している>が53.1%、「利用していない」が41.1%となっている。(図4-1-1)

性 別 性別では、大きな差は見られなかった。(図4-1-2)

性 年 代 別 「ヘルメットを着用して利用している」と「ヘルメットを着用せず利用している」を合わせた<利用している>では、「女性40代」(69.1%)が最も高く、次いで「男性50代」(65.4%)、「男性20代以下」(57.1%)となっている。(図4-1-2)

図4-1-1 自転車の利用状況

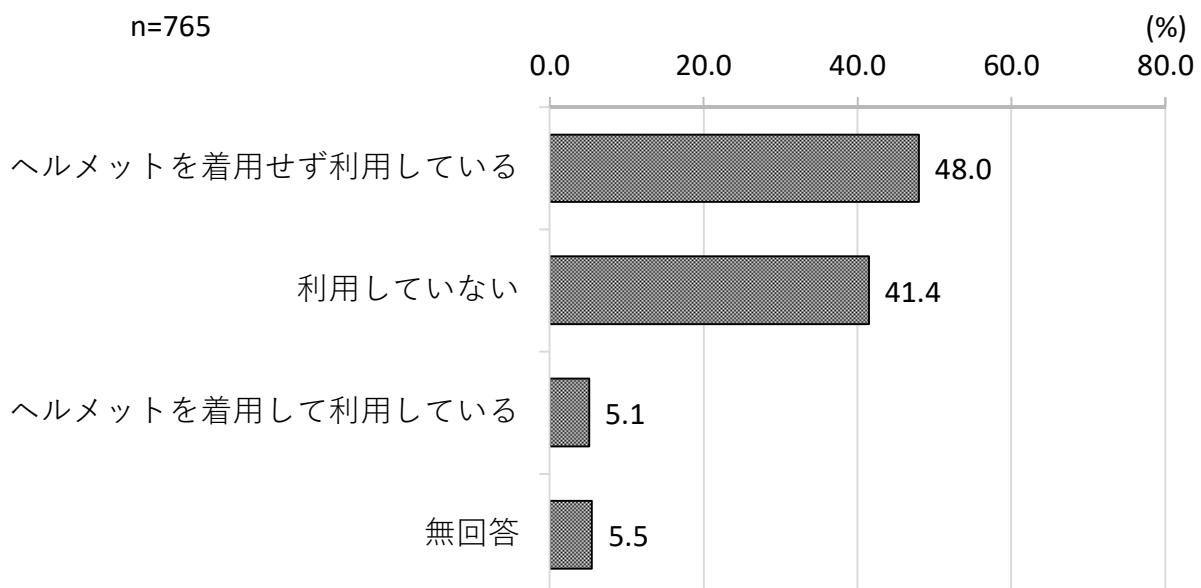
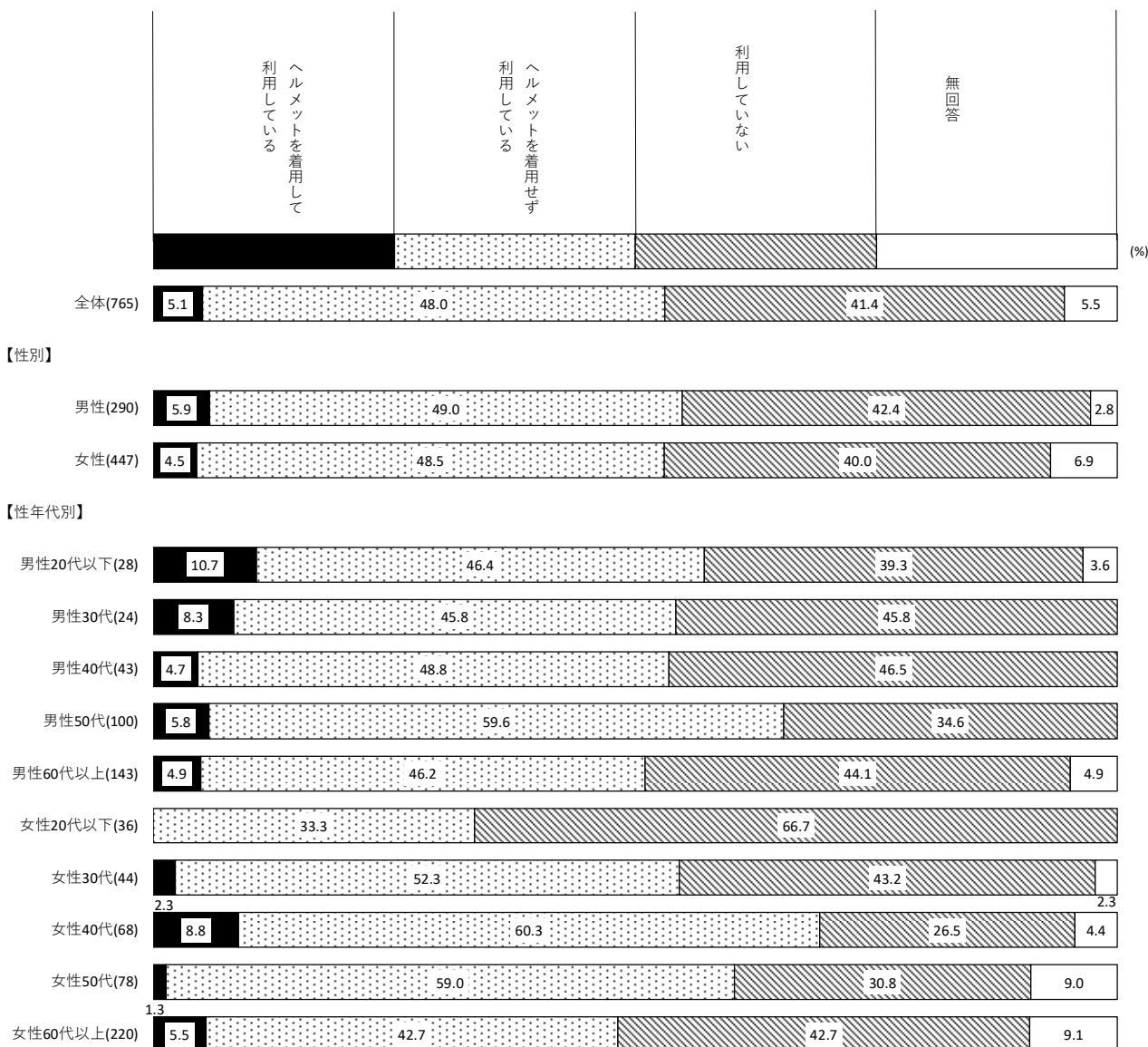


図4－1－2 自転車の利用状況 <性別・性年代別>



(2) 自転車保険の加入義務への認知度

問12 神奈川県内を自転車で通行する場合は、自転車保険に加入しなければいけないことを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「知っており、加入もしている」と「知っているが、加入していない」、「自転車を利用しないが、知っている」を合わせた<加入をしなければいけないことを知っている>が69.5%、「知らない」が25.4%となっている。(図4-2-1)

性 別 性別では、大きな差は見られなかった。(図4-2-2)

性 年 代 別 「知っており、加入もしている」と「知っているが、加入していない」、「自転車を利用しないが、知っている」を合わせた<加入をしなければいけないことを知っている>では、「女性40代」(83.8%)が最も高く、次いで「男性50代」(80.8%)、「男性40代」(76.7%)となっており、全ての性年代で5割以上が「知っている」と回答している。(図4-2-2)

図4-2-1 自転車保険の加入義務への認知度

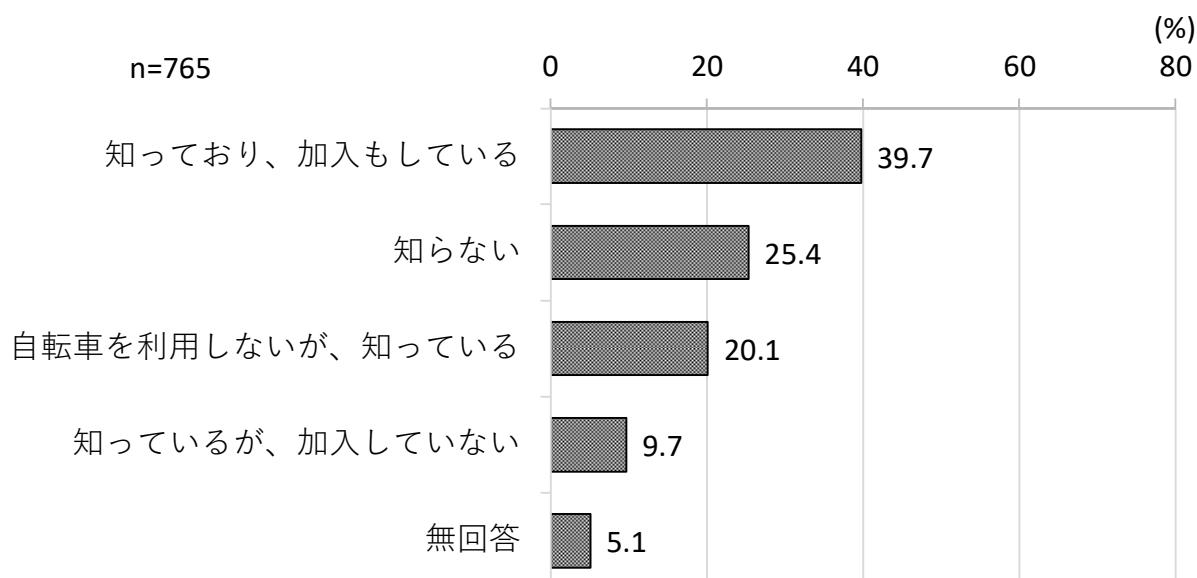
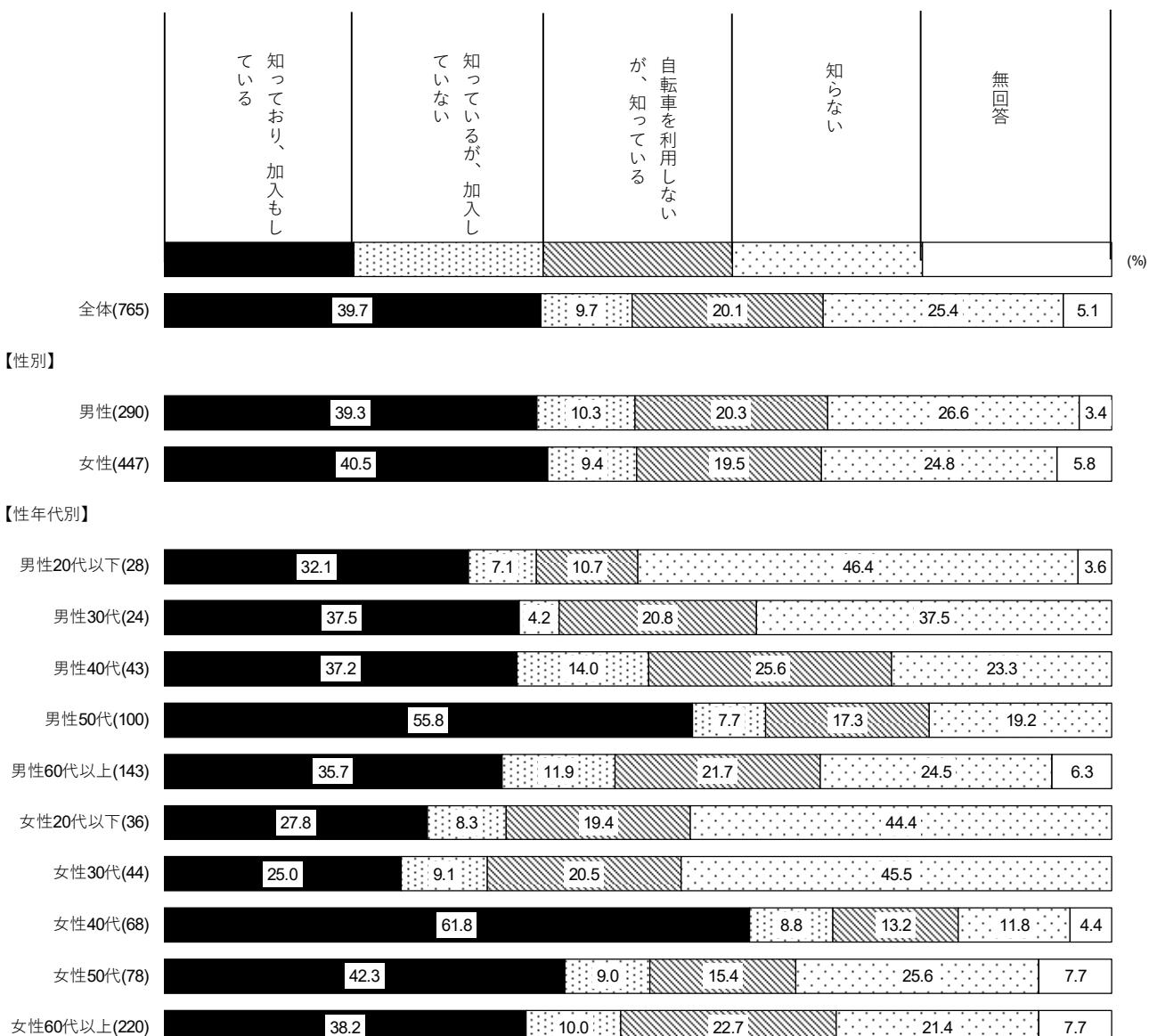


図4－2－2 自転車保険の加入義務への認知度 <性別・性年代別>



(3) 道路交通法改正の認知度

問13 道路交通法の改正（令和6年11月1日施行）により、自転車運転中の携帯電話等の使用や酒気帯運転が、新たに罰則の対象となることを知っていますか。（あてはまるもの1つに○）

- 全 体 「知っている」が88.5%、「知らない」が9.2%となっている。（図4-3-1）
- 性 別 性別では、「知っている」で男性・女性ともに8割後半以上と、大きな差は見られなかった。（図4-3-2）
- 性 年 代 別 「男性20代以下」(64.3%)を除いたすべての性年代で「知っている」が8割以上となっていた。（図4-3-2）

図4-3-1 道路交通法改正の認知度

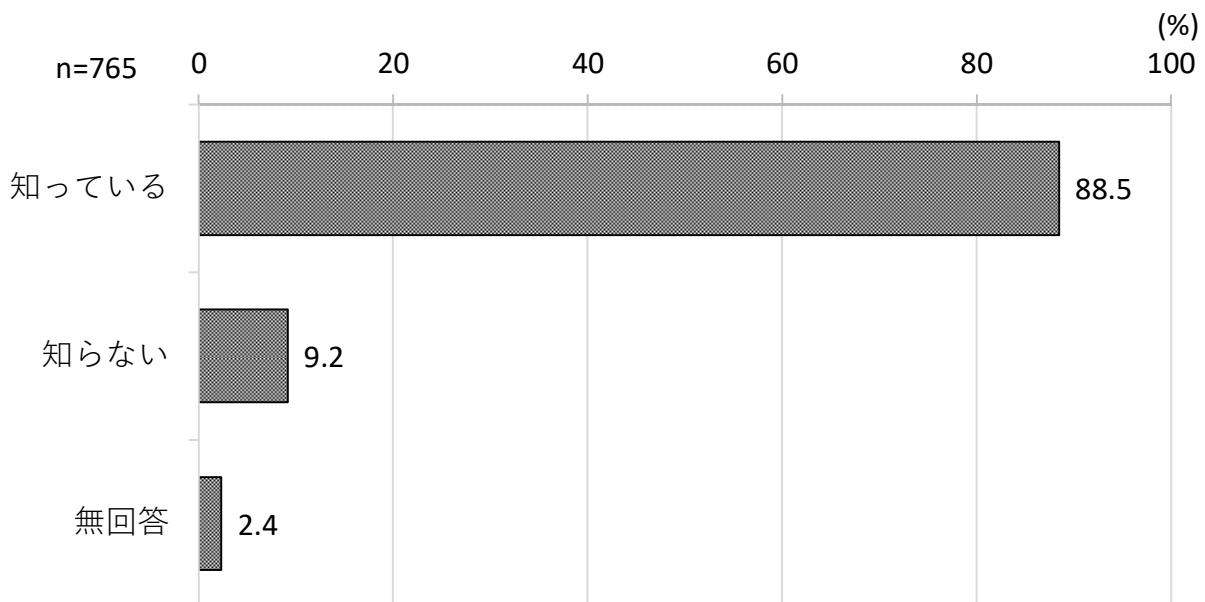
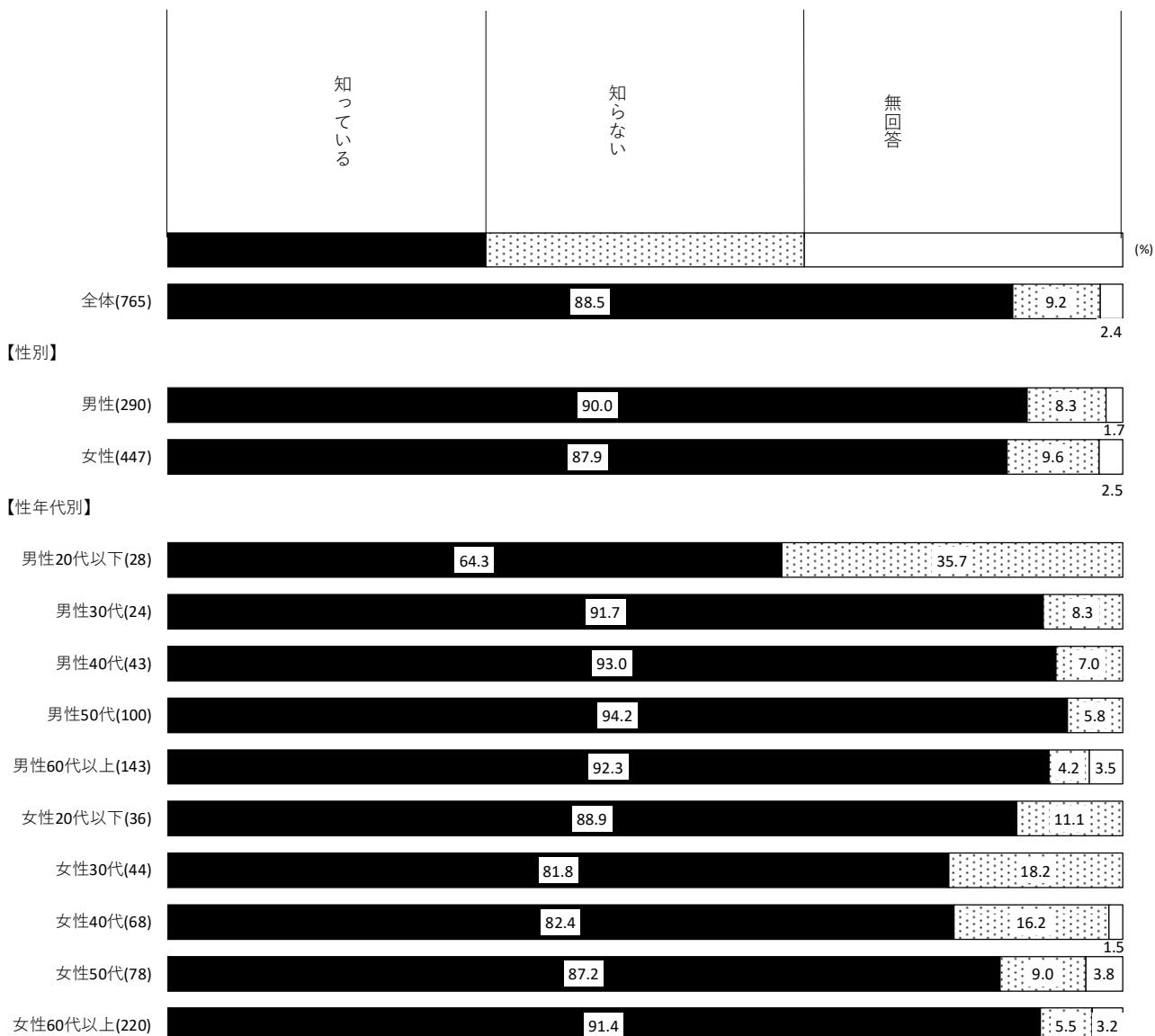


図4－3－2 道路交通法改正の認知度 <性別・性年代別>



5 町内会・自治会活動について

(1) 町内会・自治会への加入状況

問14 町内会・自治会に加入していますか。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「加入していて、活動に参加している」、「加入しているが、あまり(全く)参加していない」を合わせた<加入している>が57.4%、「加入していない」が41.7%となっていた。(図5-1-1)

性 別 「加入していない」では、「男性」(45.2%)が「女性」(39.1%)より6.1ポイント高くなっている。(図5-1-2)

性 年 代 別 「加入していて、活動に参加している」、「加入しているが、あまり(全く)参加していない」を合わせた<加入している>では「男性60代以上」(66.4%)、「女性60代以上」(78.6%)と男女ともに60代以上では6割以上となっており、ほかの性年代と比較すると高い割合となっていた。(図5-1-2)

図5-1-1 町内会・自治会への加入状況

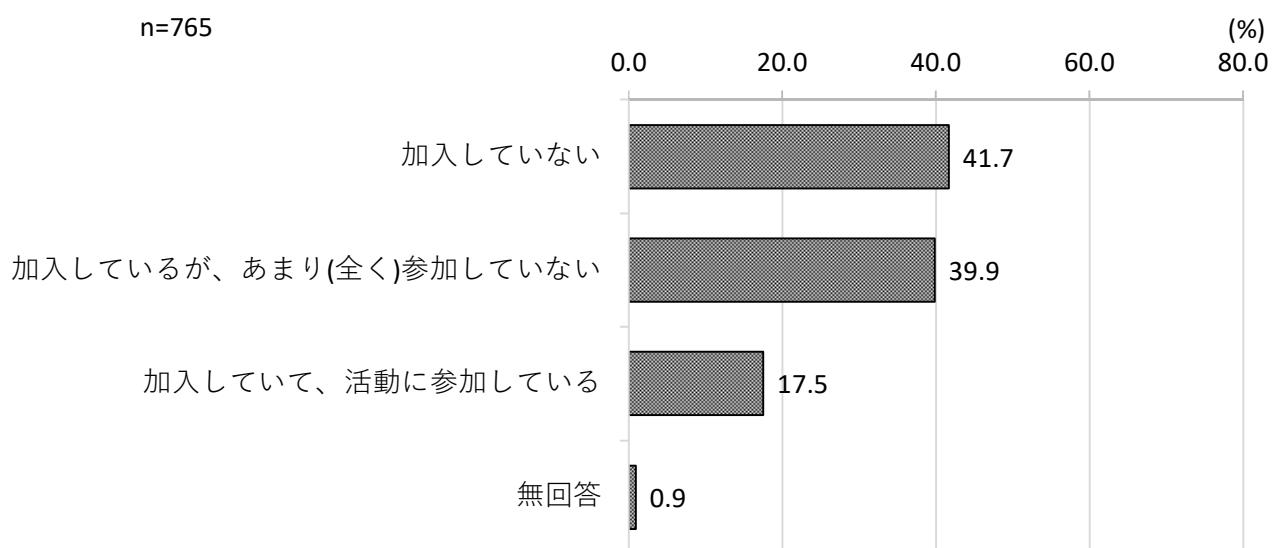
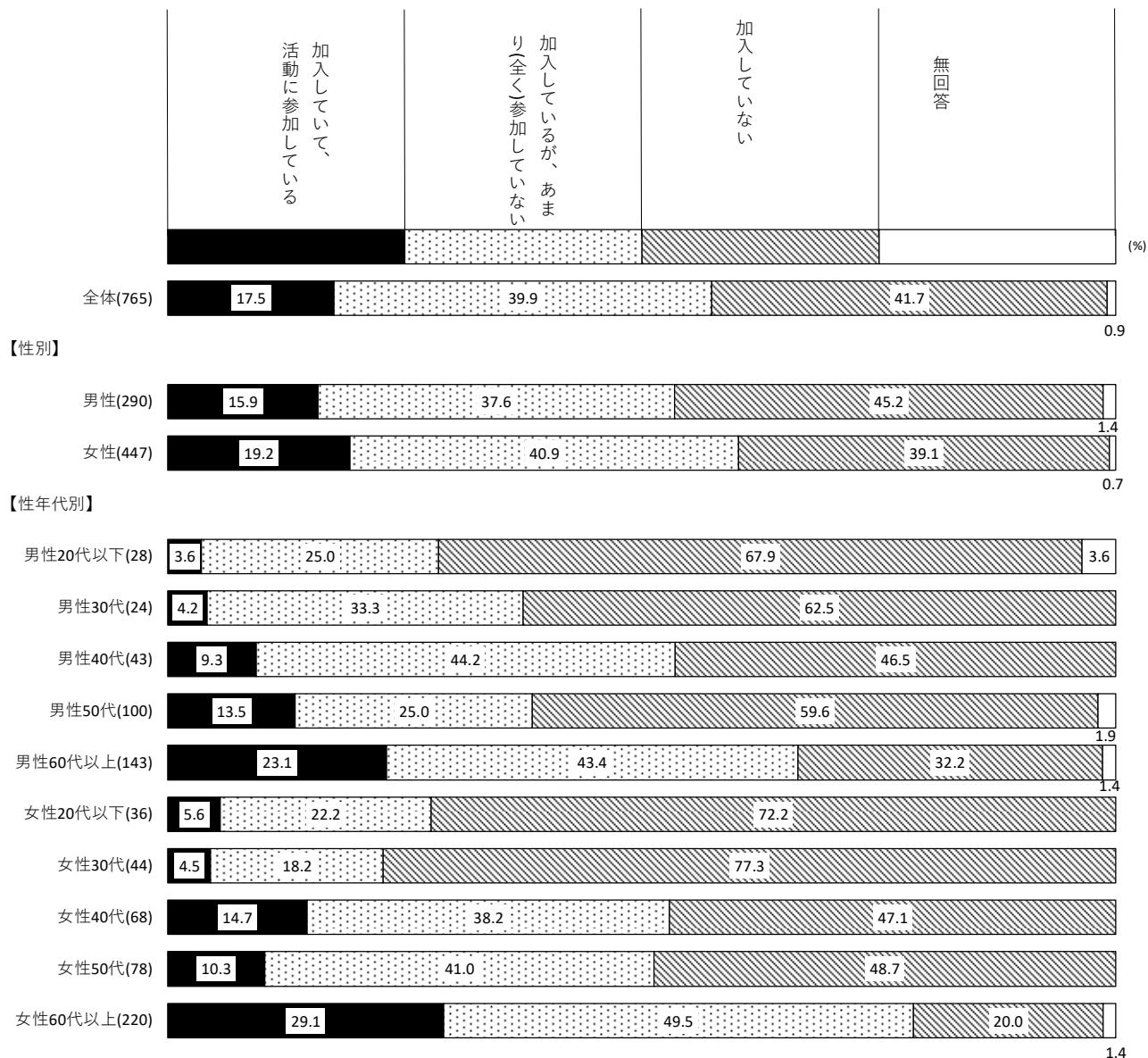


図5－1－2 町内会・自治会への加入状況 <性別・性年代別>



(2) 町内会・自治会の活動に参加しない理由

《問14で「2」と回答した方に伺います》

問15 町内会・自治会の活動に参加していない理由を教えてください。

(あてはまるものに、3つまで○)

全 体 「仕事や子育て、介護等で忙しい」(25.9%) が最も高く、次いで「活動の内容を知らない」(21.0%)、「関心や興味がない」(20.3%) となっている。一方、「特に理由はない」は26.6%となっている。

(図5-2-1)

性 別 「仕事や子育て、介護等で忙しい」で「女性」(30.6%) が「男性」(19.3%) より11.3ポイント高く、「活動の内容を知らない」で、「男性」(25.7%) が「女性」(18.0%) より7.7ポイント高くなっている。

(図5-2-2)

性 年 代 別 「仕事や子育て、介護等で忙しい」では、「女性30代」(75.0%) が最も高く、次いで「女性20代以下」(62.5%)、「女性40代」(57.7%) となっている。

図5-2-1 町内会・自治会の活動に参加しない理由

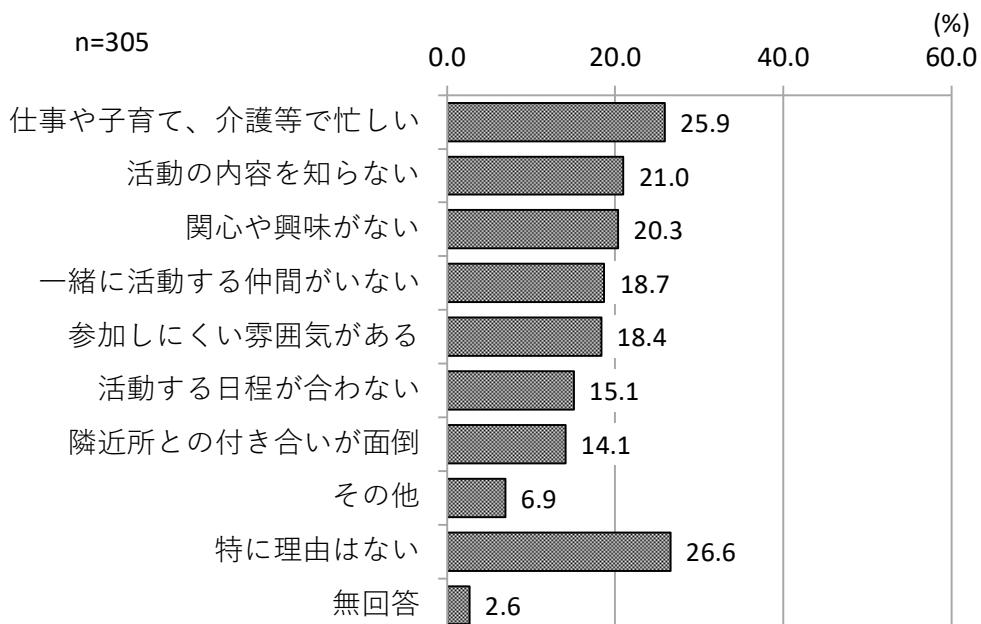
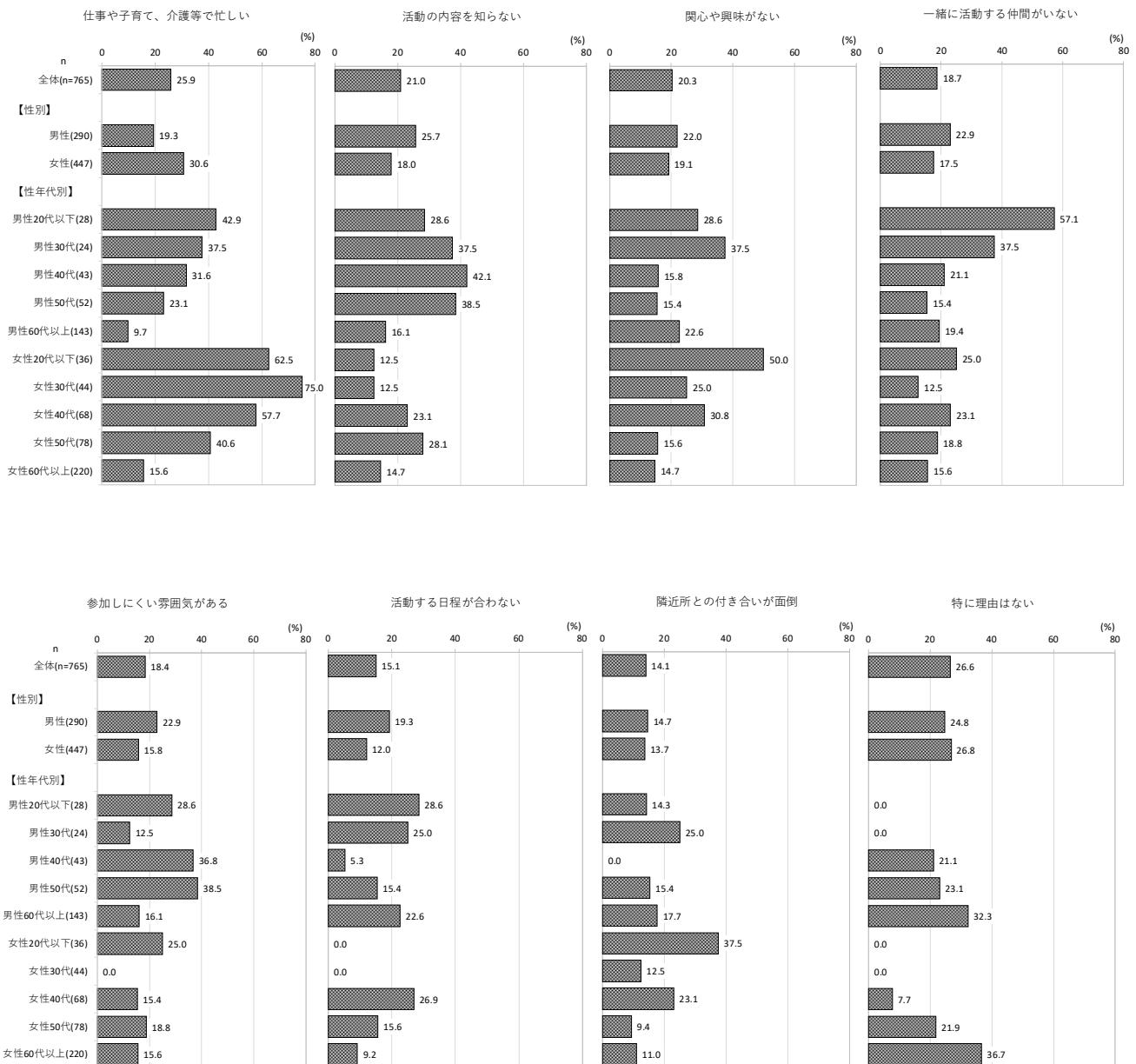


図5－2－2 町内会・自治会の活動に参加しない理由 <性別・性年代別>
(上位7項目+「特に理由はない」)



(3) 町内会・自治会に加入していない理由

《問14で「3」と回答した方に伺います》

問16 町内会・自治会に加入していない理由を教えてください。(あてはまるものに、3つまで○)

全 体 「加入しなくても日常生活に支障がない」(34.2%) が最も高く、次いで「加入するきっかけがない」(31.7%)、「加入するメリットがない」(14.1%) となっている。一方、「特に理由はない」は24.8%となっている。(図5-3-1)

性 別 上位7項目及び「特に理由はない」の中で、「加入しなくても日常生活に支障がない」では、「男性」(38.9%) が「女性」(31.4%) より7.5ポイント高くなっている。(図5-3-2)

性 年 代 別 「加入しなくても日常生活に支障がない」では、「男性40代」(45.0%) が最も高くなっている。「特に理由がない」では、「男性60代以上」(32.6%) が最も高く、次いで「女性60代以上」(31.8%) となっている。(図5-3-2)

図5－3－1 町内会・自治会に加入していない理由

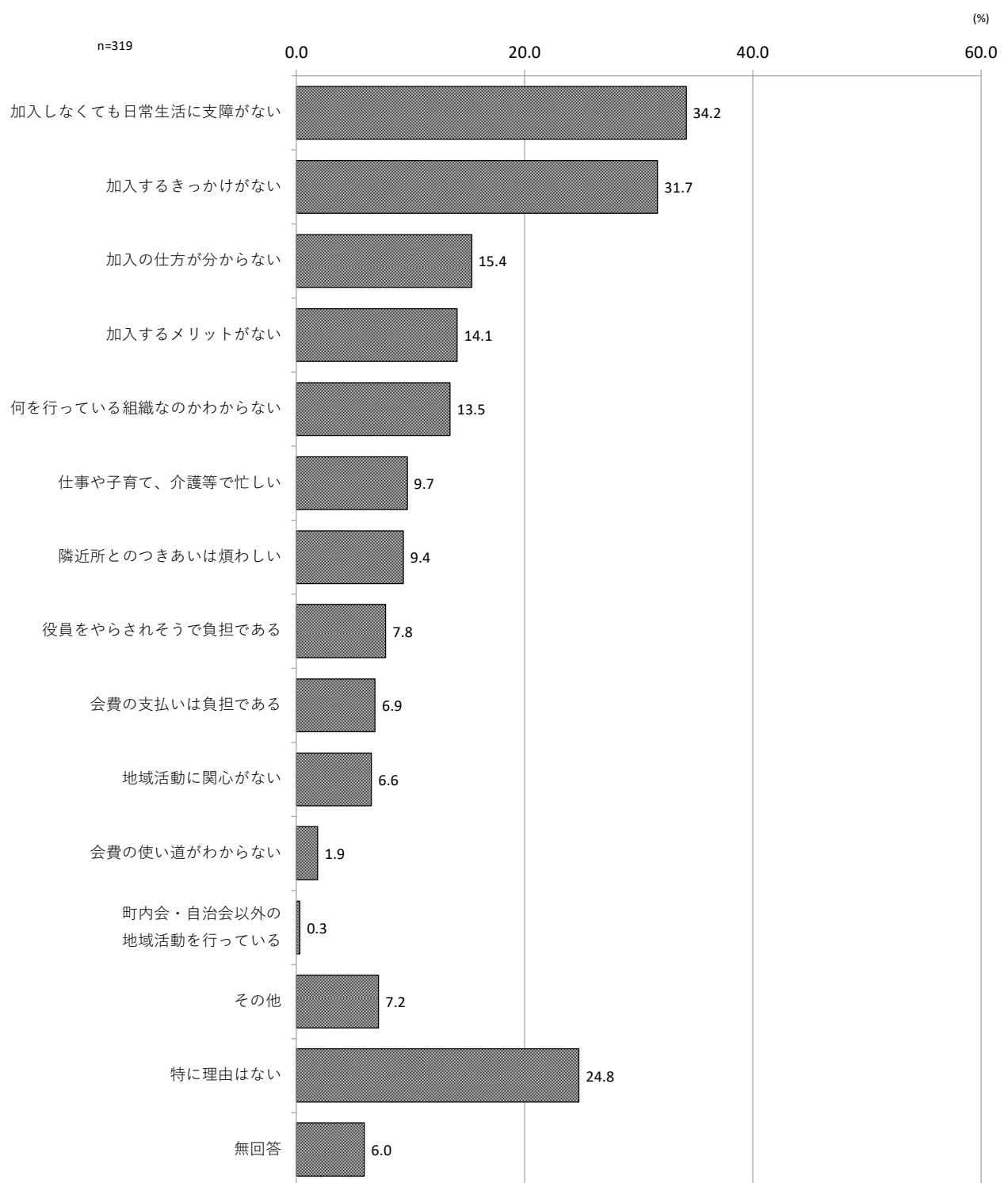
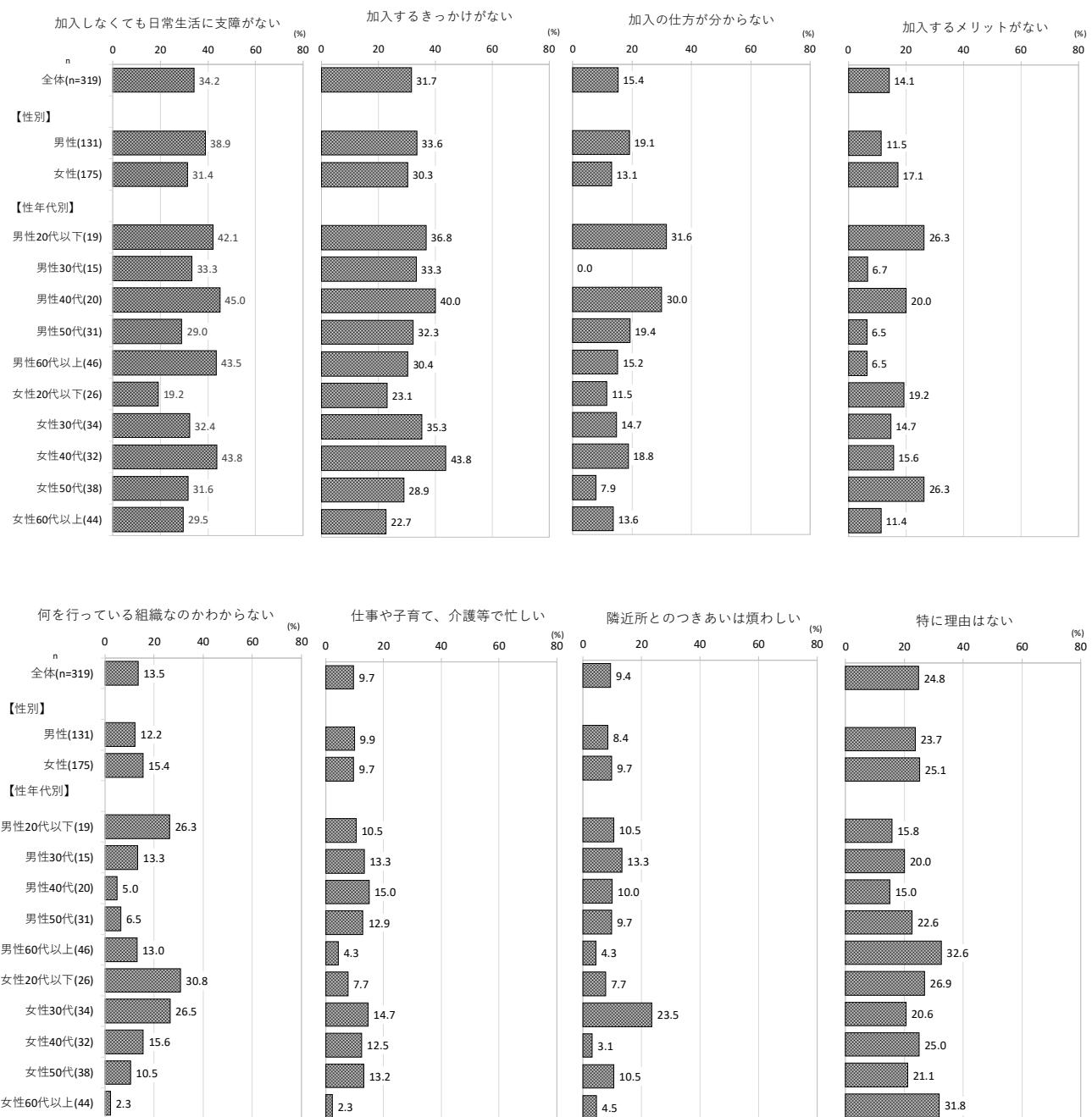


図5－3－2 町内会・自治会に加入していない理由 <性別・性年代別>
(上位7項目+「特に理由はない」)



(4) 町内会・自治会に必要だと思うこと

問17 町内会・自治会に加入しやすくなる、または加入したいと思ってもらうには何が必要だと思いますか。(あてはまるものに、3つまで○)

- 全 体 「活動への参加を強制されない（仕事や子育、介護等に配慮してくれる）」(41.2%) が最も高く、次いで「加入するメリットや地域での役割を積極的に情報発信する」(35.2%)、「役員に負担が集中しない仕組がある」(26.4%) となっている。(図5-4-1)
- 性 別 「活動への参加を強制されない（仕事や子育、介護等に配慮してくれる）」では「女性」(43.6%) が「男性」(38.3%) より5.3ポイント高くなっている。(図5-4-2)
- 性 年 代 別 「活動への参加を強制されない（仕事や子育、介護等に配慮してくれる）」では、「男性30代」(62.5%) が最も高く、次いで「女性30代」(61.4%) と、男女ともに30代での割合が高くなっている。(図5-4-2)

図5－4－1 町内会・自治会に必要だと思うこと

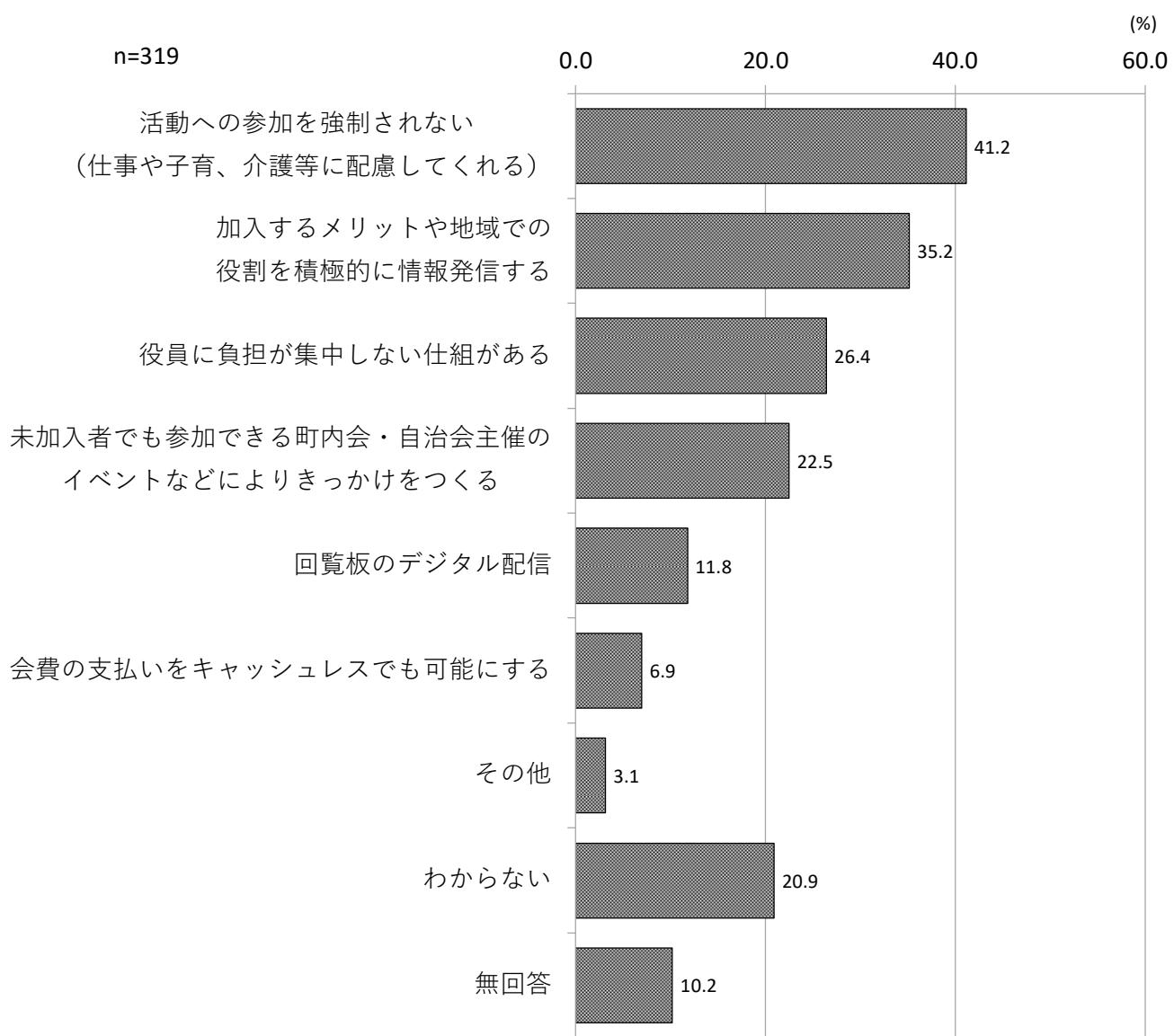
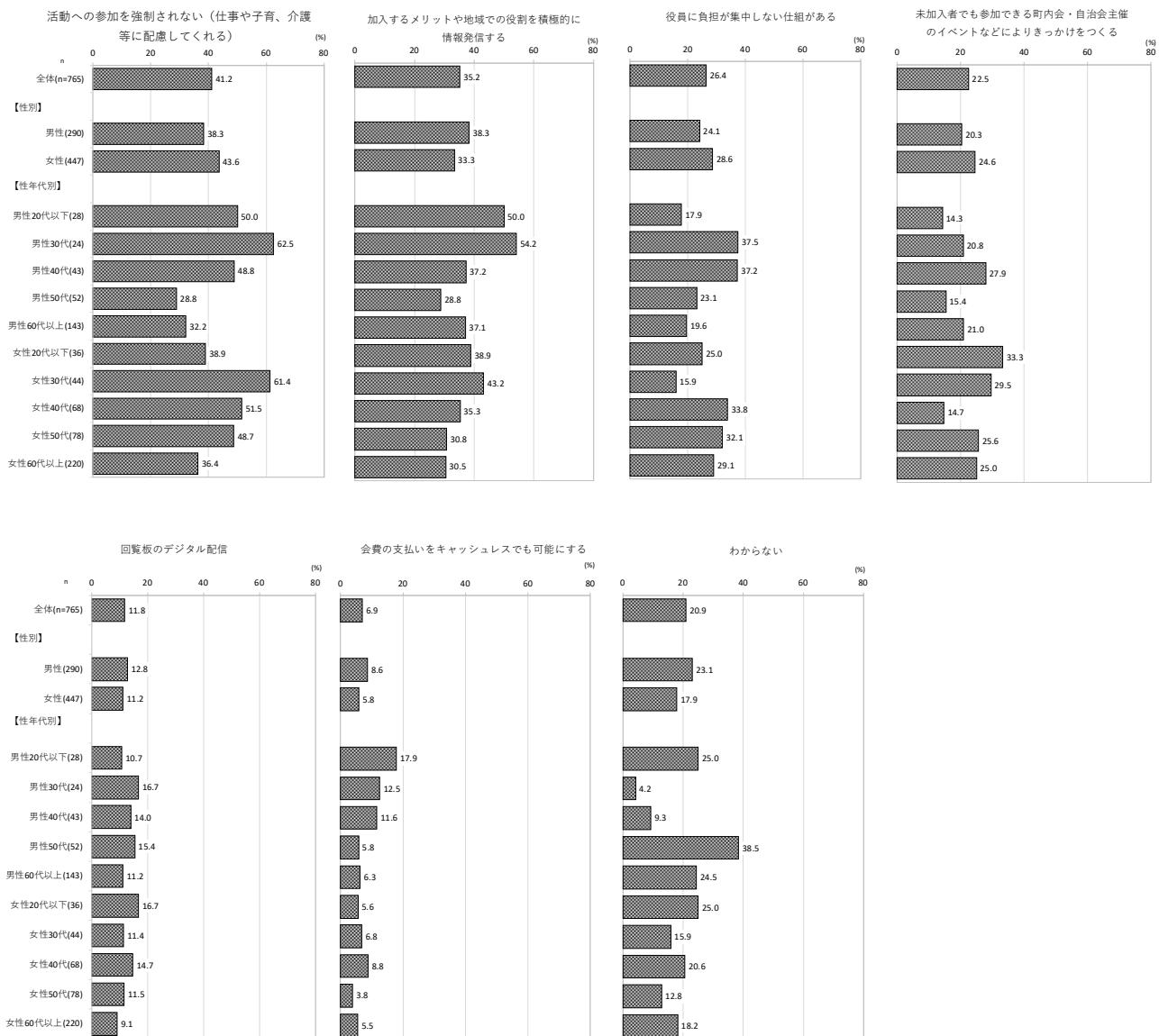


図5-4-2 町内会・自治会に必要だと思うこと <性別・性年代別>



(5) 町内会・自治会活動で参加してみたい（興味のある）こと

問18 町内会・自治会活動で参加してみたいこと（興味のあること）を教えてください。

（あてはまるものに、3つまで○）

全 体 「盆踊りなどのお祭り」(26.5%) が最も高く、次いで「防災に関係した活動やイベント(自主防災組織による避難訓練など)」(17.6%)、「自然や環境を守るための活動やイベント(清掃活動や地域緑化・植栽活動)」(15.9%) となっている。一方、「特にない」は38.6%となっている。(図5-5-1)

性 別 「防災に関係した活動やイベント(自主防災組織による避難訓練など)」では「女性」(20.6%) が「男性」(14.1%) より6.5ポイント高い。(図5-5-2)

性 年 代 別 「盆踊りなどのお祭り」では、「女性30代」(47.7%) が、「スポーツや文化に関係した活動やイベント」では、「男性20代以下」(28.6%)、「男性30代」(25.0%) が他の性年代と比べて高くなっている。(図5-5-2)

図5－5－1 町内会・自治会活動で参加してみたいこと

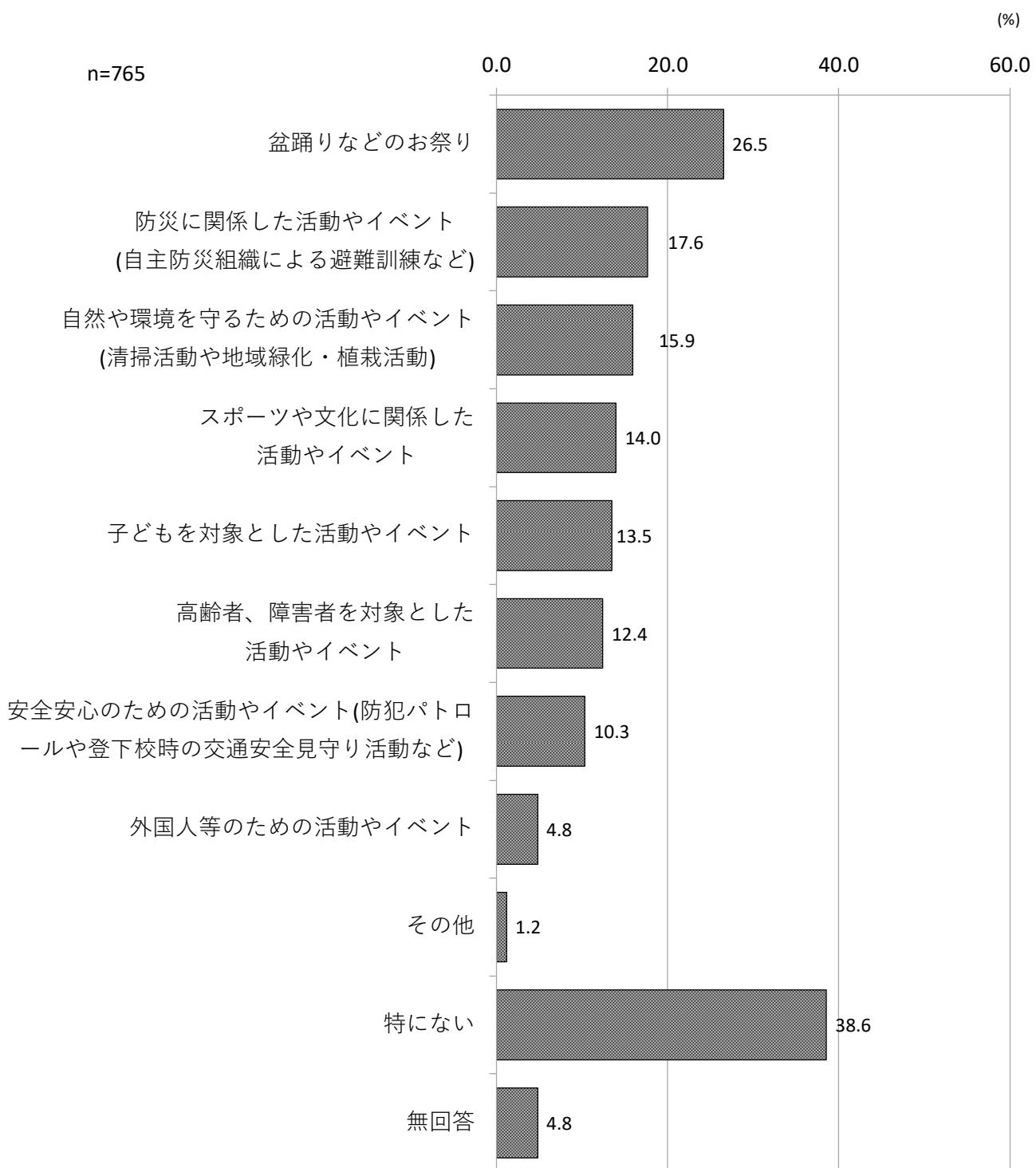
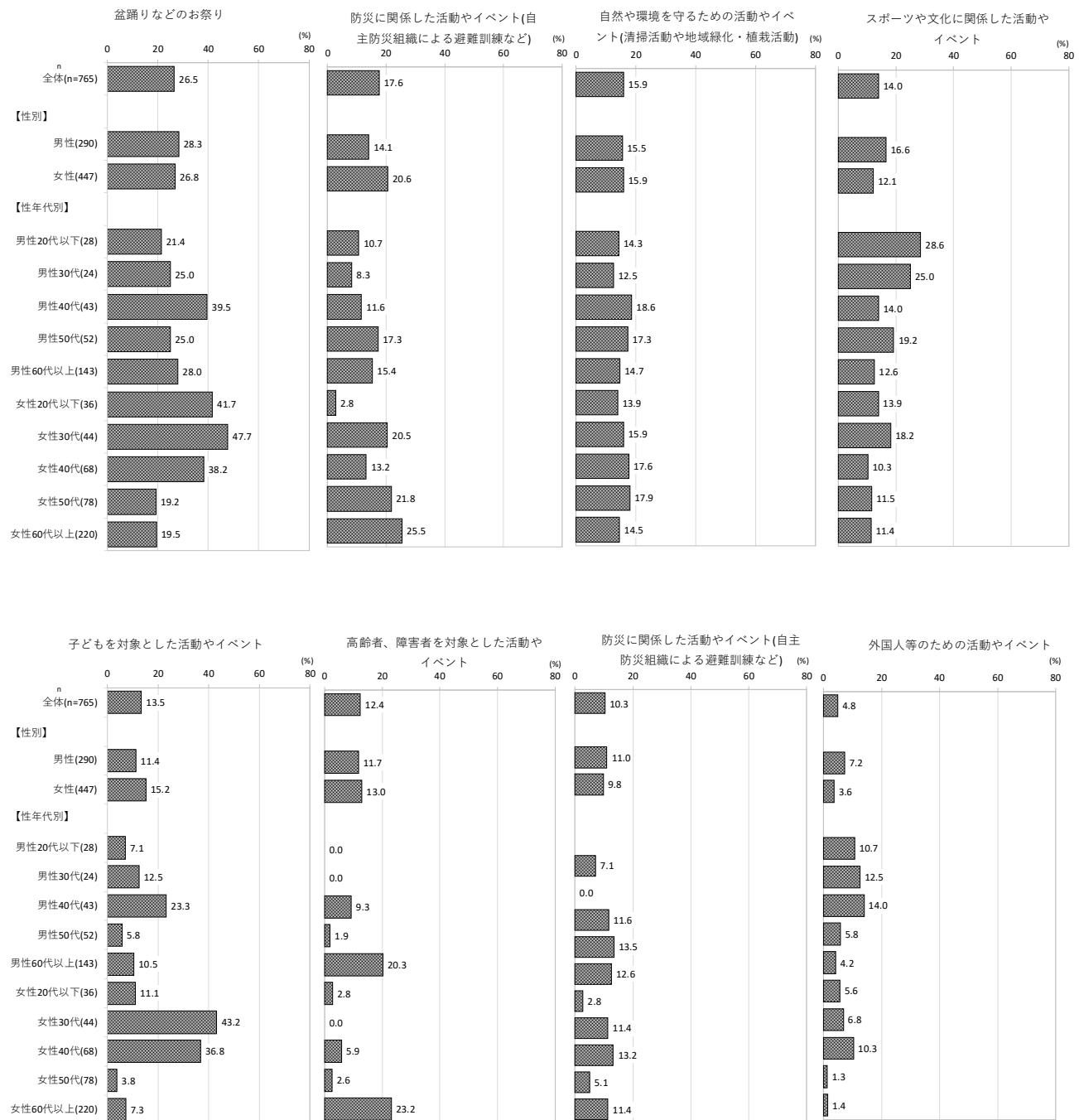


図5-5-2 町内会・自治会活動で参加してみたいこと <性別・性年代別>
(上位8項目)



6 地域コミュニティについて

(1) 興味のある地域交流の場所や取組

問19 地域交流への参加のきっかけとして、興味のある場所や取組(人と人をつなぐ居心地の良い地域の居場所)を教えてください。(あてはまるものに、3つまで○)

全 体 「緑を感じることができる場所・取組」(35.3%)が最も高く、次いで「お祭りやイベントができる場所・取組」(27.3%)、「自由に飲食や休憩ができる場所・取組」(24.7%)となっている。(図6-1-1)

性 別 「農作物や作品販売などのマルシェ・バザーができる場所・取組」では、「女性」(25.1%)が「男性」(11.7%)より13.4%高くなっている。(図6-1-2)

性 年 代 別 「お祭りやイベントができる場所・取組」では、「女性30代」(50.0%)、「女性40代」(39.7%)、「男性40代」(39.5%)となっている。また、「緑を感じることができる場所・取組」では「男性60代以上」(40.6%)、「女性60代以上」(39.5%)とそれぞれの性年代よりも割合が高くなっている。
(図6-1-2)

図 6－1－1 興味のある地域交流の場所や取組

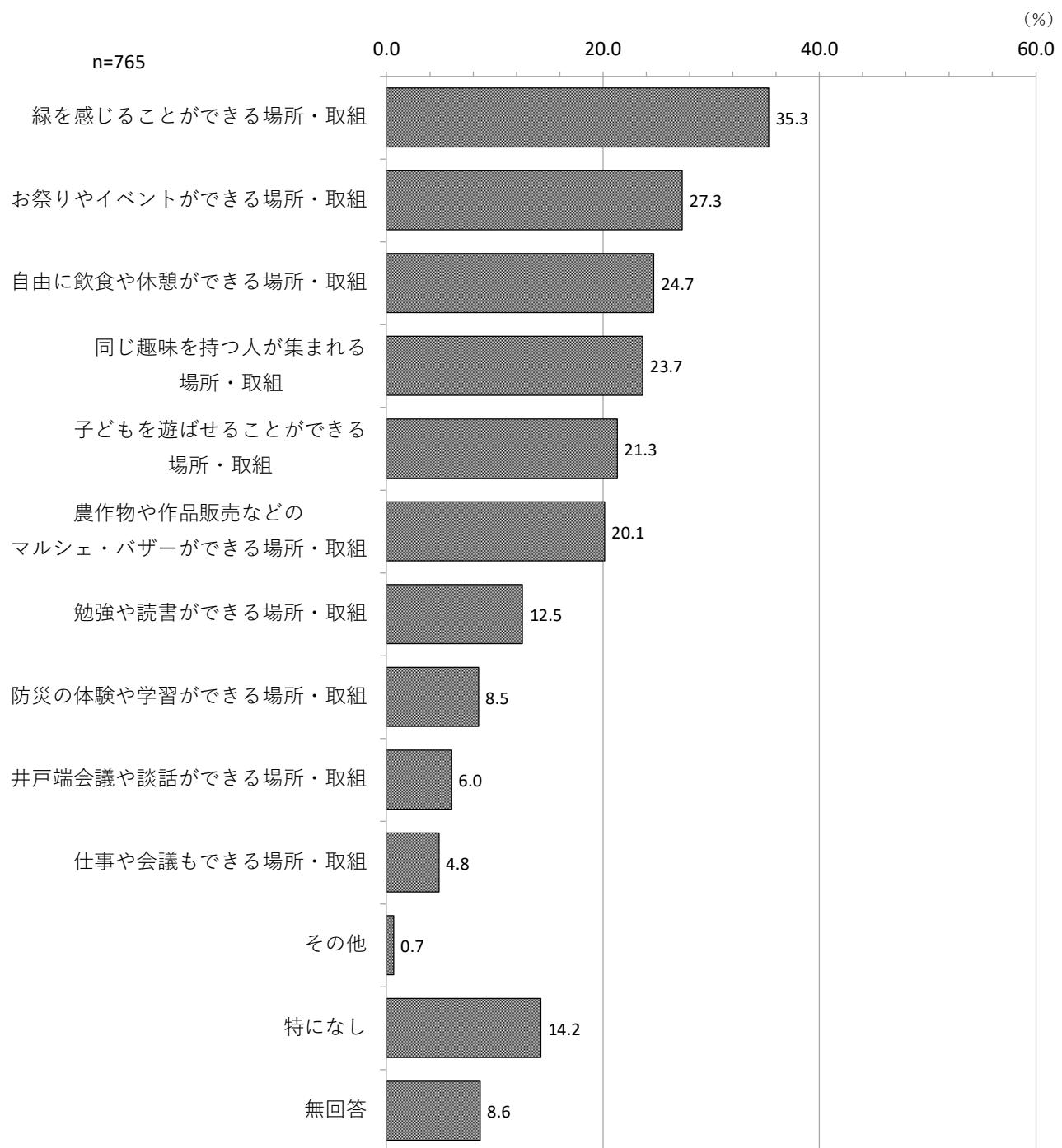
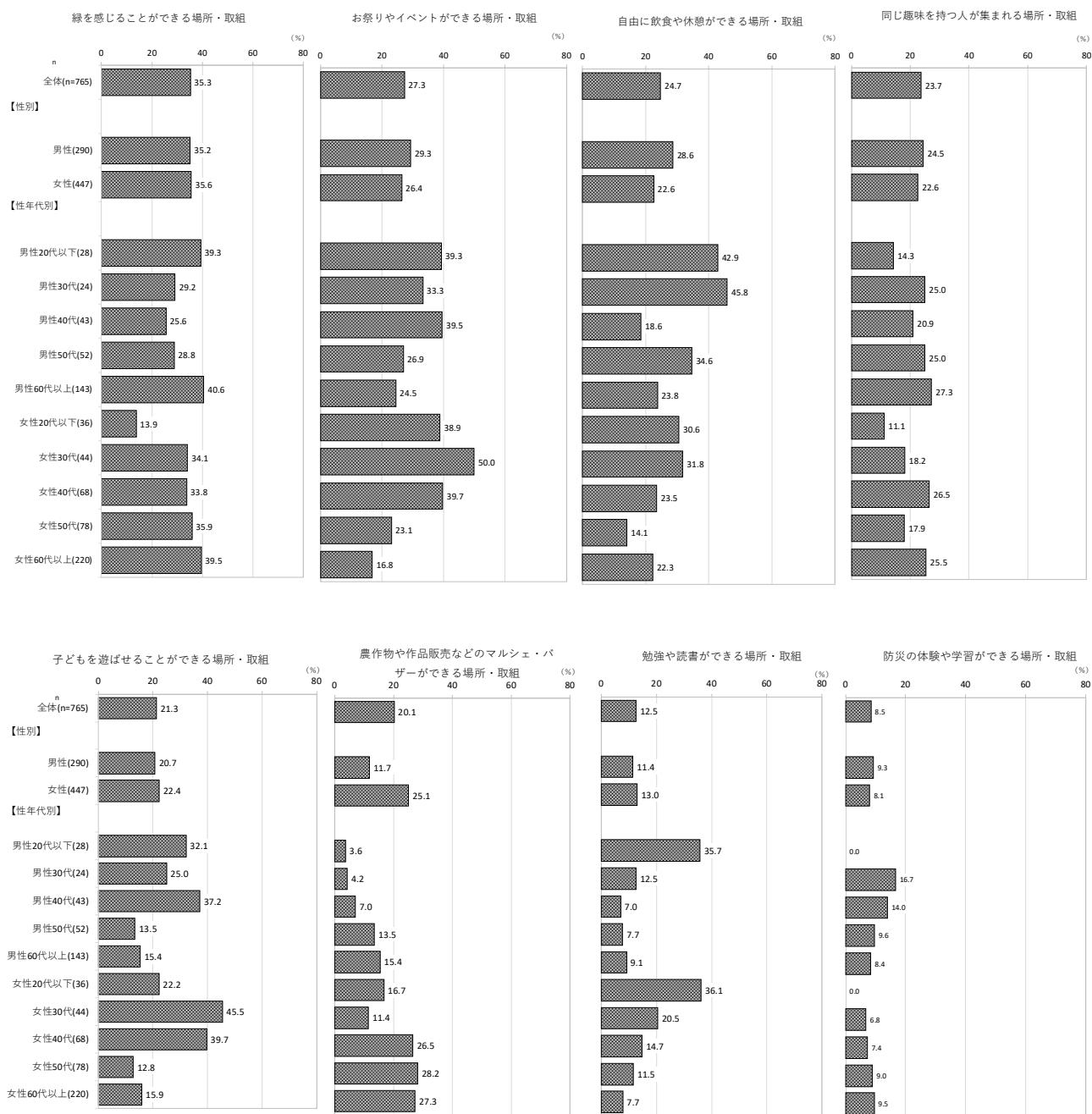


図6-1-2 興味のある地域交流の場所や取組<性別・性年代別>



(2) 近隣住民による助け合い活動について

問 20 近隣住民による見守りや声掛けなどの助け合い活動について、どのように考えているか教えてください。(当てはまるもの 1 つに○)

全 体 「必要な時に参加したい」(61.7%) が最も高く、次いで「参加しない」(12.7%)、「できるだけ参加したくない」(12.0%) となっている。(図 6-2-1)

性 別 性別では、大きな差は見られなかった。(図 6-2-2)

性 年 代 別 「必要な時に参加したい」では、「女性40代」「女性60代以上」(69.1%)、「男性60代以上」(67.8%)、「男性50代」「女性50代」(57.7%) となっている。「積極的に参加したい」では「女性30代」が15.9%とほかの性年代に比べて高くなっている。(図 6-2-2)

図 6-2-1 近隣住民による助け合い活動について

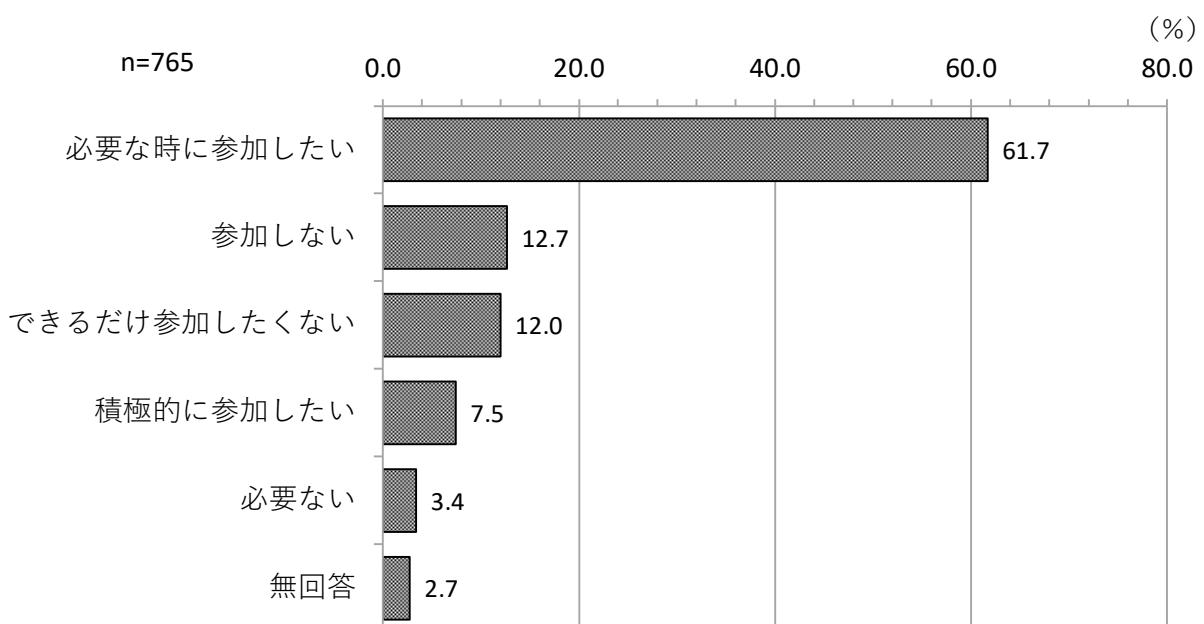
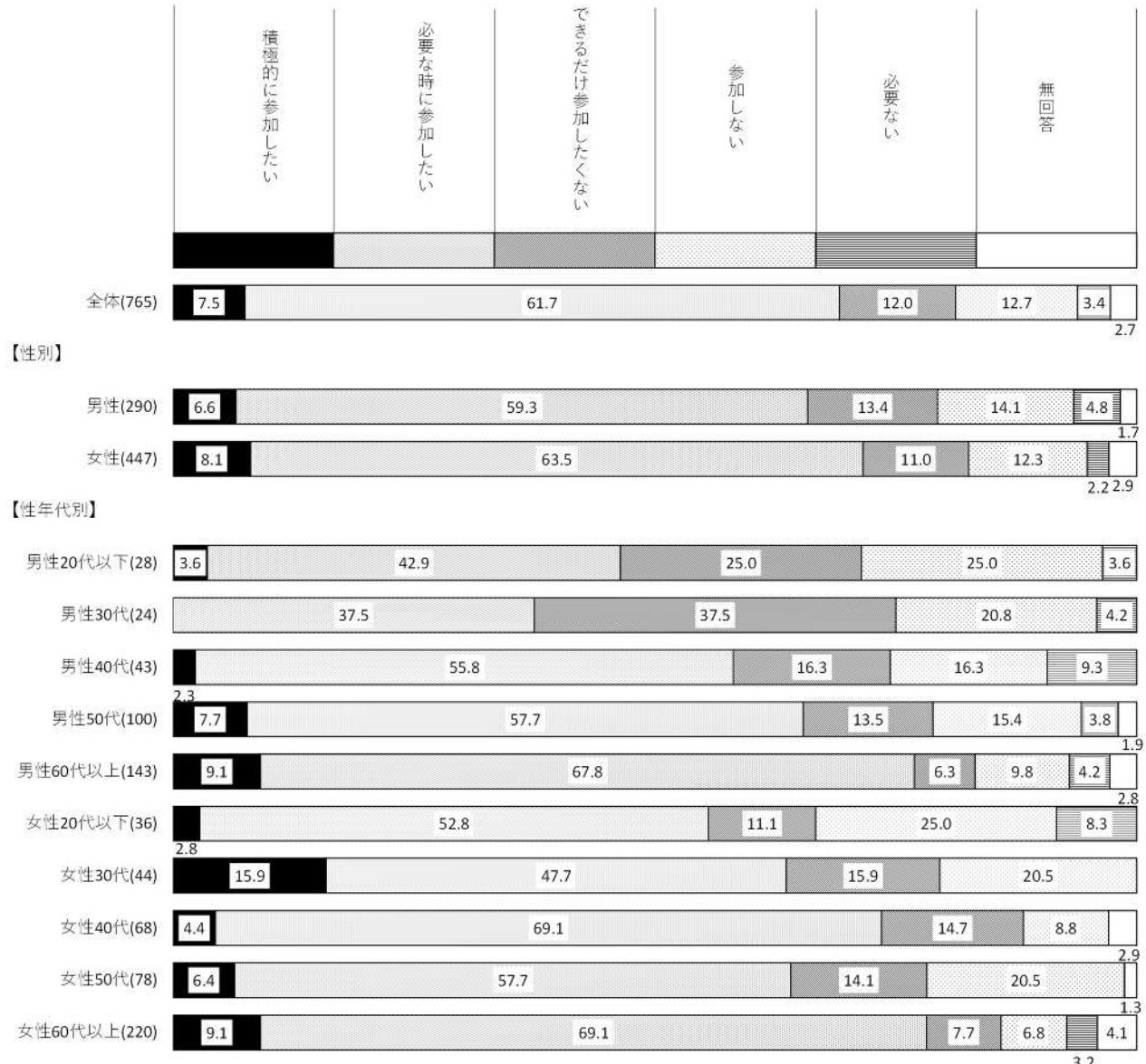


図6－2－2 近隣住民による助け合い活動について <性別・性年代別>



(3) いざという時に頼る人について

問21 いざという時に頼る人はだれか教えてください。(もっともあてはまるもの1つに○)

全 体 「同居または市内に住む家族・親族」(58.8%)が最も高く、次いで「市外に住む家族・親族」(17.0%)、「頼れる人はいない」(7.7%)となっている。(図6-3-1)

性 別 「同居または市内に住む家族・親族」では、「女性」(63.1%)が「男性」(52.8%)より10.3ポイント高く、「頼れる人はいない」では、「男性」(13.1%)が「女性」(4.3%)より8.8ポイント高くなっている。(図6-3-2)

性 年 代 別 「同居または市内に住む家族・親族」では、「男性30代」(37.5%)を除き、すべての性年代で5割以上となっている。「市外に住む家族・親族」では「男性30代」が50.0%とほかの性年代よりも割合が高くなっている。
(図6-3-2)

図6-3-1 いざという時に頼る人について

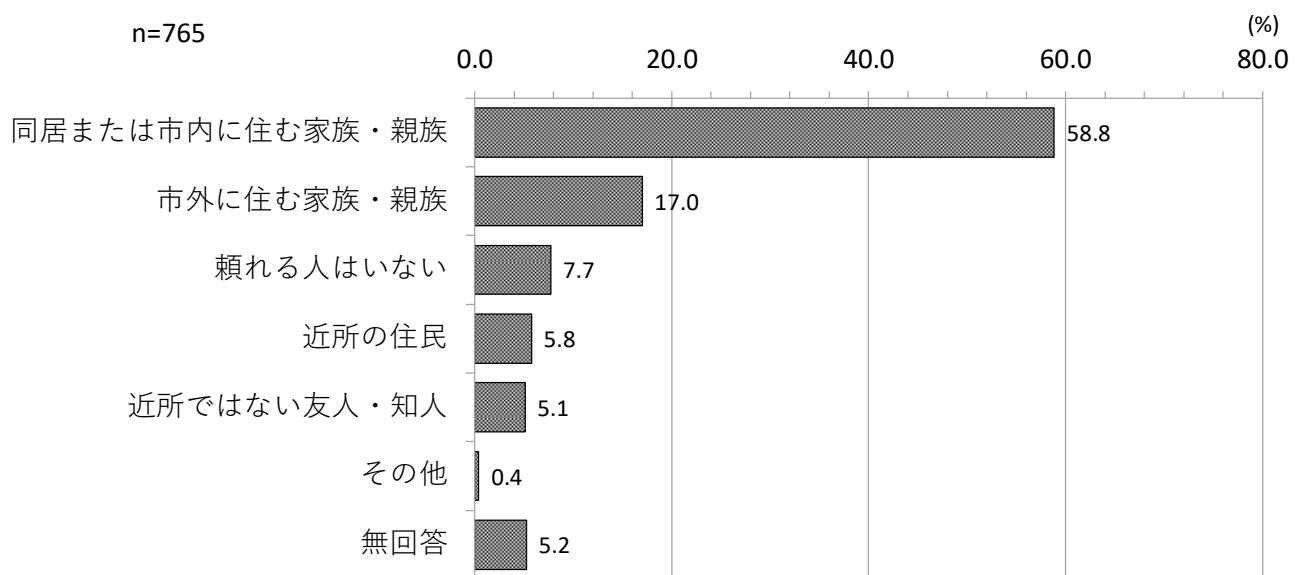
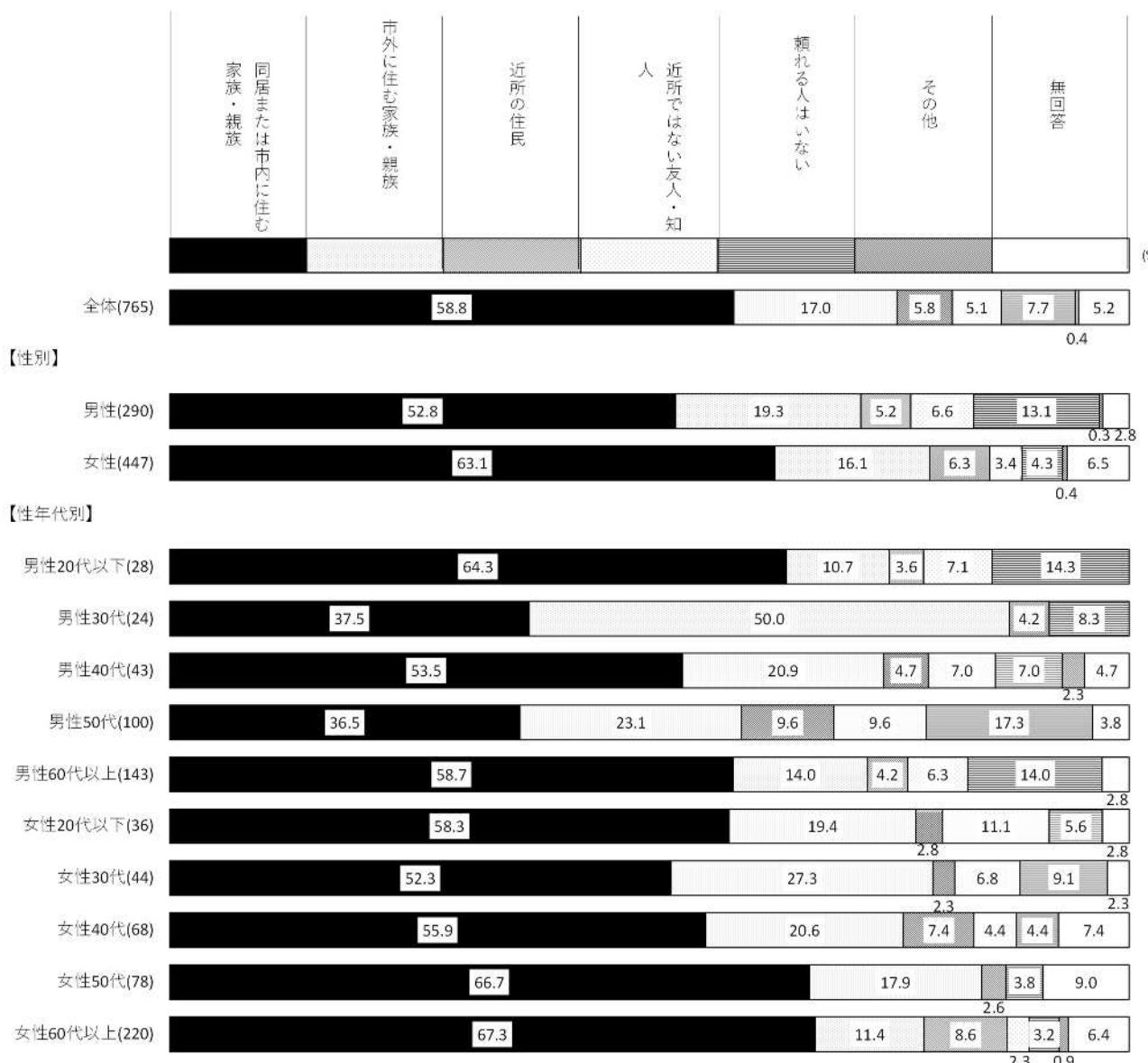


図6-3-2 いざという時に頼る人について<性別・性年代別>



(4) 日常生活における外国人との交流

問 22 日本人の方は外国人の方と、外国人の方は日本人の方と、日常生活の中でどの程度交流があるか教えてください。(直接会える距離に住んでいる人をイメージしてください。)(あてはまるもの 1 つに○)

全 体 「まったく付き合いがない」(46.9%)が最も高く、次いで「ほとんど付き合いがない」(22.2%)、「挨拶をする程度の人がいる」(13.3%)となっている。(図 6-4-1)

性 別 「ほとんど付き合いがない」では、「男性」(27.2%)が「女性」(19.7%)より 7.5 ポイント高くなっている。(図 6-4-2)

性 年 代 別 「まったく付き合いがない」では、「女性20代以下」(61.1%)、「男性30代」(58.3%)、「男性20代以下」(57.1%)が他の性年代と比べて高くなっている。(図 6-4-2)

図 6-4-1 日常生活における外国人との交流

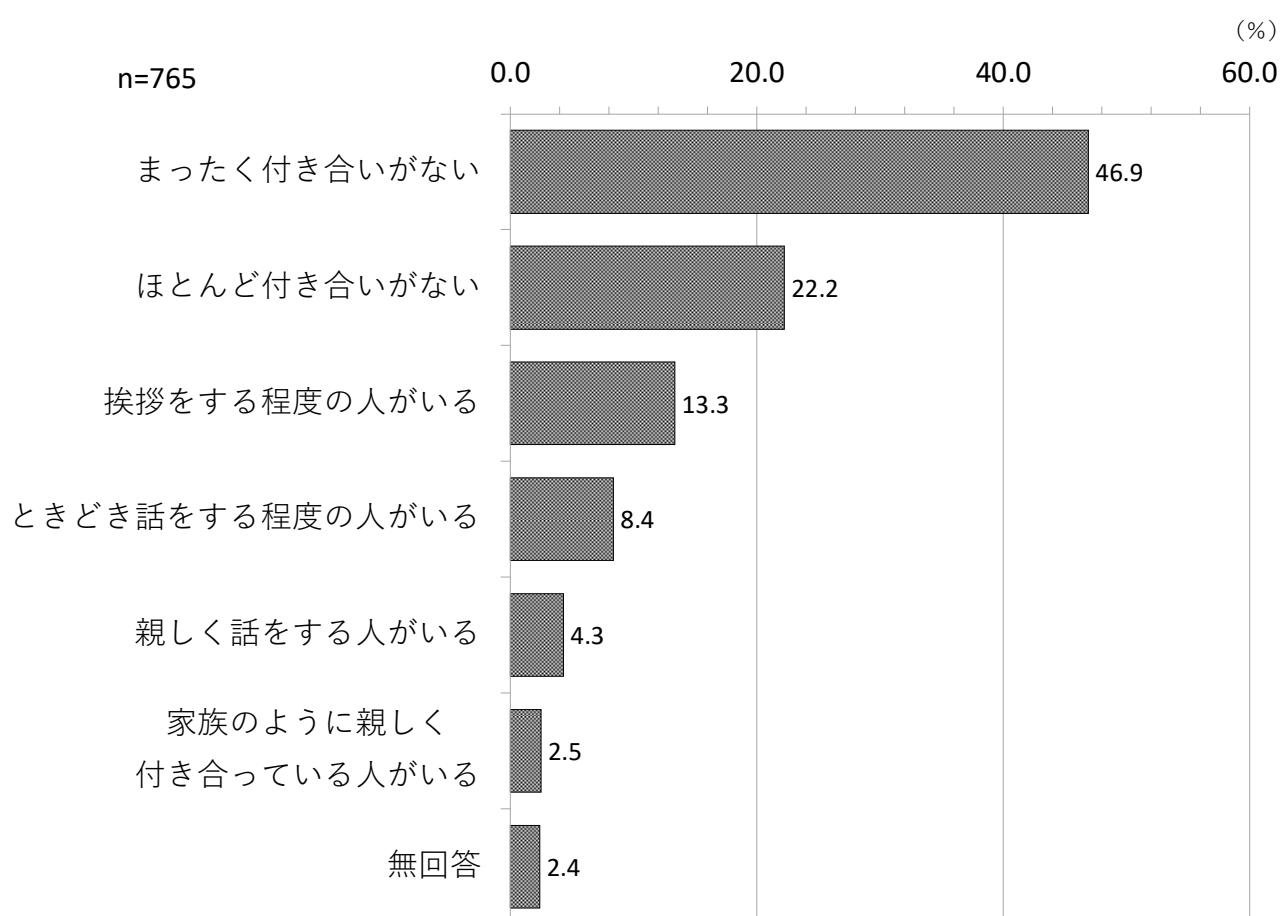
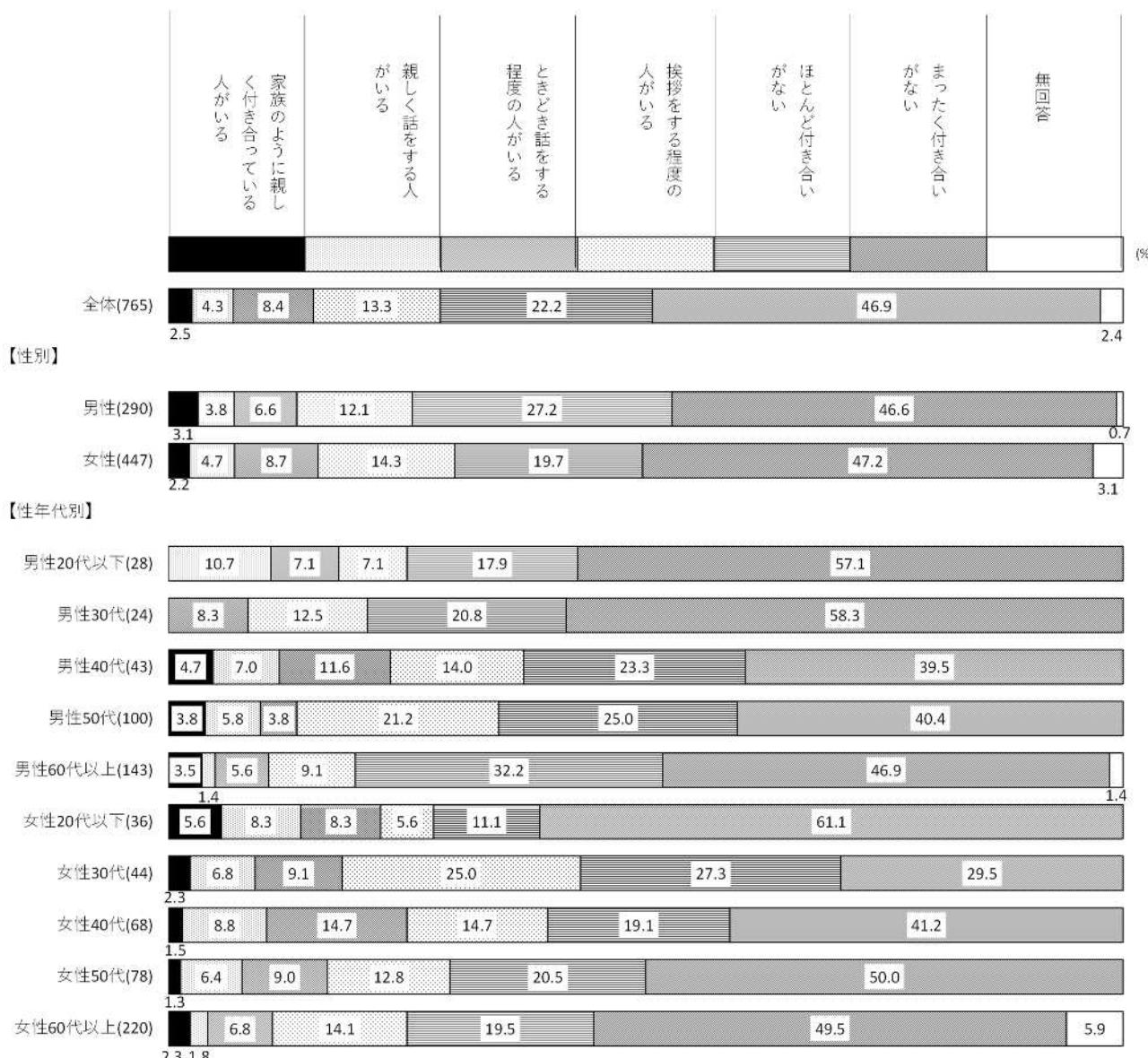


図6－4－2 日常生活における外国人との交流 <性別・性年代別>



7 健康管理について

(1) 健康診断の受診状況

問 23 健康診断を受診していますか。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「毎年受診している」(64.1%) が最も高く、次いで「定期的(2~3年に1度程度)に受診している」(20.3%)、「5年以上受診していない」(14.2%) となっている。(図 7-1-1)

性 別 「定期的(2~3年に1度程度)に受診している」では、「女性」(23.3%) が「男性」(15.2%) より8.1ポイント高くなっている。(図 7-1-2)

性 年 代 別 「毎年受診している」では、「男性30代」(91.7%) が最も高く、次いで「男性50代」(86.5%)、「男性40代」(86.0%) となっている。「5年以上受診していない」では、「男性60代以上」(21.7%)、「女性60代以上」(16.8%)、「女性50代」(16.7%) で他の性年代に比べて高くなっている。(図 7-1-2)

図 7-1-1 健康診断の受診状況

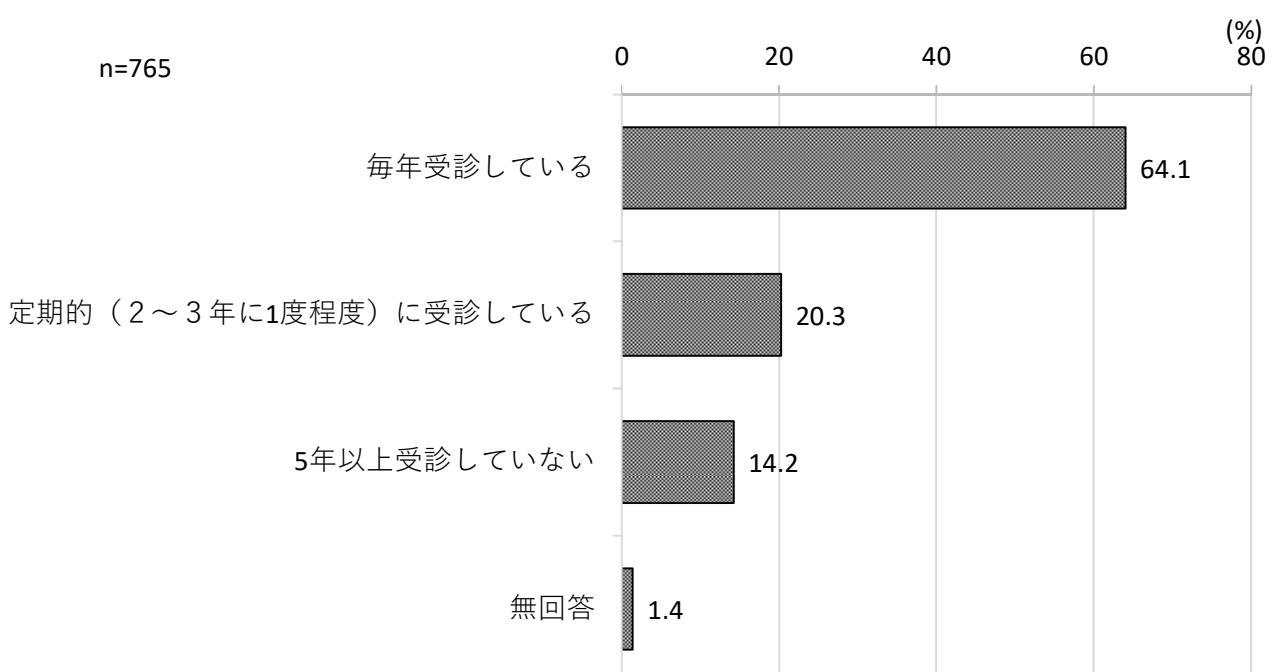
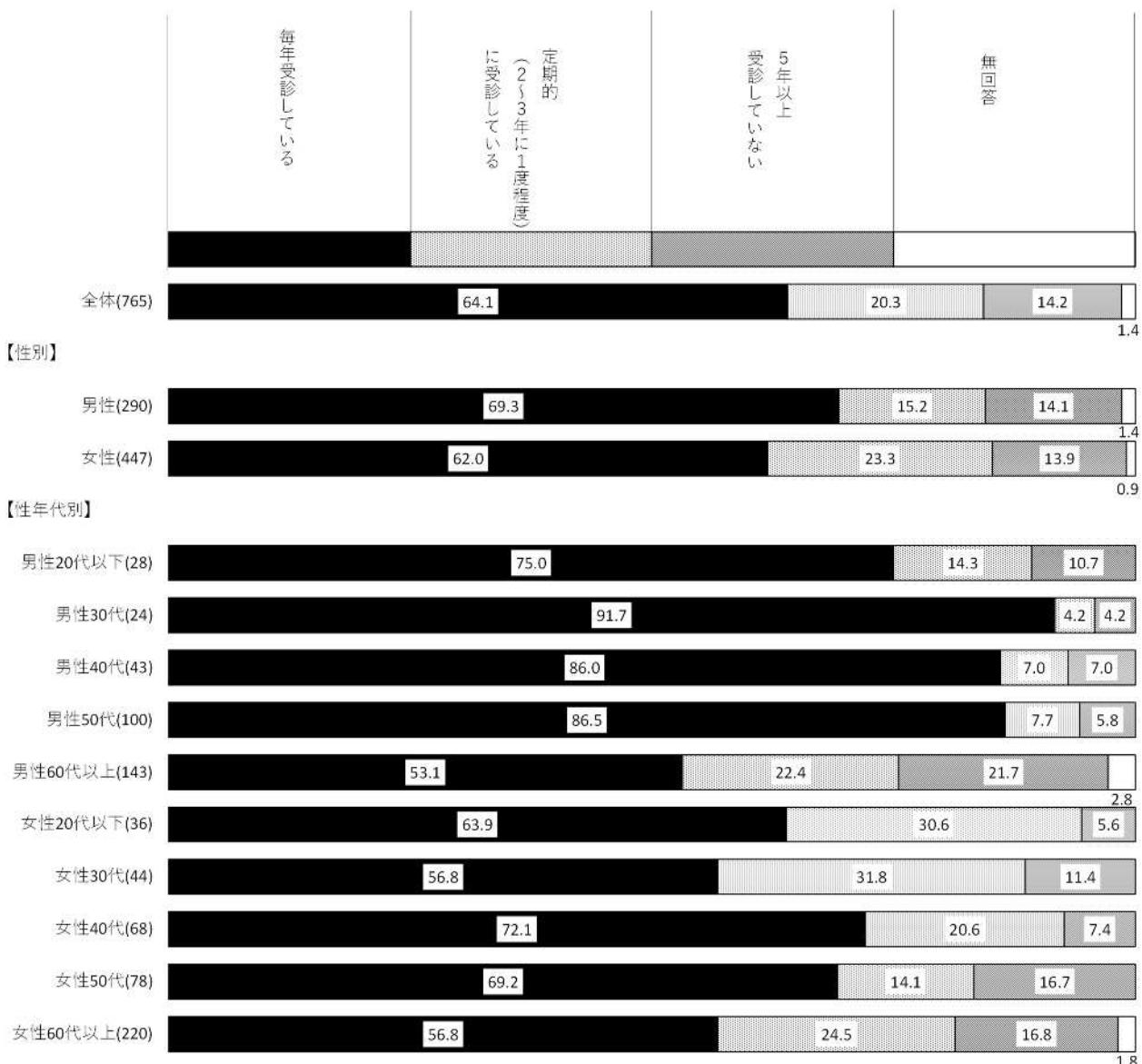


図7-1-2 健康診断の受診状況 <性別・性年代別>



(2) 健康診断を受診していない理由

《問23で「3」と回答した方に伺います》

問24 健康診断を受診していない理由を教えてください。(あてはまるものに、3つまで○)

全 体 「病院に通院し、すでに治療を受けている」(38.5%)が最も高く、次いで「面倒くさい」(32.1%)、「結果が怖い」(20.2%)となっている。(図7-2-1)

性 別 「様々な検査(採血やバリウム検査等)を受けることが苦痛」では「女性」(25.8%)が「男性」(4.9%)より20.9ポイント高くなっている。(図7-2-2)

性 年 代 別 「面倒くさい」では、「女性50代」(61.5%)、「女性40代」(60.0%)「女性20代以下」(50.0%)と、他の性年代よりも高くなっている。また「結果が怖い」については男性女性ともに年齢が上がるとともに、割合も高くなっている。(図7-2-2)

図7-2-1 健康診断を受診しない理由

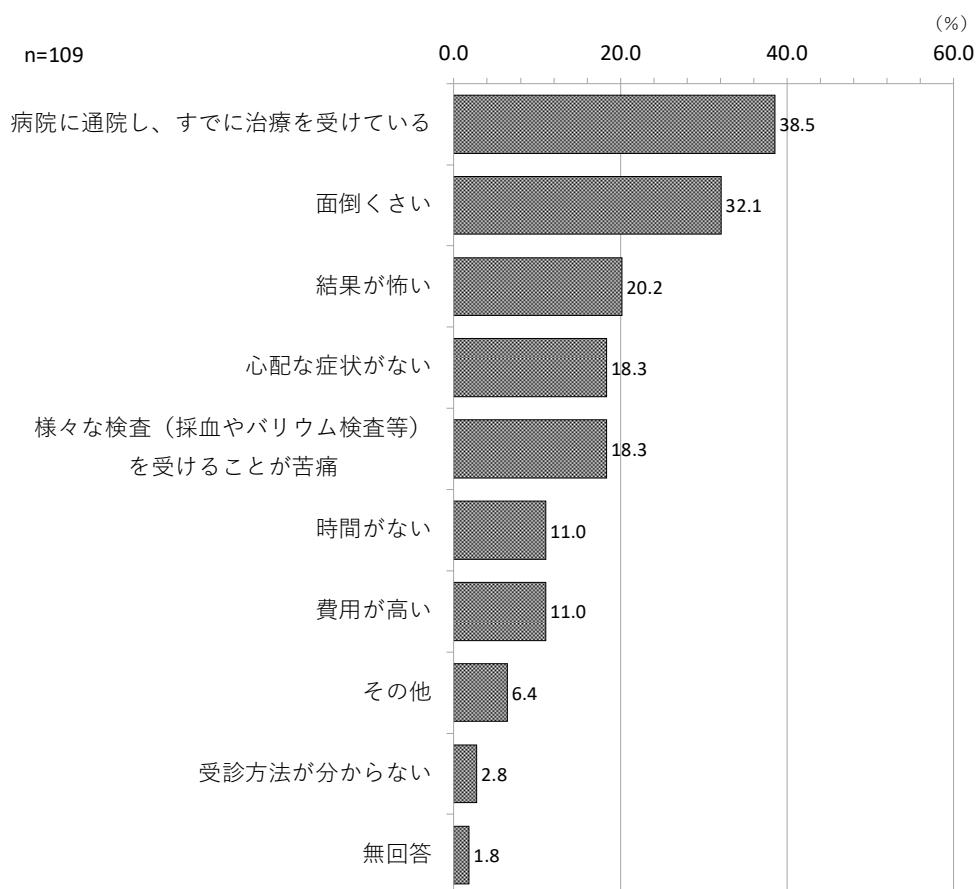
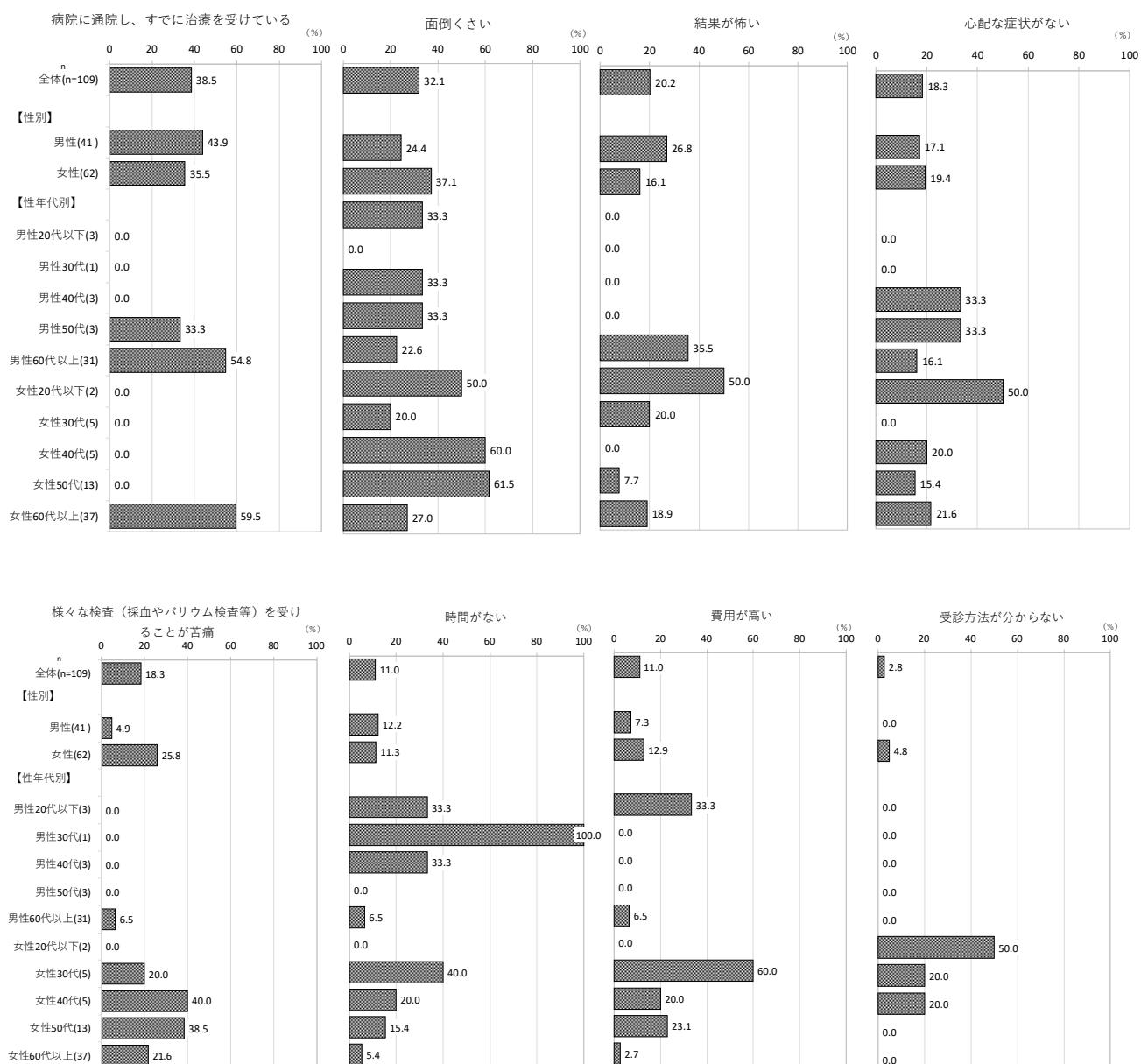


図7-2-2 健康診断を受診しない理由 <性別・性年代別>

(上位8項目)



8 公園の利用について

(1) 公園の利用状況

問 25 普段、公園をどの程度利用していますか。（過去1年程度）（あてはまるもの1つに○）

全 体 「全く利用しない」(40.0%)が最も高く、次いで「年に数回程度」(27.6%)、「月に数回程度」(16.9%)となっている。(図8-1-1)

性 別 「月に数回程度」で、「男性」(20.3%)が「女性」(14.1%)より6.2ポイント高くなっている。(図8-1-2)

性 年 代 別 「週に1～2回程度」では、「女性30代」(27.3%)、「女性40代」(22.1%)とほかの性年代に比べて高くなっている。「全く利用しない」では「女性20代以下」(55.6%)、「女性50代」(55.1%)、「男性50代」(46.2%)となっている。(図8-1-2)

図8-1-1 公園の利用状況

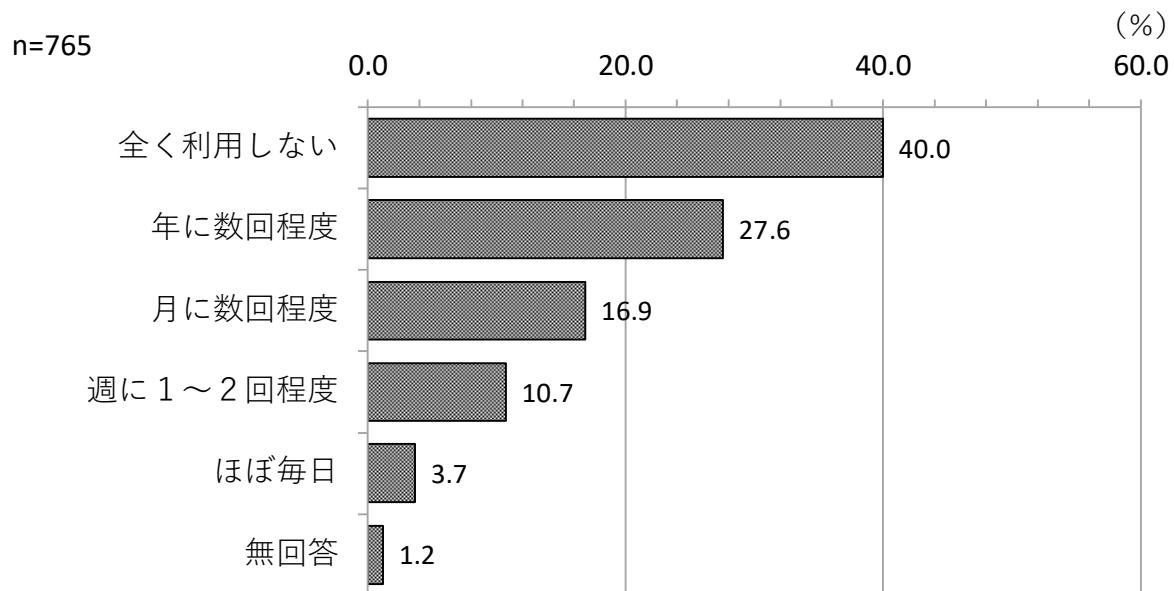
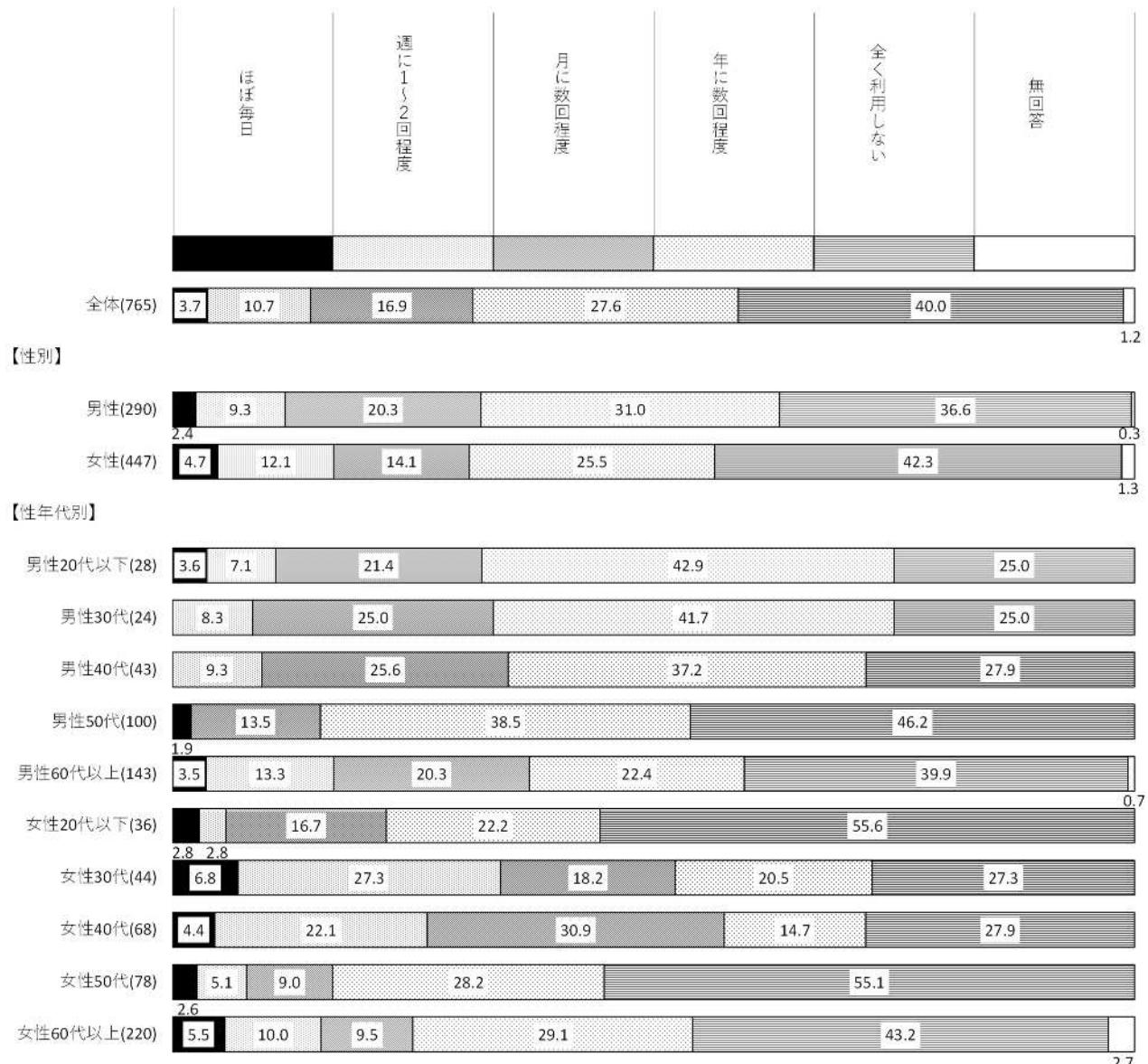


図8－1－2 公園の利用状況 <性別・性年代別>



(2) 一番多く利用した公園

《問25で「1～4」のいずれかと回答した方に伺います》

問26 一番多く利用した公園を教えてください。(もっともあてはまるもの1つに○。10または11を選んだ方は()内に公園名を記入)

全 体 「大師公園」(33.1%)が最も高く、次いで「1～9以外の区内の公園」を除き、「富士見公園」(16.9%)、「小田公園」(10.0%)となっている。(図8-2-1)

性 別 性別では、大きな差は見られなかった。(図8-2-2)

性 年 代 別 「大師公園」では「男性30代」(61.1%)、「男性20代以下」(42.9%)、「男性40代」(38.7%)とほかの性年代よりも高くなっている。(図8-2-2)

図8-2-1 一番多く利用した公園

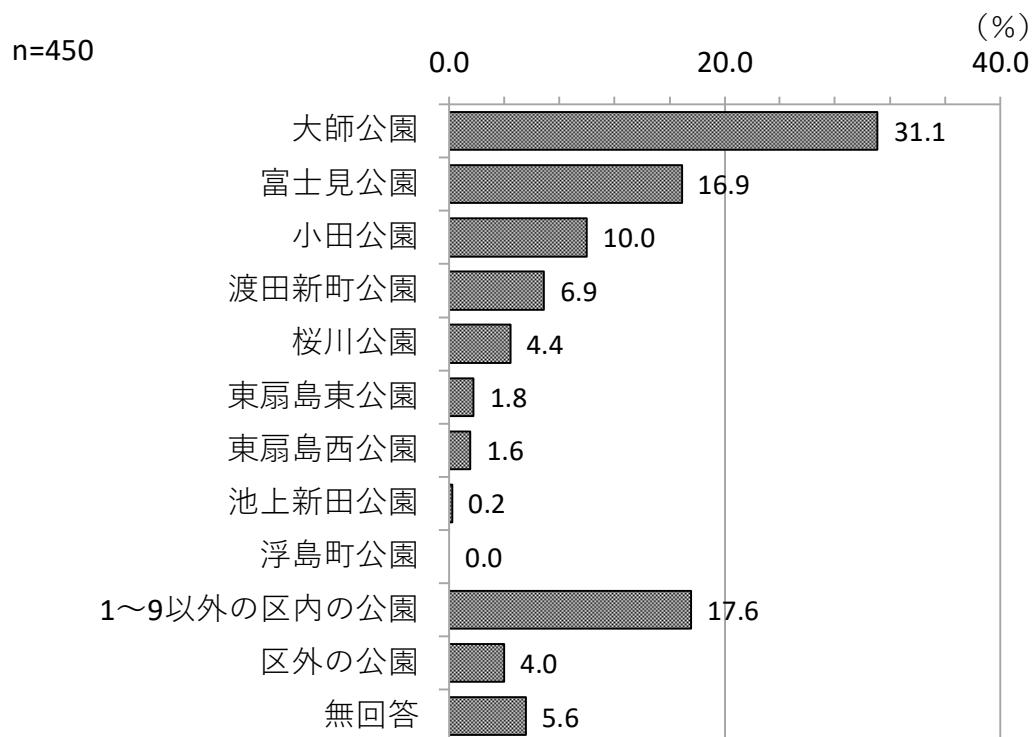
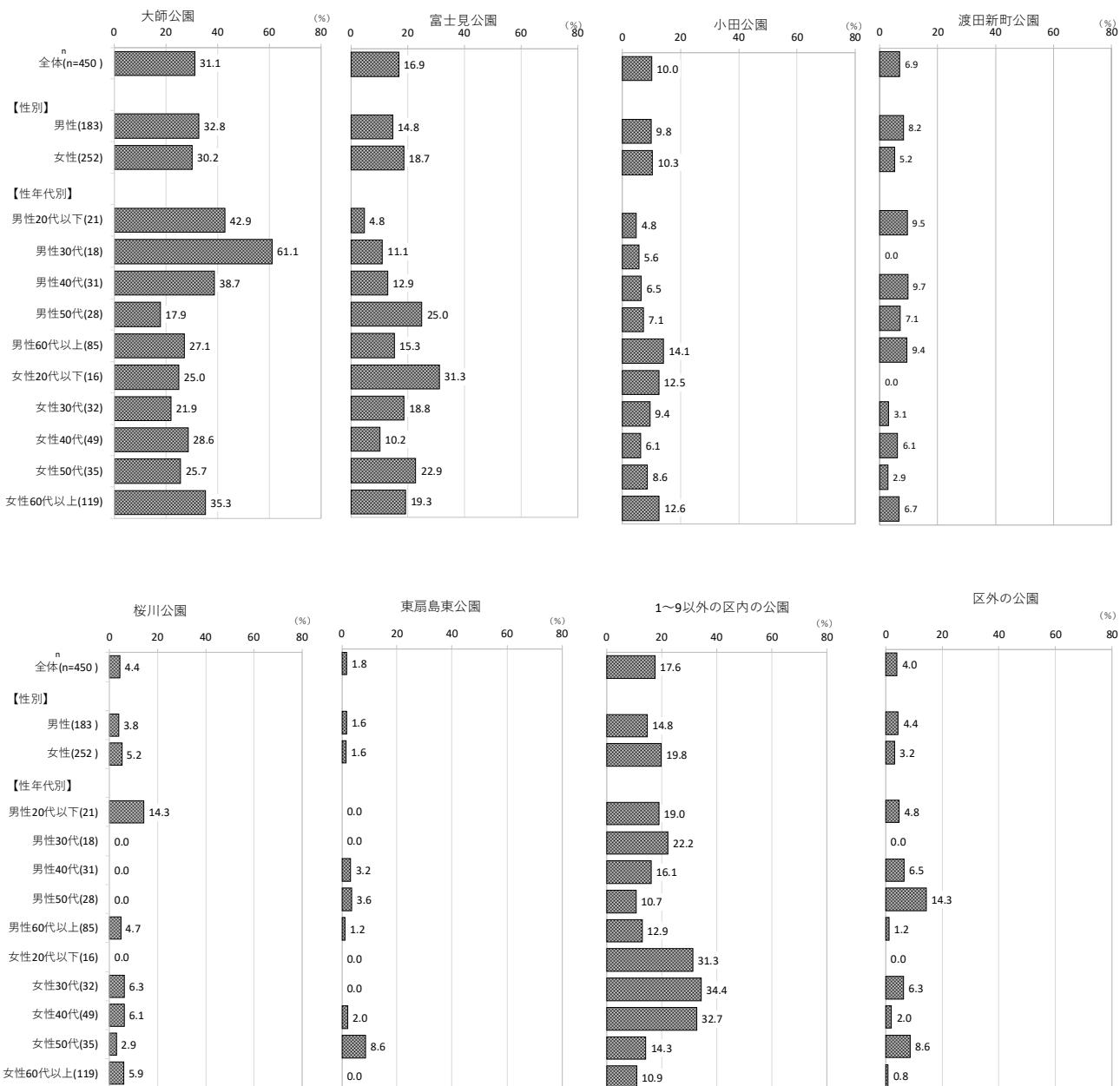


図8-2-2 一番多く利用した公園 <性別・性年代別>



9 日常の買い物について

(1) 日常的に買い物をするところ

問27 日常の買い物（食料品や日用品）は主にどこで行っていますか。

（もっともあてはまるもの1つに○）

全 体 「スーパー（徒歩や自転車で行ける距離）」(65.8%) が最も高く、次いで「スーパー（車やバイクが必要な距離）」(9.5%)、「自宅最寄り駅周辺や自宅までの間にあるスーパー やショッピングモール」(7.5%) となっている。(図9-1-1)

性 別 「コンビニエンスストア」では、「男性」(6.9%) が「女性」(2.0%) よりも4.9ポイント高くなっている。(図9-1-2)

性 年 代 別 「スーパー（徒歩や自転車で行ける距離）」では、「女性30代」「女性40代」「女性50代」が7割以上となっておりほかの性年代よりも高い割合となっている。また「コンビニエンスストア」では、「男性50代」(13.5%) と最も高くなっている。(図9-1-2)

図9－1－1 日常に買い物をするところ

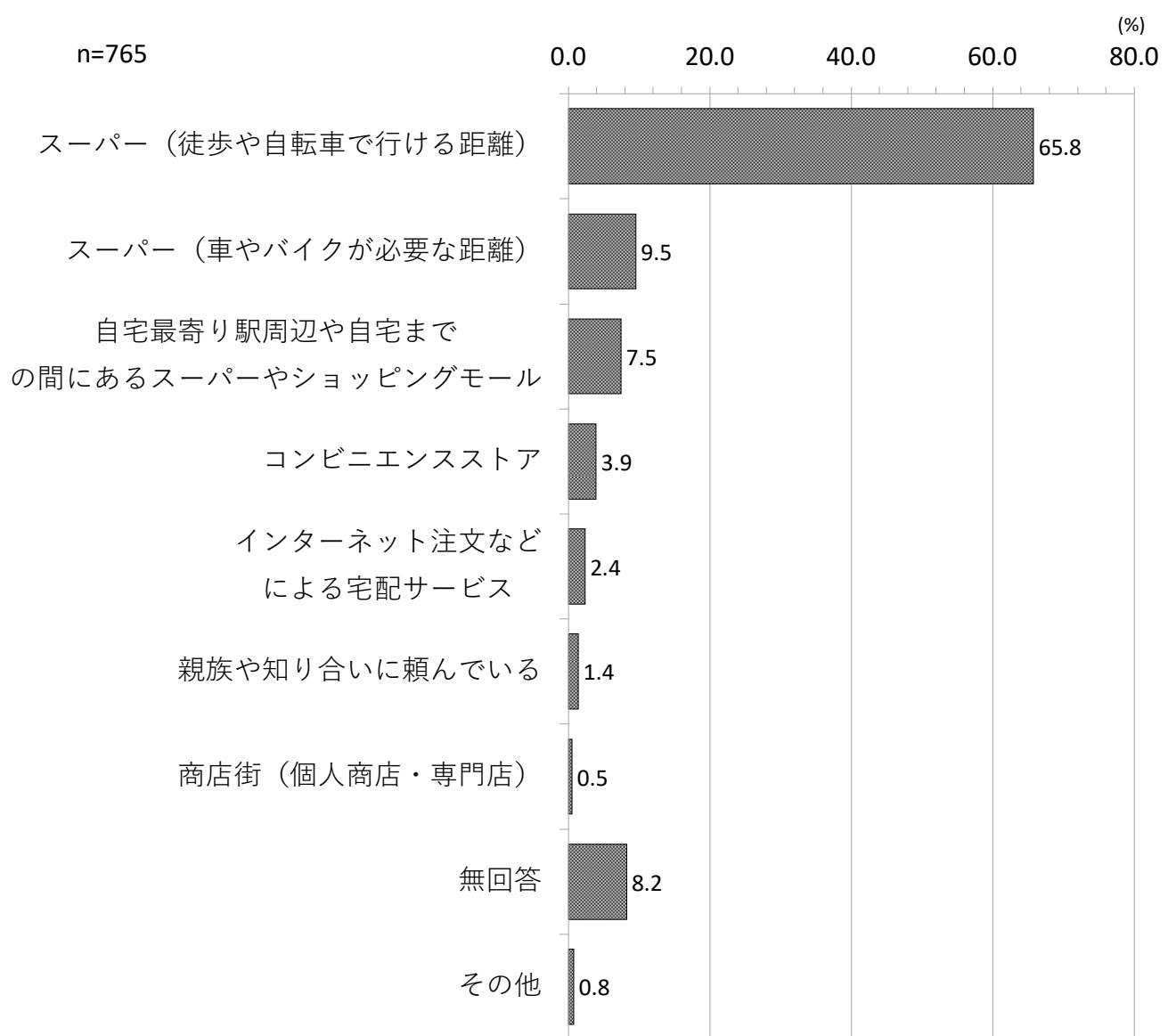
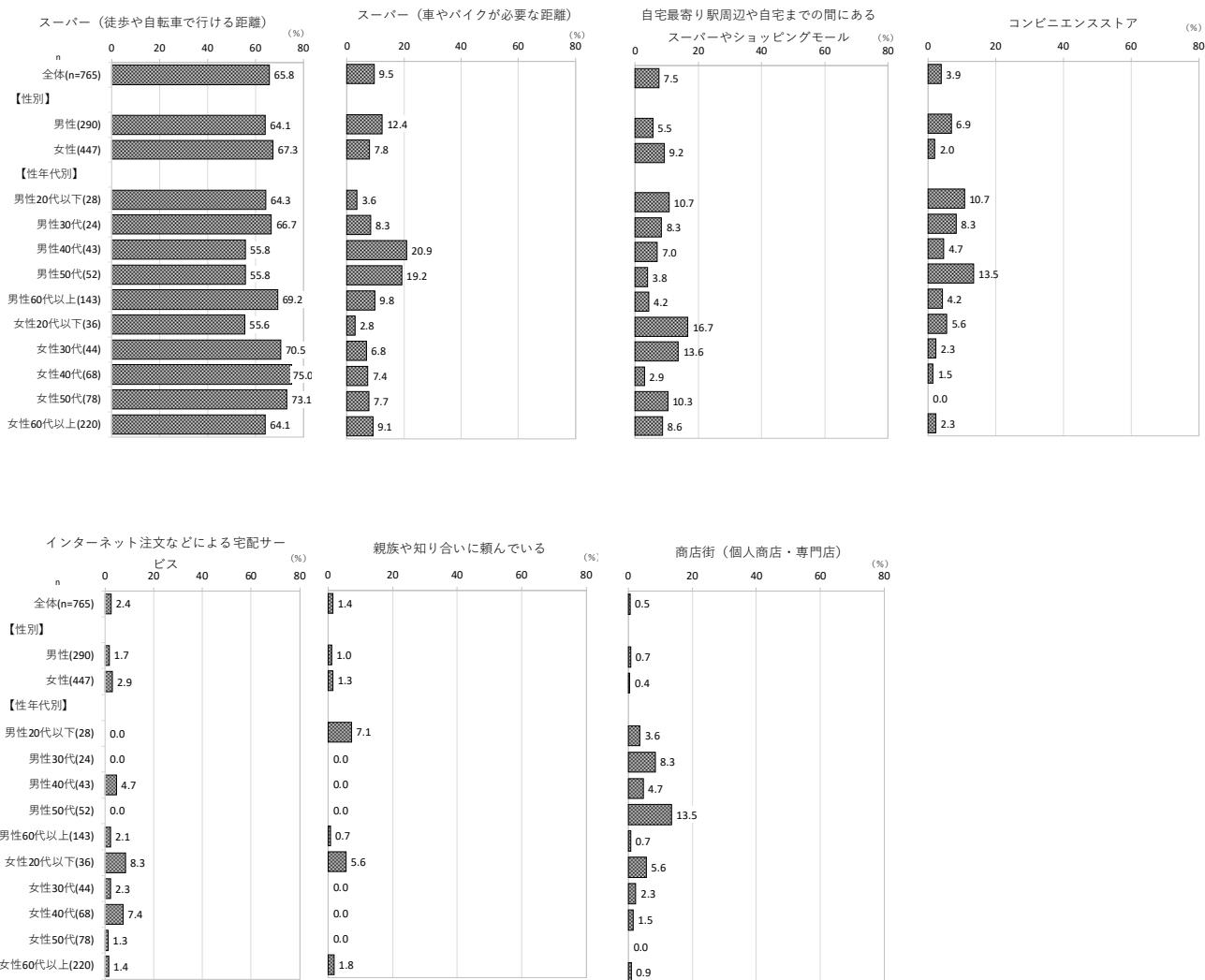


図9-1-2 日常的に買い物をするところ<性別・性年代別>



(2) 日常の買い物をする際の移動手段

《問27で「1～5または8」のいずれかと回答した方に伺います》

問28 その際の主な移動手段を教えてください。(あてはまるものに、2つまで○)

全 体 「徒歩」(58.1%)が最も高く、次いで「自転車」(44.4%)、「車」(23.2%)となっている。(図9-2-1)

性 別 性別では大きな差は見られなかった。(図9-2-2)

性 年 代 別 「徒歩」では「男性20代以下(69.2%)」、「男性30代」(72.2%)、「女性20代以下」(72.2%)「女性30代」(75.6%)が約7割となっている。「電車」では、「男性30代」が27.3%と最も高い割合となっている。(図9-2-2)

図9-2-1 日常の買い物をする際の移動手段

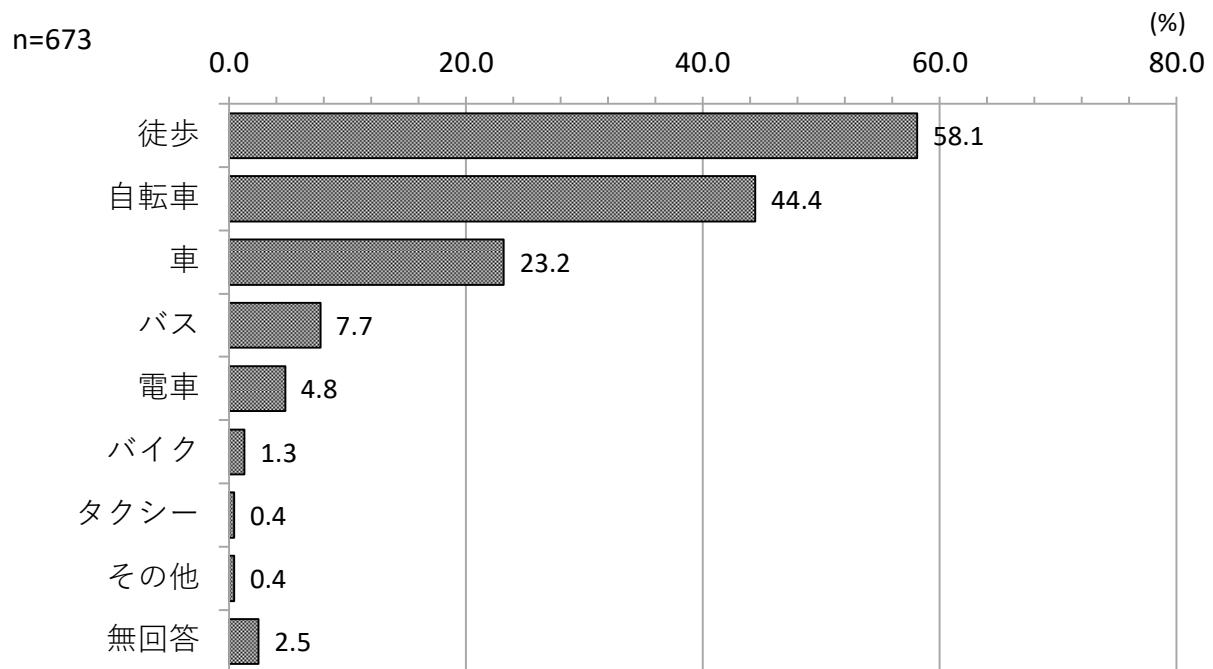
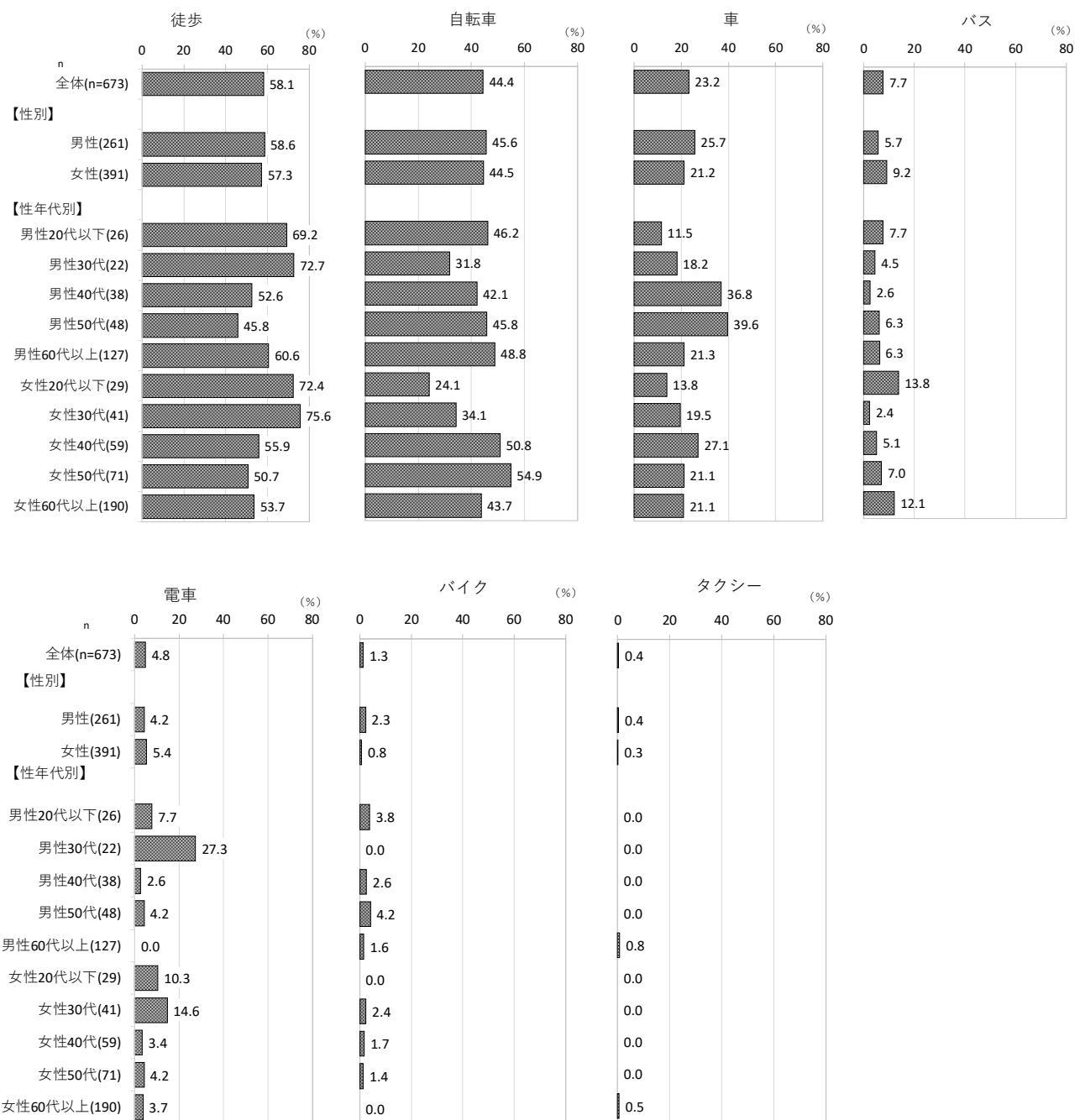


図9－2－2 日常の買い物をする際の移動手段 <性別・性年代別>



10 東海道川崎宿について

(1) 宿場町としての歴史への認知度

問29 かつて川崎が東海道の宿場町「川崎宿」として賑わっていた歴史があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「聞いたことはある」(49.0%) が最も高く、次いで「よく知っている」(39.2%)、「全く知らない」(10.8%) となっている。(図10-1-1)

性 別 「よく知っている」では、「男性」(48.6%) が「女性」(34.0%) と14.6ポイント高くなっている。また、「全く知らない」では「女性」(13.2%) が「男性」(7.6%) と5.6ポイント高くなっている。(図10-1-2)

性 年 代 別 「よく知っている」では、「男性60代以上」(60.8%)、次いで「女性60代以上」(43.6%)、「男性50代」(42.3%) となっている。「聞いたことはある」では、「男性30代」(66.7%)、「女性30代」(70.5%) でほかの性年代に比べて高くなっている。(図10-1-2)

図10-1-1 宿場町としての歴史への認知度

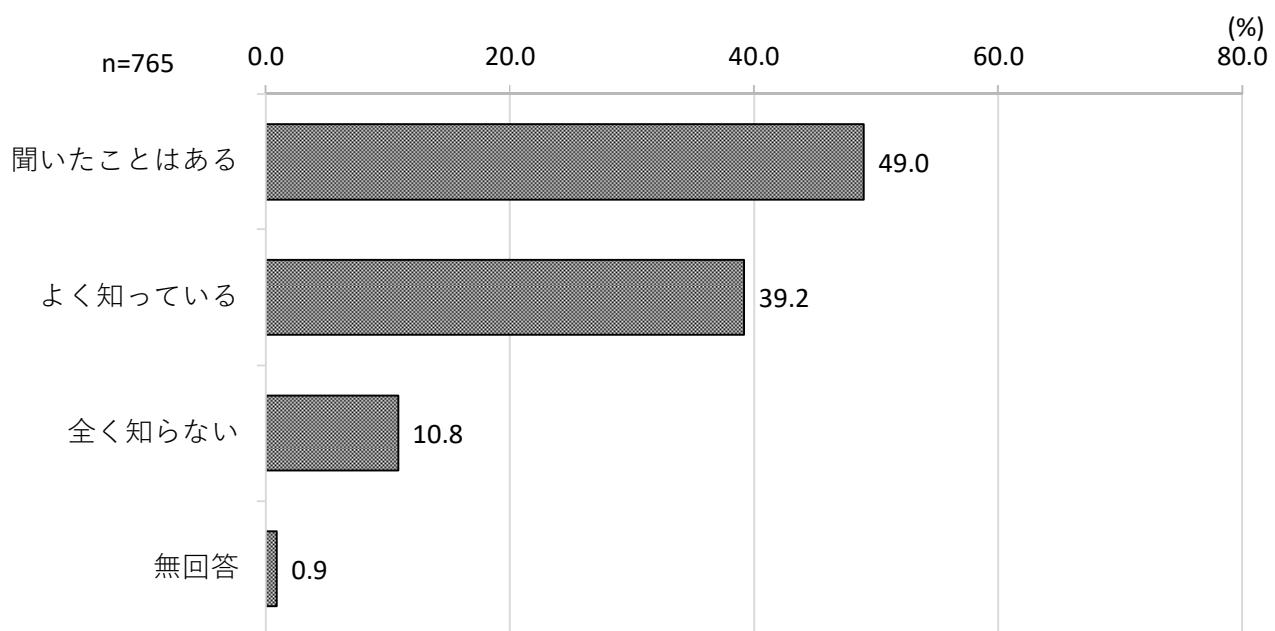
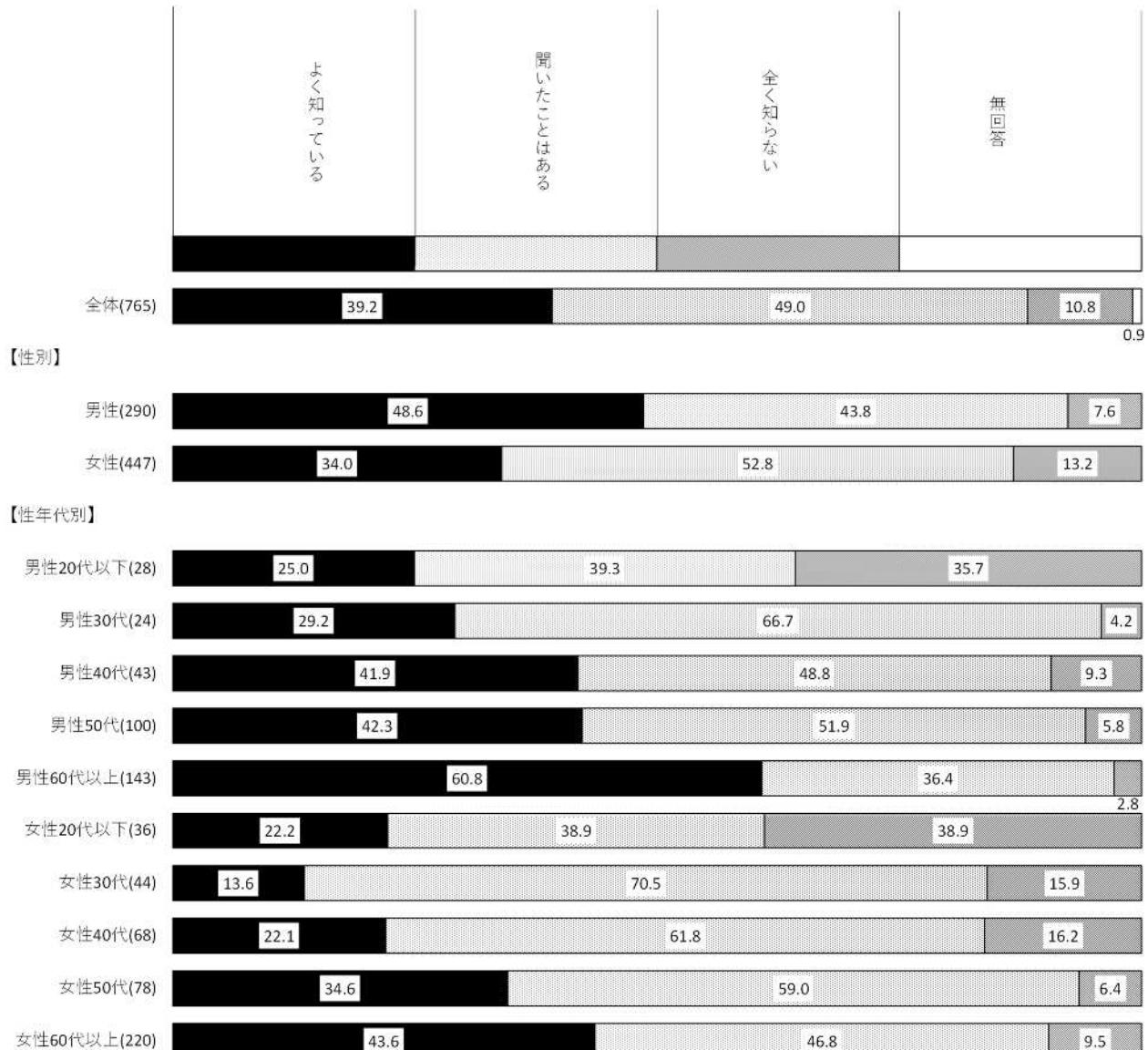


図10-1-2 宿場町としての歴史への認知度<性別・性年代別>



(2) 東海道川崎宿を盛り上げるための取組

問30 東海道川崎宿を地域が主体となって盛り上げていくために、今後どのような取組をしていくとよいと思いますか。(自由記入)

全 体 東海道川崎宿を盛り上げる為の取組を自由記述形式で聞いたところ、166人から225件の回答が寄せられた。その内容を分類した結果は以下のとおりである。
分類した項目を見ると、「広報・PR活動」(37件)が最も多く、次いで「昔の風景を再現したまちづくりやイベント」(26件)、「お祭り、その他イベントの開催」(23件)、「交通・インフラ・環境整備」(21件)となっている。(図10-2-1)

主な意見 第1位「広報・PR活動」
・川崎をもっとPRする!
・周知されていないのであらゆる方法で広めると良い
・まず「川崎宿」について、もっと広く知ってもらうことが第1だと思います。

第2位「昔の風景を再現したまちづくりやイベント」

- ・当時の川崎宿を再現したイベント
- ・江戸時代の風景（参勤交代・縁日など）を再現したイベント
- ・東海道かわさき宿交流館の前の通りで江戸の雰囲気を感じられるイベントをやって欲しい。

第3位「お祭り、その他イベントの開催」

- ・お祭り等のイベントの開催を取り組んでいただきたいと思います。
- ・イベントを増やしていけば良いと思う。
- ・川崎の魅力が分かるようなイベントを開催

図10-2-1 東海道川崎宿を盛り上げるための取組

順位	項目	件数
第1位	広報・PR活動	37
第2位	昔の風景を再現したまちづくりやイベント	26
第3位	お祭り、その他イベントの開催	23
第4位	交通・インフラ・環境整備	21
第5位	体験型のイベント	19
第6位	子ども・若者向けの取組	17
第7位	安全なまちづくり	12
第8位	川崎宿の歴史を学ぶための取組	11
第9位	他の地域と連携したイベント	6
〃	物産・名産に対する取組	6
〃	実施済みである取組の継続	6
第12位	外国人向けの取組	5
	その他ご意見・取組等	36

第4章 調査票



れいわ ねんど かわさきくくみんあんけーと 令和6年度 川崎区区民アンケート

あんけーとちょうさ ごきょうりょく ねが
～アンケート調査への御協力のお願い～

日頃から川崎区政に御理解・御協力をいただきありがとうございます。
川崎区では、区民の皆様の区政に対する率直な御意見やニーズ等をお伺いし、今後の区政運営の参考にさせていただきたいと考え、アンケート調査を実施することといたしました。
この調査は、区内にお住まいの満18歳以上の方々2,000人を無作為に抽出して御協力ををお願いしております。
お忙しいところ恐縮ですが、御協力をいただきますようお願いいたします。
なお、お答えいただいた内容は、調査目的のための統計的な集計分析のみに使用いたしますので、お答えいただいた個人が特定されたり、個々の御意見が直接外部に公表されることはありません。

- この調査は無記名調査です。調査票や返信用封筒に氏名や住所は記入しないでください。
- お答えは、あてはまる番号を「○」で囲んでください。
- 「その他」にあてはまる場合は()に、具体的な内容を記入してください。
- 本調査票で回答する場合は、12月1日(日)までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに郵便ポストへ投函してください。
- インターネット回答用フォームからも回答ができます。下記URLまたは2次元コードから専用フォームにアクセスし、12月1日(日)23時59分までに回答してください。

専用フォームURL : <https://logoform.jp/form/FUQz/571937>

2次元コード :



- 回答は本調査票または専用フォームのいずれか一方のみで行ってください。

令和6年11月

△このアンケート調査の御不明点や御質問は次の問合せ先にお問合せください。

(問合せ先) 川崎区役所まちづくり推進部企画課

電話 : 044-201-3267 FAX : 044-201-3209

メール : 61kikaku@city.kawasaki.jp

1 川崎区の住みやすさについて

問1 川崎区の住みやすさをどのように思われますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. とても住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. とても住みにくい |
| 5. どちらともいえない | |

問2 川崎区に住み続けたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. これからも住んでいたい | 2. できれば市内の他の区へ移りたい |
| 3. できれば市外へ移りたい | 4. わからない |

問3 次の表にあげる項目の、満足度を教えてください。

(①から⑯までの項目ごとに、あてはまるもの1つに○)

項目	満足	まあ満足	どちらともいえない	少し不満	不満
① 治安や風紀	1	2	3	4	5
② 買い物などの日常生活の利便性	1	2	3	4	5
③ バス・電車などの交通の便	1	2	3	4	5
④ 地震や風水害などの災害対策	1	2	3	4	5
⑤ 自転車や歩行者などの交通マナー	1	2	3	4	5
⑥ 地域パトロールや特殊詐欺防止啓発などの防犯対策	1	2	3	4	5
⑦ 自転車撤去や駐輪場への誘導・案内などの放置自転車対策	1	2	3	4	5
⑧ 地域団体の清掃活動などの街の美化推進	1	2	3	4	5
⑨ スポーツ施設や文化施設の充実	1	2	3	4	5
⑩ 放課後の子どもの居場所の充実などの青少年の健全育成環境	1	2	3	4	5
⑪ 保育施設の充実などの子育て環境	1	2	3	4	5
⑫ 病院や救急医療などの地域医療の状況	1	2	3	4	5
⑬ 高齢者が安心して暮らすための環境	1	2	3	4	5
⑭ 障害者が安心して暮らすための環境	1	2	3	4	5
⑮ 地域コミュニティ(地域団体等とのつながり)の充実	1	2	3	4	5
⑯ 歩きやすさ、車の走りやすさなどの道路環境の整備	1	2	3	4	5
⑰ 緑や公園などの自然環境の充実	1	2	3	4	5
⑱ 区役所職員の窓口サービスにおける接遇	1	2	3	4	5

2 川崎市(区)役所の事業や広報について

問4 次の表にあげる川崎市(区)役所の取組などをご存じですか。

(①から⑩までの項目ごとに、あてはまるもの1つに○)

かわさきし く やくしょ とりくみ そん 川崎市(区)役所の取組	よく知っている	聞いたことはある	全く知らない
① 川崎市総合計画(区計画)	1	2	3
② 災害時の避難場所(指定避難場所、指定緊急避難場所等)	1	2	3
③ 洪水・津波・内水ハザードマップ	1	2	3
④ 区内の放置自転車禁止区域(一部の駅周辺)	1	2	3
⑤ 区内の路上喫煙防止区域(川崎駅東口周辺)	1	2	3
⑥ 川崎駅周辺の自転車押し歩きエリア	1	2	3
⑦ まちのひろば(人と人をつなぐ居心地の良い地域の居場所)	1	2	3
⑧ ソーシャルデザインセンター	1	2	3
⑨ 地域デザイン会議	1	2	3
⑩ 区内の市民活動コーナー(教育文化会館・支所内)	1	2	3
⑪ 地域包括ケアシステム	1	2	3
⑫ 地域包括支援センター	1	2	3
⑬ まちの縁側	1	2	3
⑭ 保育・子育て総合支援センター	1	2	3
⑮ 子育てサロン	1	2	3
⑯ ほほえみ元気体操	1	2	3
⑰ 地域の寺子屋	1	2	3
⑱ みんなの校庭プロジェクト	1	2	3
⑲ 区の花(ビオラ・ひまわり)、区の木(銀杏・長十郎梨)	1	2	3
⑳ いきいきかわさき区提案事業	1	2	3
㉑ 教育文化会館の移転	1	2	3
㉒ 支所の建て替え	1	2	3

とい つぎ ひょう かわさきくやくしょ じぎょう ひょうか
問5 次の表にあげる川崎区役所の事業について、どのように評価していますか。

(①から⑪までの項目ごとに、あてはまるもの1つに○)

とい つぎ ひょう かわさきくやくしょ じぎょう こんご とく ちから い おも じぎょう おし
問6 次の表にあげる川崎区役所の事業で、今後、特に力を入れるべきだと思う事業を教えてください。(あてはまるもの、すべてに○)

とい 川崎区役所の事業	とい 問5			とい 問6 (欄内に○を記入)
	よくやっていると思う あも	もっとがんばってほしい	わからない	
① 防災対策	1	2	3	
② 防犯・防火対策	1	2	3	
③ 交通安全対策	1	2	3	
④ 放置自転車対策	1	2	3	
⑤ 町内会・自治会活動支援	1	2	3	
⑥ 地域活動支援	1	2	3	
⑦ 生涯学習の推進	1	2	3	
⑧ 地域包括ケアシステムの推進	1	2	3	
⑨ 高齢者福祉	1	2	3	
⑩ 指導者福祉	1	2	3	
⑪ 健康増進	1	2	3	
⑫ 子ども・子育て支援	1	2	3	
⑬ 環境美化	1	2	3	
⑭ 公園の維持管理、地域緑化	1	2	3	
⑮ 道路の維持管理	1	2	3	
⑯ 文化振興	1	2	3	
⑰ スポーツ振興	1	2	3	
⑱ 地域資源(歴史、文化、産業など)を活かした取組	1	2	3	
⑲ 外国人市民や多文化共生に関する事業	1	2	3	
⑳ 区役所の手続きやイベントの広報	1	2	3	
㉑ 窓口サービスの向上	1	2	3	
㉒ 特になし				

問7 川崎市(区)役所からの行政情報をどのように入手していますか。

(あてはまるものに、5つまで○)

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 市政だより | 2. かわさきアプリ |
| 3. かわさき生活ガイド | 4. メールニュースかわさき |
| 5. 新聞 | 6. タウン情報誌(タウンニュースなど) |
| 7. 町内会の看板や掲示板 | 8. 市の広報テレビ番組(「LOVE かわさき」など) |
| 9. 市の広報ラジオ番組(「COLORFUL KAMASAKI」など) | 10. SNS(市や区のX(旧Twitter)やLINEなど) |
| 11. 動画配信サイト(市のYouTubeなど) | 12. 市や区の窓口 |
| 13. 市や区のホームページ | 14. 市政資料コーナー(区役所12階) |
| 15. 情報プラザ(市役所本庁舎復元棟2階) | 16. 会社・学校・近所の人の口コミ |
| 17. その他() | 18. 特に情報は入手していない |

3 防災や風水害時の避難行動について

問8 防災の取組として実践していることを教えてください。(あてはまるもの、すべてに○)

- | |
|--|
| 1. ハザードマップの確認(自宅周辺の危険要素の把握) |
| 2. 「メールニュースかわさき」や「かわさき防災アプリ」への登録 |
| 3. 最低3日分の非常食・飲料水の備蓄 |
| 4. 非常持ち出し品の用意 |
| 5. 家具等の転倒防止対策 |
| 6. 自宅の耐震補強 |
| 7. 感震ブレーカーの設置 |
| 8. 地域の防災訓練への参加 |
| 9. 家族との連絡手段や集合場所の確認 |
| 10. マイタイムラインの作成(大雨や台風などの風水害に備えて、一人ひとりの生活状況に合わせた避難行動を時系列で整理し、あらかじめ考えておくためのもの) |
| 11. その他() |
| 12. 特になし |

とい さいがいじ ほうさいじょうほうあつ おし
問9 災害時、どのように防災情報を集めるかを教えてください。

(あてはまるもの、すべてに○)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. テレビ | 2. ラジオ |
| 3. 市の防災ポータルサイト | 4. インターネット(市のホームページなど) |
| 5. SNS(X(旧Twitter)やLINEなど) | 6. メールニュースかわさき |
| 7. かわさき防災アプリ | 8. 携帯電話やスマートフォンの緊急速報メール |
| 9. 防災行政無線(屋外スピーカー) | 10. 市や区の広報車 |
| 11. 町内会等の地域住民から入づてに聞く | 12. その他() |
| 13. 特に考えていない | |

とい たっかく おひあか みらいめいじ ひなんし しな はあい ひなん ごじ
問10 台風・大雨などの風水害時に避難指示が出された場合、どこに避難するかを教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|--|
| 1. 白宅が風水害に強いため避難しない
(浸水のないエリアまたはマンション上層階など) |
| 2. 白宅の上層階(2階または3階以上)に避難する |
| 3. 学校などの指定緊急避難場所に避難する |
| 4. 彼吉を受けにくく宿泊施設へ避難する |
| 5. 被害を受けにくく親戚や友人等の家へ避難する |
| 6. 洪水の危険性のないエリアへ車で移動し、車中で過ごす |
| 7. 学校などの指定緊急避難場所がどこか分からぬので、調べてから判断する |
| 8. その他() |
| 9. どうすればよいか分からない |
| 10. 特に何も考えていない |

※住んでいる場所や災害発生時の状況によって、避難行動は変わります。ハザードマップなどを確認し、事前に災害時の行動を想定しておくことが大切です。

4 自転車の利用について

とい ふだん じてんしゃりよう りよう へるのっと ちゃくよう
問11 普段から自転車を利用しますか。また、利用するときはヘルメットを着用していますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. ヘルメットを着用して利用している | 2. ヘルメットを着用せず利用している |
| 3. 利用していない | |

とい かねがわけるひ ふだんしゃりよう はあい ふとんしゃくせん なじゅう し
問12 神奈川県内を自転車で通行する場合は、自転車保険に加入しなければいけないことを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 知っており、加入もしている | 2. 知っているが、加入していない |
| 3. 自転車を利用しないが、知っている | 4. 知らない |

とい どうろこうつうほう かいせい れいわ ねん がつついたおしこう じてんしゃうんてんぢゅう けいたいでんわとう
問13 道路交通法の改正（令和6年11月1日施行）により、自転車運転中の携帯電話等の
使用や酒気帯び運転が、新たに罰則の対象となることを知っていますか。

（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

5 町内会・自治会活動について

とい ちょうないかい じちかい かにゅう
問14 町内会・自治会に加入していますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|----------------------------|--------------------------------------|
| 1. 加入していて、活動に参加している | → とい かいとうふよう
問17へ (問15、16は回答不要です) |
| 2. 加入しているが、あまり(全く)参加していない→ | とい かいじゅうふよう
問15へ (問16は回答不要です) |
| 3. 加入していない | とい かいじゅうふよう
問16へ (問15は回答不要です) |

《問14で「2」と回答した方に伺います》

とい ちょうないかい じちかい かにゅう さんか
問15 町内会・自治会の活動に参加していない理由を教えてください。

（あてはまるものに、3つまで○）

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 仕事や子育て、介護等で忙しい | 2. 関心や興味がない |
| 3. 参加しにくい雰囲気がある | 4. 活動する日程が合わない |
| 5. 活動の内容を知らない | 6. 一緒に活動する仲間がない |
| 7. 隣近所との付き合いが面倒 | 8. その他() |
| 9. 特に理由はない | |

《問14で「3」と回答した方に伺います》

とい ちょうないかい じちかい かにゅう さんか
問16 町内会・自治会に加入していない理由を教えてください。

（あてはまるものに、3つまで○）

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 加入するきっかけがない | 2. 加入の仕方が分からない |
| 3. 加入しなくても日常生活に支障がない | 4. 何を行っている組織なのかわからない |
| 5. 地域活動に関心がない | 6. 役員をやらされそうで負担である |
| 7. 加入するメリットがない | 8. 隣近所とのつきあいが煩わしい |
| 9. 仕事や子育て、介護等で忙しい | 10. 会費の支払いが負担である |
| 11. 会費の使い道がわからない | 12. 町内会・自治会以外の地域活動を行っている |
| 13. その他() | 14. 特に理由はない |

問17 町内会・自治会に加入しやすくなる、または加入したいと思ってもらうには何が必要だと思いますか。(あてはまるものに、3つまで○)

1. 加入するメリットや地域での役割を積極的に情報発信する
2. 未加入者でも参加できる町内会・自治会主催のイベントなどによりきっかけをつくる
3. 活動への参加を強制されない(仕事や子育て、介護等に配慮してくれる)
4. 役員に負担が集中しない小組みがある
5. 会費の支払いをキャッシュレスでも可能にする
6. 回覧板のデジタル配信
7. その他()
8. わからない

問18 町内会・自治会活動で参加してみたいこと(興味のあること)を教えてください。

(あてはまるものに、3つまで○)

1. 節電などのお祭り
2. 自然や環境を守るための活動やイベント(清掃活動や地域緑化・植栽活動など)
3. 子どもを対象とした活動やイベント
4. 安全安心のための行動やイベント(防犯パトロールや登下校時の交通安全見守り活動など)
5. スポーツや文化に関係した活動やイベント
6. 高齢者、障害者を対象とした活動やイベント
7. 防災に関係した活動やイベント(自主防災組織による避難訓練など)
8. 外国人等のための活動やイベント
9. その他()
10. 特にない

※ 町内会・自治会単位で結成され、防災訓練の実施や避難所の運営に参加するなどの活動をしている。

6 地域コミュニティについて

問19 地域交流への参加のきっかけとして、興味のある場所や取組(人と人をつなぐ居心地の良い地域の居場所)を教えてください。(あてはまるものに、3つまで○)

1. 子どもを遊ばせることができる場所・取組
2. 緑を感じができる場所・取組
3. お祭りやイベントができる場所・取組
4. 自由に飲食や休憩ができる場所・取組
5. 井戸端会議や談話ができる場所・取組
6. 仕事や会議もできる場所・取組
7. 勉強や読書ができる場所・取組
8. 同じ趣味を持つ人が集まれる場所・取組
9. 防災の体験や学習ができる場所・取組
10. 農作物や作品販売などのマルシェ・バザーができる場所・取組
11. その他()
12. 特になし

問20 近隣住民による見守りや声掛けなどの助け合い活動について、どのように考えているか教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 積極的に参加したい
2. 必要な時に参加したい
3. できるだけ参加したくない
4. 参加しない
5. 必要ない

問21 いざという時に頼る人はだれか教えてください。(もっともあてはまるもの1つに○)

1. 同居または市内に住む家族・親族
2. 市外に住む家族・親族
3. 近所の住民
4. 近所ではない友人・知人
5. 頼れる人はいない
6. その他()

問22 日本人の方は外国人の方と、外国人の方は日本人の方と、日常生活の中でどの程度交流があるか教えてください。(直接会える距離に住んでいる人をイメージしてください)(あてはまるもの1つに○)

1. 家族のように親しく付き合っている人がいる
2. 親しく話をする人がいる
3. ときどき話をする程度の人がいる
4. 挨拶をする程度の人がいる
5. ほとんど付き合いがない
6. よつたく付き合いがない

7 健康管理について

問23 健康診断を受診していますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 毎年受診している
2. 定期的(2~3年に1度程度)に受診している
3. 5年以上受診していない

《問23で「3」と回答した方に伺います》

問24 健康診断を受診していない理由を教えてください。(あてはまるものに、3つまで○)

1. 時間がない
2. 費用が高い
3. 受診方法が分からぬ
4. 病院に通院し、既に治療を受けている
5. 心配な症状がない
6. 様々な検査(採血やバリウム検査等)を受けることが苦痛
7. 面倒くさい
8. 結果が怖い
9. その他()

8 公園の利用について

問25 普段、公園をどの程度利用していますか。(過去1年程度)(あてはまるもの1つに○)

1. ほぼ毎日
2. 週に1~2回程度
3. 月に数回程度
4. 年に数回程度
5. 全く利用しない

《問25で「1~4」のいずれかと回答した方に伺います》

問26 一番多く利用した公園を教えてください。

(もっともあてはまるもの1つに○。10または11を選んだ方は()内に公園名を記入)

- | | | |
|--------------------|-----------|-----------|
| 1. 池上新田公園 | 2. 浮島町公園 | 3. 小田公園 |
| 4. 桜川公園 | 5. 大師公園 | 6. 富士見公園 |
| 7. 東扇島西公園 | 8. 東扇島東公園 | 9. 渡田新町公園 |
| 10. 1~9以外の区内の公園() | | |
| 11. 区外の公園() | | |

9 日常の買い物について

問27 日常の買い物(食料品や日用品)は主にどこで行っていますか。

(もっともあてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------------------------------|----------------------|
| 1. スーパー(徒歩や自転車で行ける距離) | 2. スーパー(車やバイクが必要な距離) |
| 3. コンビニエンスストア | 4. 商店街(個人商店・専門店) |
| 5. 自宅最寄り駅周辺や自宅までの間にあるスーパー・ショッピングモール等 | |
| 6. インターネット注文などによる宅配サービス | |
| 7. 親族や知り合いに頼んでいる | |
| 8. その他() | |

どい 《問27で「1~5または8」のいずれかと回答した方に伺います》

どい 問28 その際の主な移動手段を教えてください。(あてはまるものに、2つまで○)

- | | | | |
|----------------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 1. 徒歩
とほ | 2. 自転車
じてんしゃ | 3. バイク
ばいく | 4. 車
くるま |
| 5. 電車
でんしゃ | 6. バス
ばす | 7. タクシー
タクシー | |
| 8. その他()
たのほか() | | | |

10 東海道川崎宿について

どい 問29 かつて川崎が東海道の宿場町「川崎宿」として賑わっていた歴史があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|-------------------|-------------------------|----------------------|
| 1. よく知っている
よこし | 2. 聞いたことはある
きいたことはある | 3. 全く知らない
まことしやない |
|-------------------|-------------------------|----------------------|

どい 問30 東海道川崎宿を地域が主体となって盛り上げていくために、今後どのような取組をしていくとよいと思いますか。(自由記入)

きいご じしん うかが れいわ ねん がつ にほんさい
最後に、あなた自身についてお伺いします(令和6年10月31日現在)

F 1 性別 (あてはまるもの1つに○)

1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 回答したくない

E2 年齢 (あてはまるもの1つに○)

- 年齢(いとねどはよるのすうりょう)**

1. 20歳未満	2. 20歳～29歳	3. 30歳～39歳	4. 40歳～49歳
5. 50歳～59歳	6. 60歳～64歳	7. 65歳～74歳	8. 75歳以上

E3 お住まい (あてはまるもの1つに○)

- あさかわちょう いよご ひきだえほんめいよう いのくちょう さかのこうよう しんかわじゆり すずざちょう かがしだらよう
1. 姶町、砂子、駅前本町、榎町、境町、新川通、鈴木町、東田町、
あじみ あよめ ほどのうをなむら ほなをよう あはとをよう あやまちをよう あゆもとをよう
富士見1丁目、堀之内町、本町、港町、宮前町、宮本町
いまだ おおかわちょう かいづか きくらまち ちほらめ しまねみき つかみね にしひんじょう みぬみまち きとき
2. 池田、小川町、貝塚、京町1～2丁目、下並木、堤根、日進町、南町、元木
ちだ ちくらめ かいづか わたりだまめのうちょう わたりだしななよう わたりだひがしちょう わたりだあわせ なよう
3. 小田1丁目、渡田、渡田山王町、渡田新町、渡田東町、渡田向町
かわせじま かわせじまくわらまき かわせじま ふじめ あよまき
4. 大島、大島上町、中島、富士見2丁目
かせらまき かわなまじま だいじまきまえ あむさき
5. 伊勢町、川中島、大師駅前、藤崎
いせましんじま かわのん だいすまち さわやかみぢま さわやしまちょう
6. 池上新町、觀音、台町、四谷上町、四谷下町
うきしままち いがわ こじまちまち しわはた だいしがわら えみち おどりまち てきまち とうたら かがわせじま
7. 浮島町、江川、小島町、塩浜、大師河原、田町、千鳥町、出来野、殿町、東扇島、
かみで みやえらまち せきとう
日ノ出、水江町、夜光
じょうわ さいしこくえん さいしはんめいよう だいじまち せいかぜ ひがしわんせん
8. 昭和、大師公園、大師本町、大師町、中瀬、東円前
あさわ あさわまち あいのまち あいのまち おおまち おおまち こうかんとおり あくらまち たじまちまち けきまち
9. 浅野町、池上町、追分町、扇町、扇島、鋼管通、桜本、田島町、浜町、
あなみわたせだまちまち
南渡田町
あさだ おおかわちょう かだ ちほらめ おださかえ きくらまち ちようめ しむいしむこう たかはしんでん
10. 渋田、大川町、小出2～7丁目、小出栄、京町3丁目、白石町、田辺新田

E4 川崎区に、お住まいになって何年になりますか。（あてはまるもの1つに○）

- 1 3年未満 2 3年以上10年未満 3 10年以上20年未満 4 20年以上

E5 職業を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

- 職業を教えてください。(初めてはまるもとのつづり)**

1. 会社員(公務員・団体職員含む) 2. 自営業
3. パート・アルバイト
4. 家事専業(主夫・主婦) 5. 学生
6. 無職(年金生活者を含む)
7. その他()

F6 あなたを除く、一緒に住いの家族や同居人の構成と人数を教えてください。
 (欄内に人数を記入してください。ひとり暮らしの場合は「9」に「○」を記入してください。)

みしゅうがくじん 1. 未就学児	じん 人	しょうがくせい 2. 小学生	じん 人	ちゅうがくせい 3. 中学生	じん 人
こうこうせい 4. 高校生	じん 人	だいがくせい 5. 大学生	じん 人	がっこうせなが 6. 学校卒業～64歳以下	じん 人
さい 7. 65歳～74歳	じん 人	さいへじょう 8. 75歳以上	じん 人	9. いんぐい	

F7 お勤め先、または通学先の所在地を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|---------------------|---------------------------|-----------------------------|
| かわさきくない
1. 川崎区内 | かわさきしない
2. 川崎市内(川崎区以外) | かながわけんない
3. 神奈川県内(川崎市以外) |
| とうきょうとない
4. 東京都内 | ざいたくきんせ
5. 在宅勤務・通信制の学校 | つうきん つうがく
6. 通勤・通学していない |
| た
7. その他() | | |

しつもん いじょう ごきょうりょく
質問は以上です。御協力、ありがとうございました。

へんしんようふうとう きってふよう い がつづいたち にち ゆうひん ほす と とうかん
返信用封筒(切手不要)に入れ、12月1日(日)までに郵便ポストへ投函してください。



かわさきく

令和6年度 川崎区区民アンケート<詳細版>

令和7年3月
発行 川崎区役所まちづくり推進部企画課

〒210-8570 川崎市川崎区東田町8番地

TEL 044-201-3267 (直通)
FAX 044-201-3209